

平成20年6月26日

正本

杏林大学保健学部理学療法学科設置届出書

学校法人 杏林学園

杏林大学保健学部理学療法学科設置届出書

杏学発第 20-40号
平成20年 6月26日

文 部 科 学 大 臣

渡 海 紀 三 朗 殿

学校法人 杏 林 学 園

理事長

松 田 博 青

このたび、杏林大学保健学部理学療法学科を設置することについて、学校教育法第4条第2項及び学校教育法施行令第23条の2第1項の規定により、別紙書類を添えて届け出ます。なお、届出の上は、確実に届出に係る計画を履行します。

目 次

- 1．基本計画書
- 2．設置の前後における学位等及び専任教員の所属の状況
- 3．教育課程等の概要
- 4．授業科目の概要
- 5．校地校舎等の図面
- 6．学 則
 - (1) 学則案
 - (2) 変更事項を記載した書類
 - (3) 新旧対照表
- 7．教授会規程
- 8．意思の決定を証する書類
- 9．設置の趣旨等を記載した書類
- 10．教員名簿〔学長及び学部長の氏名等〕
- 11．教員名簿〔教員の氏名等〕

1 . 基本計画書

基本計画書

基本計画								
事項	記入欄						備考	
計画の区分	学部の学科設置							
フリガナ設置者	がっくおんじん きョりんがくいん 学校法人 杏林学園							
フリガナ大学の名称	きョりんがく けい 杏林大学 (Kyorin University)							
大学本部の位置	東京都三鷹市新川六丁目20番2号							
大学の目的	本学は、教育基本法及び学校教育法に則り、かつ建学の精神に基づいて、崇高な人類愛と高度の科学精神を基盤とするすぐれた人材の育成を目的とし、もって広く人類の福祉に貢献することを使命とする。							
新設学部等の目的	医療人としての倫理観に裏付けされた、豊かな人間性と理学療法に関する高度な知識、技術を備え、障害の機能回復だけでなく、地域医療や福祉の場における健康の維持増進など、幅広い領域において貢献できる人材を養成することを目的とする。							
新設学部等の概要	新設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	開設時期及び開設年次	所在地
	保健学部 (Faculty of Health Sciences) 理学療法学科 (Department of Physical Therapy) 計	年	人	年次人	人	学士 (理学療法学)	平成21年4月1日 第1年次	東京都八王子市宮下町 476番地
同一設置者内における変更状況(定員の移行、名称の変更等)	<p>[保健学部看護学科] 平成21年4月から入学定員を次のとおり変更 80人 100人</p> <p>[総合政策学部総合政策学科] 平成21年4月から入学定員を次のとおり変更 180人 170人(10)</p> <p>[総合政策学部企業経営学科] 平成21年4月から入学定員を次のとおり変更 120人 100人(20)</p> <p>[外国語学部英語学科] 平成21年4月から入学定員を次のとおり変更 115人 110人(5)</p> <p>[外国語学部中国語・日本学科] 平成21年4月から入学定員を次のとおり変更 55人 40人(15)</p> <p>[外国語学部応用コミュニケーション学科] 平成21年4月から入学定員を次のとおり変更 120人 110人(10)</p> <p>以上の入学定員(60)に伴う大学全体の収容定員(240)を 保健学部理学療法学科の入学定員へ40人振り替える。 保健学部看護学科の入学定員へ20人振り替える。</p>							
教育課程	新設学部等の名称	開設する授業科目の総数				卒業要件単位数		
	保健学部理学療法学科	講義	演習	実験・実習	計	125単位		
		96科目	3科目	15科目	114科目			

教 員 組 織 の 概 要	学 部 等 の 名 称		専任教員等					兼任 教員	
			教授	准教授	講師	助教	計		助手
新 設 分	保健学部 理学療法学科		4 (4)	3 (2)	3 (1)	4 (3)	14 (10)	0 (0)	8 (8)
	計		4 (4)	3 (2)	3 (1)	4 (3)	14 (10)	0 (0)	8 (8)
既 設 分	医学部 医学科		57 (57)	52 (52)	46 (46)	142 (142)	297 (297)	0 (0)	190 (190)
	保健学部 臨床検査技術学科		10 (10)	5 (5)	8 (8)	10 (10)	33 (33)	0 (0)	8 (8)
	保健学部 健康福祉学科		6 (6)	6 (6)	4 (4)	6 (6)	22 (22)	0 (0)	4 (4)
	保健学部 看護学科		7 (7)	9 (9)	6 (6)	12 (12)	34 (34)	0 (0)	12 (12)
	保健学部 臨床工学科		4 (4)	4 (4)	1 (1)	4 (4)	13 (13)	0 (0)	1 (1)
	保健学部 救急救命学科		6 (6)	0 (0)	1 (1)	6 (6)	13 (13)	0 (0)	6 (6)
	総合政策学部 総合政策学科		11 (11)	8 (8)	3 (3)	0 (0)	22 (22)	0 (0)	23 (23)
	総合政策学部 企業経営学科		7 (7)	2 (2)	1 (1)	0 (0)	10 (10)	0 (0)	6 (6)
	外国語学部 英語学科		8 (8)	1 (1)	2 (2)	2 (2)	13 (13)	0 (0)	38 (38)
	外国語学部 中国語・日本語学科		10 (10)	0 (0)	5 (5)	0 (0)	15 (15)	0 (0)	34 (34)
	外国語学部 応用コミュニケーション学科		8 (8)	2 (2)	3 (3)	0 (0)	13 (13)	0 (0)	24 (24)
	計		134 (134)	89 (89)	80 (80)	182 (182)	485 (485)	0 (0)	346 (346)
	合 計		138 (138)	92 (91)	83 (81)	186 (185)	499 (495)	0 (0)	354 (354)
	教 員 以 外 の 職 員 の 概 要	職 種		専 任		兼 任		計	
事 務 職 員		48 (48)		5 (5)		53 (53)			
技 術 職 員		0 (0)		0 (0)		0 (0)			
図 書 館 専 門 職 員		7 (7)		1 (1)		8 (8)			
そ の 他 の 職 員		0 (0)		2 (2)		2 (2)			
計		55 (55)		8 (8)		63 (63)			

八王子
キャンパスのみ

校 地 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	大学全体		
	校 舎 敷 地	134,086.35m ²	m ²	m ²	134,086.35m ²			
	運 動 場 用 地	14,570.00m ²	m ²	m ²	14,570.00m ²			
	小 計	148,656.35m ²	m ²	m ²	148,656.35m ²			
	そ の 他	35,783.46m ²	m ²	m ²	35,783.46m ²			
合 計	184,439.81m ²	m ²	m ²	184,439.81m ²				
校 舎		専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計			
		64,719.04m ² (64,719.04m ²)	m ² (m ²)	m ² (m ²)	64,719.04m ² (64,719.04m ²)			
教室等	講義室	演習室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設			
	室	室	室	室 (補助職員 人)	室 (補助職員 人)			
専任教員研究室		新設学部等の名称		室 数				
				室				
図 書 設 備	新設学部等の名称	図書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標本 点	
		() ()	() ()	() ()	() ()	() ()	() ()	
	計	() ()	() ()	() ()	() ()	() ()	() ()	
図書館		面積	閲覧座席数	収 納 可 能 冊 数				
		m ²						
体育館		面積	体育館以外のスポーツ施設の概要					
		m ²						
経 費 の 見 積 り 及 び 維 持 方 法 の 概 要	経費 の見 積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度
		教員 1 人 当 り 研 究 費 等	1,048千円	1,101千円	図書購入費	10,153千円	10,955千円	10,955千円
	共 同 研 究 費 等	0千円	0千円	設備購入費	183,185千円	88,169千円	92,549千円	
	学生 1 人 当 り 納付金	第 1 年 次	第 2 年 次	第 3 年 次	第 4 年 次	第 5 年 次	第 6 年 次	
		1,900千円	1,650千円	1,650千円	1,650千円	千円	千円	
学生納付金以外の維持方法の概要			私立大学等経常費補助金収入、手数料収入等を充当する。					

既設大学等の状況	大学の名称		杏林大学							所在地
	学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	定員超過率	開設年度		
		年	人	年次人	人		倍			
	医学部								東京都三鷹市新川6丁目20番2号	
	医学科	6	90		540	学士(医学)	1.00	S45年度		[保健学部臨床検査技術学科] H18年度入学定員変更55人 65人 H19年度入学定員変更65人 80人 H20年度2年次編入学定員変更10人 6人
	保健学部								東京都八王子市宮下町476番地	
	臨床検査技術学科	4	80	2年次6 3年次5	316	学士(保健衛生学)	1.22	S54年度		[健康福祉学科] H19年度保健学科から健康福祉学科へ名称変更 H19年度入学定員変更55人 40人 H20年度2年次編入学定員変更10人 6人
	健康福祉学科	4	40	2年次6 3年次5	226	学士(保健衛生学)	1.29	S54年度		[看護学科] H20年度2年次編入学定員変更10人 2人
	看護学科	4	80	2年次2 3年次10	362	学士(看護学)	1.13	H6年度		[総合政策学部総合政策学科] H18年度入学定員変更350人 180人 H20年度3年次編入学定員変更50人 30人
	臨床工学科	4	40	-	120	学士(臨床工学)	1.27	H18年度		[外国語学部外国語学科] H18年度1年次入学生より募集停止
	救急救命学科	4	40	3年次5	80	学士(救急救命学)	1.20	H19年度		[英語学科] H20年度入学定員変更110人 115人
	総合政策学部								東京都八王子市宮下町476番地	
	総合政策学科	4	180	3年次30	970	学士(総合政策学)	1.19	H14年度		[中国語・日本語学科] H20年度東アジア言語学科より中国語・日本語学科へ名称変更 H20年度入学定員変更70人 55人
	企業経営学科	4	120	3年次20	380	学士(企業経営学)	0.95	H18年度		[応用コミュニケーション学科] H20年入学定員変更110人 120人
	外国語学部								東京都八王子市宮下町476番地	
	外国語学科	4				学士(文学)	1.12	H13年度		
	英語学科	4	115	3年次10	345	学士(文学)	1.12	H18年度		
	中国語・日本語学科	4	55	3年次25	220	学士(文学)	0.69	H18年度		
	応用コミュニケーション学科	4	120	3年次10	350	学士(文学)	1.06	H18年度		
附属施設の概要										

2 . 設置の前後における学位等及び専任教員の所属の状況

設置の前後における学位等及び専任教員の所属の状況

届出時における状況					新設学部等の学年進行 終了時における状況						
学部等の名称	授与する学位等		異動先	専任教員		学部等の名称	授与する学位等		異動元	専任教員	
	学位又は称号	学位又は学科の分野		助教以上	うち教授		学位又は称号	学位又は学科の分野		助教以上	うち教授
保健学部 臨床検査技術学科	学士 (保健衛生学)	保健衛生学 関係	保健学部理学療法学科	4	2	保健学部 臨床検査技術学科	学士 (保健衛生学)	保健衛生学 関係	保健学部臨床検査技術学科	33	10
			保健学部臨床検査技術学科	33	10						
保健学部 健康福祉学科	学士 (保健衛生学)	保健衛生学 関係	保健学部健康福祉学科	22	6	保健学部 健康福祉学科	学士 (保健衛生学)	保健衛生学 関係	保健学部健康福祉学科	22	6
保健学部 看護学科	学士 (看護学)	保健衛生学 関係	保健学部看護学科	34	7	保健学部 看護学科	学士 (看護学)	保健衛生学 関係	保健学部看護学科	34	7
保健学部 臨床工学科	学士 (臨床工学)	保健衛生学 関係	保健学部臨床工学科	13	4	保健学部 臨床工学科	学士 (臨床工学)	保健衛生学 関係	保健学部臨床工学科	13	4
保健学部 救急救命学科	学士 (救急救命学)	保健衛生学 関係	保健学部救急救命学科	13	6	保健学部 救急救命学科	学士 (救急救命学)	保健衛生学 関係	保健学部救急救命学科	13	6
						保健学部 理学療法学科	学士 (理学療法学)	保健衛生学 関係	保健学部臨床検査技術学科	4	2
									新規採用	10	2

3 . 教育課程等の概要

教育課程等の概要

(保健学部理学療法学科)

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等配置					備考		
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手			
人間科学系	哲学	1前・後		2											兼1	
	社会学	1前・後		2											兼1	
	法学	1前		2											兼1	
	心理学	1前		2											兼1	
	生命倫理学	1後	2												兼1	
	芸術	1前・後		2											兼1	
	社会福祉学	1前		2											兼3	
	倫理学	1前		2											兼1	
	発達心理学	1後		2											兼1	
	職業適性論	1後		2											兼5	
	小計(10科目)	-	2	18	0				0	0	0	0	0	0	兼13	
基礎分野 自然科学系	数学	1前		2											兼1	
	統計学	1後		2											兼1	
	情報処理論	1後	2								1					演習
	基礎物理学	1前		1											兼1	
	物理学概論	1後		2											兼1	
	基礎化学	1前		1											兼1	
	生化学概論	1後		2											兼1	
	基礎生物学	1前		1											兼1	
	生命科学概論	1前		2											兼1	
		小計(9科目)	-	2	13	0				0	0	0	1	0	0	兼6
語学系	英語	1前	2												兼1	
	英語	1後	2												兼1	
	英語	2前		2											兼1	
	英語	2後		2											兼1	
	英会話	2前		2											兼1	
	医学英語	2後		2											兼1	
	日本語表現法	1前		2											兼1	
		小計(7科目)	-	4	10	0				0	0	0	0	0	0	兼7

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等配置					備考	
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門基礎分野	解剖学	1前	2												兼3
	解剖学	2前	1												兼3
	解剖学実習	1後	1								1	1			兼5
	解剖学実習	2前	1								1	1			兼5
	生理学	1前	2												兼2
	生理学	1後	1												兼2
	生理学実習	2前	1												兼4
	病理学	2前	1						1						
	人間発達学	2後	2							1					
	リハビリテーション概論	1後	1						2						
	臨床心理学概論	2前	1												兼1
	精神医学	2前	2												兼1
	内科学	2前	2												兼2
	内科学	2後		2											兼1
	小児科学	2後	1												兼1
	神経内科学	2後	2												兼1
	外科学	2後	1												兼1
	整形外科学	2前	2												兼1
	脳神経外科学	2後	1												兼1
	リハビリテーション医学	2後	1												兼1
	医療安全論	4後	1												兼1
	感染症学	2前		1											兼1
	免疫学	2後		1											兼1
	薬理学	2前		1											兼1
	栄養学	2前		1											兼1
	小計(25科目)	-	-	27	6	0	-	-	-	3	1	1	1	0	兼25
	専門基礎分野	保健学概論	1前		2										
高齢保健学		1後		2											兼1
産業保健学		2前		2											兼3
地域保健学		2後		2											兼1
公衆衛生学		2前		2											兼7
公衆衛生学		2後		2											兼8
環境衛生工学		2後		2											兼1
看護学		1前		2											兼1
救命救助法		1前		1											兼4
労働衛生法規		2前		2											兼2
労働衛生法規		2前		2											兼1
小計(11科目)	-	-	0	21	0	-	-	-	3	1	1	1	0	兼19	
専門分野	理学療法概論	1前	1						1						
	理学療法用語論	2前		1					1						
	運動学	1後	1									1			
	運動学実習	2前	1							2	2	2			
	病態運動学	3前		2							1				
	運動解剖学	2後		1						1					
	小計(6科目)	-	-	3	4	0	-	-	2	2	2	2	0	0	

科目 区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等配置					備考			
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手				
専門分野	理学療法評価学概論	2前	1						1								
	理学療法評価学	2後	1								1						
	理学療法評価学	3前	1							1							
	理学療法評価学実習	3前	1							1	2	3					
	動作分析学	3後		1						1							
	小計（5科目）	-	4	1	0			-	1	3	2	2	0		0		
	理学療法治療学系	理学療法治療学総論	3前		1					1							
		運動療法学	3前	2						1		1					
		運動療法学実習	3後	1						1	1	2	2				
		物理療法学	1前	1									1				
		物理療法学	1後	1									1				
		物理療法学実習	2前	1							1	1	2				
		義肢学	3後	1							1						
		義肢学実習	3後	1							1		1				
		装具学	3前	1							1						
		装具学実習	3前	1							1		1				
		日常生活技術学	3前	1							1						
		日常生活技術学実習	3後	1							2	1	3				
		運動器障害系理学療法学	3前	1						1							
		運動器障害系理学療法学	3後	1						1							
		神経障害系理学療法学	3前	1						1							
		神経障害系理学療法学	3後	1						1							
		内部障害系理学療法学	3前	1									1				
		内部障害系理学療法学	3後	1						1							
		小児理学療法学	3前	1							1						
		高次脳機能障害学	4後		1					1							
		高齢者理学療法学	3後		1					1							
	急性期理学療法学	3後		1					1								
	スポーツ障害理学療法学	4後		1							1						
	マニュアルセラピー	4後		1					1								
	プロフェッショナルスキル	3通	4						3	3	2	3					
	クリニカルリーズニング	4後		1					1								
	小計（26科目）	-	23	7	0			-	3	3	2	3	0		0		

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等配置					備考		
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手			
専門分野	地域療理学系	生活環境学	3後	1												
		地域理学療法学	3後	2							1					
		理学療法国際事情	4後		1											
		小計(3科目)	-	3	1	0				1	1	0	0	0	0	
	臨床実習系	見学実習	1前	1						3	1					
		評価実習	2後	2						3	3	2	2			
		評価実習	3前	4						3	3	2	3			
		総合臨床実習	4前	14						3	3	2	3			
		小計(4科目)	-	21	0	0				3	3	2	3	0	0	
	総合領域	理学療法特論	3前		1					1						演習
		理学療法特論	3後		1					1						演習
		理学療法研究法	4後		1					1						
		応用理学療法学	4後		1						1					
		基礎ゼミ	3通	4						3	3	2	3			
		特別講義	2前		1											兼5
		特別講義	4前		1					1						実習
卒業研究		4通	4						3	3	2	3				
小計(8科目)	-	8	6	0				3	3	2	3	0	兼5			
合計(114科目)		-	97	87	0				4	3	3	4	0	兼62		
学位又称号		学士(理学療法学)			学位又は学科の分野			保健衛生学関係								
卒業要件及び履修方法								授業期間等								
卒業要件：4年以上在学し125単位以上を修得しなければならない。 履修方法 科目区分：基礎分野[人間科学系]から必修2単位を含めて8単位以上 科目区分：基礎分野[自然科学系]から必修2単位を含めて6単位以上 科目区分：基礎分野[語学系]から必修4単位を含めて8単位以上 科目区分：専門基礎分野[医学系]から必修27単位を含めて30単位以上 科目区分：専門基礎分野[保健学・衛生学系]から4単位以上 科目区分：専門分野から必修62単位を含め、69単位以上 (履修科目の登録の上限：50単位(年間))								1学年の学期区分		2期						
								1学期の授業期間		15週						
								1時限の授業時間		90分						

別記様式第2号(その2)

教 育 課 程 等 の 概 要

(保健学部臨床検査技術学科)

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手		
人文・社会学系	哲学	1前・後		2											兼1
	心理学	1前		2											兼2
	法学	1前		2											兼2
	日本国憲法	1後		2											兼2
	社会学	1前・後		2											兼1
	生命倫理学	1後		2											兼1
	芸術	1前・後		2											兼1
	小計(7科目)	-	0	14	0	-	-	-	0	0	0	0	0	0	兼9
数学・物理学系	数学	1前		2											兼1
	医療情報科学	2前		2											兼1
	医療情報処理	1後		2											兼1
	医療情報処理演習	2前		2						1	1				
	基礎物理学	1前		1					1						
	物理学	1後		2					1						
	物理学実験	1前		1					1						
	医用工学概論	2前		2					1						
	医用工学実験	2後		1					1						
	小計(9科目)	-	0	15	0	-	-	-	1	0	1	1	0	0	兼2
化学系	基礎化学	1前		1						1					
	無機化学	1前		2					1						
	生物有機化学	1前		2					1		1				
	生物有機化学	1後		2					1		1				
	化学実験	1前		1					1		1				
小計(5科目)	-	0	8	0	-	-	-	2	1	0	1	0	0		
生物学系	基礎生物学	1前		1						1					
	生命科学概論	1前		2					1						
	細胞生物学	1後		2					1						
	人類遺伝学	1前		2							1				兼1
	生物学実験	1前		1					1		1				
小計(5科目)	-	0	8	0	-	-	-	1	1	1	0	0	0	兼1	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手		
言語系	日本語表現法	1前・後		2											兼1
	英語	1前		2											兼2
	英語	1後		2											兼2
	英語	2前		2											兼1
	英語	2後		2											兼1
	英会話	2前・後		2											兼2
	医学英語	2後		2					1						
	小計(7科目)	-	0	14	0				1	0	0	0	0		兼8
体育学系	健康スポーツ科学	1前		2											兼1
	体育実技	1通	2												兼1
	小計(2科目)	-	2	2	0				0	0	0	0	0		兼1
基礎医学系	医学概論	1前	2						1						兼6
	医学検査概論	1後	2						1		1	1			兼2
	保健学概論	1前	2						1	2	2				兼20
	保健学概論	1後		2						1	1				兼8
	公衆衛生学	1前	2												兼7
	公衆衛生学	1後		2											兼7
	解剖学	1前	2						1			1			
	解剖学	1後		2					1			1			
	解剖・組織学実験	1後	1						1		1	3			
	病理学	1後	2						1						
	病理学実験	3後	1						1		1	1			
	生理学	1前	2												兼2
	生理学	1後		2											兼2
	生理学実験	1後	1												兼4
	生化学	1後	2							1					
	生化学	2前		2						1					
	生化学実験	2前	1							1					
	血液学	2前	2						1						
	血液学実験	3前	1						1		1	1			
	免疫学	2前	2						1						
	免疫学実験	2前	1						1		1	1			
	微生物学	1後	2						1						
	微生物学実験	3後	1						1		1				
	医動物学	2前	2												兼1
	遺伝子工学	2前		2							1	1			
	遺伝子工学実験	2後		1							1	1			
	分子生物学	1後		2							1				
	分子細胞生物学	2後		2								1			兼1
	薬理学	2前	2						1				1		
	実験動物学	2前		1											兼2
	動物実験実習	2前		1											兼2
	救命救助法	1前		1											兼4
小計(32科目)	-	31	22	0				10	3	7	7	0		兼38	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手		
医学検査系	生理機能検査学	2前	2												兼2
	生理機能検査学	2後		2											兼2
	生理機能検査学実習	3後		2											兼2
	画像診断技術	2後		2											兼2
	臨床化学検査学	2前	2							1	1				
	臨床化学検査学	2後		2						1	1				
	臨床化学検査学実習	3前		2						1	1				
	放射線概論	2後		2					1						
	染色体学	2前		2											兼1
	臨床遺伝学	2後		2							1				兼1
	遺伝子・染色体検査学	3後	2						1	1					兼3
	遺伝子・染色体検査学実習	3後		1					1	1	3				兼3
	病理診断学	2前	2						1						
	病理検査学	2後		2					1		1				
	病理検査学実習	3後		2					1		1	1			
	細胞診断学	3前		2					1			2			
	細胞診断学実習	3後		1					1			2			
	血液検査学	2後	2						1						
	血液検査学実習	3前・後		2					1		1	1			
	医動物検査学実習	3前		1											兼1
	微生物検査学	2後	2						1						
	微生物検査学	3前		2					1						
	微生物検査学実習	3後		2					1		1				
	免疫検査学	2後	2						1		1	1			
	免疫検査学	3前		2					1		1	1			
	免疫検査学実習	3前		2					1		1	1			
	一般検査学	2前	2						1		1	1			
	一般検査学実習	3前		1					1	1		1			
	臨床病態学	3前		2											兼1
	臨床病態学	4後		2											兼3
	検査管理学	2後		2						1					
	分析化学	2前		2					1	1					
	分析化学	2後		2					1	1					
	分析化学実験	2後		1					1	1					
	専門実験・実習手法	3前	1						6	5	7	4			
	臨地実習	3後		6					1						
小計(36科目)	-	-	17	53	0			-	8	5	8	6	0	兼11	
保健学系	医療福祉概論	2後		2											兼1
	国際保健学	2前		2											兼1
	生活習慣病論	2後		2											兼3
	小計(3科目)	-	-	0	6	0			0	0	0	0	0	兼5	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手		
衛生学系	産業保健学	2前		2											兼3
	環境衛生工学	4前		2											兼3
	環境化学	4後		2											兼1
	食品栄養学	2後		2											兼1
	食品衛生学	4前		2											兼1
	食品製造学	2前		2											兼1
	職業適性論	2後		2					1						兼4
	労働衛生法規	4前		2											兼2
	労働衛生法規	4前		2											兼1
小計(9科目)	-	0	18	0				1	0	0	0	0	0	兼10	
自由専攻	細胞診断学演習	1後		1					1						
	細胞診断学演習	2前		1					1			4			
	細胞診断学演習	2後		1					1			4			
	細胞診断学演習	3前		1					1			4			
	細胞診断学演習	3後		1					1			4			
	遺伝・バイオ技術系特別演習	1・2前		1					1	1	3				兼3
	遺伝・バイオ技術系特別演習	1・2後		1					1		1				兼3
	細胞・組織・形態系特別演習	1・2前		1					2		1	4			
	細胞・組織・形態系特別演習	1・2後		1					2		1	4			
	感染症制御系特別演習	1・2前		1					1		1				
	感染症制御系特別演習	1・2後		1					2		1	1			
	生殖・移植医療系特別演習	1・2前		1					1			1			
	生殖・移植医療系特別演習	1・2後		1					1			1			
	化学系特別演習	1・2前		1							1				
	化学系特別演習	1・2後		1							1				
	生理機能系特別演習	1・2前		1											兼1
	生理機能系特別演習	1・2後		1					1		1	1			
	治験コーディネータ特別演習	2前・後		1											兼1
	薬事申請特別演習	2前・後		1											兼1
小計(19科目)	-	0	19	0				6	2	5	9	0	0	兼3	
総合	総合医療演習	1前・後		1					2						
	総合医療演習	3後	2						1						
	移植コーディネータ論	4後		2											兼5
	生命倫理学特論	4前		2					4						
	インターンシップ	4前・後		4					1						
	卒業研究	4通		4					12	5	9	11	0		
小計(6科目)	-	2	13	0				12	5	9	11	0	0	兼5	
合計(140科目)		-	52	192	0				12	5	9	11	0	0	兼65
学位又は称号	学士(保健衛生学)		学位又は学科の分野				保健衛生学関係								
卒業要件及び履修方法							授業期間等								
卒業要件：4年以上在学し124単位以上を修得しなければならない。 履修方法： 科目区分[人文・社会学系]選択科目から10単位以上 科目区分[数学・物理学系]選択科目から6単位以上 科目区分[化学系]選択科目から4単位以上 科目区分[生物学系]選択科目から4単位以上 科目区分[言語系]選択科目から10単位以上							1学年の学期区分		2期						
							1学期の授業期間		15週						
							1時限の授業時間		90分						

教育課程等の概要															
(保健学部健康福祉学科)															
科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手		
人文・社会学系	哲学	1前・後		2											兼1
	心理学	1前		2					1						兼1
	法学	1前		2											兼2
	日本国憲法	1後		2											兼2
	社会学	1前・後		2											兼1
	生命倫理学	1後		2											兼1
	教育心理学	1前		2					1						
	発達心理学	1後		2					1						
	芸術	1前・後		2											兼1
	倫理学	1前		2											兼1
	民俗学	1前・後		2											兼1
	国際関係論	1前・後		2											兼1
	社会心理学	1後		2							1				兼1
	小計(13科目)	-	0	26	0	-	-	-	0	1	1	0	0		兼10
自然科学系	数学	1前		2					1						
	統計学演習	1後		2					1						
	医療情報科学	1後		2											兼1
	情報処理演習	2前		2							2				
	物理学	1後		2											兼1
	物理学実験	1後		1											兼1
	医用工学概論	2前		2											兼2
	医用工学実験	2後		1											兼1
	無機化学	1前		2											兼1
	生物有機化学	1前		2											兼2
	生物有機化学	1後		2											兼2
	化学実験	1前		1											兼2
	生命科学概論	1前		2											兼1
	生物学実験	1前		1											兼2
小計(14科目)	-	0	24	0	-	-	-	0	0	0	0	0		兼9	
言語系	日本語表現法	1前		2											兼1
	英語	1前		2											兼1
	英語	1後		2											兼1
	英語	2前		2											兼1
	医学英語	2後		2											兼1
	英会話	2前・後		2											兼1
	フランス語	1前		2											兼1
	フランス語	1後		2											兼1
	フランス語	2前		2											兼1
	フランス語会話	2後		2											兼1
小計(10科目)	-	0	20	0	-	-	-	0	0	0	0	0		兼6	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手		
体育学系	体育実技	1通		2											兼1
	体育実技	2前		1											兼1
	健康スポーツ科学	1前		2											兼1
	小計(3科目)	-	0	5	0	-	-	0	0	0	0	0	0	0	兼1
基礎医学系	医学概論	1前		2											兼7
	公衆衛生学	1前	2						5	2					
	公衆衛生学	1後		2					3	1	1	1			兼1
	解剖学	1前	2												兼2
	解剖学	1後		2											兼2
	解剖学実験	1後		1											兼5
	病理学	1後	2												兼1
	病理学実験	3後		1											兼3
	生理学	1前	2												兼2
	生理学	1後		2											兼2
	生理学実験	1後		1											兼4
	生化学	1後	2												兼1
	生化学	2前		2											兼1
	生化学実験	2前		1											兼1
	血液学	2前		2											兼1
	血液学実験	3前		1											兼3
	免疫学	1後		2											兼1
	免疫学実験	3前		1											兼3
	微生物学	1後		2											兼1
	微生物学実験	3前		1											兼2
	薬理学	2前		2											兼2
	救命救助法	1前		1											兼4
小計(22科目)	-	10	26	0	-	-	-	6	3	1	1	0	0	兼37	
専門基礎	保健学概論	1前	2						6	5	2	3			兼9
	保健学概論	1後	2						3	1	1	1			兼4
	保健学基礎実習	1後	1						6	6	4	6			
	保健学発展実習(社会調査系)	2後	1						2	1	1	1			
	保健学発展実習(健康教育系)	2後	1						1		1				
	保健学発展実習(環境系)	2後	1						1	1		2			
	保健学発展実習(遺伝系)	2後	1						1	1	2				
	保健学発展実習(心理検査系)	2後	1						1	1		1			
	保健学応用実習A	3前		1					5	2		2			
	保健学応用実習B	3前		1					5	2		2			
小計(10科目)	-	10	2	0	-	-	-	6	6	4	6	0	0	兼9	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手		
基礎保健学系	人類生態学	1後		2					1						
	環境保健学	2前		2					1			1			
	疫学	2後		2					1						
	保健管理学	2前		2							1				兼1
	健康社会学	1前		2											
	母子保健学	2前		2					1						
	成人保健学	2後		2											兼1
	精神保健学	2後		2					1						
	保健栄養学	2前		2						1					
	人類遺伝学	1後		2					1						
	健康教育学	2後		2							1				
	社会福祉学	1後		2						1		1			兼1
	ライフステージと心理	3後		2					1						
	生活と看護	1前		2					1			1			兼1
	小計(14科目)	-	0	28	0				6	3	1	3	0		兼4
発展保健学系	健康教育学	3前		2							1				
	栄養生態学	2後		2						1		1			
	人口学	3前		2						1					
	地域保健学	3後		2											兼1
	国際保健学	4前		2						1					
	臨床心理学	3前		2					1						
	細胞遺伝学	1後		2							1				
	現代社会と心の病理	1後		2					1						
	認知心理学	2前		2						1					
	小計(9科目)	-	0	18	0				1	2	2	1	0		兼1
社会福祉学系	社会福祉政策論	3前		2											兼1
	老人福祉論	2後		2								1			兼1
	高齢保健学	2前		2											兼1
	障害者福祉論	3前		4								1			兼1
	児童福祉論	2後		2						1					兼1
	社会保障論	3前		4											兼1
	公的扶助論	4前		2											兼1
	地域福祉論	3前		2						1					
	社会福祉援助技術総論	1後		4								1			
	社会福祉援助技術論	1前		2											兼1
	社会福祉援助技術論	1前		2											兼1
	社会福祉援助技術演習	2前		1					1						兼1
	社会福祉援助技術演習	2前		1											兼1
	社会福祉援助技術演習	2後		2								1			
	社会福祉援助技術演習	3後		2								1			
	社会福祉援助技術演習	3前		2						1					
	社会福祉援助技術実習	3後		6					1	1	1	1			
	社会福祉援助技術現場実習指導	3後		6					1	1	1	1			
	医療福祉論	2前		2											兼1
	家族福祉論	2後		2						1					
セルフヘルプグループ論	3後		2								1				
保健福祉論	1後		2					1							
はじめての社会福祉	1前		2					1	1		1				
小計(23科目)	-	0	58	0				1	1	1	1	0		兼4	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手		
学校保健学系	学校保健学	2後		2					1						兼3
	学校保健学	3前		2					1	1		1			
	学校看護学	3後		1								1			
	健康相談	3前		2					3						
	健康相談	3後		1							1				
	看護学概論	2前		2					1						
	カウンセリング	3前		2					1						
	精神医学	3前		1					1						
	保健科指導研究	3前		2							1				
	保健科指導研究	3後		2							1				
	看護学	2前		2					1			1			
	看護学	2後		2					1			1			
	看護学	3前		2					1			1			
	看護学実習	3後		2					1			1			
	救急看護学	3後		2					1			1			
小計(15科目)	-	0	27	0	-	-	-	4	1	2	3	0	兼3		
環境・食品学系	産業保健学	2前		2					2			1		兼1 兼2 兼2 兼2	
	環境衛生工学	3前		2					1			2			
	環境科学	4後		2								1			
	放射線概論	3前		2											
	分析化学	2前		2											
	分析化学	2後		2											
	分析化学実験	2後		1											
	食品栄養学	2後		2						1					
	食品衛生学	3前		2						1					
	食品製造学	2前		2						1					
	職業適性論	2後		2					1						
	労働衛生法規	3前		2					1			1			
	労働衛生法規	3前		2											
小計(13科目)	-	0	25	0	-	-	-	2	1	0	2	0	兼7		
総合	コーディネータ論	4後		2										兼5	
	特別講義	2・3		2										兼4	
	特別講義	2・3		2						1					
	特別演習	1・2・3・4		1					1	1	1	3		兼5	
	特別演習	1・2・3・4		1					1	1	1	3		兼7	
	教職総合演習	2前		2					2	1	1			兼1	
	ボランティア活動	1・2・3・4		2					1	1		2			
	インターンシップ	2・3・4		2					6	6	4	6	0		
	卒業研究	4通	4						6	6	4	6	0		
小計(9科目)	-	4	14	0	-	-	-	6	6	4	6	0	兼18		
合計(155科目)		-	24	273	0	-	-	6	6	4	6	0	兼77		
学位又は称号	学士(保健衛生学)		学位又は学科の分野			保健衛生学関係									
卒業要件及び履修方法						授業期間等									
卒業要件：4年以上在学し124単位以上を修得しなければならない。 履修方法： 科目区分[人文・社会学系]選択科目から10単位以上 科目区分[自然科学系]選択科目から10単位以上 科目区分[言語系]「英語・」(各2単位)又は「フランス語・」(各2単位)のどちらかを選択。 他に4単位以上						1学年の学期区分			2期						
						1学期の授業期間			15週						
						1時限の授業時間			90分						

別記様式第2号(その2)

教育課程等の概要															
(保健学部看護学科)															
科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手		
一般教養領域	人間科学系	哲学	1前・後	2											兼1
		生命倫理学	2後	2											兼1
		法学	1前	2											兼2
		日本国憲法	1後	2											兼2
		心理学	1前	2											兼2
		発達心理学	1後	2											兼1
		社会心理学	1後	2											兼1
		社会福祉学	1前	2											兼4
		芸術	1前・後	2											兼1
		ホスピタリティ論	1前・後	2											兼1
		文化人類学	1後	2											兼1
		国際関係論	3前・後	2											兼1
		健康スポーツ科学	1前	2											兼1
		体育実技	1前	1											兼1
		小計(14科目)		-	0	27	0	-			0	0	0	0	0
一般教養領域	自然科学系	統計学	1後	2											兼1
		人類遺伝学	2前	2											兼1
		物理学概論	1前	2											兼1
		化学概論	1前	2											兼1
		生命科学概論	1前	2											兼1
		情報処理論	1前	2											兼1
小計(6科目)		-	2	10	0	-			0	0	0	0	0	兼6	
一般教養領域	言語系	英語	1前	2											兼2
		英語	1後	2											兼2
		英語	2前	2											兼1
		英会話	2前・後	2											兼3
		医学英語	2後	2						1					
		フランス語	1前	2											兼1
		フランス語	1後	2											兼1
		フランス語	2前	2											兼1
		フランス語会話	2後	2											兼1
		日本語表現法	1前	2											兼1
小計(10科目)		-	4	16	0	-			0	1	0	0	0	兼10	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考		
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手			
専門基礎領域	解剖学	1前	2												兼2	
	生理学	1前	2							1					兼1	
	生化学	1後	2												兼1	
	栄養学	1後	2												兼1	
	病態学	1後	2												兼1	
	病態学	2前	2							1					兼1	
	微生物学	1後	2												兼1	
	薬理学	2前	2												兼2	
	公衆衛生学	1後	2												兼7	
	関係法規	2前	1												兼1	
	カウンセリング	3前		1						1					集中	
	臨床心理学	3前		1						1						
	血液学	2前		2											兼1	
	免疫学	2後		2											兼1	
医学概論	1前		2						1					兼6		
小計(15科目)	-		19	8	0				1	1	0	0	0	兼23		
専門領域	基礎看護学系	看護学概論	1前	2						1						
		看護方法演習	1後	2						1	1		3			
		看護方法演習	1後	2						1	1		3			
		看護方法演習	2前	2						1	1		3			
		看護方法演習	2前	2						1	1		3			
		基礎看護学実習	1前・後	1						2	1		5			
		基礎看護学実習	2後	2												
	小計(7科目)	-		13	0	0			2	1	0	5	0	0	0	
	在宅看護系	在宅ケア論	2後	2						1						
		在宅ケア演習	3前	2						1			2			
在宅看護学実習		4前	2						1			2				
小計(3科目)	-		6	0	0			1	0	0	2	0	0	0		
成人・高齢者看護学系	成人看護学概論	1後	1						1	1						
	成人看護学	2前	2						1	2						
	成人看護学	2後	2						1	1	1					
	成人看護学演習	3前	2						2	2	1	4				
	成人看護学実習	3後	4						1	2		2				
	成人看護学実習	3後	4						1							
	高齢者看護学概論	1後	1						1							
	高齢者看護学	3前	2						1							
	高齢者看護学実習	3後	2						1							
小計(10科目)	-		22	0	0			2	2	1	4	0	0	0		

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門領域	精神看護学系	精神看護学概論	2前	1					1	1	1				
		精神看護学	3前	2					1	1	1				
		精神看護学実習	3前	2					1	1	1	1			
		精神看護学演習	3後	1					1	1	1	1			
		小計(4科目)	-	6	0	0			1	1	1	1	0		0
	母子看護学系	母性看護学概論	2前	1					1	1	1				兼3
		母性看護学	3前	2						1	1	1			
		母性看護学演習	3前	1						1	1	1			
		母性看護学実習	3後	2					1	2	1	1			
		小児看護学概論	2後	1						2					兼5
		小児看護学	3前	2						2					兼2
		小児看護学演習	3前	1						1	2				
		小児看護学実習	3後	2							2				
	小計(8科目)	-	12	0	0			1	2	3	1	0		兼9	
	地域看護学系	地域看護学概論	2前	2					1	2					
		地域看護学	2後	2					1	2		1			
		地域看護学演習	2後	2					1	2		1			
		地域看護学演習	3前	2					1	2		1			
		地域看護学実習	4前	2					1	2		1			
		地域看護学実習	4前	1					1	2		1			
小計(6科目)		-	11	0	0			1	2	0	1	0		0	
保健学系	健康教育学	2後		2										兼1	
	産業保健学	2前		2										兼3	
	保健福祉行政論	2後	2					1						兼1	
	疫学・保健統計学	2前	2											兼1	
	保健統計	2後	2											兼2	
	保健学概論	1後		1						1					
	保健学	1後		1				1	1						
	保健学	2後	1					1	1	2					
	保健学	2後		1				1							
	保健学	2後	1											兼1	
	養護学概論	2前		2										兼1	
	学校保健学	2後		2										兼1	
	学校保健学	2後		2										兼3	
	健康相談	2後		2										兼1	
	健康教育学	2前		2										兼1	
	地域福祉論	3前	2											兼1	
	児童福祉論	3後		2										兼1	
老人福祉論	3前	2											兼1		
小計(18科目)	-	12	19	0			4	2	2	0	0		兼10		
臨床看護学系	医用工学概論	3前		2										兼2	
	小計(1科目)	-	0	2	0			0	0	0	0	0		兼2	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手		
助産学系	助産学概論	3後		1					1	1					
	助産診断・技術学	3後		2						1					
	助産診断・技術学	4前		2					1						
	助産診断・技術学	4前		2						2		1			
	助産診断・技術学	4前		2						2					
	助産診断・技術学	4前		2						1	1				
	助産管理学	4後		1					1	1					
	助産学特論	4後		1					1	1					
	助産学実習	4前・後		6					1	2	1	1			
	助産学実習	4後		2					1	2	1	1			
小計(10科目)		-	0	21	0				1	2	1	1	0	0	
専門領域 総合領域	看護管理学	4後		1						1					
	看護教育論	4後		1					1						
	移植コーディネータ論	1後		1											兼5
	特別講義	3前		1											兼1
	看護理論	3前		1					1						
	看護倫理	3前		1					1						
	疾病論	2後		2						1					
	教職総合演習	2前・後		2						1					兼4
	死生学	4後		1					1						
	遺伝看護	4後		1						1					兼2
	地域活動論	2後	2						1						
	総合看護	4後		2					1						
	救急看護学	3前		2											兼1
	医療安全	4後		1											兼1
	国際看護活動論	4後		1						1					
	災害看護活動論	4後		1											兼1
	ボランティア活動	1後		2						2	1				
	インターンシップ	4前・後		4					7	9	6	12			
	卒業研究	4通		4					7	9	6	12			
小計(19科目)		-	2	29	0				7	9	6	12	0	兼13	
合計(131科目)		-	109	132	0				7	9	6	12	0	兼63	
学位又は称号		学士(看護学)			学位又は学科の分野			保健衛生学関係							
卒業要件及び履修方法							授業期間等								
卒業要件：4年以上在学し134単位以上を修得しなければならない。 履修方法： 科目区分[人間科学系]から10単位以上及び「健康スポーツ科学」又は「体育実技」のうち1単位以上 科目区分[自然科学系]選択科目から4単位以上 科目区分[言語系]選択科目から6単位以上 科目区分[総合領域]「インターンシップ」又は「卒業研究」のいずれかを選択							1学年の学期区分		2期						
							1学期の授業期間		15週						
							1時限の授業時間		90分						

別記様式第2号(その2)

教 育 課 程 等 の 概 要															
(保健学部臨床工学科)															
科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手		
人文・社会学系	哲学	1前・後		2											兼1
	心理学	1前		2											兼2
	法学	1前		2											兼2
	日本国憲法	1後		2											兼2
	社会学	1前・後		2											兼1
	生命倫理学	1後		2											兼1
	発達心理学	1後		2											兼1
	芸術	1前・後		2											兼1
小計(8科目)			0	16	0				0	0	0	0	0	0	兼9
数学系	数学	1前	2												兼1
	統計学演習	1後		1											兼1
	医療情報科学	2後		2					1						
	計算機演習	2前	2								1				
	応用数学	1後	2												兼1
小計(5科目)			6	3	0				0	1	0	1	0	0	兼1
物理学系	基礎電気学	1後	2							1	1				
	基礎電子回路	1後	2							1					
	医用工学概論	1前	2						1						
	小計(3科目)			6	0	0				1	1	1	0	0	0
化学系	無機化学	1前		2											兼1
	生物有機化学	1前		2											兼2
	生物有機化学	1後		2											兼2
	化学実験	1前		1											兼2
	小計(4科目)			0	7	0				0	0	0	0	0	0
生物学系	生命科学概論	1前		2											兼1
	細胞生物学	1後		2											兼1
	人類遺伝学	1後		2											兼1
	生物学実験	1前		1											兼2
	小計(4科目)			0	7	0				0	0	0	0	0	0
言語系	日本語表現法	1後	2												兼1
	英語	1前		2											兼1
	英語	1後		2											兼1
	英語	2前		2											兼1
	医学英語	2後		2					1						
	英会話	2前・後		2											兼2
	英会話	2前		2											兼1
	フランス語	1前		2											兼1
	フランス語	1後		2											兼1
	フランス語	2前		2											兼1
	フランス語会話	2後		2											兼1
小計(11科目)			2	20	0				1	0	0	0	0	0	兼8

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手		
体育学系	体育実技	1通	2												兼1
	体育実技	3前		1											兼1
	健康スポーツ科学	1前		2											兼1
	小計(3科目)		2	3	0				0	0	0	0	0		兼1
基礎医学系	医学概論	1前	2						2						兼5
	公衆衛生学	1前	2												兼7
	公衆衛生学	1後		2											兼7
	解剖学	1前	2												兼2
	解剖学	1後		2											兼2
	病理学	2後	2												兼1
	生理学	1前	2						1						
	生理学	1後	2						1						
	生理学実験	1後	1						1	1		2			
	生化学	1後		2											兼1
	生化学	2前		2											兼1
	血液学	2前		2											兼1
	免疫学	2後		2											兼1
	微生物学	1後		2											兼1
	医動物学	2前		2											兼1
	薬理学	2前		2											兼2
	看護学	2前		2											兼3
小計(17科目)			13	20	0				4	1	0	2	0		兼29
医学検査系	生理学検査	2前	2						1						
	生理学検査	2後	2						1						
	画像診断技術	3前		2					1						
	生理学検査実習	3後		1					1	1					
	医学検査	2後		2											兼5
	臨床病理学	2後		2											兼1
	臨床遺伝学	2後		2											兼2
小計(7科目)		4	9	0				2	1	0	0	0		兼8	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考		
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手			
臨床工学系	医用電気工学	2前		2						1	1					
	医用電気工学実習	2前		1						1	1					
	医用電子工学	2前		2						1						
	医用電子工学実習	2後		1						1	1					
	システム工学	1後		2					1							
	医用情報処理工学	2前		2						1						
	医用情報工学実習	2後		1						1		1				
	医用計測工学	2前		2									1			
	医用計測工学実習	3前		1						1			1			
	医用機械工学	2前		2					1							
	生体物性学	2前		2					1	1						
	生体材料工学	2後		2						2						
	医用機器学概論	2前		2					1							
	医用計測機器学	2後		2						1						
	医用計測機器学実習	3前		1					2	4	1	4				
	医用治療機器学	2後		2						1						
	医用治療機器学実習	3前		1						1	1	2				
	生体機能代行装置学概論	2後		2							1					
	生体機能代行装置学基礎実習	3前		1					1		1	2				兼1
	呼吸関連機器学	3前		2					2			1				
	呼吸関連機器学実習	3前		1					2		1	2				
	血液浄化装置学	3前		2					1							兼1
	血液浄化装置学実習	3前		1					1		1	2				兼1
	体外循環機器学	3前		2					1		1					
	体外循環機器学実習	3後		1					1	1	1	2				
	医用機器安全管理学	2前		2					1							
	医用機器安全管理学	2後		2					1							
	安全管理学実習	2前・後		1					1	1		1				
	臨床医学総論	2前		2					2							兼1
	臨床医学総論	2後		2					1							
	臨床医学総論	2後		2					1							
	臨床医学総論	3前		2					2			1				
	医療関係法規	4前		2												兼1
	臨床実習講義	3後		1					4	4	1	4				
	臨床実習	3後		3					4	4	1	4				
小計(35科目)			0	59	0				4	4	1	4	0		兼4	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手		
衛生学系	産業保健学	4前		2											兼3
	環境衛生工学	4前		2											兼3
	放射線概論	2後		2											兼1
	環境化学	1後		2											兼1
	分析化学	1後		2											兼2
	分析化学	2後		2											兼2
	食品栄養学	2後		2											兼1
	食品衛生学	3前		2											兼1
	食品製造学	2前		2											兼1
	職業適性論	2後		2					1						兼4
	労働衛生法規	3前		2											兼2
	労働衛生法規	3前		2											兼1
	救命救助法	1前		1											兼4
	小計(13科目)			0	25	0				1	0	0	0	0	0
総合	特別講義	1後		2					4	2	1				
	特別講義	2前		2					4	2	1				
	特別演習	1前・後		1					1						兼10
	特別演習	1前・後		1											兼10
	総合演習	4後		2					4	4	1	4			
	卒業研究	4通	4						4	4	1	4			
小計(6科目)		4	8	0				4	4	1	4	0		兼10	
合計(116科目)				37	177	0			4	4	1	4	0		兼74
学位又は称号		学士(臨床工学)		学位又は学科の分野				保健衛生学関係							
卒業要件及び履修方法							授業期間等								
卒業要件：4年以上在学し124単位以上を修得しなければならない。 履修方法： 科目区分[人文・社会学系]から10単位以上 科目区分[化学系]から3単位以上 科目区分[生物学系]から3単位以上 科目区分[言語系]「英語 ・ 」(各2単位)又は「フランス語 ・ 」 (各2単位)のどちらかを選択。他に4単位以上 科目区分[基礎医学系]は「血液学」～「看護学」のうち2単位以上							1学年の学期区分		2期						
							1学期の授業期間		15週						
							1時限の授業時間		90分						

教 育 課 程 等 の 概 要														
(保健学部救急救命学科)														
科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手	
人文・社会学系	哲学	1前・後		2										兼1
	法学	1前		2										兼2
	日本国憲法	1後		2										兼2
	社会学	1前・後		2										兼1
	倫理学	1前		2										兼1
	生命倫理学	1後		2										兼1
	心理学	1前		2										兼2
	発達心理学	1後		2										兼1
	教育心理学	1前		2										兼1
	芸術	1前・後		2										兼1
	民俗学	1前・後		2										兼1
小計(11科目)		-	0	22	0	-			0	0	0	0	0	兼10
数学・物理学系	基礎物理学	1前		1										兼1
	物理学	1後		2										兼1
	医用工学概論	1前		2										兼1
	数学	1前		2										兼1
	統計学	1後		2										兼1
	医療情報科学	2前		2										兼1
	情報処理演習	2前		2										兼1
小計(7科目)		-	0	13	0	-			0	0	0	0	0	兼5
化学系	基礎化学	1前		1										兼1
	無機化学	1前		2										兼1
	生物有機化学	1前		2										兼2
	生物有機化学	1後		2										兼2
	化学実験	1前		1										兼2
小計(5科目)		-	0	8	0	-			0	0	0	0	0	兼3
生物学系	基礎生物学	1前		1										兼1
	生命科学概論	1前		2										兼1
	細胞生物学	1後		2										兼1
	人類遺伝学	1後		2										兼1
	生物学実験	1前		1										兼2
小計(5科目)		-	0	8	0	-			0	0	0	0	0	兼4

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手		
言語系	日本語表現法	1後		2											兼1
	英語	1前	2												兼1
	英語	1後	2												兼1
	英語	2前		2											兼1
	英語	2後		2											兼1
	英会話	2前・後		2											兼1
	医学英語	2後		2					4			1			兼1
	フランス語	1前		2											兼1
	フランス語	1後		2											兼1
	フランス語	2前		2											兼1
フランス語会話	2後		2											兼1	
小計(11科目)		-	4	18	0			-	4	0	0	1	0		兼6
体育学系	健康スポーツ科学	1前		2					1						
	体育実技	1通	2						1						
	体育実技	2前	1						1						
小計(3科目)		-	3	2	0			-	1	0	0	0	0		0
基礎医学系	医学概論	1前		2					3						兼4
	公衆衛生学	1前	2												兼7
	公衆衛生学	1後		2					1						兼6
	解剖学	1前	2												兼2
	解剖学	1後		2											兼2
	生理学	1前	2						1						
	生理学	1後		2					1						
	生化学	1後	2												兼1
	病理学	1後	2												兼1
	微生物学	1後	2												兼1
	血液学	2前		2											兼1
	免疫学	1後		2											兼1
	薬理学	2前	2												兼2
救命救助法	1前	1						1		1	2			集中	
小計(14科目)		-	15	12	0			-	5	0	1	2	0		兼24

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手		
救急医学系	内科学	2前	2						1						兼1
	内科学	2前	2						1						
	内科学	2後	2						1						
	内科学	2後		2											兼2
	内科学	2前		2											兼3
	内科学	2前		2					2						兼2
	医療コミュニケーション学	3前		2					2						
	医療安全論	4前		2					1						
	救急医学概論	1前	2						1			1			兼1
	救急処置総論	1後	2						2			1			
	救急処置各論	2前	2						1						兼1
	災害医学	3前		2					1						兼2
	外科学	3前		2					1						兼9
	外科学	3前		2					1						
	外傷学	2前		2					1						兼3
	環境障害・急性中毒学	2後		2					1						兼2
	救急搬送論	3前		2							1				
	小児科学	3前		2											兼6
	産婦人科学	3前		2											兼1
	整形外科学	3前		2											兼1
	脳外科学	2後		2					1						
	精神医学	3前		2											兼1
	放射線概論	2後		2											兼1
	シミュレーション	2前	2						1		1	4			兼2
	シミュレーション	2後	2						1		1	4			兼2
	シミュレーション	3前		3					1		1	4			兼2
	シミュレーション	3後		3					1		1	4			
	シミュレーション	4前		2					1		1	4			
	シミュレーション	4後		2					1		1	4			
	病院内実習	3後		10					5			3			兼2
救急車同乗実習	3後		3					5		1	4			集中	
小計(31科目)		-	16	57	0			-	5	0	1	4	0	兼37	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手		
衛生学系	産業保健学	2前		2											兼3
	環境衛生工学	3前		2											兼3
	職業適性論	2後		2											兼5
	労働衛生法規	4前		2											兼2
	労働衛生法規	4前		2											兼1
	小計（5科目）	-	0	10	0				0	0	0	0	0		兼9
総合	移植コーディネータ論	2後		2					2						兼2
	特別講義	2後		2					1						
	特別講義	2前		2											兼4
	特別演習	1・2		1					1						兼9
	特別演習	1・2		1					1						兼11
	ボランティア活動	4前・後		2					6	0	1	6	0		集中
	インターンシップ	4前・後		4					6	0	1	6	0		集中
	卒業研究	4前・後		4					6	0	1	6	0		集中
	小計（8科目）	-	0	18	0				6	0	1	6	0		兼18
合計（100科目）		-	38	168	0				6	0	1	6	0		兼95
学位又は称号		学士（救急救命学）			学位又は学科の分野			保健衛生学関係							
卒業要件及び履修方法							授業期間等								
卒業要件：4年以上在学し124単位以上を修得しなければならない。 履修方法： 科目区分[人文・社会学系]から10単位以上 科目区分[数学・物理学系]から4単位以上 科目区分[化学系]から3単位以上 科目区分[生物学系]から3単位以上 科目区分[言語系]から4単位以上（日本語表現法は除く） 科目区分[総合]「インターンシップ」か「卒業研究」のいずれかを選択							1学年の学期区分		2期						
							1学期の授業期間		15週						
							1時限の授業時間		90分						

4 . 授業科目の概要

授業科目の概要				
(保健学部 理学療法学科)				
科目区分	授業科目の名称	講義等の内容	備考	
基礎分野	人間科学系	哲学	1920年代、第一次世界大戦の記憶も生々しく、その悲惨な経験からひとびとがまだ完全に立ち直ることができなかった時代に、「哲学的人間学」なる一分野が哲学の世界を賑わせたことがあった。ところが、人間を全体としてとらえるというその基本構想は、十分に開花せずじまいで、今日、いつのまにか忘れ去られてしまったかの感がある。振り返ってみれば、その誕生からたかだが80余年にしかならないにもかかわらず、なぜこの構想は十分に練りあげられぬままに終わってしまったのか。ポスト・モダニストたちによって「人間の終焉」が叫ばれて久しい今日 ポスト・モダン の今日 だからこそ、古色蒼然たる「人間学」の遺産を再度洗いなおしてみることも、あながち無駄な作業ではあるまい。 うえに引いたルソーのことばがいまなお生命を保っているとすれば、現代に生きる私たちは私たちの時代の「人間」を求める必要があるだろう。そうした観点から、いくつかのトピックに焦点を絞って、考えてみることにしたい。	
		社会学	社会学とは、人間と社会の理解を深めるための学問である。社会学には、人間と社会の本質をどのように捉えるかによって、様々な視点があり、社会現象や人間の行為の解釈が行われてきた。本講義においては、現代社会の諸現象と社会学の接点を考えながら、古典的な社会学理論を中心として解説を行う。社会学の様々な視点を学ぶことによって、「人間と社会を見る目」を養ってあげたいと考えている。目標は、「社会学」のエッセンスを学習することによって、現代社会の諸現象に対する理解を深めることである。	
		法学	現代社会で法律学の基礎知識は必須のものとなっている。この講義では、法文の解釈などの法律学の基本的な素養を育成することを目的としている。英米法と大陸法、実定法や自然法などの基本的なトピックを押さえることと同時に、ロースクールと法曹養成、2009年に導入される裁判員制度の概要など現代的な論点などにも言及していきたいと考えている。	
		心理学	本講義では、人間理解のために心理学の概要を理解することを目的とする。大学で初めて心理学を学ぶ人にもわかりやすいように、図表や映像を使用しながら、心理学の基本的な考え方や技法を紹介する。また、こころのトラブル、集団の中での我々の行動特性についても紹介する。	
		生命倫理学	生と死について考える。「死への存在」(ハイデガー)である私たちの生の意味/無意味について、真剣に考えてみる。おそらく答えは出ないであろう。しかし、この問いに向き合うことが倫理学/哲学への入り口に立つことになるのである。ただし、私たちはこの問いをあくまでも学問的に問う。宗教者のように、特定の「信」の立場に立つことはしない。個人の信仰を妨げるものにはけっしてないが、「信」と「知」とが混同されることは厳しく戒められなければならない。	
		芸術	ヨーロッパの音楽の歴史をたどっていくと、音楽は政治や宗教の道具にされるなど、社会のなかで様々な役割を果たし、単なる「芸術」ではなかったことがわかる。私たちがよく知っているバッハやモーツァルト、ベートーヴェンなどの「大音楽家」も、当初から特別な「大音楽家」であったわけではなく、その時代のニーズに合わせて活動していた数多くの音楽家のひとりであった。そこで本講座では、なぜそのような音楽が生まれたのか、社会のなかで音楽がどのような役割を担い、作用したかといったことに視点を置き、ヨーロッパにおける音楽の歴史を様々な角度から考察していく。	

科目区分	授業科目の名称	講義等の内容	備考
基礎分野	人間科学系	社会福祉学 社会福祉という、老後の暮らしを支える援助と思われがちだが、決して一部の人のためのものではない。誰にとっても暮らしやすい社会の仕組みをどうつくるかが問われる。何より大事なことは、今、私たちはどのような社会の中で生きているかを見つめ、これからの社会福祉のあり方について自分なりの考えを持つことである。そのために本講では、新聞記事、映画なども教材としながら、また、福祉現場で働いている方のお話を伺い、社会の現実、社会福祉の実情や課題を探っていく。 (オムニバス形式/全15回) 【熊井利廣/12回】 現代社会と社会福祉、社会福祉の役割と意義、社会福祉の概念とその範囲、社会福祉の歴史、社会福祉法と行政、社会保障の構成と内容、社会福祉の専門技術、社会福祉対象について・社会福祉と人権、生活困窮者と社会福祉、児童福祉と子どもの権利、社会福祉専門職の活動とその評価等について講義する。 【佐藤喜宣/2回】 日本におけるエンパワリングの 実態と意義、エンパワリングの実際について講義する。 【林 幹泰/1回】 心身障害者とNormalizationについての講義を担当する。	
		倫理学 倫理について考える。ソクラテス=プラトン曰く、哲学は「死の練習」である。とはいえ、それは「よく生きること」があってはじめて可能になる。というより、「よく生きること」がそのまま「死の練習」につながる。こうした態度を保持しつつ、倫理学のさまざまな問題について考えてみる。ただし、私たちはこの問いをあくまでも学問的に問う。宗教者のように、特定の「信」の立場に立つことはしない。個人の信仰を妨げるものだけは許さないが、「信」と「知」とが混同されることは厳しく戒められなければならない。	
		発達心理学 人間は生まれた時から社会的な存在である。本講義では、社会の中で人間がどのように発達していくのか理解することを目的とする。前半では特に乳幼児期を中心に、できるだけ映像を多く使用しながら解説する。子どもの世界を身近なものとして感じてほしい。後半では自己を中心に解説する。"わたし"とは何か、受講者それぞれが考える場にしてほしい。	
		職業適性論 労働による心身への負荷は、その職種、勤務・作業形態などによってさまざまであり、個々人の体力、適性によってその影響の現れ方が大きく異なってくる。心身両面から見た個々人の職業適性を考慮し、医療社会におけるリスクマネジメント、就業前検診と適性配置および事後管理の具体的方法について解説すると共に職業人として必要な創造性開発論についてもふれる。 (オムニバス形式/全15回) 【笠原 靖/7回】 創造性の開発、期待される資質、新しい産業分野の動向、検査のシフト、検査における遺伝子、画像診断、その他のインパクト、試料分析を必要とする事業分野、労働負荷と身体の変化、疾病予防のための健康対策等について講義する。 【石井和夫/3回】 職業観と資格・技能、職場の衛生管理等について講義する。 【石山陽事/2回】 医療事故とリスクマネジメント、プロ意識と創造性開発について講義する。 【照屋浩司/2回】 職業性疾患とその予防について講義する。 【武田耕一/1回】 キャリア形成、働くことの意味、生き甲斐・働き甲斐について講義する。	
自然科学系	数 学 微分積分学を学ぶための基礎知識と微分積分について学ぶ。また、微分積分学がどのように他分野に利用されるかも紹介する。数学の知識や考え方は、科学を学ぶために必要不可欠である。本講義では微分積分学をとらえて数学の知識を広げ、数学的思考方も身に付けることを目的とする。		
	統計学 現在、統計学は、調査資料や実験データの解析など、様々な方面に応用されている。また、統計学の知識や考え方は、いろいろな事柄の理解の助けになる。そこで、本講義では、基礎から統計学を学び、いろいろな問題への応用も紹介する。目標は、統計学の基礎概念の習得と、いろいろな問題に統計学を応用できるようになること。		

科目区分	授業科目の名称	講義等の内容	備考	
基礎分野	自然科学系	情報処理論	現在社会ではコンピュータやインターネット環境の利用は様々な場面で必須となっている。卒業後はもちろんのこと、在学中でも情報の収集、データの処理や解析、プレゼンテーションなどでPCやIT環境を利用する機会が多くなる。本講義は実際にPCを使った演習も行い、今後PCを使っていくに当たって必要な知識や技術を身につけられるように進めていく予定である。	講義9回 演習6回
		基礎物理学	自然科学は日常的な現象を体系的に整理し、一定の法則を見出そうとする科学である。物理学はこのような自然科学の一分野であるばかりでなく、あらゆる学問の基礎となる学問であり、物理的なものの見方、考え方はあらゆる学問に通じるものである。そこで、この科目では考え方に重点を置き、物体の運動、温度と熱、弾性体と流体、波動と光等について、基礎となる考え方、法則等について学ぶ。	
		物理学概論	自然科学は日常的な現象を体系的に整理し、一定の法則を見出そうとする科学である。物理学はこのような自然科学の一分野であるばかりでなく、あらゆる学問の基礎となる学問であり、物理的なものの見方、考え方はあらゆる学問に通じるものである。そこで、この科目では考え方に重点を置き、とくに電気、磁気、ならびに電気工学の基礎について学ぶ。	
		基礎化学	化学が得意でなかったり、または化学を入試科目として選択しなかったために、大学の化学系専門科目の講義について行けるかどうか不安に思っている学生を対象とし、高校教科書レベルの基礎学力を教授する。この講義の目的は、学生諸君が化学系専門科目（分析化学、生化学、臨床化学など）を効率的に学ぶことが出来るために、化学の基礎学力を身に付けることである。	
		生化学概論	生体の仕組みや病気を理解するために、人体を化学的に知ろうとする領域が生化学である。つまり、生体がどのような物質で作られ、それらがどのような意味を持っているか探求し、生命現象を化学の言葉で理解することである。本講義ではその入門として、基本的な生体物質について学ぶ。	
		基礎生物学	高校で生物Iを履修しなかった学生を対象とし、専門科目を履修するのに先立ち、これらの基礎となる知識を身につけることを目的とする。「細胞の構造」「細胞の増殖」「刺激の受容と反応」「体液と恒常性」については、平行して開講される基礎医学系科目の授業において基礎から学習するので、本講義では基本的な用語を確認することを目的とする。	
		生命科学概論	現代の生命科学は遺伝子の本体である核酸（DNA）の構造の解明にはじまり、発生のしくみや疾病の原因となる変化などの複雑な生命現象を分子のレベルから明らかにしてきた。さらに遺伝子操作による新しい生物の創造など、応用分野を拡大させ従来の生命の定義にも変革をもたらしており、医学に関連する分野では最も重要な要素の一つである。本講義では生物を構成する分子、生物の基本単位である細胞について学び、さらにその構造と機能を維持する情報分子である遺伝子/核酸の複製と発現に関する基本事項を学ぶ。	
	語学系	英語	英語の母音と子音、強形と弱形、音変化、ストレスアクセントとリズム、およびイントネーションといった音声情報と、アイコンタクト、身振り手振り、表情などの音声外メッセージに着目しながら、自然な発話ができるようになるための対話練習を毎回の授業で行う。	
		英語	コミュニケーションの道具として英語を使えるようにするには聴き取り・発音技能は不可欠であるが、独力で簡単に身につくものではない。そこで、教室では理論と実践の両面から英語の自然な発話ができるようになることを目指す。したがって、このクラスは特に pronunciation practice を軸にした speaking skills の習得を目標にしている。	
		英語	異文化に関連した小説から抜粋したストーリーを読んでいます。ゆっくりしたペースで進めますので、大雑把ではなく、丁寧に、仔細に下調べをすること。	

科目区分	授業科目の名称	講義等の内容	備考	
基礎分野	語学系	英語	この授業は、医療従事者として働く際に必要最低限の英語表現を習得することが目的である。授業内では、病院の様々なシチュエーションを想定して、その場面に必要な会話表現の練習を繰り返し行い、暗唱をしてもらう。また、発音矯正も適宜行いながら英語らしい発音、リズムを同時に学習する。毎回の授業で前回の授業で学習したダイアローグの暗唱試験を行う。様々な臨床場面に応じた会話表現を身につけることを目標とする。	
		英会話	平易な英文を読み、その内容について簡単なディスカッションができるようになる。また、旅行先や日常生活で必要となる会話表現に習熟する。 1. はじめに、2. 空港にて、3. 機内にて、4. 入国審査、5. ホテルの予約、6. ホテルのチェックイン、7. 銀行にて、8. テスト、9. レストランで食事をする、10. バス・タクシー、11. ショッピングをする、12. 郵便局にて、13. 道を尋ねる、14. ホテルのチェックアウト、15. まとめ(テスト)	
		医学英語	医学・医療系英語を積極的に学ぶ姿勢を、主として英文読解力を向上させることにより育てる事を目的とする。基礎英語力を備えた学生を対象に、医学・医療分野の英文エッセー、教科書、講演文(総説)を精読、さらに大意把握するコツを教える。教科書「医学英語読解15のポイント」に掲載の14の医学・医療系長文読解を完璧にする事を最低限の目標とするが、向上心の強い学生の希望にも添えるようにしたい。また医療・医学系現場で良く用いられる英会話表現や、電子メールや手紙で有用な英文表現も、時間の許す限り紹介したい。	
		日本語表現法	レクチャーと課題実習を通じて、「話しことば」としての日本語表現を実践的に学ぶ。自分の頭で考え、的確に分かりやすく伝え合うために必要な方法と技術を探り、公けの場にふさわしい「音声表現」力を身につけることを目指す。 授業の計画は次の通りである。 1. 授業の概要・・・話しことば点検 2. 話しことばの特徴・・・時間のことば、音声のことば<アクセント > 3. 組み立てて話す・・・全体から部分へ <アクセント > 4. 組み立てて話す・・・項目に分ける <イントネーション > 5. 組み立てて話す・・・具体的に <イントネーション > 6. 意見を述べる <共通語化> 7. 意見を述べる <共通語化> 8. 聴く・訊く 9. 聴く・訊く 10. 思いを語る 11. 思いを語る 12. 敬語 13. 敬語 14. 試験 15. まとめ(試験の講評)	
専門基礎分野	医学系	解剖学	解剖学は医学および医療分野で最も基本的な学問である。正常な体の構造をいろいろなレベル、つまり肉眼から細胞のレベルまで探究していくのがその目的で、解剖学はさらに複数の分野に分かれる。本講義は系統解剖学の体系に沿って、ヘルスサイエンス(健康科学)指向の解剖学(Health Sciences-oriented Anatomy)を、主として肉眼解剖学レベルの知見を中心に、そして必要に応じて顕微解剖学レベルの知見を交えて講義する。本講義では、総論に引き続いて、骨格系、関節と靭帯、筋系、さらに循環器系について、それぞれの構成要素や器官のかたちとその機能的意義、それらの体の中での位置、また相互の位置関係をさまざまな図版を用いて、かつ必要最小限の専門用語(解剖学用語等)を用いて述べる。この講義を通じて、私たちが健康を維持するために、骨格消え、関節と靭帯、骨格筋系、循環器系がどのような構造的特性をもち、さらにそれらがいかに整然と、調和をもって構築されているのかが明確となる。 (オムニバス形式/全15回) 【高見 茂/12回】 細胞と組織、骨格系、筋系、7 消化器系、呼吸器系、泌尿器系(高見)、生殖器系、内分泌系、感覚器系、外皮系、人体の発生等について講義する。 【長谷川瑠美/2回】 循環器系についての講義を担当する。 【八巻明子/1回】 神経系についての講義を担当する。	

科目区分	授業科目の名称	講義等の内容	備考	
専門基礎分野	医学系	解剖学	<p>本講義は、解剖学 既習者を対象とする。解剖学 では、ヘルスサイエンス（健康科学）指向の解剖学(Health Sciences-oriented Anatomy)の視点に立って、解剖学総論、骨格系、関節と靭帯、筋系について述べたが、ここでは、呼吸器系、消化器系、泌尿器系、生殖器系、神経系、内分泌系、感覚器系、人体の発生、について主として肉眼解剖学レベルの知見を中心に、そして必要に応じて顕微解剖学レベルの知見を交えて講義する。それぞれを構成する器官、あるいは構成要素のかたちとその機能的意義、それぞれの器官の体の中での位置、器官相互の位置関係をさまざまな図版を用いて、かつ必要最小限の専門用語（解剖学用語等）を用いて述べる。この講義を通じて、私たちが健康を維持するために、上記の器官系がどのような構造的特性をもち、さらにそれらがいかに整然と、調和をもって構築されているのかが明確となる。</p> <p>（オムニバス方式 / 全15回） 【高見 茂 / 11回】 細胞学と組織学、上皮組織、支持組織、筋組織、神経組織、血液と骨髄、リンパ性器官、消化器、泌尿器、内分泌腺およびホルモン産生細胞、神経系、皮膚、感覚器系等について講義する。 【長谷川瑠美 / 2回】 脈管系、呼吸器系について講義する。 【八巻明子 / 2回】 男性生殖器、女性生殖器について講義する。</p>	
		解剖学実習	<p>解剖学 の講義で身につけた知識に基づき、総論、骨格系、関節と靭帯、筋系、さらに循環器系に関する実習を行なう。実習教材としては、模型、実験動物、人体標本、さまざまな視聴覚教材、組織プレパラートなど多岐に及ぶ。これらの教材を最大限に利用することにより、個々の骨、関節、靭帯、筋、さらに循環器系の構成器官の構造的特徴、そして機能的特徴をより深く理解することが可能となる。さらに生体観察実習も行ない、体表から筋肉、骨の一部、血管の形態や走行がどの程度把握できるのかについての理解も深める。</p>	
		解剖学実習	<p>解剖学 の講義で身につけた知識に基づき、主として呼吸器系、消化器系、泌尿器系、生殖器系、神経系、内分泌系、感覚器系、に関する実習を行なう。実習教材としては、模型、実験動物、人体標本、さまざまな視聴覚教材、組織プレパラートなど多岐に及ぶ。これらの教材の利用により、上記の器官系の構造的特徴、そして機能的特徴をより深く理解することが可能となる。さらに生体観察実習も行ない、体表面から神経の走行がどの程度把握できるのかについての理解も深める。</p>	
		生理学	<p>生体の構造と機能を解き明かす学問として、生理学の基本を概説する。主に人体の植物性機能について、細胞や組織の成り立ち、体液や血液の性質や調節機構を説明する。さらに、組織を機能単位でとらえ、循環器系、呼吸器系、消化器系などのシステムについて説明する。生理学を学び、生体の構成要素を様々な階層でとらえ、その構造と機能を理解する。単に覚えるのではなく、機能の理解の上に立って、生態系について深く考察できる能力を習得することを目的とする。</p> <p>（オムニバス方式 / 全15回） 【小林博子 / 8回】血液と体液、腎と排泄、消化と吸収等について講義する。 【嶋津秀昭 / 7回】心臓と循環、呼吸器等について講義する。</p>	
		生理学	<p>主に、動物機能の分野を説明する。中枢神経や末梢神経にはじまって、これらと接続する筋、感覚器の機能の説明を行う。さらに、身体の調節系であるホルモンについても講義する。生体への病態を知るうえで正常な機能を学ぶ生理学の重要性を認識させると共に脳神経筋系及び感覚系・ホルモン系の正常な機能を解剖学と合わせて系統的に関連疾患と合わせて理解させることを目標としている。</p> <p>（オムニバス方式 / 全15回） 【石山陽事 / 12回】 細胞膜電位と神経伝導、中枢神経の構造と機能、末梢神経（胞神経、体性神経）、筋とその活動の生理、感覚の生理等について講義する。 【三谷博子 / 3回】 内分泌と化学伝達機能について講義する。</p>	
生理学実習	<p>講義で学んだ知識をより実際的に身につけるため、生体機能がどのように測定され、変化するかをいくつかの例で実験的に確認する。モデルを使って循環系を直観的に理解するための循環動態解析法、心臓の電気現象を体外から把握するための心電図計測、血圧測定、腸管の薬理作用を考える。実習した各項目について得られたデータを正しく判断し、これを考察することができる事を目標とする。</p>			

科目区分	授業科目の名称	講義等の内容	備考	
専門基礎分野	医学系	病理学	病理学とは、生体に起こった病的な状態、すなわち疾病の本態を解明する学問です。疾病はその成り立ちから、先天異常、代謝障害、循環障害、炎症、腫瘍の五つの病変カテゴリーに分類されますが、それらの病変カテゴリーを学び、疾病を起こす原因、それぞれの疾病で生じてくる変化、その経過、疾病がたどる転帰を総合的に捕らえるよう学習する。学習者は疾病における形態と機能の変化を学習することにより、疾病の全体像、すなわち原因、経過、治療法、予後、および結末を総合的に理解することができます。また、疾病の本態を理解することにより、疾病の臨床事項、検査事項、病理所見を判断する能力を習得することができます。	
		人間発達学	人間の誕生から老年期にいたるまでの発達の過程について、1 発達の概念（発達の規定要因、発達研究法、発達理論）、2 新生時期・乳児期（知覚・認知の発達、運動の発達、愛着の発達）、3 幼児期・児童期（遊びと認知機能の発達と仲間関係、保育・学校教育と発達）、4 青年期（親子関係・友人関係、自我同一性の確立、知的機能の発達）、5 成人期・老年期（職業生活、家族生活、エイジングとパーソナリティ、老年期の知的機能、死への対応）の視点から教授する。ライフサイクルの観点から加齢に伴う身体的・精神的発達と各発達段階との関連を学習し、それぞれの発達段階の特徴を理解する。	
		リハビリテーション概論	リハビリテーションの定義、歴史、理念および障害の分類について講義する。障害の分野では現在の国際生活機能分類だけでなく、理学療法評価での問題の捉え方として用いられている国際分類障害についても講義する。また、リハビリテーションチームの役割と、医療機関で行われている医学的リハビリテーションの具体的方法と、社会や地域を含めた包括的なリハビリテーションの概念と具体的方法も講義する。また、医療・福祉・保健領域におけるチーム医療の重要性と関連職種の仕事について解説し、理学療法士の役割を明確に理解させる。 （オムニバス方式 / 全8回） 【潮見泰蔵 / 4回】 リハビリテーションの定義、歴史、理念および障害の分類、国際生活機能分類、国際分類障害について講義する。 【齊藤昭彦 / 4回】 医学的リハビリテーションの具体的方法、社会や地域を含めた包括的なリハビリテーションの概念と具体的方法、チーム医療の重要性について講義する。	
		臨床心理学概論	現代人の多様な心の悩みや問題を理解するのに必要な心理学の歴史と理論を、主に精神的・心理学的アプローチを中心に学ぶ。つまり、精神分析を中心とした無意識の心理学の理論を学び、現代社会に起こる様々な問題について洞察と理解を深め、今後の学習の基礎とし、現場で適切な対応が取れるようになることを目標とする。	
		精神医学	精神的・心理的・社会的な存在としての人間を理解するとともに、精神症状および精神障害者についての理解を深めることを目標とする。 精神医学について、特に精神症状学、精神科診断学、精神科治療学、ライフサイクル、精神医学と社会とのかかわりを中心に総論的に講義を行う。	
		内科学	個々の疾患における病因・病態の理解は、患者の全体像を把握するためにも重要である。本科目においては、内科系各分野（内分泌・代謝疾患、呼吸器疾患、循環器疾患、血液疾患、感染症、膠原病・アレルギー疾患、消化器疾患、腎尿路疾患）における病因・病態・診断法・治療法について最新の知識を習得することを目的とする。 （オムニバス方式 / 全15回） 【副島昭典 / 8回】 内分泌・代謝疾患、呼吸器疾患、循環器疾患、血液疾患における病因・病態・診断法・治療法について講義する。 【四倉正之 / 7回】 感染症、膠原病・アレルギー疾患、消化器疾患、腎尿路疾患における病因・病態・診断法・治療法について講義する。	
		内科学	糖尿病、高血圧、高脂血症、喫煙は動脈硬化の危険因子として位置づけられ、それぞれの危険因子が軽微でも集合すると心筋梗塞、脳梗塞などの虚血性疾患のリスクをきわめて上昇させる。その基盤には内臓脂肪の蓄積が指摘され、メタボリックシンドロームの概念へと発展してきた。本講義では生活習慣病の予防指導に必要な知識を学ぶ。	

科目区分	授業科目の名称	講義等の内容	備考	
専門基礎分野	医学系	小児科学	胎児医学から出生前医学、周産期医学つぎに小児の発達と成長について理解する。個別には、脳性まひと運動器疾患、てんかんと痙攣性疾患、感染症、発達障害、その他の循環器疾患・消化器疾患・内分泌や代謝疾患・膠原病やアレルギー疾患・血液疾患・泌尿生殖器疾患・心身症を含む精神疾患・奇形の理解を目的に講義する。	
		神経内科学	神経内科学は、内科学の中でも中枢神経（脳、脊髄）、末梢神経、筋疾患について診断、治療する学問である。本科目では、神経疾患における主要症候、補助検査などについて解説した後、理学療法士が日常臨床で遭遇する可能性の強い神経疾患を中心に病因、病態、診断、治療について講義する。	
		外科学	本科目では、手術治療の基本となる術前管理、麻酔、手術手技、術後管理、外科的な輸液、栄養法などについての知識を習得した上で、外科的治療法が必要とされる循環器、消化器、運動器、泌尿器領域の主要な疾患の診断、検査、手術療法についての講義を行う。また、各科の代表的な疾患についてどのように手術が行われているか、手術の適応と禁忌はどの用に決定されるか、などについて理解を深める。	
		整形外科学	整形外科系疾患の病因、病態生理、症状、悪化防止、生命の危険回避をするために必要な救急処置の知識・技能、観察の方法と意義（重症度、全身・局所の観察、各種病状の観察）、検査（各種病態に関する検査）等について教授する。	
		脳神経外科学	脳神経外科系疾患の病因、病態生理、症状、悪化防止、生命の危険回避をするために必要な救急処置の知識・技能、観察の方法と意義（重症度、全身・局所の観察、各種病状の観察）、検査（各種病態に関する検査）等について教授する。	
		リハビリテーション医学	リハビリテーション医学では、総論、診断と評価、治療学総論を理解したうえで、各種障害のリハビリテーションについて講義する。脳損傷、末梢神経障害、脳性まひ、筋ジストロフィー、変性疾患、脊髄障害、骨・関節疾患、呼吸器疾患、循環器疾患などの病態と障害や評価と治療の基本方針である。1.リハビリテーションと障害論：a.リハビリテーションの理念と概論、b.新しい「障害」の概念、2.教育リハビリテーション、3.職業リハビリテーション、4.社会リハビリテーション、5.医療リハビリテーションについて学ぶ。	
		医療安全論	わが国の医療事故の現況と医療安全管理体制について理解する。看護業務における医療事故防止の考え方を学ぶとともに、代表的な診療の補助業務の事故防止上必須知識を習得する。また、転倒・転落事故などの、療養上の世話業務における事故防止について具体策を学ぶ。	
		感染症学	医学の進歩によって赤痢などの激しい伝染病が激減した一方で、院内感染や新興・再興感染症の増加が深刻な社会問題になっている。本講義では“感染症の予防と治療の総合的な理解”を目標とし、感染症の概念、感染の予防、化学療法、生体の感染防御機構などの総論的内容を理解させる。さらに、各論において代表的な細菌、ウイルス、真菌、寄生虫の性質とその感染症について解説する。	
		免疫学	免疫系は内分泌系および神経系と相互に関連して生体の恒常性維持に貢献している。免疫系の働きが健康維持にどのように関わっているかについて学んで欲しいと考え、ワクチン接種の意義、ストレスによる免疫抑制の機構、また妊娠や移植の成否への免疫反応の関わりなどについて解説する。	
		薬理学	薬理学は、臨床で使用される薬の名前を覚えるだけでなく、生理学の知識を基礎にして、薬の生体内動態、安全性と有効性、薬の主作用・副作用の発現機序などについて学習する。なぜこの薬が使われるのか、なぜ効くのかを、服薬にはどのような注意を守ればいいのかを説明できる事を目標とする。	
栄養学	少子・高齢化社会にあって、子どもたちの健康の保持・増進を図ることはもとより、生活習慣病予防やQOL向上など専門職への期待も大きい。また、医療従事者には人間や社会への理解と生命の尊厳について深く考え、共生・共栄の社会を目指すことが求められている。これらの状況をふまえて“食生活のあり方”を学ぶことにより、専門職として必要な知識や技術を習得し、教育・研究・臨床・行政など領域で活用できるよう具体的な事例とともに「栄養」について学ぶ。			

科目区分	授業科目の名称	講義等の内容	備考	
専門基礎分野	保健学・衛生学系	保健学概論	保健学は、人々の健康を守り・育てるという目的をもつ学際的な学問体系である。急性期の健康障害への対処から慢性的な生活習慣病などの発症機構の理解まで、さまざまな分野の知識や技術を概観する。本講義では、保健学の枠組みを知って、後に開講される各専門分野の位置づけを理解することに重きを置いた。	
		高齢保健学	わが国は人類未到の超高齢化社会に向かって進んでいる。高齢期にいかに関心を維持するかについて個人、国レベルを問わず重大な問題である。本講義では、高齢者の多様な心身の問題について取り上げ、予防や対応について考える。 高齢者におけるさまざまな心身問題について学習し、高齢者のQOL向上のための適切な助言ができることを目的とする。	
		産業保健学	産業保健Industrial Healthは、あらゆる産業で働く人々を対象をして、労働に関わる健康事象を扱う保健学の一領域である。職業という視点から労働者の健康問題を捉えた職業保健Occupational Healthや、良好な労働環境の保全を根底に置く労働衛生Labor Hygieneも、究極的には労働者の健康保持、増進を図ると同じ目的を持つ同類のものといえる。産業保健は一次産業から三次産業まで、全ての産業、全ての職域を対象とするが、産業革命以降の工場労働者で生じた多くの衛生上の問題を踏まえて最も体系化されてきたのは、被雇用者の、主に事業所における保健であり、本講でもこれを中心的な課題とする。総論においては歴史的経緯を踏まえた現行諸制度を概括し、現代の労働環境を取り巻く諸問題を整理する。各論においては職業起因性の様々な有害因子を順次取り上げ、それぞれが誘発しうる疾病、障害とその予防策について解説する。 (オムニバス形式/全15回) 【金子哲也/10回】 産業保健の現状・労働安全衛生組織、安全衛生管理、疲労・VDT・腰痛、ストレス・過労・自殺、酸欠・有毒ガス、振動・気圧、騒音、有機溶剤・金属、特定化学物質・発ガン因子等について講義する。 【関 健介/4回】 温熱・赤外線、RI・電離放射線・UV、有害化学物質概論「生体内挙動」、粉じん・石綿等について講義する。 【照屋浩司/1回】 産業保健に係る総論について講義する。	
		地域保健学	地域住民の健康水準と福祉の向上を図るためには望ましい政策目標を定め、それに向けて、保健・医療・福祉サービスと関連部門の政策と住民の活動を統合しなければならない。その作業が地域保健(医療福祉)計画である。母子、高齢者、障害者に関係した事例を挙げながら地域保健(医療福祉)計画の進め方について説明する。	
		公衆衛生学	公衆衛生学とは「社会における組織的な働きかけにより、疾病を予防し、寿命を延ばし、身体的・精神的機能を増進させる科学であり技術である」と、定義されている。公衆衛生学の領域は多岐に亘っているが、本講 義では保健学の出発点ともいえる公衆衛生学の基本的技術論、方法論を中心として解説し、年齢階層や、社会的機能集団の各次元で、それぞれの特質に合わせた取り組みについて、実践的な視点からの解説も行う。 (オムニバス方式/全15回) 【照屋浩司/5回】 公衆衛生学概論、疫学・保健統計、成人保健・老人保健等について講義する。 【出嶋靖志/2回】人口論・国際保健等について講義する。 【長谷川めぐみ/2回】保健栄養について講義する。 【加藤英世/2回】母子保健について講義する。 【田島 治/2回】精神保健について講義する。 【岸 邦和/1回】遺伝と健康について講義する。 【大嶺智子/1回】学校保健について講義する。	

科目区分	授業科目の名称	講義等の内容	備考	
専門基礎分野	保健学・衛生学系	公衆衛生学	<p>公衆衛生学とは「社会における組織的な働きかけにより、疾病を予防し、寿命を延ばし、身体的・精神的機能を増進させる科学であり技術である」と、定義されている。公衆衛生学の領域は多岐に亘っているが、本講では、年齢階層や、社会的機能集団の各次元で、それぞれの特質に合わせた取り組みについて、実践的な視点からの解説を中心として行い、公衆衛生学の基本的技術論、方法論についても触れる。</p> <p>(オムニバス方式/全15回)</p> <p>【照屋浩司/4回】公衆衛生学概論、感染症、地域保健等について講義する。 【金子哲也/4回】環境保健、産業保健等について講義する。 【川村治子/2回】保健衛生行政等について講義する。 【朝野 聡/2回】健康教育等について講義する。 【熊井利廣/1回】保健福祉等について講義する。 【林 幹泰/1回】保健福祉等について講義する。 【岸 邦和/1回】生命倫理等について講義する。</p>	
		環境衛生工学	<p>環境因子の発生機序や測定・評価方法及び人体への影響、健康被害の防御に関して解説する。第一種衛生管理者の必修科目でもあるので作業環境に関することが中心となるが、公害防止や環境計量など幅広く講義を行う予定である。</p> <p>自然環境及び作業環境における汚染因子の発生機序及びそれらの測定、評価、制御方法の基礎を理解した上で、特に作業環境に関しては法律に則った、試料のサンプリング方法や測定方法及び評価方法を十分に理解する。</p>	
		看護学	<p>看護・介護の対象、及びその家族への援助を理解し、医療・保健・福祉専門職の役割、連携について理解する。特に自分が目指している理学療法士の位置づけについて考える。また、看護の基礎的知識・技術を学ぶ中に人間関係を深めていく。本講義では基礎的技術として、住生活・病床環境の整備、体位変換・移乗・輸送の援助について学習する。</p> <p>医療・保健・福祉の現状を知り、課題に取り組む専門職者としての視点を認識する。人間理解を深め、看護・介護の基礎技術を習得することを目的とする。</p>	
		救命救助法	<p>当科目は第一種衛生管理者取得のための必修科目であるばかりでなく、災害時や海、山での遭難時に備え、救命救助法を身につけておくことは、保健学部学ぶ者の責務である。本実習では映像資料等を用いてこれらの事故の実態と救命救助体制、防災計画などについて学ぶとともに、救命救助法の技能を習得する。最終試験に合格した者には、東京消防庁より「救急員認定証」が交付される。</p>	集中
		労働衛生法規	<p>働く者の生命と健康を守るための安全・衛生管理の体制と技術水準については、具体的な規定が求められる。産業保健に携わろうとする者、とくに衛生管理者の資格を希望する者は、そうした役割や資格が法令で規定されていることをしっかりと修めておかなければならない。交通法規を学ばぬ者には運転免許が与えられぬと同様に、法に基づいて他者の健康を預かる者の必須条件である。本講義では労働災害や職業性疾患の発生機序と招来要因を学びつつ、それらを制御するために定められた法的規制、安全・衛生管理体制の実際について学ぶ。各法令について、とくに基本的な語句や概念の定義に関わる部分では、正確な語句の確認が不可避であり、逐条的な解説を伴う。</p> <p>(オムニバス方式/全15回)</p> <p>【金子哲也/9回】 労働安全衛生法、THP・その他関連指針、高気圧作業安全衛生規則・酸素欠乏症等防止、事務所衛生基準規則等について講義する。 【関 健介/6回】 作業環境測定法、有機溶剤中毒予防規則、特定化学物質障害予防規則、鉛中毒予防規則・四アルキル鉛中毒予防規則、電離放射線障害防止規則、じん肺法・粉じん障害防止規則・石綿障害予防規則等について講義する。</p>	
		労働衛生法規	<p>働く者の生命と健康を守るためには、その安全・衛生管理の体制と技術について具体的な規定が必要である。本講義では、労働基準法、労働災害の法的救済について触れ、さらにそれらを制御するために定められた法的規制、安全・衛生管理体制について学ぶ。</p>	
専門分野	基礎理学療法学系	理学療法概論	<p>1年次に理学療法を概観し、理学療法の定義、歴史、評価・治療体系、対象、主な背景理論、主な治療手段、理学療法教育の変遷などについて学習する。特に、綿密な評価を通じて抽出された問題点に対する理学療法の適応とその実際の方法を理解する。さらに医学的リハビリテーションにおける位置づけ、さらには治療(身体医学)としての理学療法の役割について理解する。</p>	

科目区分	授業科目の名称	講義等の内容	備考	
専門分野	基礎理学療法学系	理学療法用語論	理学療法用語ならびに理学療法に関連する医学用語や略語を学習し、カルテや英語文献を読むための能力を身につけることを目標とする。特に、解剖学用語については、できるだけ日本語名と英語名を一緒に覚えるようにする。さらに、4年次の臨床実習や卒業研を進める上で、自ら選んだ文献を読み、理解できるように、毎回実践的な講義を実施する。	
		運動学	解剖学、生理学の知識をもとに上肢、下肢、体幹、顔面の骨、関節、神経の機能について理解する。さらに、基礎的な運動学習や運動制御に関する諸理論についても学ぶ。これらの内容は、次年度以降に開講される評価学、運動療法学に深く関連する重要な学問であり、十分な理解が得られるように進めていく。	
		運動学実習	運動学で習得した内容について、様々な研究機器を用いて科学的に検証する。生体観察計測、筋力、筋電図、動作分析、感覚と運動、姿勢と歩行などのいくつかのテーマについての実習を通して、実習（実験）目的、使用方法、データのまとめ方、報告書の作成について理解する。この経験を通じて、将来、臨床において生じる様々な疑問を自ら解決するために不可欠な臨床研究能力の基礎を身につける。	
		病態運動学	運動学が正常者を対象としたものとするれば、病態運動学は障害者の身体運動について、運動障害という視点から身体運動のメカニズムを理解する。すでに学習した運動学の知識をさらに発展、統合し、臨床における諸現象を理解できるようにする。運動学的視点から代償運動のメカニズムや、正常な運動と異常な運動の相違について理解する。	
		運動解剖学	人体の構造の基礎となる骨格・筋・関節の解剖（構造）を学習し、さらにその機能を学習する。具体的には、理学療法士の重要なスキルである触診技術を高めるために体表解剖を理解するとともに、四肢、体幹、顔面の各部について実際に触診できるようにする。二人1組となり、触診技術を向上させるために、毎回、上肢・下肢・体幹の触診技術について実習を行う。	
	理学療法評価学系	理学療法評価学概論	代表的疾患の理学療法を実施する上で必要な理学療法評価の目的、具体的な評価過程について学ぶ。理学療法における測定から評価および治療の流れについて理解し、基本的な検査・測定方法の意義や手技を学び習得する。また、医学的リハビリテーションの視点から患者の問題を考える指標となる障害モデルについて学ぶ。	
		理学療法評価学	個々のクライアントの持つ障害をどのように捉えるかという視点から、検査・測定の選択、具体的実施方法について学習する。単に検査の方法を理解するだけでなく、検査・測定結果の意味、解釈について十分理解できるようにする。理学療法における評価過程はトップダウン評価とボトムアップ評価に大別され、この両者の特徴と方法について講義する。臨床的な評価に基づいて問題点の抽出、目標設定および治療方針の決定、さらに理学療法プログラムの立案にいたるまでの臨床思考過程について学ぶ。	
		理学療法評価学	理学療法評価学 では扱われなかった領域の評価法（パフォーマンステスト、疾患特異的テスト）について、理学療法診断を行う際に必要となる種々の画像情報に関する知識や心電図の判読の仕方などについて学習する。神経系に障害のある患者に対する電気診断の方法（筋電図、神経伝導速度など）についても学習する。	
		理学療法評価学実習	理学療法評価学 、理学療法評価学 で学習した基本的な検査技術（主として、血圧、脈拍、四肢周径、肢長の測定、関節可動域測定、徒手筋力検査、反射検査、感覚検査、片麻痺回復段階、等）を学生間で実習する。この講義科目は、2年次および3年次の評価実習の準備となる重要なもので、学生一人ひとりが十分習得できるよう徹底した指導を行う。	
		動作分析学	本科目では、患者の基本動作の動作分析ができることを目標とする。具体的には健常者の動作を課棒学・運動学用語を用いて適切に表現し、健常者における動作特徴を分析することを目標とする。この科目を通して、疾患別の理学療法評価でおこなう能力障害と機能障害の関連性を導くための導入とする。	

科目区分	授業科目の名称	講義等の内容	備考	
専門分野	理学療法治療学系	理学療法治療学総論	この講義は各種疾患別理学療法学を学ぶための導入として位置づけられており、理学療法で行われる治療技術に関して概観し、その目的、意義、適応、禁忌・注意点について理解する。さらに、治療学としての理学療法の基礎的な原理、背景理論ならびに代表的な疾患に対する具体的な施行例を呈示し、適応と限界について学習する。	
		運動療法学	運動療法学は理学療法の根幹をなす学問領域である。各種疾患別理学療法を学ぶ際に、理解しておくべき運動療法の古典的な原理、背景理論、頻度の高い運動療法の方法について理解する。特に、関節可動域の維持・拡大、筋力増強方法、運動負荷方法など運動療法を適切に行うために必要な基礎知識および技術について学習する。 （オムニバス方式 / 全15回） 【倉林 準 / 10回】 一般的に行われる基本的な運動療法（関節可動域の維持・拡大、筋力増強方法、運動負荷方法）について解説し、種々の疾患に対する適応と留意点について解説する。 【八並光信 / 5回】 運動療法の背景理論および基本的原理を中心に講義し、治療医学としての運動療法の適応と限界について理解することを目標とする。	
		運動療法学実習	運動療法学で学習した基本的な運動療法の手技について実習する。特に、理学療法で頻度の高い手技（関節可動域を維持・拡大する方法や種々の筋力増強トレーニング法など）については、実習を通じて一人ひとりが確実に習得できるようにする。教員の指導の下、学生間で患者および治療者の役割を演ずることを通じて、治療手順を理解する。治療者としての態度、接遇についても学ぶ。	
		物理療法学	物理療法の歴史は古く、運動療法とともに理学療法における重要な治療手段の一つである。物理療法を実施するのに必要な生理学、病理学の背景となる知識を理解し、効果の発現機序と生体の反応を正しく理解する。温熱療法・寒冷療法・水治療法・牽引療法・マッサージ等の各治療法の原理、目的、正しい使用方法、適応および禁忌、リスク管理を学習する。	
		物理療法学	物理療法 以外の物理的治療手段である超音波療法、光線療法、電気刺激療法、バイオフィードバック療法に関して、それぞれの物理学的作用、生理学的作用、治療および治療機器の原理、正しい使用方法、適応疾患および禁忌、リスク管理について学習する。	
		物理療法学実習	物理療法、 で学習した内容（電気療法、光線療法、水治療法等）について実習を行う。実際に物理療法機器を操作することで、物理療法に習熟することを目的とする教員の指導の下、学生間で患者および治療者の役割を演ずることを通じて治療手順を理解する。治療者としての態度、接遇についても学ぶ。	
		義肢学	補具および装具を総称して補装具と呼ぶ。補具は通常、義肢と呼ばれ、これは切断肢の機能を補うことが目的である。切断患者に対する義肢の目的、適応、種類、構造と性能、アライメント、適合チェック、装着方法、理学療法の進め方について学習し、切断者に対する理学療法士の役割を理解する。	
		義肢学実習	義肢学で学習した各種義肢（義手・義足）のメカニズム、構造、各種パーツについて、実際の義肢を用いて理解する。下肢切断については、切断モデルを利用して、アライメントのチェック方法について理解する。	
		装具学	装具は機能の代償を目的として処方されるが、運動療法を補完する目的で利用されることも多い。本講では主として脳血管障害と整形外科疾患に関する装具に関して、装具の種類、目的、適応、処方、適合チェックの方法について学習する。本講では、基本的な製作技術を習得するために代表的な装具の作製に関する実習も含むものとする。	
		装具学実習	装具学で学習した各種下肢装具の種類、構造とメカニズム、効果判定、チェックアウト、装着方法について実習を通じて理解する。実習では、簡単な短下肢装具を実際に製作し、その効果を確かめることを全員が体験することで、装具の効果（役割）について理解を深めるようにする。	

科目区分	授業科目の名称	講義等の内容	備考	
専門分野	理学療法治療学系	日常生活技術学	装具は機能の代償を目的として処方されるが、運動療法を補完する目的で利用されることも多い。本講では主として脳血管障害と整形外科疾患に関する装具に関して、装具の種類、目的、適応、処方、適合チェックの方法について学習する。本講では、基本的な製作技術を習得するために代表的な装具の作製に関する実習も含むものとする。	
		日常生活技術学実習	日常生活技術学で学習した内容の中で、基本的な日常生活における諸動作について、障害に即した適切な支援方法が行えるようにする。具体的な疾患や障害を想定した実習を通じて基本的な操作、介助方法を習得する。また、代表的な日常生活用具や機器の使用方法についても実習を通じて理解する。教員の指導の下、学生間で患者および治療者のロールプレイを通じて指導方法を理解する。	
		運動器障害系理学療法学	運動系疾患に対する理学療法を行う上で必要な、検査・測定、治療、評価について学習する。筋骨格系に生じる障害を、どのように捉え（評価）、その原因をどのように分析し、どのような方法でその原因を取り除くかということについて学習する。代表的な筋骨格障害として、身体の部位別障害、および全身障害として脊髄損傷を取り上げ、それぞれに対する理学療法介入について、日常生活動作指導や補装具の適応に至るまで系統的に学習する。	
		運動器障害系理学療法学	運動器系理学療法学では取り扱わなかった運動器系疾患や、障害に対する理学療法評価およびマネージメントに関する知識を高めることを目標とする。この講義ではまた、一部に基本的な理学療法技術の実習を含むこととし、学生がより理解を深められるように配慮している。運動器疾患系理学療法と同様、具体的な理学療法介入について日常生活動作指導や補装具の適応に至るまで系統的に学習する。	
		神経障害系理学療法学	脳血管障害の病態と障害像を理解し、その評価ならびに各病期における基本的な理学療法（障害のリスク管理、合併症、評価、運動療法、物理療法、ADL指導、生活環境整備）の進め方について学習する。特に、後半では患者情報を事前に呈示し、学生間で情報収集、評価を実施し、問題点の把握、目標設定、介入方針を立てることを経験する。	
		神経障害系理学療法学	理学療法の対象となる主要な神経筋疾患の病態、特徴、検査・測定、評価、治療方法について系統的に学習する。また、それぞれの神経系の障害に対する医学的リハビリテーションとしての対応・治療の概略を学習する。以下に挙げる主要な中枢性神経疾患、神経筋疾患の障害特性を理解し、その評価と機能・能力障害に対する運動療法、補装具、福祉用具の利用、住環境整備に至るまでの一連の理学療法介入の過程を理解する。＜分担疾患群名＞ ギラン・バレー症候群、ニューロパチー、顔面神経麻痺、パーキンソン病・パーキンソン症候群、脊髄小脳変性症、運動ニューロン疾患、多発性硬化症、筋疾患、他	
		内部障害系理学療法学	慢性閉塞性肺疾患や胸部外科術後のような呼吸器系障害を有するクライアントに対する理学療法（腹式呼吸法、排痰法など）および心疾患（虚血性疾患、心不全）に対する理学療法全般（評価、リスク管理、運動療法、ADL指導・生活環境支援、QOL）について学習する。特に内部障害患者に対する理学療法を進める上で必要となる運動負荷試験、負荷心電図、血圧、心拍数などの解釈、不整脈の判読などについて理解する。	
		内部障害系理学療法学	心臓機能障害、呼吸機能障害以外の内部障害（腎臓機能障害、代謝障害、膀胱・直腸障害、小腸機能障害、癌のﾘﾊﾋﾘｰｼｮﾝ）における運動・機能障害の成因・病態・回復過程・予後等について理解し、その理学療法の理論と技術を習得し、臨床応用できる基礎を系統的に学習する。	
		小児理学療法学	小児期の障害に対する理学療法では、正常発達を引きだし、異常発達を可及的に抑制し、正常発達を促すことが重要である。本講では、正常運動発達の理論と小児の発達過程について十分理解した上で、脳性麻痺を中心に障害児の理学療法について、臨床像の把握・評価・問題点の抽出、目標設定及び治療計画の立案、更に関連する治療技術までを系統的に学習する。	

科目区分	授業科目の名称	講義等の内容	備考	
専門分野	理学療法治療学系	高次脳機能障害学	神経心理学の基本概念を学んだ後、各種高次脳機能障害の病巣・症状・検査について教授する。本講義では背景症状としての意識障害、失見当識、感情障害、および注意障害、記憶障害（記憶の分類、前向健忘・逆向き健忘、作話、意味記憶障害）、失認（視覚失認、聴覚失認、触覚失認、相貌失認、身体失認）、視空間障害（半側空間無視、その他）、失行（観念運動失行、観念失行、肢節運動失行、その他）、前頭葉症状、離断症候群、認知症、脳外傷による高次脳機能障害についての基高次脳機能障害について学習し、高次機能に問題を有するクライアントに対する理学療法士としての役割を理解する。	
		高齢者理学療法学	高齢者に共通する加齢に伴う生理的变化を理解するとともに、中枢神経系、運動器系、呼吸循環系など高齢者特有の障害に対する理学療法の方法について、各症例を呈示することによって理解する。また、転倒、失禁、認知症といった問題に対する理学療法的対応についても学習する。	
		急性期理学療法学	急性期の管理は患者の予後を大きく左右するため、他部門の役割を理解し、並行して行われる治療の内容についても熟知していなくてはならない。本講義では、集中治療室や各疾患の急性期における理学療法介入について学習し、急性期における理学療法士の役割について理解する。特に、脳血管障害、虚血性心疾患に対する急性期リスク管理に関する重要事項を理解する。	
		スポーツ障害理学療法学	スポーツ分野における理学療法全般に関して学習し、同領域における理学療法士の役割について理解する。代表的なスポーツ外傷を取り上げて、受傷機転の理解、各種スポーツ競技動作の分析と問題点の把握、再発予防に関するポイントと具体的理学療法の方法について学ぶ。	
		マニュアルセラピー	マニュアルセラピーは理学療法特有の治療手段であり、その適用範囲も広い。本講義では、特に四肢の関節、筋、神経に起因する疼痛および可動域障害に対するマニュアルセラピー（徒手理学療法療法）の基本について学習する。本講義を履修する学生はクリニカルリーズニングの講義を並行して学ぶことによって、さらにマニュアルセラピーの理解を深めることができるよう配慮されている。	
		プロフェッショナルスキル	臨床実習場面を想定し、総合臨床実習に向けた実践的な演習を行うことにより、理学療法における評価・治療技術のスキルアップを図る。客観的臨床能力試験（OSCE）を3年次に実施することで、理学療法に関する学習内容の統合をはかり、最終学年における総合臨床実習のための準備とする。ここでは、医療者として必要となる基本的な医療面接の方法についても習得する。	
		クリニカルリーズニング	臨床に必要なクリニカルリーズニング（臨床推論過程）の概念を学習する。特に、神経筋骨格系疾患の理学療法において、これまでに修得した知識を統合し、クライアントの問題をどのように捉え、どのようにこれを解決するかという考え方について実践的な講義を通して養う。本講義はマニュアルセラピーを同時に履修することで、学生の理解が深まるように配慮されている。	
地域理学療法学系	生活環境学	高齢者・障害者の特性に応じた居住環境の物理的な制約条件を改善するための、家屋評価、住宅設計の基本、住宅の増改築の基本項目や福祉用具の知識や適合に関する知識を習得し、生活の支援方法について学習する。特に、実際の住宅改修に関する事例を呈示することで学生の理解を深めるとともに、学生が自ら改修プランを作成する演習も含むものとする。		
	地域理学療法学	地域での理学療法士の取り組みについて学習し、理学療法士が医療だけでなく、保健・福祉分野で活躍することが重要であることを理解する。地域で生活している障害者、高齢者の生活の自立支援に向けて、理学療法士の立場から支援していくための知識、技術を習得する。家庭訪問による訪問リハビリテーションサービスや、施設における入所・通所リハビリテーションサービスに携る理学療法士に必要な知識・評価・実施方法を学ぶ。		

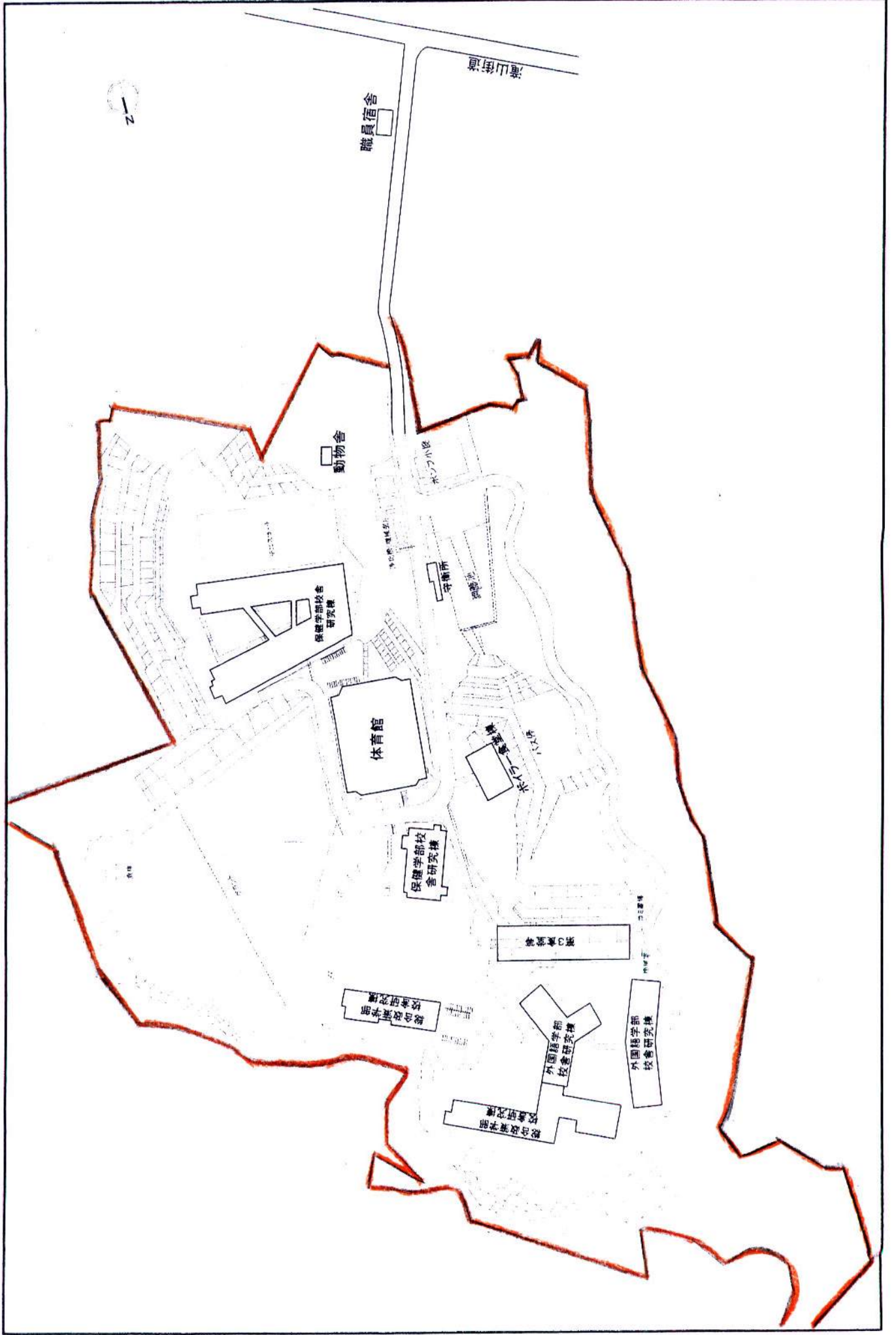
科目区分	授業科目の名称	講義等の内容	備考
地域理学療法学系	理学療法国際事情	海外の医療事情を理解し、発展途上国などの理学療法分野の現状を理解し、国際協力における理学療法士の役割を考察する。また、将来、こうした分野に従事することを希望する者に対し、より高い動機づけとなることをねらいとしている。	
	見学実習	本学医学部付属病院において、特に理学療法と関連のある部門の見学を通じて、理学療法士の役割、理学療法士と他職種との関係、設備、機器の目的を理解する。実習前後には全体で報告会を実施する。	
	評価実習	本学医学部付属病院および関連教育病院において、教員の指導のもとで、理学療法評価学で学習した検査・測定技術の知識と技術について実習を行い、自らの知識・技術レベルの向上を図る。実習前後には全体およびゼミ形式の報告会を実施する。	
	評価実習	2年次までに学習した理学療法評価の過程を実際の臨床場面で経験し、検査・測定技術のスキルアップをはかるとともに、症例を通して評価における統合と解釈の方法を学習する。実習前後には全体およびゼミ形式の報告会を実施する。	
	総合臨床実習	理学療法士が従事する施設において教員・実習指導者の指導のもとで理学療法を実施する。この経験を通じて、1年次から3年次までの知識・技術を総合的に学習するとともに、臨床思考過程を実際の症例をもとに体験する。また、症例検討会を通して教員や他の学生と討議しながら自らの臨床問題解決能力を向上させる。	
専門分野	理学療法特論	これまでに学習した知識・技術を復習、統合し、理学療法分野の知識、技術をさらに発展させる。脊髄損傷、脳血管障害、脳性麻痺、神経筋疾患などの理学療法の代表的な対象疾患について患者情報を与え、評価から治療に至る過程を、学生が演じる模擬患者に対して実施することにより、理学療法の進め方を学ぶ。	講義9回 演習6回
	理学療法特論	1年次から3年次までの知識・技術を統合し、理学療法士としての卒前教育のまとめをする機会とする。各臨床実習終了後に実施し、実習期間中の疑問点や理学療法評価における具体的な問題点について、教員とともに問題点の解決をはかることを目標とする。	講義9回 演習6回
	理学療法研究法	主として卒業研究や大学院進学を希望する学生を対象として、理学療法に関連する課題から、研究テーマを設定し、研究過程を通して研究の基本を習得させる。特に、研究を進める上で不可欠な基本的な統計手法、プレゼンテーションの方法、論文の書き方についても学習する。	
	応用理学療法学	近年では疾病や障害の予防に対する理学療法が求められるようになっており、こうした社会の要請に応えられるにすることがねらいである。新たに理学療法を必要される領域（産業分野、尿失禁）や従来の枠組みには当てはまらない新しい領域のトピックス的なテーマについて、理学療法士の役割と実際について理解する。	
	基礎ゼミ	理学療法の専門領域で学んだ知識を基盤として、特定領域の学習を通して科学的思考を深める。卒業研究に向けて、関連文献の検索と輪読を少人数グループによる学習形式で行なう。このゼミでは学生一人ひとりの学習状況を把握するとともに、最終学年に向けた準備のための演習の時間に向けるものとする。	
	特別講義	解剖学 および においては、肉眼解剖を中心に据えた系統解剖学の講義を行なっている。そこで学習した知識を整理しながら、理学療法士に必要な局所解剖学を、従来の臨床医学の講義より先行して、あるいは並行して講義する。例えば「膝の話」では、膝部に分布する血管、起始および停止する骨格筋と支配神経、膝関節の周辺の靭帯、関節内構造物などの形態と位置関係を三次元的に理解することを目的とする。この講義を通じて、それぞれの部位に含まれる人体の構成要素を立体的に把握し、かつ系統解剖学的な知識と統合させて理解することができる。人体の構成要素の立体構造をより具体的に把握する為に、マクロ解剖見学も複数回行なう。	講義11回 実習3回
総合領域			

科目区分		授業科目の名称	講義等の内容	備考
専門分野	総合領域	特別講義	4年次の学生を対象に、理学療法の代表的疾患（脳卒中、パーキンソン病、脊髄損傷、変形性関節症、大腿骨骨折、慢性閉塞性肺疾患、心筋梗塞、等）に対する障害像の捉え方を学ぶ。学生は必要な患者情報を提供した後、評価の過程をシミュレーションすることとし、必要な理学療法的対策を検討する。すなわち、疾患の特徴の理解に始まり、必要な検査、問題点の抽出、目標設定、プログラムの立案までを経験する。講義はPBL(問題解決型授業)形式で行い、学生は与えられたテーマについて自己学習し、プレゼンテーションを行った後、全体で討議を行うものとする。	
		卒業研究	将来的に理学療法の実践および理学療法学の発展に寄与する素養を身につけるために、1つの研究を通して、データの収集、統計処理、論文作成、研究経過・研究成果のプレゼンテーションなどを経験する。	

5. 校地校舎等の図面

八王子校地及び建物配置図

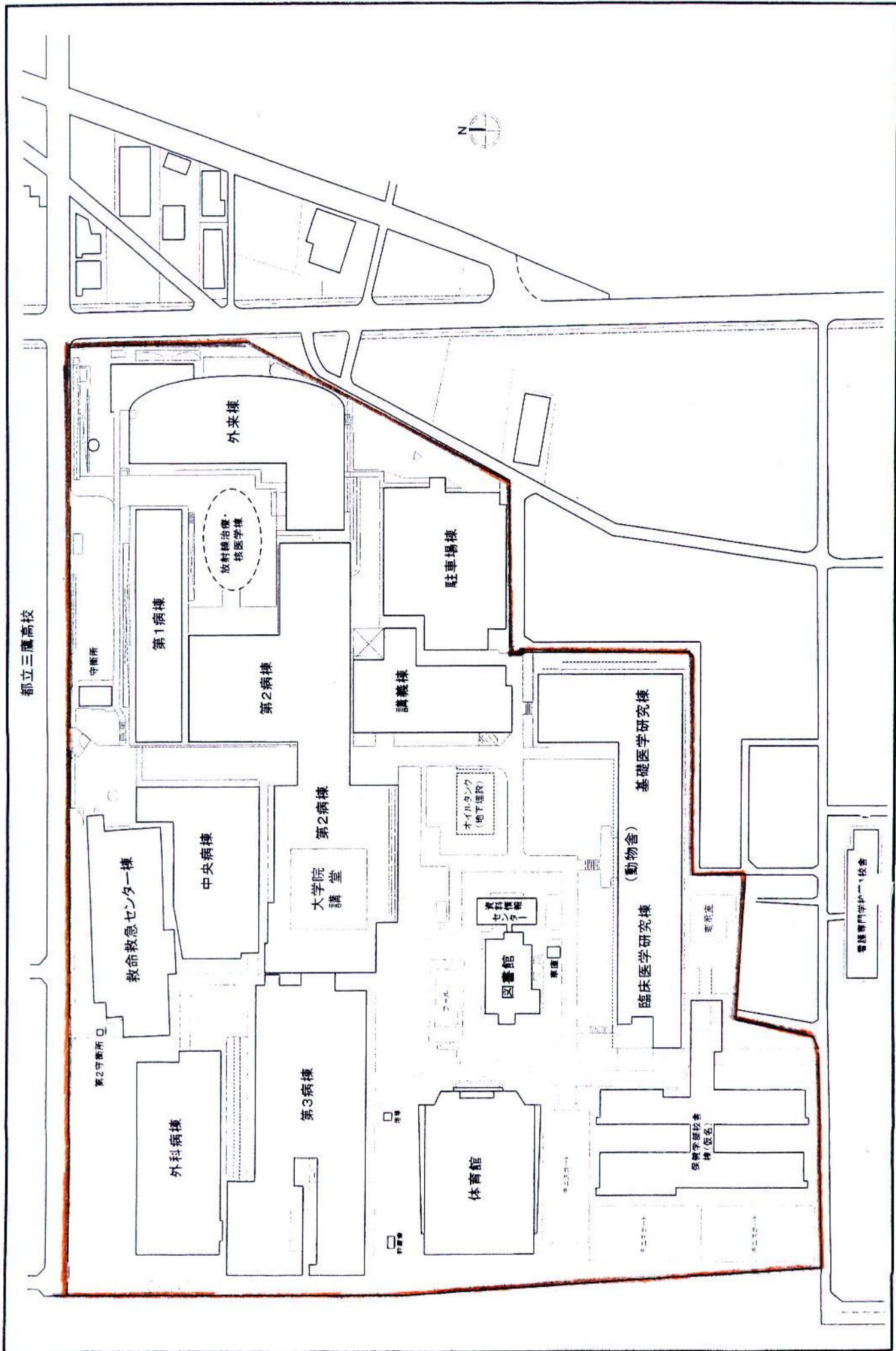
八王子市宮下町398番1外
130,329.49㎡(敷地)



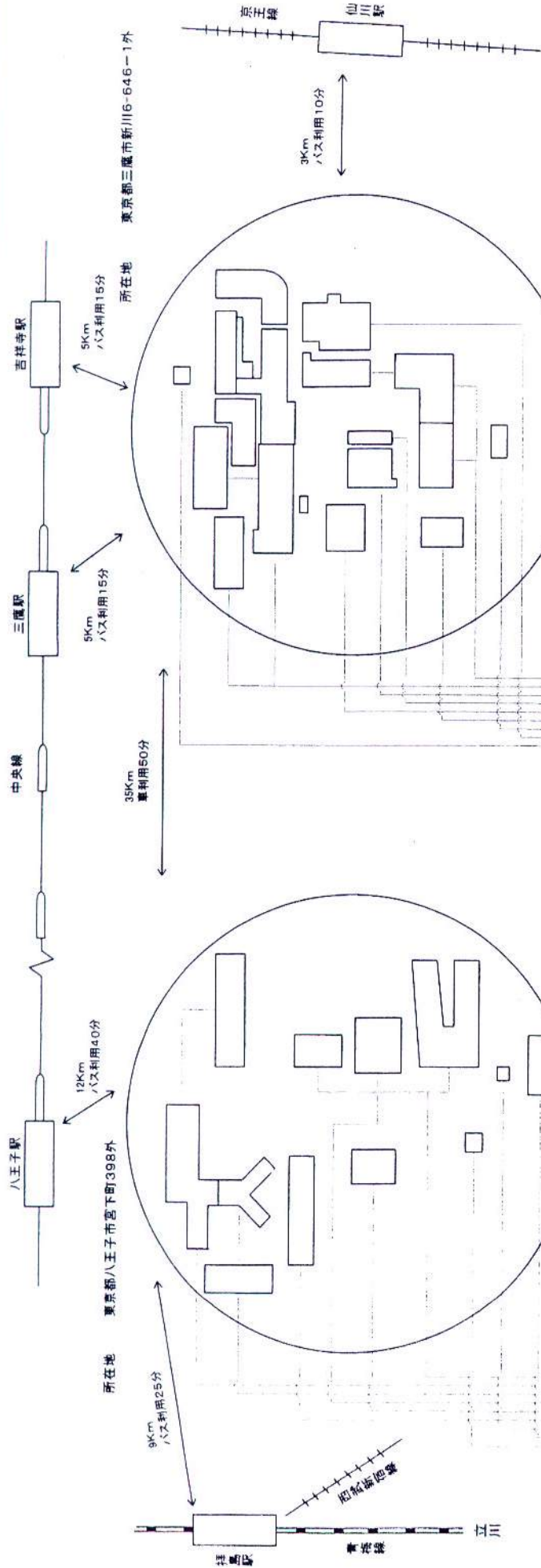
三鷹校地及び建物配置図

三鷹市新川6丁目646番1外
59,601.41㎡(敷地)

平成20年5月1日現在



学校の位置及び校地の配置図の概要



杏林大学八王子校地

校地面積 130,329.49㎡(全部所有)
 内運動場用地 (11,566.00㎡)
 内職員宿舍敷地 (418.00㎡)

土地小計 130,329.49㎡

- 医学部校舎・研究棟
- 総合政策学部校舎・研究棟
- 外国語学部校舎・研究棟
- 体育館
- その他の建物
- ボイラー室連棟
- 第3食堂棟
- 八王子動物舎
- 上記以外の学校法人所有建物
- 職員宿舍
- 守衛所

鉄筋8階建外 15,134.17㎡
 鉄筋6階建外 11,750.43㎡
 鉄筋5階建外 8,672.39㎡
 鉄骨鉄筋地下2階付3階建 7,746.33㎡
 鉄筋3階建 1,058.40㎡
 鉄骨鉄筋2階建 1,393.50㎡
 プレハブ連平築建 9.80㎡
 鉄筋6階建 1,263.60㎡
 鉄筋平家建外 196.41㎡

建物小計 47,225.13㎡

杏林大学三鷹校地

校地面積 57,992.32㎡(全部所有)
 内運動場用地 (3,004.00㎡)
 上記以外の学校法人所有地 27.09㎡
 法人本部 車庫敷地 1,582.00㎡
 看護専門学校敷地

土地小計 59,601.41㎡

- 医学部校舎・研究棟
- 図書館
- 資料館
- 体育館
- 保健学部校舎棟(仮名)
- 看護専門学校専用校舎
- 上記以外の学校法人所有建物
- 看護専門学校第1校舎
- 駐車場
- 守衛所外

鉄骨鉄筋地下1階付7階建外 27,221.96㎡
 鉄骨鉄筋地下2階付10階建外 114,911.47㎡
 鉄筋地下2階付12階建外 3,518.11㎡
 鉄骨鉄筋地下2階付11階建 2,899.32㎡
 鉄骨鉄筋地下1階付3階建 5,148.20㎡
 鉄骨鉄筋9階建 8,689.83㎡
 (743.53㎡)
 鉄筋地下1階付3階建 2,396.88㎡
 鉄骨鉄筋地下1階付3階建 7,094.52㎡
 鉄骨鉄筋平家建外 606.61㎡

建物小計 172,486.90㎡

6 . 学則

- (1) 学則案
- (2) 変更事項を記載した書類
- (3) 新旧対照表

(1) 学則案

杏林大学学則

制定	昭和45年	3月17日		
改正	昭和49年	4月23日	昭和50年	8月11日
	昭和52年	11月17日	昭和53年	12月25日
	昭和54年	10月25日	昭和57年	4月1日
	昭和59年	4月1日	昭和60年	1月9日
	昭和61年	4月1日	昭和63年	4月1日
	平成2年	12月21日	平成3年	9月25日
	平成4年	9月21日	平成6年	1月24日
	平成7年	7月3日	平成8年	10月23日
	平成9年	3月28日	平成9年	5月30日
	平成10年	3月27日	平成10年	12月11日
	平成11年	2月15日	平成11年	6月21日
	平成11年	9月20日	平成11年	12月10日
	平成12年	6月19日	平成12年	9月18日
	平成13年	5月30日	平成14年	2月26日
	平成14年	7月15日	平成14年	9月13日
	平成14年	12月6日	平成15年	2月17日
	平成15年	9月8日	平成15年	12月5日
	平成16年	5月28日	平成17年	5月27日
	平成17年	7月25日	平成17年	10月26日
	平成18年	3月29日	平成18年	12月8日
	平成19年	3月29日	平成19年	12月7日
	平成20年	5月29日		

第1章 目的、使命及び自己評価等

(目的)

第1条 本学は、教育基本法及び学校教育法に則り、かつ建学の精神に基づいて、崇高な人類愛と高度の科学精神を基盤とするすぐれた人材の育成を目的とし、もって広く人類の福祉に貢献することを使命とする。

(自己評価等)

第1条の2 本学は、その教育研究水準の向上を図り、前条の目的及び使命を達成するため、本学における教育研究活動等の状況について自ら点検及び評価を行うものとする。

2 前項の点検及び評価の項目並びにその実施体制については、別に定める。

第2章 学部、大学院等

(学部、学科)

第2条 本学に次の学部及び学科を置く。

医 学 部 医学科

保 健 学 部 臨床検査技術学科、健康福祉学科、看護学科、臨床工学科、救急救命学科及び理学療法学科

総合政策学部 総合政策学科及び企業経営学科

外 国 語 学 部 英語学科、中国語・日本語学科及び応用コミュニケーション学科

(学部又は学科の目的)

第2条の2 学部又は学科ごとの人材の養成その他の教育研究上の目的については、次のとおりとする。

2 医学部は、豊かな人間性の涵養と、医学の発展に対応しうる基礎的及び専門的知識の修

第3類（杏林大学学則）

得と臨床的技能の修練を通じて、良き医師を養成することを目的とする。

3 保健学部

- (1) 臨床検査技術学科は、保健及び医療に携わる者として高い倫理観と、強い使命感を持ち、臨床検査に対する卓越した専門知識と技術、総合的な判断力を持つ人材を養成することを目的とする。
- (2) 健康福祉学科は、保健、医療及び福祉の専門知識と技術をもち、高い倫理観と情熱をもって人の健康と生活の支援を実践する人材を養成することを目的とする。
- (3) 看護学科は、看護を必要とする様々な人々に対して対処できるよう、的確な問題解決能力と技術をもち、人への思いやりを有し、高い倫理観を持ち、かつリーダーシップを発揮できる人材を養成することを目的とする。
- (4) 臨床工学科は、生命維持管理装置の操作運用に関する医用生体工学の分野で、その専門的知識と技術を活かし、高い倫理観と使命感を持った実践的な臨床工学技士を養成することを目的とする。
- (5) 救急救命学科は、高い倫理観を持ち、救急救命の最前線で求められる迅速かつ的確な状況判断能力と傷病者の状況観察に基づく適切な処置技術を有する人材を養成することを目的とする。
- (6) 理学療法学科は、医療人としての倫理観に裏付けされた豊かな人間性と理学療法に関する高度な知識、技術を備え、障害の機能回復だけでなく、地域医療や福祉の場における健康の維持増進など幅広い領域において貢献できる人材を養成することを目的とする。

4 総合政策学部

- (1) 総合政策学科は、社会をマクロの視点から捉え、国際政治・経済、法律・行政及び環境・福祉の各専門分野を総合的かつ学際的に学ぶことにより、様々な問題を多面的に把握分析し、実践的に解決するための知識と能力を備えた人材を養成することを目的とする。
- (2) 企業経営学科は、企業活動というミクロの視点に立ち、経営及び会計の各専門分野における知識の修得はもとより他の関連分野にも通暁し、企業が求める幅広い知識と実務遂行のための能力、技能を備えた人材を養成することを目的とする。

5 外国語学部

- (1) 英語学科は、異文化の垣根を越えて相互に理解し共存できる人間性そのものを陶冶し、実践的な英語運用能力の開発を通じて、実社会の中で必要な専門的知識を備えた国際的な職業人を養成することを目的とする。
- (2) 中国語・日本語学科は、異文化の垣根を越えて相互に理解し共存できる人間性そのものを陶冶し、知識だけでなく実感をともなって近隣諸国の言語と文化を理解し、アジア太平洋の時代の中核となる人材を養成することを目的とする。
- (3) 応用コミュニケーション学科は、異文化の垣根を越えて相互に理解し共存できる人間性そのものを陶冶し、外国語の高度な運用能力及びホスピタリティ精神の表現によって涵養されるコミュニケーション力を基に、その実践と応用を通じて現代社会を担うサービス産業とりわけ観光産業、ならびに情報文化産業に資する人材を養成することを目的とする。

（学生定員）

第3条 学生定員は次のとおりとする。

第3類（杏林大学学則）

学 部	学 科	入学定員	2年次編 入学定員	3年次編 入学定員	収容定員
医 学 部	医 学 科	90名	-	-	540名
保 健 学 部	臨床検査技術学科	80名	6名	4名	346名
	健康福祉学科	40名	6名	4名	186名
	看護学科	100名	2名	8名	422名
	臨床工学科	40名	-	-	160名
	救急救命学科	40名	-	5名	170名
	理学療法学科	40名	-	-	160名
総合政策学部	総合政策学科	170名	-	10名	700名
	企業経営学科	100名	-	5名	410名
外国語学部	英語学科	110名	-	5名	450名
	中国語・日本語学科	40名	-	13名	186名
	応用コミュニケーション学科	110名	-	5名	450名

（大学院）

第4条 本学に大学院を置く。

2 大学院学則は別に定める。

（付属施設）

第5条 本学に付属図書館、付属図書館分館、医学部付属病院、医学部付属看護専門学校、入学センター、キャリアサポートセンター、国際交流センター及び八王子保健センターを置く。これらに関する規程は別に定める。

第3章 教職員組織

（教員組織）

第6条 本学に学園長、学長、副学長、付属病院長、付属図書館長、付属図書分館長、医学部付属看護専門学校長、入学センター長、キャリアサポートセンター長、国際交流センター長及び八王子保健センター長を置く。

2 各学部に学部長、教務部長及び学生部長を置く。

3 事務組織については、別に定める。

第7条 本学に教授、准教授、講師、助教、事務職員、技術職員その他の職員を置く。

2 教職員は専任、兼担及び兼任に区分する。

3 教職員の定員、資格、任免、勤務等に関しては、別に定める。

（学園長の任務）

第8条 学園長は、学園が設置する教育機関の教学に関する事項を総理し、教学面の諸式を司る。

（学長の任務）

第9条 学長は、本学並びに本学付属教育機関の教育及び研究に関する事項を統括する。

第3類（杏林大学学則）

（副学長の任務）

第10条 副学長は、所管の事項に関し常に学長を補佐し、学長に事故があり学園長の指名を受けたときは、学長の任務を代行する。

（学部長の任務）

第11条 学部長は、当該学部の校務を掌理し、所属教職員を指揮監督して、教育及び研究の責に任ずる。

第4章 教授会

（教授会）

第12条 各学部に教授会を置く。

2 各学部の教授会（以下「各教授会」という。）は、それぞれの学部長が招集しその議長となる。

3 各教授会は、それぞれの学部の専任教授をもって組織する。

4 各教授会は、必要に応じ准教授その他の教職員の意見を聴くことができる。

5 各教授会は、その学部における次の事項を審議する。

（1）教育に関する事項

（2）教員人事に関する事項

（3）学生に関する事項

（4）研究に関する事項

（5）その他前各号に関連し、学部長が必要と認めた事項

6 前項第1号の事項中教授の選考に関する事項の審議については、別に定める教授選考委員会において予め審議するものとする。

7 学園長、学長、副学長は各教授会に出席し意見を述べることができる。

8 教授会運営に関する細則は、別に定める。

（大学評議会）

第12条の2 本学に杏林大学評議会（以下「評議会」という。）を置く。

2 評議会は、学長が招集しその議長となる。

3 評議会は、次に掲げる評議会委員（以下「委員」という。）をもって組織する。

（1）学園長

（2）学長

（3）副学長

（4）学部長

（5）付属図書館長

（6）各教授会構成員の中から教授会により選任された者、各2名

4 前項6号の委員の任期は2年とし、再任を妨げない。ただし、任期の途中で委員の交替のあったときの後任者の任期は、前任者の残任期間とする。

5 評議会は、必要に応じ委員以外の者を会議に出席させ、その意見を聴くことができる。

6 評議会においては、次の事項を審議し議決する。

（1）学則及びこれに基づく諸規程の制定、改廃並びにこれらの解釈に関する事項

（2）大学の自己評価に関する事項

（3）その他大学全般の教学に関し、学長が必要と認める事項

7 評議会運営に関する規程は別に定める。

第5章 学年、学期及び休業日

第3類（杏林大学学則）

（学年）

第13条 学年は4月1日に始まり、翌年3月31日に終る。ただし、総合政策学部及び外国語学部の秋入学者は10月1日に始まり、翌年9月30日に終る。

（学期）

第14条 学年を分けて前期又は春学期、後期又は秋学期の2学期とする。

2 前項の学期の呼称及び期間は、各学部において定める。

（休業日）

第15条 休業日は次のとおりとする。

（1）日曜日

（2）国民の祝日に関する法律（昭和23年法律第178号）に規定する休日

（3）杏林学園創立記念日 11月11日

（4）春季休業 3月10日から4月10日まで

（5）夏季休業 7月11日から9月10日まで

（6）冬季休業 12月23日から翌年1月8日まで

2 学長は、必要により前項各号の休業日を変更することができる。

第6章 修業年限及び在学年限

（修業年限）

第16条 修業年限は次のとおりとする。

医 学 部 6年

保 健 学 部 4年

総合政策学部 4年

外国語学部 4年

（在学年限）

第17条 卒業までの在学年限は、原則として各学部とも前条の修業年限の2倍を超えることができない。ただし、医学部においては、同一学年の在学年限を2年以内とする。

第7章 入 学

（入学の時期）

第18条 入学の時期は、学年の始めとする。

（入学資格）

第19条 本学に入学することのできる者は、次の各号の一に該当する者とする。

（1）高等学校を卒業した者若しくは中等教育学校を卒業した者

（2）通常の課程における12年の学校教育を修了した者

（3）外国において学校教育における12年の課程を修了した者又はこれに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの

（4）専修学校の高等課程（修業年限が3年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者

（5）文部科学大臣の指定した者

（6）文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者

（7）高等学校卒業程度認定試験規則により、文部科学大臣の行う高等学校卒業程度認定試験（旧大学入学資格検定）に合格した者

第3類（杏林大学学則）

（8）本学において、個別の入学資格審査により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で、18歳に達したもの

（入学志願）

第20条 入学を志願する者は、所定の入学願書に別に定める入学検定料を添えて、提出しなければならない。

（入学手続）

第21条 入学選考試験に合格した者は、所定の期日までに所定の入学料その他の学納金を添えて、誓約書を提出しなければならない。

2 入学選考試験合格の通知を受け、前項の手続を完了した者は、入学を許可する。

（転入学）

第22条 次の各号の一に該当する者で、本学への転入学を志願する者があるときは、欠員のある場合に限り、選考の上、相当年次に転入学を許可することがある。

（1）大学を卒業した者又は退学した者

（2）他の大学に在学している者

（編入学）

第22条の2 短期大学、高等専門学校を卒業した者及び第19条の各号の一に該当しその後専修学校の専門課程を卒業し文部科学大臣の定める基準を満たすものを修了した者又はその他法令で定めるところにより資格があるとされている者は、選考の上、相当年次に編入学を許可する。

（転入学、編入学の入学志願等）

第22条の3 転入学、編入学の志願及び入学手続きについては、第20条及び第21条の規定を準用する。

（単位の認定等）

第22条の4 転入学、編入学又は再入学を許可された者の修得した単位の認定及び修業年限の決定は、当該学部教授会が行う。

第8章 教育課程・履修方法等

（教育課程の編成及び履修方法）

第23条 教育課程は各授業科目を必修科目、選択科目及び自由科目に分け、これを各年次に配当して編成する。ただし、履修方法の細部については、各学部において定める。

（教育課程）

第24条 授業科目の種類並びにその単位数又は履修時間数は、次に定めるとおりとする。

医 学 部 別表1

保 健 学 部 別表2

総合政策学部 別表3

外国語学部 別表4

（単位の計算方法）

第25条 授業科目の単位の計算方法は、1単位の授業科目を45時間の学修を必要とする内容をもって構成することを標準とし、授業の方法に応じ、当該授業による教育効果、授業時間外に必要な学修等を考慮して、次の基準により単位数を計算するものとする。

（1）講義及び演習については、毎週1時間から2時間15週の授業をもって1単位とする。

（2）実験、実習及び実技については、毎週2時間から3時間15週の授業をもって1単位とする。

第3類（杏林大学学則）

（3）授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合の単位数を計算するに当たっては、その組み合わせに応じ、前各号に規定する基準を考慮して各学部が定める時間の授業をもって1単位とする。

（単位の授与）

第26条 授業科目を履修し、その試験に合格した者には、所定の単位を与える。

（試験及び進級の認定）

第27条 試験は各授業科目ごとに行う。

2 試験は、口頭又は筆記により行う。ただし、科目の性質によりあらかじめ定めたものについては、他の方法によることができる。

3 試験の成績は、A B C Dの4種とし、A B Cを合格、Dを不合格とする。合格した授業科目については所定の単位を与える。

4 進級の認定については、各学部の学修規程又は履修規程に定める。

（他の大学における授業科目の履修等）

第27条の2 本学（医学部を除く。）は、教育上有益と認めるときは、別に定めるところにより、学生が他の大学で履修した授業科目について修得した単位を、60単位を超えない範囲で、本学において修得したものとみなすことができる。

（外国の大学において修得した単位）

第27条の3 前条の規定は、学生が外国の大学に留学した場合にも準用する。

（成績評価基準等の明示等）

第27条の4 本学は、学生に対して、授業の方法及び内容並びに一年間の授業の計画をあらかじめ明示するものとする。

2 本学は、学生に対して、学修の成果に係る評価及び卒業の認定に当たっては、客観性及び厳格性を確保するため、学生に対してその基準をあらかじめ明示するとともに、当該基準にしたがって適切に行うものとする。

（教育内容等の改善のための組織的研修等）

第27条の5 本学は、授業の内容及び方法の改善を図るための組織的な研修及び研究を実施するものとする。

（単位互換）

第28条 単位の互換に関する規程は別に定める。

第29条 削除

第9章 休学、転学、退学等

（休学）

第30条 疾病その他やむを得ない事由のため、3か月以上修学できないときは、学長に願い出て休学することができる。この場合その事由が病気であるときは、医師の診断書を添付しなければならない。

2 休学の期間は、1年を超えることはできない。ただし、特にやむを得ない事情があると認められるときは、さらに1年を限り延長することができる。

第31条 疾病のため修学することが適当でないと認められる者に対しては、学長は当該学部長の申請により休学を命ずることができる。

（復学）

第32条 休学の期間中であっても、その事由が消滅したときは、当該学部長を経て、学長に願い出て復学することができる。この場合、休学の事由が病気である場合には、本学付

第3類（杏林大学学則）

属病院の医師の診断書を添付しなければならない。

第33条 休学の期間は、第16条の修学年限及び第17条の在学年限に算入しない。

2 休学の期間は、通算して3年を超えることはできない。

（転学部等）

第34条 本学内で他学部の学科又は同一学部内の他学科へ転学部又は転学科を志願した者は選考の上、これを許可することがある。

2 前項によって転学部又は転学科した者の在学年数には、元の学部学科の在学年数の全部又は一部を通算することができる。

（転学）

第35条 本学から他の大学に転学しようとする者は、理由書を添えて、当該学部長を経て学長に願い出て、許可を得なければならない。

（退学）

第36条 疾病その他の事由により、退学しようとする者は、理由書を添え、保証人連署のうえ当該学部長を経て学長に願い出て、許可を受けなければならない。この場合、退学の事由が疾病によるときは、医師の診断書を添付しなければならない。ただし、死亡の場合は、死亡診断書等の確認により、死亡した日をもって退学とする。

（再入学）

第37条 前条により退学した者で、2年以内に退学の事由が消滅し、再び入学を願い出る者があるときは、学長は当該学部長の申請により、相当年次に再入学を認めることができる。

（除籍）

第38条 次の各号の一に該当する者は、当該教授会の議を経て学長がこれを除籍する。

（1）故なくして、3ヵ月以上授業料その他の学納金の納付を怠り、督促してもなお納付しない者

（2）第30条第2項に定める休学期間を超えて、なお修学できない者

（3）第17条に定める在学年限を超える者

（4）行方不明で失踪の届出があった者

第10章 卒業

（卒業の要件）

第39条 医学部においては、別表1-1の適用を受ける者は、6年以上在学し270単位を修得しなければならない。別表1-2の適用を受ける者は、6年以上在学し264単位を修得しなければならない。別表1-3の適用を受ける者は6年以上在学し255単位を修得しなければならない。別表1-4の適用を受ける者は、6年以上在学し255単位を修得しなければならない。

2 保健学部臨床検査技術学科、健康福祉学科、臨床工学科及び救急救命学科においては4年以上在学し124単位以上を、看護学部においては4年以上在学し137単位以上を、理学療法学科においては4年以上在学し125単位以上を修得しなければならない。

3 総合政策学部においては、4年以上在学し124単位以上を修得しなければならない。

4 外国語学部においては、4年以上在学し124単位以上を修得しなければならない。

5 各学部とも自由科目については、その履修により修得した単位は卒業の単位に算入しない。

6 本学（医学部を除く。）の学生が、その所属する学科以外の学科（一学部に二学科以上の

第3類（杏林大学学則）

場合）又は本学他学部の設置する授業科目のうち、在学する学部・学科に設置されていない授業科目については、関係学部長の許可を受けて履修することができる。

7 前項により修得した単位は、卒業に必要な単位として認定することができる。

（卒業の認定）

第40条 前条に定める卒業の要件をみたした者については、教授会の議を経て、学長が卒業を認定する。

（学位）

第41条 卒業の認定を受けた者に次に定める学士の学位を授与する。

医学部	学士（医学）
保健学部	
臨床検査技術学科	学士（保健衛生学）
健康福祉学科	学士（保健衛生学）
看護学科	学士（看護学）
臨床工学科	学士（臨床工学）
救急救命学科	学士（救急救命学）
理学療法学科	学士（理学療法学）
総合政策学部	
総合政策学科	学士（総合政策学）
企業経営学科	学士（企業経営学）
外国語学部	
英語学科	学士（文学）
中国語・日本語学科	学士（文学）
応用コミュニケーション学科	学士（文学）

（教育職員免許状）

第41条の2 本学に教職課程を置く。

2 教職に関する専門科目の種類及び単位数は、別表5-1のとおりとする。

（教育職員免許取得に必要な科目及び単位数）

第41条の3 教育職員免許を得ようとする者は、別に定める本学教職課程履修に関する規程及び教育職員免許法並びに同法施行規則の定めるところに従い、それぞれ所定の科目及び単位を修得しなければならない。

（免許状の種類及び履修学部・学科）

第41条の4 前条に規定する単位を修得することによって得られる免許状の種類並びに履修する学部・学科は次のとおりとする。

履修する学部・学科	免許状の種類	
	保健学部健康福祉学科	養護教諭一種免許状 中学校教諭一種免許状 高等学校教諭一種免許状
保健学部看護学科	養護教諭一種免許状	養護
総合政策学部総合政策学科	中学校教諭一種免許状 高等学校教諭一種免許状	社会 公民

第3類（杏林大学学則）

総合政策学部企業経営学科	中学校教諭一種免許状 高等学校教諭一種免許状	社 会 公 民 商 業
外国語学部英語学科	中学校教諭一種免許状 高等学校教諭一種免許状	英 語 英 語

第11章 賞罰

（表彰）

第42条 学業その他が特にすぐれ、他の学生の範となる者があるときは、学長は教授会の議を経て、適当な方法でこれを表彰することができる。

（懲戒）

第43条 本学の建学精神、教育方針に違背し、又は学生としての本分に反した行為をした者は、教授会の議を経て、学長が懲戒する。

2 前項の懲戒は、その軽重に応じ、譴責、停学及び退学とする。

3 前項の退学は、次の各号の一に該当する者に対して行う。

（1）性行不良で、改善の見込みのないと認められる者

（2）学力劣等で、成業の見込みがないと認められた者

（3）正当の理由がなくて、出席常でない者

（4）本学の定める諸規程に反し、又は学内の秩序を乱し、その他学生としての本分に反した者

第12章 委託学生、聴講生、科目等履修生及び外国人留学生

（委託学生）

第44条 公共又は民間の諸機関等から、委託学生の受入れについて申し入れがあったときは、欠員があり、教育上支障のない限り教授会の議を経て受入れることができる。

2 委託学生には本学則を準用する。ただし、委託学生として在学した期間及びその修得単位は、第39条に定める在学期間及び単位として換算することはできない。

（聴講生）

第45条 本学学生にあらざるもので、本学の授業科目の一部を聴講することを希望するものがあるときは、教育研究上支障のない限り、聴講生としてこれを許すことができる。

2 聴講生となることが出来る者は、高等学校を卒業した者と同等以上の学力を有するものであって、聴講する科目を理解するに足る学力があると教授会が認めた者に限るものとする。

3 聴講生には本学則を適用する。ただし、聴講生として在学した期間及びその修得単位は、第39条に定める在学期間及び単位として換算することはできない。

（科目等履修生）

第46条 本学学生にあらざるもので本学の授業科目の一部を履修することを希望する者がいるときは、教育研究上支障のない限り、科目等履修生としてこれを許可することができる。

2 科目等履修生となることが出来る者は、高等学校を卒業した者と同等以上の学力を有するものであって、履修する科目を理解するに足る学力があると教授会が認めた者に限るものとする。

3 科目等履修生には本学則を準用する。

第3類（杏林大学学則）

4 本学科目等履修生として単位を修得した後に本学に入学した場合、当該単位の修得により当該学部の教育課程の一部を履修したと当該学部が認めたときは、その単位数等に応じて、相当期間を当該学部の修業年限の2分の1を超えない範囲で第39条に定める在学期間として通算することができる。

5 科目等履修生には第26条の定めにより履修した科目の単位を授与する。

（外国人留学生）

第47条 外国人であって、本学学生としての教育を受けることを希望する者があるときは、外国人留学生として入学させることができる。

2 外国人留学生の入学選抜に関しては、必要ある場合は日本語の能力に関する試験を加える。

第13章 学納金

（入学検定料、入学料等の納入）

第48条 本学に入学を志願する者は、別に定める入学検定料を納入しなければならない。

2 入学選考試験に合格した者は、別表6-2、別表6-3、別表6-4及び別表6-5に定める入学料、授業料その他の学納金を納入しなければならない。

3 前項の納入金の納入時期、納入方法等必要な事項は、別に定める。

（授業料等の納入）

第49条 本学学生は別表6-1、別表6-2、別表6-3、別表6-4及び別表6-5に定める授業料等その他の学納金を納入しなければならない。

2 前項の納入金の納入時期、納入方法等必要な事項は、別に定める。

3 休学又は停学中であっても、授業料等は徴収する。ただし、休学の期間が1学年にわたる者の実験実習費はこれを徴収しない。

4 除籍の場合における授業料は、その納期に属する分はこれを徴収する。

5 授業料、実験実習費・施設設備費等を所定の期日までに納入しない者には、授業への出席、図書の間覧、その他施設の利用を認めない。

第50条 入学料、授業料その他既納の学納金は、如何なる理由があってもこれを還付しない。

第14章 雑則

（改正）

第51条 この学則を改正しようとするときは、杏林学園運営審議会の議を経たうえ、改正事項が単一の学部に係る場合は当該学部の教授会に、2つ以上の学部に関連する場合は、関連する学部の教授会に諮り、教授会構成員の3分の2以上が出席し出席者の3分の2以上の賛成を得たうえ、評議会の承認を得なければならない。

附 則

1 本学則は、昭和45年 4月 1日から施行する。

2 この学則を改正しようとするときは、教授の3分の2以上が出席した医学部教授会において、出席者の3分の2以上の賛成を得なければならない。

3 前項の学則の改正については、理事会の承認を要するものとする。

附 則

本学則は、昭和49年 4月26日から施行する。

第3類（杏林大学学則）

附 則

本学則は、昭和51年 4月1日から施行する。

附 則

本学則は、昭和53年 4月 1日から施行する。

附 則

- 1 本学則は、昭和54年 4月 1日から施行する。
- 2 この学則を改正しようとするときは、杏林学園運営審議会の議を経たうえ、両学部に関連する事項については、各学部の教授会に、医学部に関連する事項については、医学部教授会に、保健学部に関連する事項については、保健学部教授会に諮り、それぞれの賛成を得なければならない。各学部教授会は、所定の構成員たる教授の3分の2以上が出席し、出席者の3分の2以上の賛成をもって議決する。

附 則

- 1 本学則は、昭和55年 4月1日から施行する。
- 2 第3条の規定に拘らず保健学部の総定員は、次のとおりとする。

学科	年度			
	54年度	55年度	56年度	57年度以降
臨床検査技術学科	50名	100名	150名	200名
保健学科	50名	100名	150名	200名

附 則

本学則は、昭和57年 4月 1日から施行する。

附 則

- 1 本学則は、昭和59年 4月 1日から施行する。
- 2 この学則を改正しようとするときは、杏林学園運営審議会の議を経たうえ、改正事項が単一の学部に係る場合は当該学部の教授会に、2つ以上の学部に関連する場合は関連する学部の教授会に諮り、教授会構成員の3分の2以上が出席し、出席者の3分の2以上の賛成をもって議決するものとする。

附 則

本学則は、昭和60年 4月 1日から施行する。

附 則

本学則は、昭和61年 4月 1日から施行する。ただし、第3条の規定にかかわらず、昭和61年度から昭和74年度までの間の入学定員は、次のとおりとする。

学 部	学 科	入 学 定 員
医 学 部	医 学 科	100名
保 健 学 部	臨床検査技術学科	50名
	保 健 学 科	50名
社会科学部	社 会 学 科	300名

附 則

- 1 本学則は、昭和63年 4月 1日から施行する。ただし、別表2 - 2（第24条関連）の適用については次の各号による。
 - (1) 昭和60年度入学生については適用しない。
 - (2) 昭和61年度入学生については、臨床検査技師、衛生検査技師に関する法律施行令第

第3類（杏林大学学則）

12条第3号の規定に基づく指定科目に限りこの表の該当科目を適用する。

（3）昭和62年度入学生については、この表を適用する。

附則

本学則は、平成3年4月1日から施行する。ただし、第3条の規定にかかわらず、平成3年度から平成11年度までの間の入学定員は、次のとおりとする。

学 部	学 科	入 学 定 員
医 学 部	医 学 科	90名
保 健 学 部	臨床検査技術学科	65名
	保 健 学 科	65名
社 会 科 学 部	社 会 科 学 科	330名
外 国 語 学 部	英 米 語 学 科	160名
	中 国 語 学 科	70名
	日 本 語 学 科	70名

附則

- 1 本学則は、平成3年10月1日から施行する。
- 2 学則第24条別表3は、平成4年4月1日在籍の学生から適用する。

附則

- 1 本学則は、平成5年4月1日から施行する。
- 2 別表1-2は平成5年度入学生から適用する。
- 3 平成4年度以前の入学生は別表1-1を適用する。ただし、平成5年度以降の入学生の学年進行に組み入れる平成4年度以前の入学生は別表1-2を適用する。

附則

- 1 本学則は、平成6年4月1日から施行する。
- 2 別表1-2は平成6年度入学生から適用する。
- 3 平成5年度の別表1-2の適用者は、平成6年度の別表1-2に読みかえる。
- 4 別表1-1の時間数は、別表1-2の同名科目単位数を時間数に換算して読みかえる。
- 5 別表1-1を適用する学生に別表1-2で開講する科目を受講させることができるものとする。ただし、その履修により修得した単位は、卒業の単位に算入しない。
- 6 保健学部臨床検査技術学科及び保健学科において、平成6年度以降の入学生の学年進行に組み入れる平成5年度以前の入学生は、保健学部履修規程に定める授業科目対応表により、別表2-2の授業科目を受講するものとする。ただし、単位認定については、別表2-1A及び2-1Bの授業科目で行う。
- 7 この学則を改正しようとするときは、杏林学園運営審議会の議を経たうえ、改正事項が単一の学部に係る場合は当該学部の教授会に、2つ以上の学部に関連する場合は、関連する学部の教授会に諮り、教授会構成員の3分の2以上が出席し出席者の3分の2以上の賛成を得たうえ、評議会の承認を得なければならない。

附則

- 1 本学則は、平成8年4月1日から施行する。
- 2 別表2-3及び別表6-2は平成8年度入学生から適用する。
- 3 保健学部臨床検査技術学科、保健学科及び看護学科において、平成8年度以降の入学生の学年進行に組み入れる平成6年度及び平成7年度の入学生は保健学部履修規程に定める

第3類（杏林大学学則）

授業科目対応表により、別表2 - 3の授業科目を受講するものとする。ただし、単位認定については、別表2 - 2の授業科目で行う。

附 則

本学則は、平成 9年 4月 1日から施行する。

附 則

本学則は、平成10年 4月 1日から施行する。ただし、第3条の規定にかかわらず、平成10年度から平成11年度までの間の入学定員は、次のとおりとする。

学 部	学 科	入 学 定 員
医 学 部	医 学 科	90名
保 健 学 部	臨床検査技術学科	65名
	保 健 学 科	65名
	看 護 学 科	80名
社会科学部	社 会 学 科	330名
外国語学部	英 米 語 学 科	160名
	中 国 語 学 科	70名
	日 本 語 学 科	100名

附 則

- 1 本学則は、平成11年 4月 1日から施行する。
- 2 別表2 - 3は平成11年度入学生から適用する。
- 3 保健学部臨床検査技術学科、保健学科及び看護学科において、平成11年度以降の入学生の学年進行に組み入れる平成6年度から平成10年度までの入学生は保健学部履修規程に定める授業科目対応表により別表2 - 3の授業科目を受講するものとする。ただし、単位認定については、平成6年度及び平成7年度入学生は、別表2 - 1の授業科目で行い、平成8年度から平成10年度までの入学生は別表2 - 2の授業科目で行う。

附 則

- 1 本学則は、平成11年 7月 1日から施行する。
- 2 第48条第1項は、平成12年度入学志願者から適用する。

附 則

- 1 本学則は、平成12年 4月 1日から施行する。
- 2 第3条の規定にかかわらず、平成12年度から平成16年度までの間の入学定員は、次のとおりとする。

第3類（杏林大学学則）

学 部	学 科	入 学 定 員				
		平成12年度	平成13年度	平成14年度	平成15年度	平成16年度
医 学 部	医 学 科	90名	90名	90名	90名	90名
保 健 学 部	臨床検査技術学科	55名	55名	55名	55名	55名
	保 健 学 科	55名	55名	55名	55名	55名
	看 護 学 科	80名	80名	80名	80名	80名
社会科学部	社 会 学 科	330名	330名	330名	310名	290名
外国語学部	英 米 語 学 科	160名	160名	160名	160名	160名
	中 国 語 学 科	70名	50名	50名	50名	50名
	日 本 語 学 科	100名	100名	80名	80名	80名

3 別表1-1は、削除する。

4 別表1-4は、平成12年度入学生から適用する。

5 平成8年度以前の入学生は、別表1-2、及び平成11年度以前の入学生は、別表1-3を適用する。ただし平成12年度以降の学年進行に組み入れる平成11年度以前の入学生は、別表1-4を適用する。

附 則

1 本学則は、平成13年 4月 1日から施行する。ただし、第6条の規定は、平成12年 7月 1日から施行する。

2 第2条の規定にかかわらず、平成13年 3月31日までに外国語学部英米語学科、中国語学科及び日本語学科に在籍する学生は、改正前の学則を適用するものとする。

3 第3条の規定にかかわらず、平成13年度から平成16年度までの間の入学定員は、次のとおりとする。

学 部	学 科	入 学 定 員			
		平成13年度	平成14年度	平成15年度	平成16年度
医 学 部	医 学 科	90名	90名	90名	90名
保 健 学 部	臨床検査技術学科	55名	55名	55名	55名
	保 健 学 科	55名	55名	55名	55名
	看 護 学 科	80名	80名	80名	80名
社会科学部	社 会 学 科	330名	330名	310名	290名
外国語学部	外 国 語 学 科	310名	290名	290名	290名

附 則

本学則は、平成13年 4月 1日から施行する。

附 則

1 本学則は、平成14年 4月 1日から施行する。

2 第2条の規定にかかわらず、平成14年 3月31日までに社会科学部社会科学科に在籍する学生は、平成14年 4月 1日以降、社会科学部社会科学科に在籍する学生の当

第3類（杏林大学学則）

該学年に、編入若しくは転学部等によって入学する学生についても、改正前の学則を適用するものとする。

3 第3条の規定にかかわらず、平成14年度から平成16年度までの間の入学定員は、次のとおりとする。

学 部	学 科	入 学 定 員		
		平成14年度	平成15年度	平成16年度
医 学 部	医 学 科	90名	90名	90名
保 健 学 部	臨 床 検 査 技 術 学 科	55名	55名	55名
	保 健 学 科	55名	55名	55名
	看 護 学 科	80名	80名	80名
総 合 政 策 学 部	総 合 政 策 学 科	330名	310名	290名
外 国 語 学 部	外 国 語 学 科	290名	290名	290名

附 則

本学則は、平成14年 4月 1日から施行する。

附 則

本学則は、平成15年 4月 1日から施行する。

附 則

本学則は、平成14年10月 1日から施行する。

附 則

本学則は、平成16年 4月 1日から施行する。

附 則

本学則は、平成15年 4月 1日から施行する。

附 則

本学則は、平成16年 4月 1日から施行する。

附 則

1 本学則は、平成16年 4月 1日から施行する。

2 第19条第1項第7号の規定は、平成16年度入学生から適用する。

3 別表1 - 3は、平成16年度入学生から適用する。

附 則

本学則は、平成17年 4月 1日から施行する。

附 則

（施行期日）

1 本学則は、平成18年 4月 1日から施行する。

（経過措置）

2 この学則による改正後の第2条、第3条、第41条、第41条の3及び第41条の4は、平成18年4月1日以降の入学生に適用し、平成17年10月1日以前の入学生及び平成19年10月1日以前の編入学生については、改正前の学則を適用する。なお、第3条に定める総合政策学部企業経営学科及び外国語学部の編入学定員は、平成20年4月1日以降の編入学生から適用する。また、学校図書館司書教諭講習修了証書の取得に関する専門

第3類（杏林大学学則）

科目の種類及び単位数は、別表5 - 2のとおりとする。ただし、別表5 - 2は、平成17年10月1日以前の入学生に適用する。

- 3 この学則による別表2 - 1保健学科の項中「社会福祉援助技術論」「社会福祉援助技術論」「社会福祉援助技術演習」「社会福祉援助技術演習」「社会福祉援助技術演習」「社会福祉援助技術演習」「社会福祉援助技術演習」「社会福祉援助技術演習」「社会福祉援助技術演習」「社会福祉援助技術演習」「社会福祉援助技術実習」「社会福祉援助技術現場実習指導」については、平成18年4月1日以降の履修者に適用し、平成17年4月1日以前の「社会福祉援助技術」「社会福祉援助技術」「社会福祉援助技術演習」「社会福祉援助技術実習」「社会福祉援助技術実習」の履修者については、改正前の学則を適用する。

附則

本学則は、平成17年8月1日から施行する。

附則

本学則は、平成18年4月1日から施行する。

附則

本学則は、平成18年4月1日から施行する。

附則

（施行期日）

- 1 本学則は、平成19年4月1日から施行する。

（経過措置）

- 2 この学則による改正後の第2条、第3条、第39条第2項、第41条、第41条の4及び別表2 - 2の規定は、平成19年4月1日以降の入学生に適用し、平成18年10月1日以前の入学生並びに平成19年10月1日以前の2年次編入学生及び平成20年10月1日以前の3年次編入学生については、改正前の学則を適用する。なお、第3条に定める編入学定員は、平成20年4月1日以降の2年次編入学生並びに平成21年4月1日以降の3年次編入学生から適用する。

- 3 前項の規定にかかわらず、保健学部臨床工学科については、別表2 - 1を適用する。

附則

（施行期日）

- 1 本学則は、平成19年4月1日から施行する。

（経過措置）

- 2 この学則による改正後の別表4 - 2の規定は、平成18年4月1日以降の入学生に適用する。

附則

（施行期日）

- 1 本学則は、平成20年4月1日から施行する。

（経過措置）

- 2 この学則による改正後の第2条、第3条及び第41条の規定は、平成20年4月1日以降の入学生に適用し、平成19年10月1日以前の入学生並びに平成21年10月1日以前の編入学生については、改正前の学則を適用する。

附則

（施行期日）

- 1 本学則は、平成20年4月1日から施行する。

第3類（杏林大学学則）

（経過措置）

- 2 別表3 - 2、別表3 - 3の改正は当該別表に定める入学生より適用する。

附 則

（施行期日）

- 1 本学則は、平成21年 4月 1日から施行する。

（経過措置）

- 2 この学則による改正後の第39条、第41条の4及び別表2 - 3の規定は、平成21年4月1日以降の入学生に適用し、平成20年10月1日以前の入学生及び平成21年10月1日以前の2年次編入学生並びに平成22年10月1日以前の3年次編入学生については、改正前の学則を適用する。
- 3 前項の規定にかかわらず、保健学部臨床工学科については別表2 - 1を、健康福祉学科及び救急救命学科については別表2 - 2を適用する。

第3類（杏林大学学則）

別表1 - 1

医学部授業科目及び単位数

平成9年度入学生から適用

（A表）

授 業 科 目	必 修	選 択	自 由	備 考
医 療 科 学	3			
医 療 科 学	3			
医 療 科 学	3			
医 療 科 学	3			
医 療 科 学	3			
臨 床 医 学 総 論			3	
基 礎 生 命 科 学	8			
基 礎 生 命 科 学	8			
基 礎 生 命 科 学	8			
基 礎 生 命 科 学	4			
英 語	6			
英 語	6			
医 学 英 語			3	
医 学 英 語			3	
ド イ ツ 語			6	
ド イ ツ 語			6	
フ ラ ン ス 語			6	
フ ラ ン ス 語			6	
ス ペ イ ン 語			6	
ス ペ イ ン 語			6	
中 国 語			6	
中 国 語			6	
体 育 実 技	1			小計 56単位

授 業 科 目	必 修	選 択	自 由	備 考
解 剖 学	7			各々の科目は実習を含む
解 剖 学	8			
生 理 学	5			
生 理 学	5			
生 化 学	5			
生 化 学	5			
薬 理 学	6			
病 理 学 総 論	3			
病 理 学 各 論	5			
微 生 物 学	6			
熱 帯 病 ・ 寄 生 虫 学	4			
衛 生 学	4			
法 医 学	4			
公 衆 衛 生 学	5			
公 衆 衛 生 学 実 習	1			

授業科目	必修	選択	自由	備考
内科学	6			
内科学実習	3			
内科学	4			
内科学実習	2			
内科学	4			
内科学実習	2			
高齢医学	2			
高齢医学実習	1			
精神神経科学	3			
精神神経科学実習	2			
小児科学	6			
小児科学実習	3			
外科学	3			
外科学実習	2			
外科学	3			
外科学実習	2			
小児外科学	1			
小児外科学実習	1			
救急医学	3			
救急医学実習	2			
脳神経外科学	3			
脳神経外科学実習	2			
胸部外科学	3			
胸部外科学実習	2			
整形外科	3			
整形外科実習	2			
皮膚科学	3			
皮膚科学実習	1			
形成外科学	1			
形成外科学実習	1			
泌尿器科学	3			
泌尿器科学実習	2			
眼科学	3			

第3類（杏林大学学則）

眼 科 学 实 习	1			
耳 鼻 咽 喉 科 学	3			
耳 鼻 咽 喉 科 学 实 习	1			
産 科 婦 人 科 学	6			
産 科 婦 人 科 学 实 习	2			
放 射 線 医 学	3			
放 射 線 医 学 实 习	2			
麻 醉 科 学	3			
麻 醉 科 学 实 习	1			
臨 床 病 理 学	2			
臨 床 病 理 学 实 习	1			
臨 床 免 疫 学	2			
臨 床 総 合 演 習	30			
			小計	141単位
	計			270単位

第3類(杏林大学学則)

別表1-2

医学部授業科目及び単位数

平成12年度入学生から適用

(A表)

授 業 科 目	必 修	選 択	自 由	備 考
医 療 科 学	3			
医 療 科 学	3			
医 療 科 学	3			
臨 床 医 学 総 論		3		
基 礎 生 命 科 学	8			
基 礎 生 命 科 学	8			
基 礎 生 命 科 学	8			
基 礎 生 命 科 学	4			
英 語	6			
英 語	6			
医 学 英 語			3	
医 学 英 語			3	
ド イ ツ 語			6	
ド イ ツ 語			6	
フ ラ ン ス 語			6	
フ ラ ン ス 語			6	
ス ペ イ ン 語			6	
ス ペ イ ン 語			6	
中 国 語			6	
中 国 語			6	
体 育 実 技	1			
				小計 53単位

(B表)

授 業 科 目	必 修	選 択	自 由	備 考
解 剖 学	7			各々の科目は実習を含む
解 剖 学	8			
生 理 学	5			
生 理 学	5			
生 化 学	5			
生 化 学	5			
薬 理 学 総 論	6			
病 理 学 各 論	3			
病 理 学 各 論	5			

第3類(杏林大学学則)

微生物学	6				
熱帯病・寄生虫学	4				
衛生学	4				
法医学	4				
公衆衛生学	5				
公衆衛生学実習	1				
				小計	73単位

(C表)

授業科目	必修	選択	自由	備考
内科学	6			
内科学実習	6			
内科学	4			
内科学実習	4			
内科学	4			
内科学実習	4			
高齢医学	2			
高齢医学実習	2			
精神神経科学	3			
精神神経科学実習	1			
小児科学	6			
小児科学実習	4			
総合医療学	3			
診断学実習	1			
外科学	3			
外科学実習	2			
外科学	3			
外科学実習	2			
小児外科学	1			
小児外科学実習	1			
救急医学	2			
救急医学実習	2			
脳神経外科学	3			
脳神経外科学実習	2			
心臓血管外科学	2			
心臓血管外科学実習	2			
整形外科学	3			
整形外科学実習	2			
皮膚科学	3			
皮膚科学実習	2			
形成外科学	1			
形成外科学実習	1			
泌尿器科学	2			
泌尿器科学実習	2			
眼科学	2			

第3類（杏林大学学則）

眼 科 学 实 习	1			
耳 鼻 咽 喉 科 学	2			
耳 鼻 咽 喉 科 学 实 习	1			
产 科 妇 人 科 学	6			
产 科 妇 人 科 学 实 习	3			
放 射 线 医 学	3			
放 射 线 医 学 实 习	2			
麻 醉 科 学	3			
麻 醉 科 学 实 习	1			
临 床 检 查 医 学	2			
临 床 检 查 医 学 实 习	1			
临 床 免 疫 学	2			
临 床 总 合 演 习	16			
			小計	138单位
			計	264单位

第3類（杏林大学学則）

別表1 - 3

医学部授業科目及び単位数

平成16年度入学生から適用

分野	分科	授 業 科 目	単 位 数			備 考
			必修	選択	自由	
医 療	科 学 と 医 療	医療科学 A	8			
		医療科学 B	4			
		医療科学 C	3			
		生物学	6			
		生体化学	8			
		医学物理学	8			
		医学統計学	2			
		プレチュートリアル	3			
と 教 養	外 国 語	英語 A	5			
		英語 B	5			
		医学英語 A	2			
		医学英語 B	1			
		ドイツ語 A			5	
		ドイツ語 B			5	
		フランス語 A			5	
		フランス語 B			5	
		スペイン語 A			5	
		スペイン語 B			5	
		中国語 A			5	
中国語 B			5			
医 学 の 基 礎	構 造 の 人 体	肉眼解剖学	8			
		組織解剖学	5			
	人 体 の 機 能	分子生物学	6			
		細胞生物学	3			
		代謝学 A	6			
		代謝学 B	2			
		生体統御生理学	4			
細胞生理学	4					

第3類（杏林大学学則）

	異常の発生と制御	薬理学総論 病理学総論 感染と防御 熱帯病・寄生虫学 法医学 衛生学 公衆衛生学	4 3 6 2 2 4 5			
臨床 系統 合 講 義	器官の構造・機能とその異常	臨床医学総論	3			
		神経	5			
		呼吸器	4			
		循環器	4			
		消化器	6			
		腎・尿路	4			
		内分泌・代謝	3			
		血液	3			
		精神	2			
		感覚器	3			
		運動器	2			
		皮膚・形成	2			
女性医学	2					
老 化	誕生・成長・	妊娠・分娩	2			
		発育・小児	2			
		老化と老年病	1			
		生活習慣病	1			
義	系統的異常	感染症	2			
		免疫・アレルギー	2			
		腫瘍	1			
		救命と救急医療	2			
		麻酔・全身管理	1			
臨床 実 習	グループ実習	臨床診断総論	8			
		内科学 実習	6			
		内科学 実習	4			
		内科学 実習	4			
		高齢医学実習	2			
		総合医療学実習	1			
		精神神経科学実習	2			
		小児科学実習	4			

第3類（杏林大学学則）

	外科学実習	4			
	小児外科学実習	1			
	救急医学実習	2			
	脳神経外科学実習	2			
	心臓血管外科学実習	2			
	整形外科実習	2			
	皮膚科学実習	2			
	形成外科学実習	1			
	泌尿器科学実習	2			
	眼科学実習	1			
	耳鼻咽喉科学実習	1			
	産科婦人科学実習	2			
	放射線医学実習	1			
	麻酔科学実習	1			
	臨床検査医学実習	1			
	病理学実習	1			
応用 実習	臨床応用実習	6			
	臨床総合演習	16			
計					255 単位

第3類（杏林大学学則）

別表1 - 4

医学部授業科目及び単位数

平成20年度入学生から適用

分野	分科	授 業 科 目	単 位 数			備 考
			必修	選択	自由	
医療と教養	科学と医療	医療科学 A	8			
		医療科学 B	4			
		医療科学 C	3			
		生物学	6			
		生体化学	8			
		医学物理学	8			
		医学統計学	2			
		プレチュートリアル	2			
	外国語	英語 A	5			
		英語 B	5			
		医学英語 A	2			
		医学英語 B	1			
		ドイツ語 A			5	
		ドイツ語 B			5	
		フランス語 A			5	
		フランス語 B			5	
		中国語 A			5	
		中国語 B			5	
		医学の基礎	人体の構造	肉眼解剖学	8	
組織解剖学	5					
人体の機能	分子生物学		6			
	細胞生物学		3			
	代謝生化学 A		6			
	代謝生化学 B		2			
	生体統御生理学		4			
	細胞生理学		4			
異常の発生と制御	薬理学総論		4			
	病理学総論		3			
	感染と防御		6			
	熱帯病・寄生虫学		2			
	法医学		2			
	衛生学		4			

第3類（杏林大学学則）

		公衆衛生学	5			
臨床統合講義	器官の構造・機能とその異常	臨床医学総論	3			
		神経	5			
		呼吸器	4			
		循環器	4			
		消化器	6			
		腎・尿路	4			
		内分泌・代謝	3			
		血液	3			
		精神	2			
		感覚器	3			
		運動器	2			
		皮膚・形成	2			
		女性医学	2			
		老化	誕生・成長・	妊娠・分娩	2	
発育・小児	2					
老化と老年病	1					
生活習慣病	1					
系統的異常		感染症	2			
		免疫・アレルギー	2			
		腫瘍	1			
		救命と救急医療	2			
		麻酔・全身管理	1			
臨床実習	グループ実習	臨床診断総論	8			
		内科学 実習	6			
		内科学 実習	4			
		内科学 実習	4			
		高齢医学実習	2			
		精神神経科学実習	2			
		小児科学実習	4			
		外科学実習	4			
		小児外科学実習	1			
		救急医学実習	2			
		脳神経外科学実習	2			
		心臓血管外科学実習	2			
		整形外科学実習	2			
		皮膚科学実習	2			
形成外科学実習	1					

第3類（杏林大学学則）

	泌尿器科学実習	2			
	眼科学実習	1			
	耳鼻咽喉科学実習	1			
	産科婦人科学実習	2			
	放射線医学実習	1			
	麻酔科学実習	1			
	臨床検査医学実習	1			
	病理学実習	1			
応用 実習	チュートリアル	2			
	臨床応用実習	6			
	臨床総合演習	16			
計					255単位

第3類(杏林大学学則)

別表2-1

保健学部学科目構成

(平成12年度入学生から適用)

臨床検査技術学科

授業科目	単位数			備考
	必修	選択	自由	
人文・社会学系				
哲学		2		10単位以上
心理学		2		
法学		2		
日本国憲		2		
社会学		2		
生命倫理		2		
芸		2		
数学系				
数学		2		3単位以上
統計学		1		
医療情報科		2		
計算機		2		
物理学系				
物理学		2		3単位以上
物理学実験		1		
医用工学概論		2		
医用工学実験		1		
化学系				
無機化学		2		3単位以上
生物有機化学		2		
生物有機化学		2		
化学実験		1		
生物学系				
生命科学概論		2		3単位以上
細胞生物学		2		
人類遺伝学		2		
生物学実験		1		
言語系				
日本語表現法	2			英語・(各2単位)又はフランス語・(各2単位)のどちらかを選択他に4単位以上英会話を履修していること
英語		2		
英語		2		
英語		2		
医学英語		2		
英会話		2		
英会話		2		
フランス語		2		
フランス語		2		
フランス語		2		
フランス語会話		2		
体育学系				

第3類 (杏林大学学則)

体 育 实 技	2		
体 育 实 技		1	
健 康 ス ポ ー ツ 科 学		2	
基礎医学系			
医 学 概 論	2		
公 衆 衛 生 学	2		
公 衆 衛 生 学		2	
解 剖 学	2		
解 剖 学		2	
解 剖 学 实 験	1		
病 理 学 实 験	2		
病 理 学 实 験	1		
生 理 学	2		
生 理 学		2	
生 理 学 实 験	1		
生 化 学	2		
生 化 学		2	
生 化 学 实 験	1		
血 液 学 实 験	2		
血 液 学 实 験	1		
免 疫 学 实 験	2		
免 疫 学 实 験	1		
微 生 物 学 实 験	2		
微 生 物 学 实 験	1		
医 動 物 学 实 験		2	
医 動 物 学 实 験		1	
薬 理 学		2	
医学検査系			
生 理 学 検 査		2	
生 理 学 検 査		2	
画 像 診 断 技 術		2	
生 理 学 検 査 実 習		1	
生 化 学 検 査		2	
生 化 学 検 査		2	
病 態 生 化 学		2	
生 化 学 検 査 実 習		1	
病 理 学 検 査		2	
病 理 学 検 査 実 習		1	
病 理 組 織 ・ 細 胞 検 査		2	
病 理 組 織 ・ 細 胞 検 査 実 習		1	
血 液 学 検 査		2	
血 液 学 検 査 実 習		1	
微 生 物 学 検 査		2	
微 生 物 学 検 査 実 習		1	
免 疫 学 検 査		2	
免 疫 学 検 査 実 習		1	
一 般 検 査		2	
一 般 検 査 実 習		1	

第3類 (杏林大学学則)

臨床医学概論	2	
臨床病理学	2	
臨床病理学	2	
検査管理	2	
検査総合演習	2	
医療関係法	2	
臨床実習	2	
臨床実習	4	
検査特別講義	1	
細胞検査法	2	
細胞検査演習	1	
細胞検査演習	1	
細胞検査演習	1	
細胞検査演習	1	
細胞検査演習	1	
細胞検査演習	1	
分子生物学系		
分子生物学	2	
分子生物学	2	
分子生物学実習	1	
臨床遺伝学	2	
遺伝子検査法	2	(実習を含む)
細胞遺伝学	2	
分子細胞生物学	2	
救急医学系		1 単位 30 時間 (実習を除く)
臨床内科学	1	
臨床内科学	1	
臨床内科学	1	
臨床内科学	1	
臨床内科学	1	
臨床内科学	1	
臨床内科学	1	
救急医学概論	1	
救急医学概論	1	
医学検査	1	
救急処置総論	1	
救急処置各論	2	
救急・災害医療	1	
臨床外科学	2	
臨床外科学	2	
臨床外科学	1	
臨床外科学	1	
一般救急救命学	1	
小児科	1	
産婦人科	1	
整形外科	1	
脳外科	1	

第3類 (杏林大学学則)

精神医学	1		
救命救助法	1		
シミュレーション	3		
シミュレーション	3		
シミュレーション	2		
病院内実習	10		
救急車同乗実習	3		
衛生学系			
産業保健学	2		
環境衛生工学	2		
放射線概論	2		
環境化学	2		
分析化学	2		
分析化学	2		
分析化学実験	1		放射性同位元素検査学を含む
食品栄養学	2		
食品衛生学	2		
食品製造学	2		
実験動物学	1		
動物実験実習論	1		実験動物学を履修していること
職業適性論	2		
労働衛生法規	2		
労働衛生法規	2		
総合			
移植コーディネータ論	2		
特別講義	2		
特別講義	2		
特別演習	1		
特別演習	1		
卒業研究	4		
計	33	235	124単位以上

保健学科

授業科目	単位数			備考
	必修	選択	自由	
人文・社会学系				
哲学		2		10単位以上
心理学		2		
法理学		2		
日本国憲		2		
社会学		2		
生命倫理		2		
教育心理学		2		
芸		2		
数学系				
数学		2		3単位以上
統計学演習	1			

第3類 (杏林大学学則)

医療情報科学 計 算 機 演 習	2	2	
物理学系			
物理学 学 験		2	3 単位以上
物理学 実 験 論	1	1	
医用工学 概 論 験	2	1	
医用工学 実 験	1	1	
化学系			
無機化学 学		2	3 単位以上
生物有機化学		2	
生物有機化学		2	
生物有機化学 実 験		1	
生物学系			
生命科学 概 論		2	3 単位以上
細胞生物学 学 験		2	
微生物学 実 験		1	
言語系			
日本語 表現 法	2		英語 ・ (各2単位) 又はフランス語 ・ (各2単位) のどちらかを選択他に4単位以上英会話を履修していること
英語 語 学		2	
英語 語 学		2	
英語 語 学		2	
医学 英語		2	
英会話		2	
英会話		2	
フランス語		2	
フランス語		2	
フランス語 会 話		2	
体育学系			
体育 実 技	2		
体育 実 技		1	
健康スポーツ科学		2	
基礎医学系			
医学 概 論		2	
公衆衛生学		2	
公衆衛生学		2	
解剖学 学	2		
解剖学 学 験		2	
解剖学 実 験		1	
病理学 学 験	2		
病理学 実 験		1	
生理学 学	2		
生理学 学 験		2	
生理学 実 験		1	
生化学 学	2		
生化学 学 験		2	
生化学 実 験		1	
血液学 学 験	2		

第3類(杏林大学学則)

血液学実験		1	
免疫疫学実験	2	1	
免疫生物学実験	2	1	
微生物学実験		1	
医動物学実験		2	
医動物学実験		1	
薬理学		2	
保健学系			
保健学生概論	2		
人類学生保健学		2	
環境保健学		2	
疫学		2	
保健管理		2	
保健社会		2	
母子保健学		2	
成人保健学		2	
精神保健学		2	
保健栄養学		2	
人類遺伝学		2	
健康教育学		2	
健康教育学		2	
人間適応論		1	
人口学		1	
保健学基礎実習	2		
保健学基礎実習	4		
保健学実習A		1	
保健学実習B		1	
福祉・養護系			
社会福祉学		2	
社会福祉政策論		2	
老人福祉論		2	
高齢保健学		2	
障害者福祉論		4	
児童福祉論		2	
社会保障論		4	
公的扶助論		2	
地域福祉論		2	
社会福祉援助技術総論		4	
社会福祉援助技術論		2	
社会福祉援助技術論		2	
社会福祉援助技術演習		1	
社会福祉援助技術演習		1	
社会福祉援助技術演習		2	
社会福祉援助技術演習		2	
社会福祉援助技術演習		2	
社会福祉援助技術実習		4	
社会福祉援助技術現場実習指導		4	

4 単位以上
小児保健を含む

食品学を含む

保健科指導研究
保健科指導研究

第3類(杏林大学学則)

地域保健学	2	
養護学概論	2	
学校保健学	2	学校安全を含む
学校保健学	2	
健康相談学	2	
臨床心理学	2	
カウンセリング	2	
看護学	2	
看護学	2	
看護学	2	
看護学実習	2	
救急看護学	2	
国際保健学	1	
移植コーディネータ	2	
環境・食品系		
産業保健学	2	
環境衛生工学	2	
環境科学	2	
放射線概論	2	
環境化学	2	
分析化学	2	
分析化学	2	
分析化学実験	1	放射性同位元素検査学を含む
環境生物	2	
食品栄養学	2	
食品衛生学	2	
食品製造学	2	
実験動物学	1	
動物実験実習	1	実験動物学を履修していること
職業適性論	2	
労働衛生法規	2	
労働衛生法規	2	
臨床検査系		
生理学検査	2	
生理学検査	2	
画像診断技術	2	
生理学検査実習	1	
生化学検査	2	
生化学検査	2	
生化学検査実習	1	
病理学検査	2	
病理学検査実習	1	
血液学検査	2	
血液学検査実習	1	
微生物学検査	2	
微生物学検査実習	1	
免疫学検査	2	
免疫学検査実習	1	

第3類 (杏林大学学則)

一般検査	2	
一般検査実習	1	
臨床医学概論	2	
医療関係法規	2	
臨床実習	2	
臨床実習	4	
検査特別講義	1	
遺伝医学系		
分子生物学	2	
分子生物学	2	
分子生物学実習	1	
臨床遺伝学	2	
遺伝子検査法	2	(実習を含む)
細胞遺伝学	2	
分子細胞生物学	2	
救急医学系		1 単位 30 時間(実習を除く)
臨床内科学	1	
臨床内科学	1	
臨床内科学	1	
臨床内科学	1	
臨床内科学	1	
臨床内科学	1	
臨床内科学	1	
救急医学概論	1	
救急医学概論	1	
医学検査	1	
救急処置総論	1	
救急処置各論	2	
救急・災害医療	1	
臨床外科学	2	
臨床外科学	2	
臨床外科学	1	
臨床外科学	1	
一般救急救命学	1	
小児科	1	
産婦人科	1	
整形外科	1	
脳外科	1	
精神医学	1	
救命救助法	1	
シミュレーション	3	
シミュレーション	3	
シミュレーション	2	
病院内実習	10	
救急車同乗実習	3	
総合特別講義	2	

第3類（杏林大学学則）

特 特 特 特 總 卒	別 別 別 合 業	講 演 演 合 業	義 習 習 演 研 習 究	4	2 1 1 2		
計				3 3	3 2 7		1 2 4 単位以上

第3類 (杏林大学学則)

看護学科

授 業 科 目	単 位 数			備 考
	必 修	選 択	自 由	
一般教養領域				
人間科学系				
哲 学		2		1 2 単位以上
生 命 倫 理 学		2		
法 学		2		
日 本 国 憲 法 学		2		
心 理 学		2		
発 達 心 理 学		2		
社 会 福 祉 学		2		
社 会 福 祉 学 術		2		
体 育 実 技		1		1 単位以上
体 育 実 技		1		
健 康 と ス ポ ー ツ 論		2		
自然科学系				
統 計 学		2		6 単位以上
人 類 遺 伝 学		2		
物 理 学 概 論		2		
化 学 概 論		2		
生 命 科 学 概 論		2		
情 報 処 理 論	2			
言語系				
英 語	2			6 単位以上 英会話 を履修している こと
英 語	2			
英 語		2		
英 語		2		
英 会 話		2		
英 会 話		2		
フ ラ ン ス 語		2		
フ ラ ン ス 語		2		
日 本 語 表 現 法		2		
専門基礎領域				
解 剖 学	2			
生 理 学	2			
生 殖 生 理 学		1		
生 化 学	1			
病 理 学	2			
疾 病 論	2			
疾 病 論	2			
微 生 物 学	2			
免 疫 学		1		
栄 養 学	2			
薬 理 学	2			
公 衆 衛 生 学	1			
臨 床 心 理 学		1		

第3類（杏林大学学則）

関係法規	1		
専門領域			
基礎看護学系			
看護学概論	2		
看護学概論	2		
看護方法	2		演習
看護方法	2		演習
看護方法	2		演習
看護方法	2		演習
看護方法	2		演習
カウンセリング		1	
基礎看護学実習	1		
基礎看護学実習	2		
在宅看護学系			
在宅ケア論	1		
在宅ケア論	1		
在宅看護学実習	2		
成人・高齢者看護学系			
成人看護学概論	1		
高齢者看護学概論	1		
成人保健学	1		
高齢者保健学	1		
成人看護学 a	1		
成人看護学 b	1		
成人看護学 a	2		
成人看護学 b	2		
高齢者看護学	1		
高齢者看護学	1		
成人看護学実習	3		
成人看護学実習	3		
成人看護学実習	2		クリティカルケア、バリアティブケア、リハビリテーションから1科目選択
高齢者看護学実習	1		
高齢者看護学実習	3		
精神看護学系			
精神看護学概論	1		
精神保健学	2		
精神看護学	1		
精神看護学実習	2		
母子看護学系			
母子看護学概論	2		
母性保健学	1		
小児保健学	1		
母性看護学	1		
母性看護学	2		
小児看護学	1		
小児看護学	2		
母性看護学実習	2		

第3類(杏林大学学則)

小児看護学実習	2		
地域看護学系			
地域看護学概論	2		
地域看護学	1		
地域看護活動論	3		
保健指導総論	1		
地域看護学実習	2		
保健学系			
保健管理学	2		
健康教育学	2		
環境保健学	2		
産業保健学	2		
保健福祉行政論	2		
疫学	2		
保健統計	2		
学校保健概論	2		学校安全を含む
養護学概論	2		
学校保健学	2		
学校保健学	2		
健康相談	2		
臨床検査学系			
臨床検査管理総論	1		
臨床遺伝学	1		
医用工学概論	1		
放射線概論	1		
助産学系			
助産学概論	1		
助産診断・技術学	1		
助産診断・技術学	3		
助産診断・技術学	3		
助産管理学	1		
助産学特論	1		
助産学実習	7		
助産学実習	1		
総合領域			
医療概論	1		
看護管理学	1		
看護教育論	1		
移植コーディネータ論	2		
基礎看護学特論	1		
成人看護学特論	1		
高齢者看護学特論	1		
精神看護学特論	1		
母子看護学特論	1		
地域看護学特論	1		
特別講義	2		
特別講義	2		
総合演習	2		

第3類（杏林大学学則）

卒 業 研 究	4			
計	1 1 2	1 0 4		1 3 7 単位以上

第3類(杏林大学学則)

臨床工学科(平成18年度入学生から適用)

授 業 科 目	単 位 数			備 考
	必 修	選 択	自 由	
人文・社会学系				10単位以上
哲 学		2		
心 理 学		2		
法 学		2		
日 本 国 憲 法 学		2		
社 会 学		2		
生 命 倫 理 学		2		
発 達 心 理 学		2		
芸 術 学		2		
数学系				
数 学	2			
統 計 学 演 習		1		
医 療 情 報 科 学		2		
計 算 機 演 習 学	2			
応 用 数 学	2			
物理学系				
基 礎 電 気 学	2			
基 礎 電 子 回 路	2			
医 用 工 学 概 論	2			
化学系				3単位以上
無 機 化 学		2		
生 物 有 機 化 学		2		
生 物 有 機 化 学 実 験		1		
生物学系				3単位以上
生 命 科 学 概 論		2		
細 胞 生 物 学		2		
人 類 遺 伝 学		2		
生 物 学 実 験		1		
言語系				英語 ・ (各2単位)又はフランス語 ・ (各2単位)のどちらかを選択他に4単位以上
日 本 語 表 現 法	2			
英 語		2		
英 語		2		
英 語		2		
医 学 英 語		2		
英 会 話		2		

第3類(杏林大学学則)

英 会 話		2	英会話 を履修している こと	
フ ラ ン ス 語		2		
フ ラ ン ス 語		2		
フ ラ ン ス 語		2		
フ ラ ン ス 語 会 話		2		
体育学系				
体 育 実 技	2		2 単位以上	
体 育 実 技		1		
健 康 ス ポ ー ツ 科 学		2		
基礎医学系				
医 学 概 論	2			
公 衆 衛 生 学	2			
公 衆 衛 生 学		2		
解 剖 学	2			
解 剖 学		2		
病 理 学	2			
生 理 学	2			
生 理 学	2			
生 理 学 実 験	1			
生 化 学		2		
生 化 学		2		
血 液 学		2		
免 疫 学		2		
微 生 物 学		2		
医 動 物 学		2		
薬 理 学		2		
看 護 学		2		
医学検査系				
生 理 学 検 査	2			
生 理 学 検 査	2			
画 像 診 断 技 術		2		
生 理 学 検 査 実 習		1		
医 学 検 査		2		
臨 床 病 理 学		2		
臨 床 遺 伝 学		2		
臨床工学系				
医 用 電 気 工 学		2		
医 用 電 気 工 学 実 習		1		
医 用 電 子 工 学		2		

第3類(杏林大学学則)

医用電子工学実習	1		
システム工学	2		
医用情報処理工学	2		
医用情報工学実習	1		
医用計測工学	2		
医用計測工学実習	1		
医用機械工学	2		
生体物性学	2		
生体材料工学	2		
医用機器学概論	2		
医用計測機器学	2		
医用計測機器学実習	1		
医用治療機器学	2		
医用治療機器学実習	1		
生体機能代行装置学概論	2		
生体機能代行装置学基礎実習	1		
呼吸関連機器学	2		
呼吸関連機器学実習	1		
血液浄化装置学	2		
血液浄化装置学実習	1		
体外循環機器学	2		
体外循環機器学実習	1		
医用機器安全管理学	2		
医用機器安全管理学	2		
安全管理学実習	1		
臨床医学総論	2		
臨床医学総論	2		
臨床医学総論	2		
臨床医学総論	2		
医療関係法規	2		
臨床実習講義	1		
臨床実習	3		
衛生学系			
産業保健学	2		
環境衛生工学	2		
放射線概論	2		
環境化学	2		
分析化学	2		
分析化学	2		

第3類（杏林大学学則）

食 品 栄 養 学		2		
食 品 衛 生 学		2		
食 品 製 造 学		2		
職 業 適 性 論		2		
勞 働 衛 生 法 規		2		
勞 働 衛 生 法 規		2		
救 命 救 助 法		1		
総合				
特 別 講 義		2		
特 別 講 義		2		
特 別 演 習		1		
特 別 演 習		1		
總 合 演 習		2		
卒 業 研 究	4			
計	37	177		124 単位以上

第3類（杏林大学学則）

別表2 - 2

保健学部学科目構成

（平成19年度入学生から適用）

臨床検査技術学科

授業科目	単位数			備考
	必修	選択	自由	
人文・社会学系				
哲学		2		10 単位以上
心理学		2		
法学		2		
日本国憲法		2		
社会学		2		
生命倫理		2		
芸		2		
数学・物理学系				
数学		2		6 単位以上
医療情報科学		2		
医療情報処理		2		
医療情報処理演習		2		
基礎物理学		1		
物理学		2		
物理学実験		1		
医用工学概論		2		
医用工学実験		1		
化学系				
基礎化学		1		4 単位以上
無機化学		2		
生物有機化学		2		
生物有機化学		2		
化学実験		1		
生物学系				
基礎生物学		1		4 単位以上
生命科学概論		2		
細胞生物学		2		
人類遺伝学		2		
生物学実験		1		
言語系				
日本語表現法		2		

第3類 (杏林大学学則)

英 語		2	
英 語		2	
英 語		2	— 10 単位以上
英 語		2	
英 会 話		2	
医 学 英 語		2	
体育学系			
健康スポーツ科学		2	
体育実技	2		
基礎医学系			
医学概論	2		
医学検査概論	2		
保健学概論	2		
保健学概論		2	
公衆衛生学	2		
公衆衛生学		2	
解剖学	2		
解剖学		2	
解剖・組織学実験	1		
病理学	2		
病理学実験	1		
生理学	2		
生理学		2	
生理学実験	1		
生化学	2		
生化学		2	
生化学実験	1		
血液学	2		
血液学実験	1		
免疫学	2		
免疫学実験	1		
微生物学	2		
微生物学実験	1		
医動物学	2		
遺伝子工学		2	
遺伝子工学実験		1	
分子生物学		2	

第3類（杏林大学学則）

分子細胞生物学		2	
薬理学		2	
実験動物学		1	
動物実験実習		1	
救命救助法		1	
医学検査系			
生理機能検査学	2		
生理機能検査学		2	
生理機能検査学実習		2	
画像診断技術		2	
臨床化学検査学	2		
臨床化学検査学		2	
臨床化学検査学実習		2	放射性同位元素検査技術を含む
放射線概論		2	
染色体学		2	
臨床遺伝学		2	
遺伝子・染色体検査学	2		
遺伝子・染色体検査学実習		1	
病理診断学	2		
病理検査学		2	
病理検査学実習		2	
細胞診断学		2	
細胞診断学実習		1	
血液検査学	2		
血液検査学実習		2	
医動物検査学実習		1	
微生物検査学	2		
微生物検査学		2	
微生物検査学実習		2	
免疫検査学	2		
免疫検査学		2	
免疫検査学実習		2	
一般検査学	2		
一般検査学実習		1	
臨床病態学		2	
臨床病態学		2	
検査管理学		2	

第3類 (杏林大学学則)

分 析 化 学		2		
分 析 化 学		2		
分 析 化 学 实 験		1		
専 門 实 験 ・ 实 習 手 法	1			
臨 地 实 習		6		
保健学系				
医 療 福 祉 概 論		2		
国 際 保 健 学		2		
生 活 習 慣 病 論		2		
衛生学系				
産 業 保 健 学		2		
環 境 衛 生 工 学		2		
環 境 化 学		2		
食 品 栄 養 学		2		
食 品 衛 生 学		2		
食 品 製 造 学		2		
職 業 適 性 論		2		
劳 働 衛 生 法 規		2		
劳 働 衛 生 法 規		2		
自由専攻				
細 胞 診 断 学 演 習		1		
細 胞 診 断 学 演 習		1		
細 胞 診 断 学 演 習		1		
細 胞 診 断 学 演 習		1		
細 胞 診 断 学 演 習		1		
遺 伝 ・ バイオ技術系特別演習		1		
遺 伝 ・ バイオ技術系特別演習		1		
細 胞 ・ 組 織 ・ 形 態 系 特 別 演 習		1		
細 胞 ・ 組 織 ・ 形 態 系 特 別 演 習		1		
感 染 症 制 御 系 特 別 演 習		1		
感 染 症 制 御 系 特 別 演 習		1		
生 殖 ・ 移 植 医 療 系 特 別 演 習		1		
生 殖 ・ 移 植 医 療 系 特 別 演 習		1		
化 学 系 特 別 演 習		1		
化 学 系 特 別 演 習		1		
生 理 機 能 系 特 別 演 習		1		
生 理 機 能 系 特 別 演 習		1		

第3類（杏林大学学則）

治験コーディネート特別演習		1		
薬事申請特別演習		1		
総合				
総合医療演習		1		
総合医療演習	2			
移植コーディネータ論		2		
生命倫理学特論		2		
インターンシップ		4		
卒業研究		4		4単位以上
計	52	192		124単位以上

健康福祉学科

授業科目	単位数			備考	
	必修	選択	自由		
人文・社会学系					
哲学		2		10単位以上	
心理学		2			
法学		2			
日本国憲法		2			
社会学		2			
生命倫理学		2			
教育心理学		2			
発達心理学		2			
芸術学		2			
民俗学		2			
国際関係論		2		10単位以上	
社会心理学		2			
自然科学系					
数学		2			
統計学演習		2			
医療情報科学		2			
情報処理演習		2			
物理		2			
物理学実験		1			
医用工学概論		2			
医用工学実験		1			

第3類 (杏林大学学則)

無機化学		2	
生物有機化学		2	
生物有機化学		2	
化学実験		1	
生命科学概論		2	
生物学実験		1	
言語系			
日本語表現法		2	
英語		2	英語 ・ (各2単位) 又はフランス語 ・ (各2単位) のどちらかを選択 他に4単位以上
英語		2	
英語		2	
医学英語		2	
英会話		2	
フランス語		2	
フランス語		2	
フランス語		2	
フランス語会話		2	
体育学系			
体育実技		2	
体育実技		1	
健康スポーツ科学		2	
基礎医学系			
医学概論		2	
公衆衛生学	2		
公衆衛生学		2	
解剖学	2		
解剖学		2	
解剖学実験		1	
病理学	2		
病理学実験		1	
生理学	2		
生理学		2	
生理学実験		1	
生化学	2		
生化学		2	
生化学実験		1	
血液学		2	

第3類（杏林大学学則）

血液学実験	1	
免疫学	2	
免疫学実験	1	
微生物学	2	
微生物学実験	1	
薬理学	2	
救命救助法	1	
専門基礎		
保健学概論	2	
保健学概論	2	
保健学基礎実習	1	
保健学発展実習（社会調査系）	1	
保健学発展実習（健康教育系）	1	
保健学発展実習（環境系）	1	
保健学発展実習（遺伝系）	1	
保健学発展実習（心理検査系）	1	
保健学応用実習A	1	
保健学応用実習B	1	
基礎保健学系		
人類生態学	2	
環境保健学	2	
疫学	2	
保健管理学	2	
健康社会学	2	
母子保健学	2	小児保健を含む
成人保健学	2	
精神保健学	2	
保健栄養学	2	食品学を含む
人類遺伝学	2	
健康教育学	2	
社会福祉学	2	
ライフステージと心理	2	
生活と看護	2	
発展保健学系		
健康教育学	2	
栄養生態学	2	
人口学	2	

第3類（杏林大学学則）

地 域 保 健 学	2	
国 際 保 健 学	2	
臨 床 心 理 学	2	
細 胞 遺 伝 学	2	
現 代 社 会 と 心 の 病 理 学	2	
認 知 心 理 学	2	
社会福祉学系		
社 会 福 祉 政 策 論	2	
老 人 福 祉 論	2	
高 齢 保 健 学	2	
障 害 者 福 祉 論	4	
児 童 福 祉 論	2	
社 会 保 障 論	4	
公 的 扶 助 論	2	
地 域 福 祉 論	2	
社 会 福 祉 援 助 技 術 総 論	4	
社 会 福 祉 援 助 技 術 論	2	
社 会 福 祉 援 助 技 術 論	2	
社 会 福 祉 援 助 技 術 演 習	1	
社 会 福 祉 援 助 技 術 演 習	1	
社 会 福 祉 援 助 技 術 演 習	2	
社 会 福 祉 援 助 技 術 演 習	2	
社 会 福 祉 援 助 技 術 演 習	2	
社 会 福 祉 援 助 技 術 実 習	6	
社 会 福 祉 援 助 技 術 現 場 実 習 指 導	6	
医 療 福 祉 論	2	
家 族 福 祉 論	2	
セ ル フ ヘ ル プ グ ル ー プ 論	2	
保 健 福 祉 論	2	
初 め て の 社 会 福 祉	2	
学校保健学系		
学 校 保 健 学	2	学校安全を含む
学 校 保 健 学	2	
学 校 看 護 学	1	
健 康 相 談	2	
健 康 相 談	1	
養 護 学 概 論	2	

第3類（杏林大学学則）

カウンセリング	2		
精神医学	1		
保健科指導研究	2		
保健科指導研究	2		
看護学	2		
看護学	2		
看護学	2		
看護学実習	2		
救急看護学	2		
環境・食品学系			
産業保健学	2		
環境衛生工学	2		
環境科学	2		
放射線概論	2		
分析化学	2		
分析化学	2		
分析化学実験	1		放射性同位元素検査学を含む
食品栄養学	2		
食品衛生学	2		
食品製造学	2		
職業適性論	2		
労働衛生法規	2		
労働衛生法規	2		
総合			
コーディネータ論	2		
特別講義	2		
特別講義	2		
特別演習	1		
特別演習	1		
教職総合演習	2		
ボランティア活動	2		
インターンシップ	2		
卒業研究	4		
計	24	273	124単位以上

看護学科

授業科目	単位数	備考
------	-----	----

第3類（杏林大学学則）

	必修	選択	自由	
一般教養領域				
人間科学系				
哲学		2		10単位以上
生命倫理学		2		
法学		2		
日本国憲法		2		
心理学		2		
発達心理学		2		
社会心理学		2		
社会福祉学		2		
芸術		2		
ホスピタリティ論		2		
文化人類学		2		1単位以上
国際関係論		2		
健康スポーツ科学		2		1単位以上
体育実技		1		
自然科学系				
統計学		2		4単位以上
人類遺伝学		2		
物理学概論		2		
化学概論		2		
生命科学概論		2		
情報処理論	2			
言語系				
英語	2			6単位以上
英語	2			
英語		2		
英会話		2		
医学英語		2		
フランス語		2		
フランス語		2		
フランス語		2		
フランス語会話		2		
日本語表現法		2		
専門基礎領域				
基礎医学系				

第3類（杏林大学学則）

解剖学	2		
生理学	2		
生化学	2		
栄養学	2		
病理態学	2		
病理態学	2		
微生物学	2		
薬理学	2		
公衆衛生学	2		
関係法規	1		
力ウンセリング		1	
臨床心理学		1	
血液学		2	
免疫学		2	
医学概論		2	
専門領域			
基礎看護学系			
看護学概論	2		
看護方法演習	2		
看護方法演習	2		
看護方法演習	2		
看護方法演習	2		
基礎看護学実習	1		
基礎看護学実習	2		
在宅看護学系			
在宅ケア論	2		
在宅ケア演習	2		
在宅看護学実習	2		
成人・高齢者看護学系			
成人看護学概論	1		
成人看護学	2		
成人看護学	2		
成人看護学演習	2		
成人看護学実習	4		
成人看護学実習	4		
高齢者看護学概論	1		
高齢者看護学	2		

第3類（杏林大学学則）

高齡者看護学実習	2		
高齡者看護学実習	2		
精神看護学系			
精神看護学概論	1		
精神看護学	2		
精神看護学実習	2		
精神看護学演習	1		
母子看護学系			
母性看護学概論	1		
母性看護学	2		
母性看護学演習	1		
母性看護学実習	2		
小児看護学概論	1		
小児看護学	2		
小児看護学演習	1		
小児看護学実習	2		
地域看護学系			
地域看護学概論	2		
地域看護学	2		
地域看護学演習	2		
地域看護学演習	2		
地域看護学実習	2		
地域看護学実習	1		
保健学系			
健康教育学		2	
産業保健学		2	
保健福祉行政論	2		
疫学・保健統計学	2		
保健統計	2		
保健学概論		1	
保健学		1	
保健学	1		
保健学		1	
保健学	1		
養護学概論		2	
学校保健学		2	
学校保健学		2	

第3類（杏林大学学則）

健康相談		2	
健康教育学		2	
地域福祉論	2		
児童福祉論		2	
老人福祉論	2		
臨床検査学系			
医用工学概論		2	
助産学系			
助産学概論		1	
助産診断・技術学		2	
助産診断・技術学		2	
助産診断・技術学		2	
助産診断・技術学		2	
助産診断・技術学		2	
助産管理学		1	
助産学特論		1	
助産学実習		6	
助産学実習		2	
総合領域			
看護管理学		1	
看護教育論		1	
移植コーディネータ論		1	
特別講義		1	
看護理論		1	
看護倫理		1	
疾病論		2	
教職総合演習		2	
死生学		1	
遺伝看護		1	
地域活動論	2		
総合看護		2	
救急看護学		2	
医療安全		1	
国際看護活動論		1	
災害看護活動論		1	
ボランティア活動		2	
インターンシップ		4	

4 単位以上

第3類（杏林大学学則）

卒業研究		4		
計	109	132		134 単位以上

救急救命学科

授業科目	単位数			備考
	必修	選択	自由	
人文・社会学系				
哲学		2		10 単位以上
法学		2		
日本国憲法学		2		
社会学		2		
倫理学		2		
生命倫理学		2		
心理学		2		
発達心理学		2		
教育心理学		2		
芸民俗学		2		
数学・物理学系				
基礎物理学		1		4 単位以上
物理学		2		
医用工学概論		2		
数学		2		
統計学		2		
医療情報科学		2		
情報処理演習		2		
化学系				
基礎化学		1		3 単位以上
無機化学		2		
生物有機化学		2		
生物有機化学		2		
化学実験		1		
生物学系				
基礎生物学		1		3 単位以上
生命科学概論		2		
細胞生物学		2		
人類遺伝学		2		

第3類（杏林大学学則）

生物学実験		1	4 単位以上
言語系			
日本語表現法		2	
英語	2		
英語	2		
英語		2	
英語		2	
英語		2	
医学英語		2	
フランス語		2	
フランス語		2	
フランス語		2	
フランス語会話		2	
体育学系			
健康スポーツ科学		2	
体育実技	2		
体育実技	1		
基礎医学系			
医学概論		2	
公衆衛生学	2		
公衆衛生学		2	
解剖学	2		
解剖学		2	
生理学	2		
生理学		2	
生化学	2		
病理学	2		
微生物学	2		
血液学		2	
免疫学		2	
薬理学	2		
救命救助法	1		
救急医学系			
内科学	2		
内科学	2		
内科学	2		
内科学		2	

第3類（杏林大学学則）

内科学		2	
内科学		2	
医療コミュニケーション学		2	
医療安全論		2	
救急医学概論	2		
救急処置総論	2		
救急処置各論	2		
災害医学		2	
外科学		2	
外科学		2	
外傷学		2	
環境障害・急性中毒学		2	
救急搬送論		2	
小児科学		2	
産婦人科学		2	
整形外科学		2	
脳外科学		2	
精神医学		2	
放射線概論		2	
シミュレーション	2		
シミュレーション	2		
シミュレーション		3	
シミュレーション		3	
シミュレーション		2	
シミュレーション		2	
病院内実習		10	
救急車同乗実習		3	
衛生学系			
産業保健学		2	
環境衛生工学		2	
職業適性論		2	
労働衛生法規		2	
労働衛生法規		2	
総合			
移植コーディネータ論		2	
特別講義		2	
特別講義		2	

第3類（杏林大学学則）

特 別 演 習		1		
特 別 演 習		1		
ボ ラ ン テ ィ ア 活 動		2		
イ ン タ ー ン シ ッ プ		4		
卒 業 研 究		4		4 単位以上
計	3 8	1 6 8		1 2 4 単 位 以 上

第3類（杏林大学学則）

別表2 - 3

保健学部学科目構成

（平成21年度入学生から適用）

臨床検査技術学科

授業科目	単位数			備考
	必修	選択	自由	
人文・社会学系				
哲		2		10単位以上
心 理 学		2		
法 学		2		
日 本 国 憲 法 学		2		
社 会 学		2		
生 命 倫 理 学		2		
芸 術 学		2		
数学・物理学系				
数 学		2		6単位以上
医 療 情 報 科 学		2		
医 療 情 報 処 理		2		
医 療 情 報 処 理 演 習		2		
基 礎 物 理 学		1		
物 理 学		2		
物 理 学 実 験		1		
医 用 工 学 概 論		2		
医 用 工 学 実 験		1		
化学系				
基 礎 化 学		1		4単位以上
無 機 化 学		2		
生 物 有 機 化 学		2		
生 物 有 機 化 学		2		
化 学 実 験		1		
生物学系				
基 礎 生 物 学		1		4単位以上
生 命 科 学 概 論		2		
細 胞 生 物 学		2		
人 類 遺 伝 学		2		
生 物 学 実 験		1		
言語系				

第3類 (杏林大学学則)

日 本 語 表 現 法	2	10 単位以上
英 語	2	
英 語	2	
英 語	2	
英 語 会 話	2	
医 学 英 語	2	
体育学系		
健康スポーツ科学	2	
基礎医学系		
医 学 概 論	2	
医 学 検 査 概 論	2	
保 健 学 概 論	2	
保 健 学 概 論	2	
公 衆 衛 生 学	2	
公 衆 衛 生 学	2	
解 剖 学	2	
解 剖 学	2	
解 剖 ・ 組 織 学 実 験	1	
病 理 学	2	
病 理 学 実 験	1	
生 理 学	2	
生 理 学	2	
生 理 学 実 験	1	
生 化 学	2	
生 化 学	2	
生 化 学 実 験	1	
血 液 学	2	
血 液 学 実 験	1	
免 疫 学	2	
免 疫 学 実 験	1	
微 生 物 学	2	
微 生 物 学 実 験	1	
医 動 物 学	2	
遺 伝 子 工 学	2	
遺 伝 子 工 学 実 験	1	
分 子 生 物 学	2	

第3類（杏林大学学則）

分子細胞生物学	2	
薬理学	2	
実験動物学	1	
動物実験実習	1	
救命救助法	1	
医学検査系		
生理機能検査学	2	
生理機能検査学	2	
生理機能検査学実習	2	
画像診断技術	2	
臨床化学検査学	2	
臨床化学検査学	2	
臨床化学検査学実習	2	放射性同位元素検査技術を含む
放射線概論	2	
染色体学	2	
臨床遺伝学	2	
遺伝子・染色体検査学	2	
遺伝子・染色体検査学実習	1	
病理診断学	2	
病理検査学	2	
病理検査学実習	2	
細胞診断学	2	
細胞診断学実習	1	
血液検査学	2	
血液検査学実習	2	
医動物検査学実習	1	
微生物検査学	2	
微生物検査学	2	
微生物検査学実習	2	
免疫検査学	2	
免疫検査学	2	
免疫検査学実習	2	
一般検査学	2	
一般検査学実習	1	
臨床病態学	2	
臨床病態学	2	
検査管理学	2	

第3類 (杏林大学学則)

分 析 化 学		2	
分 析 化 学		2	
分 析 化 学 实 験		1	
専 門 実 験 ・ 実 習 手 法	1		
臨 地 実 習		6	
保健学系			
医 療 福 祉 概 論		2	
国 際 保 健 学		2	
生 活 習 慣 病 論		2	
衛生学系			
産 業 保 健 学		2	
環 境 衛 生 工 学		2	
環 境 化 学		2	
食 品 栄 養 学		2	
食 品 衛 生 学		2	
食 品 製 造 学		2	
職 業 適 性 論		2	
労 働 衛 生 法 規		2	
労 働 衛 生 法 規		2	
自由専攻			
細 胞 診 断 学 演 習		1	
細 胞 診 断 学 演 習		1	
細 胞 診 断 学 演 習		1	
細 胞 診 断 学 演 習		1	
細 胞 診 断 学 演 習		1	
遺 伝 ・ バイオ技術系特別演習		1	
遺 伝 ・ バイオ技術系特別演習		1	
細 胞 ・ 組 織 ・ 形 態 系 特別演習		1	
細 胞 ・ 組 織 ・ 形 態 系 特別演習		1	
感 染 症 制 御 系 特別演習		1	
感 染 症 制 御 系 特別演習		1	
生 殖 ・ 移 植 医 療 系 特別演習		1	
生 殖 ・ 移 植 医 療 系 特別演習		1	
化 学 系 特 別 演 習		1	
化 学 系 特 別 演 習		1	
生 理 機 能 系 特 別 演 習		1	
生 理 機 能 系 特 別 演 習		1	

第3類（杏林大学学則）

治験コーディネート特別演習		1		
薬事申請特別演習		1		
総合				
総合医療演習		1		
総合医療演習	2			
移植コーディネータ論		2		
生命倫理学特論		2		
特別講義		2		
特別講義		2		
インターンシップ		4		4単位以上
卒業研究		4		
計	50	196		124単位以上

看護学科

授業科目	単位数			備考
	必修	選択	自由	
基礎分野				
人間科学系				
哲学		2		10単位以上
死生学		2		
生命倫理学	2			
日本国憲法学		2		
心理学		2		
発達心理学	2			
社会福祉学		2		
教育学		2		
ホスピタリティ論		2		
国際協力論		2		
健康スポーツ科学		2		
自然科学系				
統計学		2		6単位以上
人類遺伝学		2		
物理学概論		1		
化学概論		1		
生命科学概論		2		
情報処理論	2			

第3類（杏林大学学則）

言語系			
英 語	2		10単位以上
英 語	2		
英 語		2	
英 会 話		2	
医 学 英 語		2	
日 本 語 表 現 法	2		
専門基礎分野			
人体の構造と機能・疾病の成り立ち			
形 態 ・ 機 能 学	2		
代 謝 ・ 栄 養 学	2		
薬 理 学	2		
病 原 微 生 物 学	1		
免 疫 学	1		
病 態 治 療 論	2		
病 態 治 療 論	2		
病 態 治 療 論	1		
病 態 治 療 論	1		
病 態 治 療 論	1		
病 態 治 療 論	1		
病 態 治 療 論	1		
病 態 治 療 論	1		
健康支援と社会保障制度			
公 衆 衛 生 学	1		
関 係 法 規	1		
保 健 福 祉 行 政 論	2		
健 康 教 育 学		2	
学 校 保 健 学 概 論	2		
学 校 保 健 学		2	
養 護 学 概 論		2	
カ ウ ン セ リ ン グ		2	
健 康 相 談		2	
疫学と統計			
疫 学	2		
保 健 統 計	2		
基礎看護学			

第3類（杏林大学学則）

基礎看護学系			
看護学概論	1		
看護学概論	2		
生活行動援助技術	2		
生活行動援助技術	2		
ヘルスアセスメント技術	1		
看護過程	1		
治療・処置技術	2		
基礎看護学実習	1		
基礎看護学実習	2		
専門看護学			
成人看護学系			
成人看護学概論	2		
成人看護学	2		
成人看護学	2		
成人看護学演習	1		
成人看護学実習	3		
成人看護学実習	3		
高齢者看護学系			
高齢者看護学概論	2		
高齢者看護学	2		
高齢者看護学演習	1		
高齢者看護学実習	2		
高齢者看護学実習	2		
小児看護学系			
小児看護学概論	2		
小児看護学	2		
小児看護学演習	1		
小児看護学実習	2		
母性看護学系			
母性看護学概論	2		
母性看護学	2		
母性看護学演習	1		
母性看護学実習	2		
精神看護学系			
精神看護学概論	2		
精神看護学	2		

第3類（杏林大学学則）

精神看護学演習	1			
精神看護学実習	2			
在宅看護学系				
在宅看護学	2			
在宅看護学演習	2			
在宅看護学実習	2			
地域看護学系				
地域看護学概論	2			
地域看護学方法論	2			
地域看護学	2			
地域看護学	2			
地域看護学演習	2			
地域看護学実習	1			
地域看護学実習	3			
応用看護学				
応用看護学系				
看護研究	2			
看護倫理	1			
看護管理学	1			
総合看護学実習		2		☐— どちらか一方を選択
総合看護学実習		2		
特別講義		2		
特別講義		2		
助産学専攻				
助産学系				
助産学概論	1			
周産期医学	2			
助産診断・技術学	1			
助産診断・技術学	2			
助産診断・技術学	2			
助産診断・技術学	1			
助産管理学	1			
助産学特別講義	1			
助産学実習	8			
助産学実習	1			
計	121	72		137単位以上

第3類（杏林大学学則）

理学療法学科

授 業 科 目	単 位 数			備 考
	必修	選択	自由	
基礎分野				
人間科学系				
哲 学		2		必修 2 単位及び 選択 6 単位以上
社 会 学		2		
法 学		2		
心 理 学		2		
生 命 倫 理 学	2			
芸 術 学		2		
社 会 福 祉 学		2		
倫 理 学		2		
発 達 心 理 学		2		
職 業 適 性 論		2		
自然科学系				
数 学		2		必修 2 単位及び 選択 4 単位以上
統 計 学		2		
情 報 処 理 論	2			
基 礎 物 理 学 論		1		
物 理 学 概 論		2		
基 礎 化 学 論		1		
生 化 学 概 論		2		
基 礎 生 物 学 論		1		
生 命 科 学 概 論		2		
言語系				
英 語	2			必修 4 単位及び 選択 4 単位以上
英 語	2			
英 語		2		
英 語		2		
英 会 話		2		
医 学 英 語		2		
日 本 語 表 現 法		2		
専門基礎分野				
医学系				
解 剖 学	2			

第3類（杏林大学学則）

解剖学	1		
解剖学実習	1		
解剖学実習	1		
生理学	2		
生理学	1		
生理学実習	1		
病理学	1		
人間発達学	2		
リハビリテーション概論	1		
臨床心理学概論	1		
精神医学	2		
内科学	2		
内科学		2	
小児科学	1		
神経内科学	2		
外科学	1		
整形外科学	2		
脳神経外科学	1		
リハビリテーション医学	1		
医療安全論	1		
感染症学		1	
疫学		1	
薬理学		1	
栄養学		1	
保健学・衛生学系			
保健学概論		2	
高齢保健学		2	
産業保健学		2	
地域保健学		2	
公衆衛生学		2	
公衆衛生学		2	
環境衛生工学		2	
看護学		2	
救命救助法		1	
労働衛生法規		2	
労働衛生法規		2	

必修27単位及び
 選択3単位以上

4単位以上

第3類（杏林大学学則）

専門分野				
基礎理学療法学系				
理学療法概論	1			
理学療法用語論		1		
運動学	1			
運動学実習	1			
病態運動学		2		
運動解剖学		1		
理学療法評価学系				
理学療法評価学概論	1			
理学療法評価学	1			
理学療法評価学	1			
理学療法評価学実習	1			
動作分析学		1		
理学療法治療学系				
理学療法治療学総論		1		
運動療法学	2			
運動療法学実習	1			
物理療法学	1			
物理療法学	1			
物理療法学実習	1			
義肢学	1			
義肢学実習	1			
装具学	1			
装具学実習	1			
日常生活技術学	1			
日常生活技術学実習	1			
運動器障害系理学療法学	1			
運動器障害系理学療法学	1			
神経障害系理学療法学	1			
神経障害系理学療法学	1			
内部障害系理学療法学	1			
内部障害系理学療法学	1			
小児理学療法学	1			
高次脳機能障害学		1		
高齢者理学療法学		1		
				必修6.2単位及び 選択7単位以上

第3類（杏林大学学則）

急性期理学療法学		1		
スポーツ障害理学療法学		1		
マニュアルセラピー		1		
プロフェッショナルスキル	4			
クリニカルリーズニング		1		
地域理学療法学系				
生活環境学	1			
地域理学療法学	2			
理学療法国際事情		1		
臨床実習系				
見学実習	1			
評価実習	2			
評価実習	4			
総合臨床実習	14			
総合領域				
理学療法特論		1		
理学療法特論		1		
理学療法研究法		1		
応用理学療法学		1		
基礎ゼミ	4			
特別講義		1		
特別講義		1		
卒業研究	4			
計	97	87		125単位以上

第3類（杏林大学学則）

別表3 - 1（平成13年度以前の入学生に適用）

社会科学部学科目構成

1 専門科目

授業科目の名称		単位数			備考
		必修	選択	自由	
共通科目	国際関係論		2		14科目 28単位以上
	国際関係論		2		
	情報処理概論		2		
	情報処理概論		2		
	日本経済論 A		2		
	日本経済論 B		2		
	日本政治論 A		2		
	日本政治論 B		2		
	憲法 A		2		
	憲法 B		2		
	民法総則		2		
	民法総則		2		
	親族・相続法 A		2		
	親族・相続法 B		2		
	会計学総論		2		
	会計学総論		2		
	経営学総論		2		
	経営学総論		2		
	経済政策論		2		
	経済政策論		2		
	総合講座 A		2		
総合講座 B		2			
基礎演習		2			
	国際政治学 A		2		
	国際政治学 B		2		
	国際政治史 A		2		
	国際政治史 B		2		
	比較政治学 A		2		
	比較政治学 B		2		
	外交政策論		2		

第3類（杏林大学学則）

国際政経 コース 基本科目	外交政策論		2	12科目 24単位以上
	世界経済論 A		2	
	世界経済論 B		2	
	国際貿易論 A		2	
	国際貿易論 B		2	
	国際金融論 A		2	
	国際金融論 B		2	
	国際投資論 A		2	
	国際投資論 B		2	
	経済開発論 A		2	
	経済開発論 B		2	
	国際法		2	
	国際法		2	
	国際政経 コース 発展科目	地域圏研究 - A		
地域圏研究 - B			2	
地域圏研究 -			2	
地域圏研究 -			2	
地域圏研究 - A			2	
地域圏研究 - B			2	
地域圏研究 - A			2	
地域圏研究 - B			2	
地域圏研究 - A			2	
地域圏研究 - B			2	
国際環境・資源論 A			2	
国際環境・資源論 B			2	
国際協力論 A			2	
国際協力論 B			2	
国際経営論			2	
国際経営論			2	
会社法			2	
会社法			2	
企業取引法 A			2	
企業取引法 B			2	
国際取引法		2		
国際取引法		2		

第3類（杏林大学学則）

	税 法		2		
	税 法		2		
	現代会社研究 A		2		
	現代会社研究 B		2		
	比較文化論 A		2		
	比較文化論 B		2		
	演 習		8		
	卒 業 研 究		4		
経営情報 コース 基本科目	経営情報論		2		12科目 24単位以上
	経営情報論		2		
	経営管理総論		2		
	経営管理総論		2		
	経営組織論		2		
	経営組織論		2		
	人材開発論		2		
	人材開発論		2		
	経営史		2		
	経営史		2		
	国際経営論		2		
	国際経営論		2		
	マーケティング論		2		
	マーケティング論		2		
	会計学原理		2		
	会計学原理		2		
	会計システム論		2		
会計システム論		2			
情報処理論		2			
情報処理論		2			
	戦略経営論		2		
	戦略経営論		2		
	消費者行動論		2		
	消費者行動論		2		
	財務管理		2		
	財務管理		2		
	原価計算論 A		2		

第3類（杏林大学学則）

経営情報 コース 発展科目	原価計算論 B	2	16科目 32単位以上
	監査論	2	
	監査論	2	
	システム設計	2	
	システム設計	2	
	産業社会学	2	
	産業社会学	2	
	会社法	2	
	会社法	2	
	企業取引法 A	2	
	企業取引法 B	2	
	労働法	2	
	労働法	2	
	税法	2	
	税法	2	
	税法各論 A	2	
	税法各論 B	2	
	流通システム論 A	2	
	流通システム論 B	2	
	現代会社研究 A	2	
	現代会社研究 B	2	
	比較文化論 A	2	
	比較文化論 B	2	
	演習	8	
	卒業研究	4	
	法律政治 コース	物権法	
物権法		2	
債権法		2	
債権法		2	
会社法		2	
会社法		2	
民事訴訟法		2	
民事訴訟法		2	
行政法 A		2	
行政法 B		2	

第3類（杏林大学学則）

基本科目	刑 法 A	2		
	刑 法 B	2		
	現代政治理論 A	2		
	現代政治理論 B	2		
	政治過程論 A	2		
	政治過程論 B	2		
	政治制度論 A	2		
	政治制度論 B	2		
	行政学 A	2		
	行政学 B	2		
法律政治 コース 発展科目	担 保 法	2		
	担 保 法	2		
	企業取引法 A	2		
	企業取引法 B	2		
	国際私法 A	2		
	国際私法 B	2		
	民事執行・保全法	2		
	民事執行・保全法	2		
	倒 産 法	2		
	倒 産 法	2		
	刑事訴訟法	2		
	刑事訴訟法	2		
	税 法	2		
	税 法	2		
	労働法	2		16科目 32単位以上
	労働法	2		
	社会福祉法	2		
	社会福祉法	2		
	法制史	2		
	法制史	2		
	日本政治史 A	2		
	日本政治史 B	2		
政策過程論 A	2			
政策過程論 B	2			
国際政治学 A	2			

第3類（杏林大学学則）

	国際政治学 B		2	
	比較政治学 A		2	
	比較政治学 B		2	
	演習		8	
	卒業研究		4	

2 専門関連科目

授業科目の名称		単位数			備考
		必修	選択	自由	
1類	人文科学分野	宗教学 A		2	各分野から 各々4科目 8単位以上、 計24単位 以上
		宗教学 B		2	
		哲学 A		2	
		哲学 B		2	
		倫理学 A		2	
		倫理学 B		2	
		歴史学		2	
		歴史学		2	
		文学 A		2	
		文学 B		2	
	音楽 A		2		
	音楽 B		2		
	社会科学分野	社会学		2	
		社会学		2	
		法学 A		2	
		法学 B		2	
		(日本国憲法)		2	
		政治学 A		2	
		政治学 B		2	
		地理学 A		2	
地理学 B			2		
経済学 A			2		
経済学 B		2			
	数学		2		
	数学		2		
	物理学 A		2		

第3類（杏林大学学則）

	自然科学分野	物理学 B 化学 A 化学 B 生物学 A 生物学 B 心理学 A 心理学 B 統計学 統計学		2 2 2 2 2 2 2 2 2			
2類	第1外国語	英語 A 英語 B 英語 C 発展英語 A 発展英語 B 発展英語 C		2 2 2 2 2 2		3科目6単位以上	
		第2外国語	ドイツ語 ドイツ語 ドイツ語 発展ドイツ語		2 2 2 2		2言語以内 3科目6単位以上
			フランス語 フランス語 フランス語 発展フランス語		2 2 2 2		
			中国語 中国語 中国語 発展中国語		2 2 2 2		
			特別プレゼミナール A 特別プレゼミナール B		2 2		
		3類					
	4類	体育実技 A 体育実技 B 体育理論		1 1 2			
		自由科目					

第3類（杏林大学学則）

3 - 1 教職課程教科に関する科目
（平成11年度以前の入学生に適用）

授 業 科 目 の 名 称	単 位 数			備 考
	必 修	選 択	自 由	
日 本 史			2	
日 本 史			2	
外 国 史			2	
外 国 史			2	
地 誌 学			2	
地 誌 学			2	
職 業 指 導			2	
職 業 指 導			2	

3 - 2 教職課程教科に関する科目
（平成12年度入学生から適用）

授 業 科 目 の 名 称	単 位 数			備 考
	必 修	選 択	自 由	
日 本 史			2	
日 本 史			2	
外 国 史			2	
外 国 史			2	
地 誌 学			2	
地 誌 学			2	
職 業 指 導			2	

第3類（杏林大学学則）

別表3 - 2（平成14年度入学生から適用）

総合政策学部学科目構成

1 専門科目

授 業 科 目 の 名 称		単 位 数			備 考
		必 修	選 択	自 由	
共通科目	総合政策論		4		28単位以上
	国際関係論		2		
	国際情勢分析論		2		
	日本経済論		2		
	金融財政論		2		
	経済政策論		2		
	経営学総論		4		
	会計学総論		4		
	情報処理概論		4		
	憲法		4		
	民法総論		2		
	物権法各論		2		
	契約法論		2		
	刑事法概論		2		
	日本政治論		2		
	日本行政論		2		
	社会保険法		4		
	社会福祉法		2		
	社会福祉学		2		
	環境経済学		2		
地域社会学		2			
IT総論		2			
インターネット情報論		2			
キャリア開発論		2			
比較文化論		4			
基礎演習		2			
国際政経コース	国際政治学		2		
	国際政治史		2		
	比較政治学		2		
	外交政策論		2		
	安全保障論		2		
	日本外交論		2		
	アメリカ外交論		2		
	中国外交論		2		
	世界経済論		2		
	国際貿易論		2		
国際金融論		2			
国際投資論		2			

第3類（杏林大学学則）

基 本 科 目	経 済 開 発 論 国 際 協 力 論 資 源 政 策 論 国 際 経 営 論	2 2 2 2		
	経 営 情 報 論 経 営 情 報 シ ス テ ム 論 日 本 経 営 論 経 営 管 理 論 経 営 戦 略 論 戦 略 マ ネ ジ メ ン ト 論 人 材 マ ネ ジ メ ン ト 論 組 織 心 理 学 論 e コ マ ー ス 論 マ ー ケ テ ィ ン グ 概 論 会 計 学 原 理 論 財 務 会 計 論 管 理 会 計 論 会 計 デ ィ ス ク ロ ー ジ ャ ー 論 会 計 監 査 論 情 報 処 理 論	2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2		1 コースを 選択し、所 属コースの 科目を20単 位以上
	物 権 法 総 論 債 権 法 総 論 不 法 行 為 法 家 族 続 嗣 法 相 会 社 法 民 事 訴 訟 法 刑 法 総 論 労 働 基 準 法 行 政 法 行 政 学 政 策 過 程 論 公 共 選 択 論 政 治 組 織 論 立 法 過 程 論	2 2 2 2 2 4 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2		
	環 境 科 学 環 境 法 環 境 ア セ ス メ ン ト 論 環 境 政 策 論 社 会 保 障 論 社 会 福 祉 政 策 論 環 境 公 的 扶 助 論 福 祉 現 代 家 族 法 論	2 2 2 2 4 2 2 2 2		

第3類（杏林大学学則）

	コー ス	医 事 法 労 働 衛 生 法 規 保 健 学 概 論 人 類 生 態 学 環 境 保 健 学 産 業 保 健 学 国 際 保 健 学		2 4 2 2 2 2		
発 展 科 目	A群	現代アメリカ政治論		2	36単位以上	
		現代ヨーロッパ政治論		2		
		現代ロシア政治論		2		
		現代中国政治論		2		
		現代東アジア政治論		2		
		現代中東政治論		2		
		国際機構論		2		
		国際紛争処理論		2		
	エネルギー戦略論		2			
	B群	国際マクロ経済学		2		
		日本通商政策論		2		
		アメリカ経済論		2		
ヨーロッパ経済論			2			
アジア経済論			2			
開発政策論		2				
C群	原価計算論		2			
	監査制度論		2			
	企業取引法		2			
	有価証券法		2			
	電子商取引法		2			
	税法		4			
	税法各論		2			
税務会計論		2				
D群	日本経営史		2			
	欧米経営史		2			
	組織行動論		2			
	組織デザイン論		2			
	国際経営戦略論		2			
	マーケティング戦略論		2			
	消費者行動論		2			
	経営分析		2			
	経営財務		2			
	流通システム論		2			
	現代会社研究		2			
	金融法		2			
	担保法		2			
	住宅関係法		2			

第3類（杏林大学学則）

E群	民 事 執 行 法	2	
	民 事 保 全 法	2	
	民 事 清 算 法	2	
	民 事 更 生 法	2	
	経 済 刑 法	2	
	刑 事 訴 訟 法	2	
	労 使 関 係 法	2	
	国 際 私 法	2	
	国 際 法	2	
F群	国 際 取 引 法	2	
	現 代 日 本 政 策 論	2	
	行 政 救 済 法	2	
	パブリックマネジメン ト論	2	
	地 方 政 府 論	2	
	日 本 法 制 史	2	
	日 本 政 治 史	2	
	政 治 心 理 学	2	
	マスコミュニケーショ ン論	2	
G群	人 口 学	2	
	人 産 業 社 会 学	2	
	保 健 社 会 学	2	
	環 境 保 全 論	2	
	環 境 生 物 学	2	
H群	環 境 衛 生 工 学	2	
	地 域 福 祉 論	2	
	老 人 福 祉 論	2	
	障 害 者 福 祉 論	4	
	児 童 福 祉 論	2	
	社会福祉援助技術総論	4	
	保 健 管 理 学	2	
	地 域 保 健 学	2	
	高 齢 保 健 学	2	
学 校 保 健 学	2		
I群	カウセリング論	2	
	サイバーポリティクス 論	2	
	デジタルエコノミー論	2	
	情 報 産 業 論	2	
	コンピュータシステム 論	2	
	プ ロ グ ラ ミ ン グ 論	2	
シ ス テ ム 設 計	2		

第3類（杏林大学学則）

	法 情 報 学		2	
	情 報 社 会 学		2	
	デ - タ 分 析 論		2	
研究 会	演 卒 業 研 習 究		8	
			4	

2 専門関連科目

授 業 科 目 の 名 称		単 位 数			備 考
		必 修	選 択	自 由	
1 類	人 文 学 科 分 野	宗 教 学 A	2		8 単位以上
		宗 教 学 B	2		
		哲 学 A	2		
		哲 学 B	2		
		倫 理 学 A	2		
		倫 理 学 B	2		
		歴 史 学 A	2		
		歴 史 学 B	2		
		文 学 A	2		
	文 学 B	2			
	音 楽 A	2			
	音 楽 B	2			
	社 会 学 科 分 野	社 会 学 A	2		8 単位以上
		社 会 学 B	2		
		法 学 A	2		
		法 学 B (日本国憲法)	2		
		政 治 学 A	2		
		政 治 学 B	2		
		地 理 学 A	2		
		地 理 学 B	2		
	自 然 学 科 分 野	数 学 A	2		8 単位以上
		数 学 B	2		
		統 計 学 A	2		
		統 計 学 B	2		
		物 理 学 A	2		
		物 理 学 B	2		
		化 学 A	2		
化 学 B		2			
生 物 学 A		2			
生 物 学 B		2			
心 理 学 A	2				
心 理 学 B	2				

第3類（杏林大学学則）

2	第1類 外国語	英 語 A		2	6単位以上	
		英 語 B		2		
		英 語 C		2		
		英 語 展 英 語 A		2		
		英 語 展 英 語 B		2		
	英 語 展 英 語 C		2			
	第2類 外国語	ド イ ツ 語 A		2		ドイツ語・ フランス語 ・中国語の いずれかを 選択し、 4単位以上
		ド イ ツ 語 B		2		
		発 展 ド イ ツ 語 A		2		
		フ ラ ン ス 語 A		2		
フ ラ ン ス 語 B			2			
発 展 フ ラ ン ス 語 A			2			
中 国 語 A			2			
中 国 語 B		2				
発 展 中 国 語		2				
3	類	特別プレゼミナルA		2	1学期間に 他科目を履 修しない者 は必修	
		特別プレゼミナルB		2		
		特 別 演 習		2		
		特 別 演 習		2		
		特 別 演 習		2		
		特 別 演 習		2		
		特 別 演 習		2		
4	類	体 育 実 技 A		1		
		体 育 実 技 B		1		
		体 育 理 論		2		
自由科目						

3 教職課程教科に関する科目

授 業 科 目 の 名 称	単 位 数			備 考
	必 修	選 択	自 由	
日 本 史			2	
日 本 史			2	
外 国 史			2	
外 国 史			2	
地 誌 学			2	
地 誌 学			2	
職 業 指 導			2	

第3類（杏林大学学則）

別表3 - 3（平成18年度入学生から適用）

総合政策学部学科目構成

総合政策学科

1 基礎教養科目

授業科目の名称	単位数			備考
	必修	選択	自由	
社会のしくみ	4			
文章力演習	2			
読解力演習	2			
計算力演習	2			
近現代史論	2			
データ分析演習	2			
表現力演習	2			

2 専門科目

授業科目の名称		単位数			備考
		必修	選択	自由	
共通科目	国際関係論		2		16単位以上
	国際関係論		2		
	日本政治論		2		
	日本政治論		2		
	憲法		2		
	憲法		2		
	民法総論		2		
	民法総論		2		
	社会福祉学		2		
	社会福祉学		2		
	経済原論		2		
	経済原論		2		
	財政学概論		2		
	財政学概論		2		
	総合政策論		2		
総合政策論		2			
	国際政治学		2		
	国際政治学		2		

第3類（杏林大学学則）

国際政経 コース 基本科目	比較政治学	2	24単位以上
	比較政治学	2	
	外交政策論	2	
	外交政策論	2	
	経済政策論	2	
	経済政策論	2	
	国際政治史	2	
	国際政治史	2	
	国際貿易論	2	
	国際貿易論	2	
	国際金融論	2	
	国際金融論	2	
	国際投資論	2	
	国際投資論	2	
	経済開発論	2	
	経済開発論	2	
	国際法	2	
国際法	2		
アメリカ政治外交論	2		
ヨーロッパ政治外交論	2		
ロシア政治外交論	2		
中国政治外交論	2		
中東政治外交論	2		
エネルギー戦略論	2		
朝鮮半島政治外交論	2		
国際資源論	2		
途上国協力論	2		
国際機構論	2		
日本経済論	2		
世界経済論	2		
アメリカ経済論	2		
ヨーロッパ経済論	2		
アジア経済論	2		
環境経済学	2		
環境政策論	2		
国際企業論	2		

第3類（杏林大学学則）

国際政経 コース 発展科目	国際企業論	2	42単位以上
	国際私法	2	
	環境法	2	
	国際経営論	2	
	国際経営論	2	
	キャリア開発論	2	
	憲法概論	2	
	民法概論	2	
	政治学概論	2	
	国際関係論演習	2	
	経済原論演習	2	
	憲法演習	2	
	民法演習	2	
	行政法演習	2	
	行政学演習	2	
	政治学演習	2	
	インターンシップ	2	
	インターンシップ	2	
	学際演習	2	
	学際演習	2	
演習	12		
演習	8		
卒業研究	4		
法律行政 コース 基本科目	公共選択論	2	24単位以上
	公共選択論	2	
	比較政治学	2	
	比較政治学	2	
	行政学	2	
	行政学	2	
	行政法	2	
	行政法	2	
	物権法	2	
	物権法	2	
	債権法	2	
債権法	2		
家族法	2		

第3類（杏林大学学則）

	家	族	法		2	
	刑	事	法		2	
	刑	事	法		2	
	労	働	法		2	
	労	働	法		2	
	経	済	政	策	論	2
	経	済	政	策	論	2
	会	社	法		2	
	会	社	法		2	
	刑	法	總	論	2	
	刑	法	各	論	2	
	民	事	訴	訟	法	2
	刑	事	訴	訟	法	2
	医	事	法		2	
	医	事	法		2	
	税		法		2	
	税		法		2	
	有	価	証	券	法	2
	企	業	取	引	法	2
	現	代	家	族	法	論
	情	報	法	制	法	2
	経	済	刑	法	2	
	国	際	私	法	2	
	国	際	法		2	
	国	際	法		2	
	環	境		法	2	
	年	金	・	労	働	保
	労	働	衛	生	法	規
	社	会	保	障	論	2
	社	会	保	障	論	2
法律行政	日	本	法	制	史	2
コース	日	本	政	治	史	2
発展科目	政	策	過	程	論	2
	立	法	過	程	論	2
	地	方	政	府	論	2
	キ	ャ	リ	ア	開	発
					論	2
						4 2 単位以上

第3類（杏林大学学則）

	憲法概論	2	
	民法概論	2	
	政治学概論	2	
	国際関係論演習	2	
	経済原論演習	2	
	憲法演習	2	
	民法演習	2	
	行政法演習	2	
	行政学演習	2	
	政治学演習	2	
	インターンシップ	2	
	インターンシップ	2	
	学際演習	2	
	学際演習	2	
	演習	1 2	
	演習	8	
	卒業研究	4	
環境福祉 コース 基本科目	社会保障論	2	24単位以上
	社会保障論	2	
	環境科学概論	2	
	環境科学概論	2	
	人類生態学	2	
	人類生態学	2	
	人体構造機能論	2	
	人体構造機能論	2	
	健康福祉システム論	2	
	健康福祉システム論	2	
	障害者福祉論	2	
	障害者福祉論	2	
	医療経済学	2	
	医療経済学	2	
	医事法	2	
	医事法	2	
家族法	2		
家族法	2		
労働法	2		

第3類（杏林大学学則）

	労 働 法			
	国 際 保 健 学		2	
	環 境 保 健 学		2	
	疫 学		2	
	カ ウ ン セ リ ン グ 論		2	
	社 会 福 祉 政 策 論		2	
	児 童 福 祉 論		2	
	老 人 福 祉 論		2	
	経 済 政 策 論		2	
	経 済 政 策 論		2	
	環 境 経 済 学		2	
	環 境 政 策 論		2	
	環 境 ア セ ス メ ン ト 論		2	
	環 境 保 全 論		2	
	医 療 福 祉 財 政 論		2	
	社 会 福 祉 援 助 技 術 総 論		2	
	社 会 福 祉 援 助 技 術 総 論		2	
	産 業 社 会 学		2	
	地 域 社 会 学		2	
環境福祉	環 境 法		2	
コース	現 代 家 族 法 論		2	4 2 単位以上
発展科目	年 金 ・ 労 働 保 険 法		2	
	労 働 衛 生 法 規		2	
	キ ャ リ ア 開 発 論		2	
	憲 法 概 論		2	
	民 法 概 論		2	
	政 治 学 概 論		2	
	国 際 関 係 論 演 習		2	
	経 済 原 論 演 習		2	
	憲 法 演 習		2	
	民 法 演 習		2	
	行 政 法 演 習		2	
	行 政 学 演 習		2	
	政 治 学 演 習		2	
	イ ン タ ー ン シ ッ プ		2	
	イ ン タ ー ン シ ッ プ		2	

第3類（杏林大学学則）

学 際 演 習	2	
学 際 演 習	2	
演 習	1 2	
演 習	8	
卒 業 研 究	4	

3 専門関連科目

授業科目の名称		単位数			備 考
		必 修	選 択	自 由	
1 類	人文科学 分 野	宗 教 学 A		2	16 単位以上
		宗 教 学 B		2	
		哲 学 A		2	
		哲 学 B		2	
		倫 理 学 A		2	
		倫 理 学 B		2	
		歴 史 学 A		2	
		歴 史 学 B		2	
		文 学 A		2	
		文 学 B		2	
	音 楽 A		2		
	音 楽 B		2		
	社会科学 分 野	社 会 学 A		2	
		社 会 学 B		2	
		法 学 A		2	
		法学B(日本国憲法)		2	
		政 治 学 A		2	
		政 治 学 B		2	
		地 理 学 A		2	
地 理 学 B			2		
自然科学 分 野	数 学 A		2		
	数 学 B		2		
	統 計 学 A		2		
	統 計 学 B		2		
	物 理 学 A		2		

第3類（杏林大学学則）

		物理学 B		2		
		化学 A		2		
		化学 B		2		
		生物学 A		2		
		生物学 B		2		
		心理学 A		2		
		心理学 B		2		
2類	第1 外国語	英語		2		留学生のみ
		英語		2		
		英語		2		
		日本語 A		2		
		日本語 B		2		
		日本語 C		2		
	第2 外国語	発展英語 A		2	最大6単位まで 発展科目に繰り 入れる	
		発展英語 B		2		
		発展英語 C		2		
		ドイツ語 A		2		
		ドイツ語 B		2		
		フランス語 A		2		
		フランス語 B		2		
		中国語 A		2		
中国語 B		2				
3類	特別プレゼミナルA		2			
	特別プレゼミナルB		2			
	特別演習		2			
	特別演習		2			
	特別演習		2			
	特別演習		2			
	特別演習		2			
	特別演習		2			
4類	体育実技 A		1			
	体育実技 B		1			

第3類（杏林大学学則）

	体 育 理 論		2		
自 由 科 目					

4 教職課程教科に関する科目

授 業 科 目 の 名 称	単 位 数			備 考
	必 修	選 択	自 由	
日 本 史			2	
日 本 史			2	
外 国 史			2	
外 国 史			2	
地 誌 学			2	
地 誌 学			2	

企業経営学科

1 基礎教養科目

授 業 科 目 の 名 称	単 位 数			備 考
	必 修	選 択	自 由	
社 会 の し く み	4			
文 章 力 演 習	2			
読 解 力 演 習	2			
計 算 力 演 習	2			
近 現 代 史 論	2			
デ ー タ 分 析 演 習	2			
表 現 力 演 習	2			

2 専門科目

授 業 科 目 の 名 称	単 位 数			備 考
	必 修	選 択	自 由	
経 営 学 総 論		2		16単位以上
経 営 学 総 論		2		
会 計 学 総 論		2		
会 計 学 総 論		2		
情 報 処 理 概 論		2		
情 報 処 理 概 論		2		
共通科目				

第3類（杏林大学学則）

	マーケティング総論	2		
	マーケティング総論	2		
	経営情報論	2		
	経営情報論	2		
	総合政策論	2		
	総合政策論	2		
経営戦略 コース 基本科目	経営管理総論	2	24単位以上	
	経営管理総論	2		
	経営戦略論	2		
	経営戦略論	2		
	人材マネジメント論	2		
	人材マネジメント論	2		
	経営史	2		
	経営史	2		
	経営組織論	2		
	経営組織論	2		
	国際経営論	2		
	国際経営論	2		
	財務管理	2		
	財務管理	2		
	流通システム論	2		
	流通システム論	2		
	会社法	2		
会社法	2			
労働法	2			
労働法	2			
	キャリア開発論	2		
	地域社会学	2		
	産業社会学	2		
	情報処理論	2		
	情報処理論	2		
	システム設計	2		
	システム設計	2		
	簿記論	2		
	簿記論	2		
	株式会社簿記論	2		

第3類（杏林大学学則）

経営戦略 コ－ス 発展科目	株式会社簿記論	2	— 4 2 単位以上
	財務会計論	2	
	財務会計論	2	
	財務会計各論	2	
	財務会計各論	2	
	税法	2	
	税法	2	
	税法各論	2	
	税法各論	2	
	財政学概論	2	
	財政学概論	2	
	国際関係論	2	
	国際関係論	2	
	世界経済論	2	
	国際貿易論	2	
	国際貿易論	2	
	国際金融論	2	
	国際金融論	2	
	国際投資論	2	
	国際投資論	2	
	国際企業論	2	
	国際企業論	2	
	環境経済学論	2	
	環境政策論	2	
	憲法	2	
	憲法	2	
	民法総論	2	
	民法総論	2	
物権法	2		
物権法	2		
債権法	2		
債権法	2		
有価証券法	2		
有価証券法	2		
国際法	2		
国際法	2		

第3類（杏林大学学則）

	経 済 刑 法		2		
	社 会 保 障 論		2		
	社 会 保 障 論		2		
	経 済 政 策 論		2		
	経 済 政 策 論		2		
	経 済 原 論		2		
	経 済 原 論		2		
	憲 法 概 論		2		
	民 法 概 論		2		
	政 治 学 概 論		2		
	国 際 関 係 論 演 習		2		
	経 済 原 論 演 習		2		
	憲 法 演 習		2		
	民 法 演 習		2		
	行 政 法 演 習		2		
	行 政 学 演 習		2		
	政 治 学 演 習		2		
	インターンシップ		2		
	インターンシップ		2		
	学 際 演 習		2		
	学 際 演 習		2		
	演 習		1 2		
	演 習		8		
	卒 業 研 究		4		
	簿 記 論		2		
	簿 記 論		2		
	株 式 会 社 簿 記 論		2		
	株 式 会 社 簿 記 論		2		
	財 務 会 計 論		2		
	財 務 会 計 論		2		
	財 務 会 計 各 論		2		
	財 務 会 計 各 論		2		
経営会計	税 法		2		
コース	税 法		2		
基本科目	税 法 各 論		2		
	税 法 各 論		2		
					24単位以上

第3類（杏林大学学則）

情報処理論	2		
情報処理論	2		
システム設計	2		
システム設計	2		
会社法	2		
会社法	2		
労働法	2		
労働法	2		
管理会計論	2		
会計監査論	2		
経営管理総論	2		
経営管理総論	2		
経営戦略論	2		
経営戦略論	2		
人材マネジメント論	2		
人材マネジメント論	2		
経営史	2		
経営史	2		
財務管理	2		
財務管理	2		
経営組織論	2		
経営組織論	2		
国際経営論	2		
国際経営論	2		
流通システム論	2		
流通システム論	2		
地域社会学	2		
産業社会学	2		
キャリア開発論	2		
財政学概論	2		
財政学概論	2		
国際関係論	2		
国際関係論	2		
世界経済論	2		
国際貿易論	2		
国際貿易論	2		

第3類（杏林大学学則）

経営会計 コース 発展科目	国際金融論	2	42単位以上
	国際金融論	2	
	国際投資論	2	
	国際投資論	2	
	国際企業論	2	
	国際企業論	2	
	環境経済学論	2	
	環境政策論	2	
	憲法	2	
	憲法	2	
	民法総論	2	
	民法総論	2	
	物権法	2	
	物権法	2	
	債権法	2	
	債権法	2	
	有価証券法	2	
	企業取引法	2	
	国際法	2	
	国際法	2	
	経済刑法	2	
	社会保障論	2	
	社会保障論	2	
	経済政策論	2	
	経済政策論	2	
	経済原論	2	
	経済原論	2	
	憲法概論	2	
民法概論	2		
政治学概論	2		
国際関係論演習	2		
経済原論演習	2		
憲法演習	2		
民法演習	2		
行政法演習	2		
行政学演習	2		

第3類（杏林大学学則）

政治学演習	2		
インターンシップ	2		
インターンシップ	2		
学際演習	2		
学際演習	2		
演習	12		
演習	8		
卒業研究	4		

3 専門関連科目

授業科目の名称		単位数			備考
		必修	選択	自由	
1 類	人文科学分野	宗 教 学 A		2	
		宗 教 学 B		2	
		哲 学 A		2	
		哲 学 B		2	
		倫 理 学 A		2	
		倫 理 学 B		2	
		歴 史 学 A		2	
		歴 史 学 B		2	
		文 学 A		2	
		文 学 B		2	
	音 楽 A		2		
	音 楽 B		2		
	社会科学分野	社 会 学 A		2	
		社 会 学 B		2	
		法 学 A		2	
		法学B(日本国憲法)		2	
		政 治 学 A		2	
		政 治 学 B		2	
		地 理 学 A		2	
		地 理 学 B		2	
経 済 学 A			2		
経 済 学 B			2		
	数 学 A		2		
	数 学 B		2		

16単位以上

第3類（杏林大学学則）

	自然科学分野	統計学 A	2				
		統計学 B	2				
		物理学 A	2				
		物理学 B	2				
		化学 A	2				
		化学 B	2				
		生物学 A	2				
		生物学 B	2				
		心理学 A	2				
		心理学 B	2				
2類	第1外国語	英語	2				
		英語	2				
		英語	2				
		日本語 A	2			留学生のみ	
		日本語 B	2				
	日本語 C	2					
	第2外国語	発展英語 A	2				最大6単位まで 発展科目に繰り 入れる
		発展英語 B	2				
		発展英語 C	2				
		ドイツ語 A	2				
		ドイツ語 B	2				
		フランス語 A	2				
		フランス語 B	2				
		中国語 A	2				
中国語 B		2					
スペイン語 A	2						
スペイン語 B	2						
韓国語 A	2						
韓国語 B	2						
3類		特別プレゼミナルA	2				
		特別プレゼミナルB	2				
		特別演習	2				
		特別演習	2				
		特別演習	2				
		特別演習	2				
		特別演習	2				

第3類（杏林大学学則）

	特 別 演 習		2		
4 類	体 育 実 技 A		1		
	体 育 実 技 B		1		
	体 育 理 論		2		
自 由 科 目					

4 教職課程教科に関する科目

授 業 科 目 の 名 称	単 位 数			備 考
	必 修	選 択	自 由	
日 本 史			2	
日 本 史			2	
外 国 史			2	
外 国 史			2	
地 誌 学			2	
地 誌 学			2	
職 業 指 導			2	

第3類（杏林大学学則）

別表4 - 1

外国語学部学科目構成

授 業 科 目 の 名 称				単 位 数		備 考
				必 修	選 択	
専 門 外 国 語 科 目	英 語	-	1		1	英語又は中国語（留学生は日本語）選択必修14単位
	英 語	-	2		1	
	英 語	-	1		1	
	英 語	-	2		1	
	英 語	-	1		1	
	英 語	-	2		1	
	英 語	-	1		1	
	英 語	-	2		1	
	英 語 会 話	-	1		1	
	英 語 会 話	-	2		1	
	英 語 会 話	-	1		1	
	英 語 会 話	-	2		1	
	英 語 会 話	-	1		1	
	英 語 会 話	-	2		1	
	中 国 語 基 礎		1		1	
	中 国 語 基 礎		2		1	
	中 国 語 基 礎		3		1	
	中 国 語 基 礎		4		1	
	中 国 語 基 礎		5		1	
	中 国 語 基 礎		6		1	
	中 国 語 基 礎		7		1	
	中 国 語 基 礎		8		1	
	中 国 語 基 礎		9		1	
	中 国 語 基 礎	1	0		1	
	中 国 語 基 礎	1	1		1	
	中 国 語 基 礎	1	2		1	
	中 国 語 基 礎	1	3		1	
	中 国 語 基 礎	1	4		1	
	日 本 語	-	1		1	
	日 本 語	-	2		1	
	日 本 語	-	1		1	
	日 本 語	-	2		1	
日 本 語	-	1		1		
日 本 語	-	2		1		
日 本 語	-	1		1		
日 本 語	-	2		1		
日 本 語	-	1		1		

第3類（杏林大学学則）

	日 本 語	- 2		1	
	日 本 語	- 1		1	
	日 本 語	- 2		1	
専 門 科 目 A	日 本 語 表 現 法	1	2		必修16単位
	日 本 語 表 現 法	2	2		
	現 代 日 本 社 会 特 論	1	2		
	現 代 日 本 社 会 特 論	2	2		
	言 語 学	1		2	
	言 語 学	2		2	
	对 照 言 語 学	1		2	
	对 照 言 語 学	2		2	
	社 会 言 語 学	1		2	
	社 会 言 語 学	2		2	
	言 語 と 文 化	1		2	
	言 語 と 文 化	2		2	
	比 較 文 化 論	- 1		2	
	比 較 文 化 論	- 2		2	
	比 較 文 化 論	- 1		2	
	比 較 文 化 論	- 2		2	
	情 報 処 理 基 礎	- 1	1		
	情 報 処 理 基 礎	- 2	1		
	情 報 処 理 基 礎	- 1		1	
	情 報 処 理 基 礎	- 2		1	
	情 報 処 理 基 礎	- 1		1	
	情 報 処 理 基 礎	- 2		1	
	情 報 処 理	- 1		1	
	情 報 処 理	- 2		1	
	情 報 処 理	- 1		1	
	情 報 処 理	- 2		1	
	情 報 処 理 概 論	- 1		2	
	情 報 処 理 概 論	- 2		2	
	情 報 産 業 論	1		2	
	情 報 産 業 論	2		2	
ゼ ミ ナ ル	- 1	2			
ゼ ミ ナ ル	- 2	2			
ゼ ミ ナ ル	- 3	2			
卒 業 論 文			4		
専 門 科 目 B	英 語 発 音 聴 取	1		1	
	英 語 発 音 聴 取	2		1	
	実 用 英 語 演 習	- 1		1	
	実 用 英 語 演 習	- 2		1	
	実 用 英 語 演 習	- 1		1	
	実 用 英 語 演 習	- 2		1	
	実 用 英 語 演 習	- 1		1	

第3類 (杏林大学学則)

実用英語演習	- 2	1
現代英語講読	- 1	1
現代英語講読	- 2	1
現代英語講読	- 1	1
現代英語講読	- 2	1
現代英語講読	- 1	1
現代英語講読	- 2	1
英語作文	- 1	1
英語作文	- 2	1
英語作文	- 1	1
英語作文	- 2	1
英語聴解・討論	- 1	1
英語聴解・討論	- 2	1
英語聴解・討論	- 1	1
英語聴解・討論	- 2	1
英語特論	- 1	1
英語特論	- 2	1
英語特論	- 1	1
英語特論	- 2	1
口語英語		2
口語英語		2
英語総合講座	1	2
英語総合講座	2	2
英語文法	1	2
英語文法	2	2
英語文章表現法	1	2
英語文章表現法	2	2
英語学	1	2
英語学	2	2
英語学特論	1	2
英語学特論	2	2
英語史	1	2
英語史	2	2
英語音声学	1	2
英語音声学	2	2
英語音声学特論	- 1	2
英語音声学特論	- 2	2
英米文学概論	1	2
英米文学概論	2	2
英米文学特論	1	2
英米文学特論	2	2
英米文学特論	1	2
英米文学特論	2	2
英米文学史	1	2

第3類（杏林大学学則）

	英米文 学 史	2		2
	イギリ ス 史	1		2
	イギリ ス 史	2		2
	アメリ リ カ 史	1		2
	アメリ リ カ 史	2		2
	時事 英 語	1		2
	時事 英 語	2		2
	実務 英 語	1		2
	実務 英 語	2		2
	商業 英 語	1		2
	商業 英 語	2		2
	英米大衆 文化 論	1		2
	英米大衆 文化 論	2		2
	英語 教 育 論	1		2
	英語 教 育 論	2		2
専 門 科 目 C	中 国 語 中 級	1		1
	中 国 語 中 級	2		1
	中 国 語 中 級	3		1
	中 国 語 中 級	4		1
	中 国 語 上 級	1		1
	中 国 語 上 級	2		1
	中 国 語 上 級	3		1
	中 国 語 上 級	4		1
	中 国 語 演 習	1		1
	中 国 語 演 習	2		1
	中 国 語 演 習	1		1
	中 国 語 演 習	2		1
	中 国 語 演 習	1		1
	中 国 語 演 習	2		1
	中 国 語 演 習	1		1
	中 国 語 演 習	2		1
	中 国 語 演 習	1		1
	中 国 語 演 習	2		1
	中 国 語 演 習	1		1
	中 国 語 演 習	2		1
	中 国 語 文 章 表 現 法	1		2
	中 国 語 文 章 表 現 法	2		2
	中 国 語 学 概 論	1		2
	中 国 語 学 概 論	2		2
	中 国 語 学 特 論	1		2
	中 国 語 学 特 論	2		2
	中 国 語 音 声 学	1		2
	中 国 語 音 声 学	2		2
	中 国 語 文 学 概 論	1		2

第3類（杏林大学学則）

	中国語文学概論	2	2
	中国語文学特論	1	2
	中国語文学特論	2	2
	中国語現代文学	1	2
	中国語現代文学	2	2
	中国語文学史	1	2
	中国語文学史	2	2
	中国古典概説	1	2
	中国古典概説	2	2
	中国史	1	2
	中国史	2	2
	中国思想史	1	2
	中国思想史	2	2
	時事中国語	1	2
	時事中国語	2	2
	商業中国語	1	2
	商業中国語	2	2
	中国語翻訳法	1	2
	中国語翻訳法	2	2
	中国語通訳法	1	2
	中国語通訳法	2	2
専門科目 D	日本語学概論	1	2
	日本語学概論	2	2
	日本語文字・表記概説		2
	日本語音声学	1	2
	日本語音声学	2	2
	日本語語彙論		2
	日本語文法論	1	2
	日本語文法論	2	2
	日本語意味論		2
	日本語史	1	2
	日本語史	2	2
	日本人の言語行動	1	2
	日本人の言語行動	2	2
	ビジネス日本語	1	2
	ビジネス日本語	2	2
	ビジネス日本語	1	2
	ビジネス日本語	2	2
	日本史	1	2
	日本史	2	2
	日本文化論	1	2
	日本文化論	2	2
	日本語教育教材・教具論		2
	日本語教授法概論	1	2

第3類 (杏林大学学則)

	日本語教授法概論	2		2
	日本語教授法演習	1		2
	日本語教授法演習	2		2
	日本語教育実習			2
	日本語教育実習			2
	日本語教育概説	1		2
	日本語教育概説	2		2
	日本文学概論	1		2
	日本文学概論	2		2
	日本文学特論	1		2
	日本文学特論	2		2
	日本文学史	1		2
	日本文学史	2		2
	漢文学	1		2
	漢文学	2		2
	書道	1		2
	書道	2		2
専門科目 E	地域圏研究	- 1		2
	地域圏研究	- 2		2
	地域圏研究	- 1		2
	地域圏研究	- 2		2
	地域圏研究	- 1		2
	地域圏研究	- 2		2
	地域圏研究	- 1		2
	地域圏研究	- 2		2
	地域圏研究	- 1		2
	地域圏研究	- 2		2
	地域圏研究	- 1		2
	地域圏研究	- 2		2
	中国政治経済	- 1		2
	中国政治経済	- 2		2
	西洋史	- 1		2
	西洋史	- 2		2
	アメリカ社会論	- 1		2
	アメリカ社会論	- 2		2
	国際関係論	- 1		2
	国際関係論	- 2		2
	外交政策論	- 1		2
	外交政策論	- 2		2
	国際観光概論	- 1		2
	国際観光概論	- 2		2
	サービス産業論	- 1		2
	サービス産業論	- 2		2
	ホスピタリティ論			2

第3類（杏林大学学則）

	インターンシップ		2		
	インターンシップ		2		
	観光業務論		2		
	観光業務論 - 1		2		
	観光業務論 - 2		2		
	観光業務論		2		
	観光業務論 -		2		
	観光業務論 - 2		2		
	観光地理		2		
専門 関連 科目 A	フランス語 - 1		1	1言語以上選択で必修6単位。ただし、専門外国語科目で代替することができる。	
	フランス語 - 2		1		
	フランス語 - 1		1		
	フランス語 - 2		1		
	フランス語 - 1		1		
	フランス語 - 2		1		
	ドイツ語 - 1		1		
	ドイツ語 - 2		1		
	ドイツ語 - 1		1		
	ドイツ語 - 2		1		
	ドイツ語 - 1		1		
	ドイツ語 - 2		1		
	スペイン語 - 1		1		
	スペイン語 - 2		1		
	スペイン語 - 1		1		
	スペイン語 - 2		1		
	スペイン語 - 1		1		
	スペイン語 - 2		1		
	インドネシア語 - 1		1		
	インドネシア語 - 2		1		
	インドネシア語 - 1		1		
	インドネシア語 - 2		1		
	インドネシア語 - 1		1		
	インドネシア語 - 2		1		
	韓国語 - 1		1		
	韓国語 - 2		1		
	韓国語 - 1		1		
	韓国語 - 2		1		
	韓国語 - 1		1		
	韓国語 - 2		1		
	実用英語 - 1		1		実用英語は留学生のみ履修可
	実用英語 - 2		1		
	実用英語 - 1		1		
実用英語 - 2		1			
実用英語 - 1		1			

第3類 (杏林大学学則)

	実用英語		-	2		1
専門 関連 科目 B	哲学		-	1		2
	哲学		-	2		2
	宗教学		-	1		2
	宗教学		-	2		2
	歴史学		-	1		2
	歴史学		-	2		2
	文学		-	1		2
	文学		-	2		2
	音声学		-	1		2
	音声学		-	2		2
	民俗学		-	1		2
	民俗学		-	2		2
	社会学		-	1		2
	社会学		-	2		2
	日本国憲		-	2	法学	2
	日法		-	2	法学	2
	政治学		-	1		2
	政治学		-	2		2
	地理学		-	1		2
	地理学		-	2		2
	経済学		-	1		2
	経済学		-	2		2
	数学		-	1		2
	数学		-	2		2
	物理学		-	1		2
	物理学		-	2		2
	化学		-	1		2
	化学		-	2		2
	生物学		-	1		2
	生物学		-	2		2
	心理学		-	1		2
	心理学		-	2		2
	統計学		-	1		2
	統計学		-	2		2
	ボランティア活動					2
	体育		理			2
	体育	実技		-	1	1
	体育	実技		-	2	1
	教育学	育	原			2
	教育学	育	社会			2
教育学	育	測定			2	
教育学	育	評価			2	
教育学	育	工学			2	
教育学	育	心理			2	

第3類（杏林大学学則）

	英語科教育法		2	
	中国語科教育法		2	
	国語科教育法		2	
専科 門目 関C 連	他学部 <small>の</small> 設置科目			
自科 由目				

第3類(杏林大学学則)

別表4-2(平成18年度入学生から適用)

外国語学部学科目構成

英語学科

授業科目の名称				単位数		備考
				必修	選択	
専門外国語科目	英語	-	1	1		英語及び中国語(留学生は日本語から8単位選択)必修16単位
	英語	-	2	1		
	英語	-	1	1		
	英語	-	2	1		
	英語	-	1	1		
	英語	-	2	1		
	英語	-	1	1		
	英語	-	2	1		
	中国語	-	1	1		
	中国語	-	2	1		
	中国語	-	1	1		
	中国語	-	2	1		
	中国語	-	1	1		
	中国語	-	2	1		
	中国語	-	1	1		
	中国語	-	2	1		
	日本語	-	1		1	
	日本語	-	2		1	
	日本語	-	1		1	
	日本語	-	2		1	
	日本語	-	1		1	
	日本語	-	2		1	
	日本語	-	1		1	
	日本語	-	2		1	
	日本語	-	1		1	
	日本語	-	2		1	
日本語	-	1		1		
日本語	-	2		1		

第3類（杏林大学学則）

	インテンシブ中国語 - 1		1	
	インテンシブ中国語 - 2		1	
	インテンシブ中国語 - 1		1	
	インテンシブ中国語 - 2		1	
	インテンシブ中国語 - 1		1	
	インテンシブ中国語 - 2		1	
	インテンシブ中国語 - 1		1	
	インテンシブ中国語 - 2		1	
専門科目 目 A	日米比較文化概論	2		
	英語の文化誌	2		
	日米関係史概論		2	
	ヨーロッパの社会と文化		2	
	現代英語講読 - 1	1		
	現代英語講読 - 2	1		
	現代英語講読 - 1		1	
	現代英語講読 - 2		1	
	英語文章表現法 - 1		1	
	英語文章表現法 - 2		1	
	英語聴解・討論 - 1		1	
	英語聴解・討論 - 2		1	
	実用英語演習	1		
	実用英語演習	1		
	実用英語演習	1		
	実用英語演習	1		
	マルチメディア・イングリッシュ	1		
	ゼミナール - 1	2		
	ゼミナール - 2	2		
	ゼミナール - 3	2		
卒業論文・課題指導		4		
専門科目 目	国際コミュニケーション論 - 1	2		英語ビジネスコミュニケーションコース
	国際コミュニケーション論 - 2	2		
	英米文化論 - 1		2	
	英米文化論 - 2		2	
	アメリカ近現代史概説 - 1		2	
	アメリカ近現代史概説 - 2		2	

第3類（杏林大学学則）

B	ヨーロッパ近現代史概説 - 1		2		
	ヨーロッパ近現代史概説 - 2		2		
	グローバルビジネス論 - 1	2			
	グローバルビジネス論 - 2	2			
	現代北米ビジネス事情 - 1	2			
	現代北米ビジネス事情 - 2	2			
	現代ヨーロッパビジネス事情 - 1	2			
	現代ヨーロッパビジネス事情 - 2	2			
	アメリカ経済論		2		
	アメリカ政治外交論		2		
	ヨーロッパ経済論		2		
	ヨーロッパ政治外交論		2		
	経営管理総論		2		
	経営管理総論		2		
	人材マネジメント論		2		
	人材マネジメント論		2		
	マーケティング総論		2		
	マーケティング総論		2		
	ビジネスイングリッシュ	1			
	ビジネスイングリッシュ	1			
	ビジネスイングリッシュ	1			
	ビジネスイングリッシュ	1			
	ビジネスコミュニケーション演習Ⅰ	1			
	ビジネスコミュニケーション演習		1		
	ビジネスコミュニケーション演習		1		
	ビジネス情報処理演習	1			
	ビジネス情報処理演習		1		
	ビジネス情報処理演習		1		
	専 門 科 目 C	英語学 - 1	2		英語教育コース
		英語学 - 2	2		
		英語音声学 - 1	2		
		英語音声学 - 2	2		
英語史 - 1			2		
英語史 - 2			2		
英語学特論 - 1			2		

第3類（杏林大学学則）

	英語学特論 - 2		2
	英語音声学特論 - 1	2	
	英語音声学特論 - 2	2	
	英語教育論 - 1	2	
	英語教育論 - 2	2	
	児童英語教育論		2
	英米文学		2
	児童文学論		2
	社会言語学 - 1		2
	社会言語学 - 2		2
	対照言語学 - 1		2
	対照言語学 - 2		2
	認知言語学 - 1		2
	認知言語学 - 2		2
	言語獲得のメカニズム - 1		2
	言語獲得のメカニズム - 2		2
	バイリンガル教育論 - 1		2
	バイリンガル教育論 - 2		2
	英語発音聴取	1	
	英語会話	1	
	英語作文	1	
	英語文法	1	
	児童英語教育教材研究		1
	児童英語教育実習		1
	社会人英語教育法 - 1		1
	社会人英語教育法 - 2		1
	英語科教育法 - 1		2
	英語科教育法 - 2		2
専門 関連 科	比較文化論 - 1		2
	比較文化論 - 2		2
	比較文化論 - 1		2
	比較文化論 - 2		2
	アメリカ社会論 - 1		2
	アメリカ社会論 - 2		2
	中国事情		2

第3類（杏林大学学則）

目	韓 国 事 情	2
A	地 域 圏 研 究 - 1	2
	地 域 圏 研 究 - 2	2
	地 域 圏 研 究 - 1	2
	地 域 圏 研 究 - 2	2
	地 域 圏 研 究 - 1	2
	地 域 圏 研 究 - 2	2
	地 域 圏 研 究 - 1	2
	地 域 圏 研 究 - 2	2
	地 域 圏 研 究 - 1	2
	地 域 圏 研 究 - 2	2
	地 域 圏 研 究 - 1	2
	地 域 圏 研 究 - 2	2
	国 際 関 係 論	2
	国 際 関 係 論	2
	経 済 原 論	2
	経 済 原 論	2
	西 洋 史 - 1	2
	西 洋 史 - 2	2
	中 国 史 - 1	2
	中 国 史 - 2	2
	日 本 史 - 1	2
	日 本 史 - 2	2
	言 語 学 - 1	2
	言 語 学 - 2	2
	言 語 と 文 化 - 1	2
	言 語 と 文 化 - 2	2
	日 中 文 化 交 流 史 - 1	2
	日 中 文 化 交 流 史 - 2	2
	日 韓 文 化 交 流 史 - 1	2
	日 韓 文 化 交 流 史 - 2	2
	神 話 学	2
	文 化 人 類 学	2
	クリエイティブ・コミュニケーション論 - 1	2
	クリエイティブ・コミュニケーション論 - 2	2

第3類（杏林大学学則）

	英語総合講座 - 1		2	
	英語総合講座 - 2		2	
	英語特論 - 1		2	
	英語特論 - 2		2	
	コミュニケーション概論	2		
	キャリア指導 - 1	1		
	キャリア指導 - 2	1		
	キャリア指導 - 1	1		
	キャリア指導 - 2	1		
	ホスピタリティ実習 - 1	1		
	ホスピタリティ実習 - 2	1		
	インターンシップ		1	インターンシップ ~ のうち1科目選択必修
	インターンシップ		1	
	インターンシップ		1	
	インターンシップ		1	
専門 関 連 科 目 B	ドイツ語 - 1		1	
	ドイツ語 - 2		1	
	ドイツ語 - 1		1	
	ドイツ語 - 2		1	
	ドイツ語 - 1		1	
	ドイツ語 - 2		1	
	フランス語 - 1		1	
	フランス語 - 2		1	
	フランス語 - 1		1	
	フランス語 - 2		1	
	フランス語 - 1		1	
	フランス語 - 2		1	
	スペイン語 - 1		1	
	スペイン語 - 2		1	
	スペイン語 - 1		1	
	スペイン語 - 2		1	
	インドネシア語 - 1		1	
	インドネシア語 - 2		1	

第3類（杏林大学学則）

インドネシア語	- 1	1
インドネシア語	- 2	1
インドネシア語	- 1	1
インドネシア語	- 2	1
韓国語	- 1	1
韓国語	- 2	1
韓国語	- 1	1
韓国語	- 2	1
韓国語	- 1	1
韓国語	- 2	1
情報英語		1
情報英語		1
情報中国語		1
情報中国語		1
情報日本語		1
口語英語	- 1	1
口語英語	- 2	1
口語英語	- 1	1
口語英語	- 2	1
口語英語	- 1	1
口語英語	- 2	1
口語英語	- 1	1
口語英語	- 2	1
口語英語	- 1	1
口語英語	- 2	1
中国語演習	- 1	2
中国語演習	- 2	2
中国語演習	- 1	2
中国語演習	- 2	2
中国語演習	- 1	2
中国語演習	- 2	2
中国語実習	- 1	1
中国語実習	- 2	1
中国語実習	- 1	1
中国語実習	- 2	1

第3類 (杏林大学学則)

	中国語実習	-	1		1
	中国語実習	-	2		1
専門 関連 科目 C	哲学	-	1		2
	哲学	-	2		2
	宗教学	-	1		2
	宗教学	-	2		2
	歴史学	-	1		2
	歴史学	-	2		2
	文学	-	1		2
	文学	-	2		2
	音楽	-	1		2
	音楽	-	2		2
	日本国憲法				2
	法学				2
	政治学	-	1		2
	政治学	-	2		2
	地理学	-	1		2
	地理学	-	2		2
	経済学	-	1		2
	経済学	-	2		2
	数学	-	1		2
	数学	-	2		2
	物理学	-	1		2
	物理学	-	2		2
	化学	-	1		2
	化学	-	2		2
	生物学	-	1		2
	生物学	-	2		2
	心理学	-	1		2
	心理学	-	2		2
	統計学	-	1		2
	統計学	-	2		2
	情報処				2
理				1	
体育				1	
体育実技	-	1		1	

第3類（杏林大学学則）

	体 育 実 技 - 2		1	
専 門 関 連 D	他 学 部 の 設 置 科 目			
自 科 由 目				

東アジア言語学科

授 業 科 目 の 名 称				単 位 数		備 考
				必 修	選 択	
専 門 外 国 語 科 目	英 語	-	1	1		英語及び中国語(留学生は日本語から8単位選択)必修16単位
	英 語	-	2	1		
	英 語	-	1	1		
	英 語	-	2	1		
	英 語	-	1	1		
	英 語	-	2	1		
	英 語	-	1	1		
	英 語	-	2	1		
	中 国 語	-	1	1		
	中 国 語	-	2	1		
	中 国 語	-	1	1		
	中 国 語	-	2	1		
	中 国 語	-	1	1		
	中 国 語	-	2	1		
	中 国 語	-	1	1		
	中 国 語	-	2	1		
	日 本 語	-	1		1	
	日 本 語	-	2		1	
	日 本 語	-	1		1	
日 本 語	-	2		1		
日 本 語	-	1		1		
日 本 語	-	2		1		
日 本 語	-	1		1		

第3類（杏林大学学則）

	日 本 語 - 2		1		
	日 本 語 - 1		1		
	日 本 語 - 2		1		
	日 本 語 - 1		1		
	日 本 語 - 2		1		
	日 本 語 - 1		1		
	日 本 語 - 2		1		
	インテンシブ中国語 - 1		1	中国語ビジネスコミュニケーションコース希望者は必修	
	インテンシブ中国語 - 2		1		
	インテンシブ中国語 - 1		1		
	インテンシブ中国語 - 2		1		
	インテンシブ中国語 - 1		1		
	インテンシブ中国語 - 2		1		
	インテンシブ中国語 - 1		1		
	インテンシブ中国語 - 2		1		
	日 本 文 化 論 2				中国語ビジネスコミュニケーションコース希望者は必修
	異文化交流の実際 2				
専	民 俗 学 2		2		
門	東アジア対照言語学 - 1 2		2		
科	東アジア対照言語学 - 2 2		2		
目	朝鮮半島政治外交論 2		2		
A	実務英語 - 1 1				
	実務英語 - 2 1				
	交渉英語 - 1 1				
	交渉英語 - 2 1				
	ゼミナール - 1 2				
	ゼミナール - 2 2				
	ゼミナール - 3 2				
	卒業論文・課題指導 4				
専	日本語教育概説 - 1 2			日本語教育学コース	
門	日本語教育概説 - 2 2				
科	日本語教授法概論 - 1 2				
	日本語教授法概論 - 2 2				
	日本語学概論 - 1 2				

第3類（杏林大学学則）

目	日本語学概論 - 2	2		
B	日本語音声学 - 1		2	
	日本語音声学 - 2		2	
	日本語文法論 - 1		2	
	日本語文法論 - 2		2	
	日本語意味論 - 1		2	
	日本語意味論 - 2		2	
	日本語教材教具論		2	
	試験と評価		2	
	日本語語彙論		2	
	日本語文字表記概説		2	
	日本語史		2	
	日本人の言語行動		2	
	異文化理解とコミュニケーション		2	
	社会言語学 - 1		2	
	社会言語学 - 2		2	
	対照言語学 - 1		2	
	対照言語学 - 2		2	
	認知言語学 - 1		2	
	認知言語学 - 2		2	
	言語獲得のメカニズム - 1		2	
	言語獲得のメカニズム - 2		2	
	バイリンガル教育論 - 1		2	
	バイリンガル教育論 - 2		2	
	日本語教授法演習 - 1		1	
	日本語教授法演習 - 2		1	
	日本語教育実習 - 1		1	
	日本語教育実習 - 2		1	
	日本語教育実習 - 1		1	
	日本語教育実習 - 2		1	
	日本語学演習 - 1	1		
	日本語学演習 - 2	1		
	日本語教育演習 - 1	1		
	日本語教育演習 - 2	1		
	中国語学概論 - 1	2		

第3類（杏林大学学則）

専 門 科 目 C	中国語学概論 - 2	2	中国語ビジネスコミュニケ ーションコース	
	中国人のコミュニケーションスタイル-1			2
	中国人のコミュニケーションスタイル-2			2
	中国語音声学 - 1			2
	中国語音声学 - 2			2
	中国語翻訳法 - 1			2
	中国語翻訳法 - 2			2
	中国語通訳法 - 1			2
	中国語通訳法 - 2			2
	中国の自然地理・風俗習慣	2		
	中国思想史			2
	中国文学史			2
	中国古典概説			2
	日中比較文化概論			2
	中国経済概論 - 1	2		
	中国経済概論 - 2	2		
	現代中国ビジネス事情			2
	日中貿易論			2
	アジア経済論			2
	中国近現代史 - 1			2
	中国近現代史 - 2			2
	中国政治外交論			2
	実用中国語演習			1
	実用中国語演習			1
	中国語文章表現法 - 1			1
	中国語文章表現法 - 2			1
	中国語聴解・討論 - 1			1
	中国語聴解・討論 - 2			1
	時事中国語 - 1			1
	時事中国語 - 2			1
	貿易中国語 - 1			1
	貿易中国語 - 2			1
中国語ビジネス会話 - 1	1			
中国語ビジネス会話 - 2	1			
中国語情報処理 - 1	1			

第3類 (杏林大学学則)

	中国語情報処理 - 2	1	
専門 関連 科目 目 A	比較文化論 - 1		2
	比較文化論 - 2		2
	比較文化論 - 1		2
	比較文化論 - 2		2
	アメリカ社会論 - 1		2
	アメリカ社会論 - 2		2
	中国事情		2
	韓国事情		2
	地域圏研究 - 1		2
	地域圏研究 - 2		2
	地域圏研究 - 1		2
	地域圏研究 - 2		2
	地域圏研究 - 1		2
	地域圏研究 - 2		2
	地域圏研究 - 1		2
	地域圏研究 - 2		2
	地域圏研究 - 1		2
	地域圏研究 - 2		2
	地域圏研究 - 1		2
	地域圏研究 - 2		2
	国際関係論		2
	国際関係論		2
	経済原論		2
	経済原論		2
	西洋史 - 1		2
	西洋史 - 2		2
	中国史 - 1		2
	中国史 - 2		2
	日本史 - 1		2
	日本史 - 2		2
言語学 - 1		2	
言語学 - 2		2	
言語と文化 - 1		2	
言語と文化 - 2		2	

第3類 (杏林大学学則)

	日 中 文 化 交 流 史 - 1		2	
	日 中 文 化 交 流 史 - 2		2	
	日 韓 文 化 交 流 史 - 1		2	
	日 韓 文 化 交 流 史 - 2		2	
	神 話 学		2	
	文 化 人 類 学		2	
	クリエイティブ・コミュニケーション論-1		2	
	クリエイティブ・コミュニケーション論-2		2	
	英 語 総 合 講 座 - 1		2	
	英 語 総 合 講 座 - 2		2	
	英 語 特 論 - 1		2	
	英 語 特 論 - 2		2	
	コミュニケーション概論	2		
	キャリア指導 - 1	1		
	キャリア指導 - 2	1		
	キャリア指導 - 1	1		
	キャリア指導 - 2	1		
	ホスピタリティ実習 - 1	1		
	ホスピタリティ実習 - 2	1		
	インターンシップ		1	インターンシップ ~ のうち1科目選択必修
	インターンシップ		1	
	インターンシップ		1	
	インターンシップ		1	
専 門 関 連 科 目 B	ド イ ツ 語 - 1		1	
	ド イ ツ 語 - 2		1	
	ド イ ツ 語 - 1		1	
	ド イ ツ 語 - 2		1	
	ド イ ツ 語 - 1		1	
	ド イ ツ 語 - 2		1	
	フ ラ ン ス 語 - 1		1	
	フ ラ ン ス 語 - 2		1	
	フ ラ ン ス 語 - 1		1	
	フ ラ ン ス 語 - 2		1	

第3類（杏林大学学則）

スペイン語	- 1	1
スペイン語	- 2	1
スペイン語	- 1	1
スペイン語	- 2	1
スペイン語	- 1	1
スペイン語	- 2	1
インドネシア語	- 1	1
インドネシア語	- 2	1
インドネシア語	- 1	1
インドネシア語	- 2	1
インドネシア語	- 1	1
インドネシア語	- 2	1
韓国語	- 1	1
韓国語	- 2	1
韓国語	- 1	1
韓国語	- 2	1
韓国語	- 1	1
韓国語	- 2	1
情報英語		1
情報英語		1
情報中国語		1
情報中国語		1
情報日本語		1
口語英語	- 1	1
口語英語	- 2	1
口語英語	- 1	1
口語英語	- 2	1
口語英語	- 1	1
口語英語	- 2	1
口語英語	- 1	1
口語英語	- 2	1
口語英語	- 1	1
口語英語	- 2	1
中国語演習	- 1	2
中国語演習	- 2	2

第3類 (杏林大学学則)

	中国語演習	-	1	2
	中国語演習	-	2	2
	中国語演習	-	1	2
	中国語演習	-	2	2
	中国語実習	-	1	1
	中国語実習	-	2	1
	中国語実習	-	1	1
	中国語実習	-	2	1
	中国語実習	-	1	1
	中国語実習	-	2	1
専門 関 連 科 目 C	哲学	-	1	2
	哲学	-	2	2
	宗教学	-	1	2
	宗教学	-	2	2
	歴史学	-	1	2
	歴史学	-	2	2
	文学	-	1	2
	文学	-	2	2
	音楽	-	1	2
	音楽	-	2	2
	日本国憲法			2
	法学			2
	政治学	-	1	2
	政治学	-	2	2
	地理学	-	1	2
	地理学	-	2	2
	経済学	-	1	2
	経済学	-	2	2
	数学	-	1	2
	数学	-	2	2
	物理学	-	1	2
	物理学	-	2	2
	化学	-	1	2
化学	-	2	2	
生物学	-	1	2	

第3類（杏林大学学則）

	生 物 学 - 2		2	
	心 理 学 - 1		2	
	心 理 学 - 2		2	
	統 計 学 - 1		2	
	統 計 学 - 2		2	
	情 報 処 理 学		2	
	体 育 理 論		1	
	体 育 実 技 - 1		1	
	体 育 実 技 - 2		1	
専 科 門 関 連 D	他 学 部 の 設 置 科 目			
自 科 由 目				

応用コミュニケーション学科

授 業 科 目 の 名 称	単 位 数		備 考
	必 修	選 択	
英 語 - 1	1		英語及び中国語(留学生は日本語から8単位選択)必修16単位
英 語 - 2	1		
英 語 - 1	1		
英 語 - 2	1		
英 語 - 1	1		
英 語 - 2	1		
英 語 - 1	1		
英 語 - 2	1		
中 国 語 - 1	1		
中 国 語 - 2	1		
中 国 語 - 1	1		
中 国 語 - 2	1		
中 国 語 - 1	1		
中 国 語 - 2	1		
中 国 語 - 1	1		

第3類（杏林大学学則）

専 門 科 目 B	感性コミュニケーション論	2		表現メディアコース
	情報社会論	2		
	文化産業論	2		
	表象文化論	2		
	大衆文化論 - 1		2	
	大衆文化論 - 2		2	
	大衆文化論 - 1		2	
	大衆文化論 - 2		2	
	ジャーナリズム論		2	
	印刷出版文化論 - 1		2	
	印刷出版文化論 - 2		2	
	翻訳・翻案文化論		2	
	映像文化論		2	
	演劇文化論		2	
	身体表現論		2	
	空間表現論		2	
	意匠・デザイン論		2	
	情報発信特論		2	
	情報発信特論		2	
	言語芸術表現論		2	
	言語芸術表現論		2	
	言語芸術表現論		2	
	比較文学論		2	
	レトリック論		2	
	ファンタジー論		2	
	こころと身体のメカニズム		2	
	こころと身体のメカニズム		2	
	こころと身体のメカニズム		2	
	言語芸術表現演習		1	
	言語芸術表現演習		1	
言語芸術表現演習		1		
クリエイティブ・コミュニケーション演習		1		
クリエイティブ・コミュニケーション演習		1		
クリエイティブ・コミュニケーション演習		1		
コンテンツ・デザイン実習		1		

第3類（杏林大学学則）

	カルチャー・マネジメント実習	1	
	アドバタイズメント・デザイン実習	1	
	ライフスタイル・コーディネート実習	1	
	アーツ・セラピー実習	1	
専 門 科 目 C	観光文化論入門	2	観光文化コース
	ホスピタリティ・コミュニケーション論入門	2	
	ホスピタリティ論 - 1	2	
	ホスピタリティ論 - 2	2	
	ホスピタリティ論 - 1	2	
	ホスピタリティ論 - 2	2	
	宿泊産業概論	2	
	宿泊産業経営論	2	
	旅行産業概論	2	
	旅行産業経営論	2	
	フードビジネス概論	2	
	フードビジネス経営論	2	
	観光文化特論 - 1	2	
	観光文化特論 - 2	2	
	観光文化特論 - 1	2	
	観光文化特論 - 2	2	
	観光文化特論 - 1	2	
	観光文化特論 - 2	2	
	観光文化特論 - 1	2	
	観光文化特論 - 2	2	
	観光保健論 - 1	2	
	観光保健論 - 2	2	
	観光地理	2	
	観光地理	2	
	観光業務論	2	
	観光業務論	2	
	観光業務論	2	
	観光業務論	2	
	観光業務論 - 1	2	
	観光業務論 - 2	2	
観光業務特論	2		

第3類（杏林大学学則）

	観光業務特論		2	
	ホスピタリティ演習 - 1		1	
	ホスピタリティ演習 - 2		1	
	ホスピタリティ演習 - 3		1	
	観光手話 - 1		1	
	観光手話 - 2		1	
	観光英語 - 1	1		
	観光英語 - 2	1		
	観光日本語	1		
	観光中国語	1		
	観光実習	1		
専門 関連 科目 A	比較文化論 - 1		2	
	比較文化論 - 2		2	
	比較文化論 - 1		2	
	比較文化論 - 2		2	
	アメリカ社会論 - 1		2	
	アメリカ社会論 - 2		2	
	中国事情		2	
	韓国事情		2	
	地域圏研究 - 1		2	
	地域圏研究 - 2		2	
	地域圏研究 - 1		2	
	地域圏研究 - 2		2	
	地域圏研究 - 1		2	
	地域圏研究 - 2		2	
	地域圏研究 - 1		2	
	地域圏研究 - 2		2	
	地域圏研究 - 1		2	
	地域圏研究 - 2		2	
	国際関係論		2	
	国際関係論		2	
経済原論		2		
経済原論		2		

第3類 (杏林大学学則)

西 洋 史 - 1		2	
西 洋 史 - 2		2	
中 国 史 - 1		2	
中 国 史 - 2		2	
日 本 史 - 1		2	
日 本 史 - 2		2	
言 語 学 - 1		2	
言 語 学 - 2		2	
言 語 と 文 化 - 1		2	
言 語 と 文 化 - 2		2	
日 中 文 化 交 流 史 - 1		2	
日 中 文 化 交 流 史 - 2		2	
日 韓 文 化 交 流 史 - 1		2	
日 韓 文 化 交 流 史 - 2		2	
神 話 学		2	
文 化 人 類 学		2	
クリエイティブ・コミュニケーション論-1		2	
クリエイティブ・コミュニケーション論-2		2	
英 語 総 合 講 座 - 1		2	
英 語 総 合 講 座 - 2		2	
英 語 特 論 - 1		2	
英 語 特 論 - 2		2	
コミュニケーション概論	2		
キャリア指導 - 1	1		
キャリア指導 - 2	1		
キャリア指導 - 1	1		
キャリア指導 - 2	1		
ホスピタリティ実習 - 1	1		
ホスピタリティ実習 - 2	1		
インターンシップ		1	インターンシップ ~ のうち1科目選択必修
インターンシップ		1	
インターンシップ		1	
インターンシップ		1	
ド イ ツ 語 - 1		1	
ド イ ツ 語 - 2		1	

第3類（杏林大学学則）

専門 関連 科目 B	ドイツ語	- 1	1
	ドイツ語	- 2	1
	ドイツ語	- 1	1
	ドイツ語	- 2	1
	フランス語	- 1	1
	フランス語	- 2	1
	フランス語	- 1	1
	フランス語	- 2	1
	フランス語	- 1	1
	フランス語	- 2	1
	スペイン語	- 1	1
	スペイン語	- 2	1
	スペイン語	- 1	1
	スペイン語	- 2	1
	スペイン語	- 1	1
	スペイン語	- 2	1
	インドネシア語	- 1	1
	インドネシア語	- 2	1
	インドネシア語	- 1	1
	インドネシア語	- 2	1
	インドネシア語	- 1	1
	インドネシア語	- 2	1
	韓国語	- 1	1
	韓国語	- 2	1
	韓国語	- 1	1
	韓国語	- 2	1
	韓国語	- 1	1
	韓国語	- 2	1
	情報英語		1
	情報英語		1
情報中国語		1	
情報中国語		1	
情報日本語		1	
口語英語	- 1	1	
口語英語	- 2	1	

第3類 (杏林大学学則)

	口 語 英 語	-	1	1
	口 語 英 語	-	2	1
	口 語 英 語	-	1	1
	口 語 英 語	-	2	1
	口 語 英 語	-	1	1
	口 語 英 語	-	2	1
	口 語 英 語	-	1	1
	口 語 英 語	-	2	1
	中 国 語 演 習	-	1	2
	中 国 語 演 習	-	2	2
	中 国 語 演 習	-	1	2
	中 国 語 演 習	-	2	2
	中 国 語 演 習	-	1	2
	中 国 語 演 習	-	2	2
	中 国 語 実 習	-	1	1
	中 国 語 実 習	-	2	1
	中 国 語 実 習	-	1	1
	中 国 語 実 習	-	2	1
	中 国 語 実 習	-	1	1
	中 国 語 実 習	-	2	1
專 門 関 連 科 目 C	哲 学	-	1	2
	哲 学	-	2	2
	宗 教 学	-	1	2
	宗 教 学	-	2	2
	歴 史 学	-	1	2
	歴 史 学	-	2	2
	文 学	-	1	2
	文 学	-	2	2
	音 楽	-	1	2
	音 楽	-	2	2
	日 本 国 憲 法 学			2
	法 学			2
	政 治 学	-	1	2
	政 治 学	-	2	2
地 理 学	-	1	2	

第3類（杏林大学学則）

	地 理 学	-	2	2	
	経 済 学	-	1	2	
	経 済 学	-	2	2	
	数 学	-	1	2	
	数 学	-	2	2	
	物 理 学	-	1	2	
	物 理 学	-	2	2	
	化 学	-	1	2	
	化 学	-	2	2	
	生 物 学	-	1	2	
	生 物 学	-	2	2	
	心 理 学	-	1	2	
	心 理 学	-	2	2	
	統 計 学	-	1	2	
	統 計 学	-	2	2	
	情 報 処 理			2	
	体 育 理 論			1	
	体 育 実 技	-	1	1	
	体 育 実 技	-	2	1	
専 科 目 関 連 D	他 学 部 の 設 置 科 目				
自 科 目					

第3類(杏林大学学則)

別表4-3(平成20年度入学生から適用)

外国語学部学科目構成

英語学科

授業科目の名称				単位数		備考
				必修	選択	
専門外国語科目	英語	-	1	1		英語及び中国語(留学生は日本語から8単位選択)必修16単位
	英語	-	2	1		
	英語	-	1	1		
	英語	-	2	1		
	英語	-	1	1		
	英語	-	2	1		
	英語	-	1	1		
	英語	-	2	1		
	中国語	-	1	1		
	中国語	-	2	1		
	中国語	-	1	1		
	中国語	-	2	1		
	中国語	-	1	1		
	中国語	-	2	1		
	中国語	-	1	1		
	中国語	-	2	1		
	日本語	-	1		1	
	日本語	-	2		1	
	日本語	-	1		1	
	日本語	-	2		1	
	日本語	-	1		1	
	日本語	-	2		1	
	日本語	-	1		1	
	日本語	-	2		1	
	日本語	-	1		1	
	日本語	-	2		1	
	日本語	-	1		1	
日本語	-	2		1		

第3類（杏林大学学則）

	インテンシブ中国語 - 1		1	
	インテンシブ中国語 - 2		1	
	インテンシブ中国語 - 1		1	
	インテンシブ中国語 - 2		1	
	インテンシブ中国語 - 1		1	
	インテンシブ中国語 - 2		1	
	インテンシブ中国語 - 1		1	
	インテンシブ中国語 - 2		1	
専門科目 目 A	日米比較文化概論	2		
	英語の文化誌	2		
	日米関係史概論		2	
	ヨーロッパの社会と文化		2	
	英語演習	1		
	英語演習	1		
	英語演習	1		
	英語演習	1		
	現代英語講読 - 1	1		
	現代英語講読 - 2	1		
	現代英語講読 - 1		1	
	現代英語講読 - 2		1	
	英語文章表現法 - 1		1	
	英語文章表現法 - 2		1	
	英語聴解・討論 - 1		1	
	英語聴解・討論 - 2		1	
	実用英語		1	
	実用英語		1	
	実用英語		1	
	実用英語		1	
	実用英語演習	1		
	実用英語演習	1		
	実用英語演習	1		
実用英語演習	1			
マルチメディア・イングリッシュ	1			
ゼミナール - 1	2			
ゼミナール - 2	2			

第3類 (杏林大学学則)

	ゼミナール - 3	2			
	卒業論文・課題指導		4		
専 門 科 目 B	国際コミュニケーション論 - 1	2		英語ビジネスコミュニケーションコース	
	国際コミュニケーション論 - 2	2			
	英米文化論 - 1		2		
	英米文化論 - 2		2		
	アメリカ近現代史概説 - 1		2		
	アメリカ近現代史概説 - 2		2		
	ヨーロッパ近現代史概説 - 1		2		
	ヨーロッパ近現代史概説 - 2		2		
	グローバルビジネス論 - 1	2			
	グローバルビジネス論 - 2	2			
	現代北米ビジネス事情 - 1	2			
	現代北米ビジネス事情 - 2	2			
	現代ヨーロッパビジネス事情 - 1	2			
	現代ヨーロッパビジネス事情 - 2	2			
	アメリカ経済論		2		
	アメリカ政治外交論		2		
	ヨーロッパ経済論		2		
	ヨーロッパ政治外交論		2		
	経営管理総論		2		
	経営管理総論		2		
	人材マネジメント論		2		
	人材マネジメント論		2		
	マーケティング総論		2		
	マーケティング総論		2		
	ビジネスイングリッシュ	1			
	ビジネスイングリッシュ	1			
	ビジネスイングリッシュ	1			
	ビジネスイングリッシュ	1			
ビジネスコミュニケーション演習Ⅰ	1				
ビジネスコミュニケーション演習		1			
ビジネスコミュニケーション演習		1			
ビジネス情報処理演習	1				
ビジネス情報処理演習		1			

第3類（杏林大学学則）

	ビジネス情報処理演習		1	
専 門 科 目 C	英語学 - 1	2		英語教育コース
	英語学 - 2	2		
	英語音声学 - 1	2		
	英語音声学 - 2	2		
	英語史 - 1		2	
	英語史 - 2		2	
	英語学特論 - 1		2	
	英語学特論 - 2		2	
	英語音声学特論 - 1	2		
	英語音声学特論 - 2	2		
	英語教育論 - 1	2		
	英語教育論 - 2	2		
	児童英語教育論		2	
	英米文学		2	
	児童文学論		2	
	社会言語学 - 1		2	
	社会言語学 - 2		2	
	対照言語学 - 1		2	
	対照言語学 - 2		2	
	認知言語学 - 1		2	
	認知言語学 - 2		2	
	言語獲得のメカニズム - 1		2	
	言語獲得のメカニズム - 2		2	
	バイリンガル教育論 - 1		2	
	バイリンガル教育論 - 2		2	
	英語発音聴取	1		
	英語会話	1		
	英語作文	1		
	英語文法	1		
	児童英語教育教材研究		1	
児童英語教育実習		1		
社会人英語教育法 - 1		1		
社会人英語教育法 - 2		1		
英語科教育法 - 1		2		

第3類 (杏林大学学則)

	英語科教育法 - 2		2
専門 関連 科目 目 A	比較文化論 - 1		2
	比較文化論 - 2		2
	比較文化論 - 1		2
	比較文化論 - 2		2
	アメリカ社会論 - 1		2
	アメリカ社会論 - 2		2
	中国事情		2
	韓国事情		2
	地域圏研究 - 1		2
	地域圏研究 - 2		2
	地域圏研究 - 1		2
	地域圏研究 - 2		2
	地域圏研究 - 1		2
	地域圏研究 - 2		2
	地域圏研究 - 1		2
	地域圏研究 - 2		2
	地域圏研究 - 1		2
	地域圏研究 - 2		2
	地域圏研究 - 1		2
	地域圏研究 - 2		2
	国際関係論		2
	国際関係論		2
	経済原論		2
	経済原論		2
	西洋史 - 1		2
	西洋史 - 2		2
	中国史 - 1		2
	中国史 - 2		2
	日本史 - 1		2
日本史 - 2		2	
言語学 - 1		2	
言語学 - 2		2	
言語と文化 - 1		2	
言語と文化 - 2		2	

第3類 (杏林大学学則)

	日 中 文 化 交 流 史 - 1		2	
	日 中 文 化 交 流 史 - 2		2	
	日 韓 文 化 交 流 史 - 1		2	
	日 韓 文 化 交 流 史 - 2		2	
	神 話 学		2	
	文 化 人 類 学		2	
	クリエイティブ・コミュニケーション論-1		2	
	クリエイティブ・コミュニケーション論-2		2	
	英 語 総 合 講 座 - 1		2	
	英 語 総 合 講 座 - 2		2	
	英 語 特 論 - 1		2	
	英 語 特 論 - 2		2	
	コミュニケーション概論	2		
	基 礎 演 習 - 1	1		
	基 礎 演 習 - 2	1		
	キャリア指導 - 1	1		
	キャリア指導 - 2	1		
	キャリア指導 - 1	1		
	キャリア指導 - 2	1		
	ホスピタリティ実習 - 1	1		
	ホスピタリティ実習 - 2	1		
	インターンシップ		1	インターンシップ ~ のうち1科目選択必修
	インターンシップ		1	
	インターンシップ		1	
	インターンシップ		1	
専 門 関 連 科 目 B	ド イ ツ 語 - 1		1	
	ド イ ツ 語 - 2		1	
	ド イ ツ 語 - 1		1	
	ド イ ツ 語 - 2		1	
	ド イ ツ 語 - 1		1	
	ド イ ツ 語 - 2		1	
	フ ラ ン ス 語 - 1		1	
	フ ラ ン ス 語 - 2		1	
	フ ラ ン ス 語 - 1		1	
	フ ラ ン ス 語 - 2		1	

第3類（杏林大学学則）

フランス語	- 1	1
フランス語	- 2	1
スペイン語	- 1	1
スペイン語	- 2	1
スペイン語	- 1	1
スペイン語	- 2	1
スペイン語	- 1	1
スペイン語	- 2	1
インドネシア語	- 1	1
インドネシア語	- 2	1
インドネシア語	- 1	1
インドネシア語	- 2	1
インドネシア語	- 1	1
インドネシア語	- 2	1
韓国語	- 1	1
韓国語	- 2	1
韓国語	- 1	1
韓国語	- 2	1
韓国語	- 1	1
韓国語	- 2	1
情報英語		1
情報英語		1
情報中国語		1
情報中国語		1
情報日本語		1
□語英語	- 1	1
□語英語	- 2	1
□語英語	- 1	1
□語英語	- 2	1
□語英語	- 1	1
□語英語	- 2	1
□語英語	- 1	1
□語英語	- 2	1
□語英語	- 1	1
□語英語	- 2	1

第3類 (杏林大学学則)

	中国語演習	-	1	2
	中国語演習	-	2	2
	中国語演習	-	1	2
	中国語演習	-	2	2
	中国語演習	-	1	2
	中国語演習	-	2	2
	中国語実習	-	1	1
	中国語実習	-	2	1
	中国語実習	-	1	1
	中国語実習	-	2	1
	中国語実習	-	1	1
	中国語実習	-	2	1
専門 関連 科目 C	哲学	-	1	2
	哲学	-	2	2
	宗教学	-	1	2
	宗教学	-	2	2
	歴史学	-	1	2
	歴史学	-	2	2
	文学	-	1	2
	文学	-	2	2
	音楽	-	1	2
	音楽	-	2	2
	日本国憲法			2
	法学			2
	政治学	-	1	2
	政治学	-	2	2
	地理学	-	1	2
	地理学	-	2	2
	経済学	-	1	2
	経済学	-	2	2
	数学	-	1	2
	数学	-	2	2
物理学	-	1	2	
物理学	-	2	2	
化学	-	1	2	

第3類（杏林大学学則）

	化 学 - 2		2	
	生 物 学 - 1		2	
	生 物 学 - 2		2	
	心 理 学 - 1		2	
	心 理 学 - 2		2	
	統 計 学 - 1		2	
	統 計 学 - 2		2	
	情 報 処 理		2	
	体 育 理 論		1	
	体 育 実 技 - 1		1	
	体 育 実 技 - 2		1	
専 科 門 目 関 連 D	他 学 部 の 設 置 科 目			
自 科 由 目				

中国語・日本語学科

授 業 科 目 の 名 称		単 位 数		備 考
		必 修	選 択	
専 門 外 国 語 科 目	英 語 - 1	1		英語及び中国語(留学生は日本語から8単位選択)必修16単位
	英 語 - 2	1		
	英 語 - 1	1		
	英 語 - 2	1		
	英 語 - 1	1		
	英 語 - 2	1		
	英 語 - 1	1		
	英 語 - 2	1		
	中 国 語 - 1	1		
	中 国 語 - 2	1		
	中 国 語 - 1	1		
	中 国 語 - 2	1		
	中 国 語 - 1	1		

第3類（杏林大学学則）

	中国語	- 2	1		
	中国語	- 1	1		
	中国語	- 2	1		
	日本語	- 1		1	
	日本語	- 2		1	
	日本語	- 1		1	
	日本語	- 2		1	
	日本語	- 1		1	
	日本語	- 2		1	
	日本語	- 1		1	
	日本語	- 2		1	
	日本語	- 1		1	
	日本語	- 2		1	
	日本語	- 1		1	
	日本語	- 2		1	
	日本語	- 1		1	
	日本語	- 2		1	
	日本語	- 1		1	
	日本語	- 2		1	
	インテンシブ中国語	- 1		1	中国語ビジネスコミュニケーションコース希望者は必修
	インテンシブ中国語	- 2		1	
	インテンシブ中国語	- 1		1	
	インテンシブ中国語	- 2		1	
	インテンシブ中国語	- 1		1	
	インテンシブ中国語	- 2		1	
	インテンシブ中国語	- 1		1	
	インテンシブ中国語	- 2		1	
	インテンシブ中国語	- 1		1	
	インテンシブ中国語	- 2		1	
専門科目A	日本文化論		2		
	異文化交流の実際		2		
	民俗学			2	
	東アジア対照言語学	- 1		2	
	東アジア対照言語学	- 2		2	
	朝鮮半島政治外交論			2	
	実務英語	- 1	1		
	実務英語	- 2	1		
交渉英語	- 1	1			
交渉英語	- 2	1			

第3類（杏林大学学則）

	ゼミナール - 1	2		
	ゼミナール - 2	2		
	ゼミナール - 3	2		
	卒業論文・課題指導		4	
専 門 科 目 B	日本語教育概説 - 1	2		日本語教育学コース
	日本語教育概説 - 2	2		
	日本語教授法概論 - 1	2		
	日本語教授法概論 - 2	2		
	日本語学概論 - 1	2		
	日本語学概論 - 2	2		
	日本語音声学 - 1		2	
	日本語音声学 - 2		2	
	日本語文法論 - 1		2	
	日本語文法論 - 2		2	
	日本語意味論 - 1		2	
	日本語意味論 - 2		2	
	日本語教材教具論		2	
	試験と評価		2	
	日本語語彙論		2	
	日本語文字表記概説		2	
	日本語史		2	
	日本人の言語行動		2	
	異文化理解とコミュニケーション		2	
	社会言語学 - 1		2	
	社会言語学 - 2		2	
	対照言語学 - 1		2	
	対照言語学 - 2		2	
	認知言語学 - 1		2	
	認知言語学 - 2		2	
	言語獲得のメカニズム - 1		2	
	言語獲得のメカニズム - 2		2	
	バイリンガル教育論 - 1		2	
バイリンガル教育論 - 2		2		
日本語教授法演習 - 1		1		
日本語教授法演習 - 2		1		

第3類（杏林大学学則）

	日本語教育実習 - 1		1	
	日本語教育実習 - 2		1	
	日本語教育実習 - 1		1	
	日本語教育実習 - 2		1	
	日本語学演習 - 1	1		
	日本語学演習 - 2	1		
	日本語教育演習 - 1	1		
	日本語教育演習 - 2	1		
専 門 科 目 C	中国語学概論 - 1	2		中国語ビジネスコミュニケーションコース
	中国語学概論 - 2	2		
	中国人のコミュニケーションスタイル-1		2	
	中国人のコミュニケーションスタイル-2		2	
	中国語音声学 - 1	2		
	中国語音声学 - 2	2		
	中国語翻訳法 - 1		2	
	中国語翻訳法 - 2		2	
	中国語通訳法 - 1		2	
	中国語通訳法 - 2		2	
	中国語通訳法 - 1		2	
	中国語通訳法 - 2		2	
	中国の自然地理・風俗習慣	2		
	中国思想史		2	
	中国文学史 - 1		2	
	中国文学史 - 2		2	
	中国古典概説 - 1		2	
	中国古典概説 - 2		2	
	日中比較文化概論		2	
	中国経済概論 - 1		2	
	中国経済概論 - 2		2	
	現代中国ビジネス事情		2	
	日中貿易論		2	
	アジア経済論		2	
	中国近現代史 - 1		2	
	中国近現代史 - 2		2	
中国政治外交論		2		

第3類 (杏林大学学則)

	实用中国語演習		1	
	实用中国語演習		1	
	中国語文章表現法 - 1		1	
	中国語文章表現法 - 2		1	
	中国語聴解・討論 - 1		1	
	中国語聴解・討論 - 2		1	
	時事中国語 - 1		1	
	時事中国語 - 2		1	
	貿易中国語 - 1		1	
	貿易中国語 - 2		1	
	中国語ビジネス会話 - 1	1		
	中国語ビジネス会話 - 2	1		
	中国語情報処理 - 1	1		
	中国語情報処理 - 2	1		
専門 関 連 科 目 A	比較文化論 - 1		2	
	比較文化論 - 2		2	
	比較文化論 - 1		2	
	比較文化論 - 2		2	
	アメリカ社会論 - 1		2	
	アメリカ社会論 - 2		2	
	中国事情		2	
	韓国事情		2	
	地域圏研究 - 1		2	
	地域圏研究 - 2		2	
	地域圏研究 - 1		2	
	地域圏研究 - 2		2	
	地域圏研究 - 1		2	
	地域圏研究 - 2		2	
	地域圏研究 - 1		2	
	地域圏研究 - 2		2	
	地域圏研究 - 1		2	
国際関係論		2		

第3類（杏林大学学則）

国 際 関 係 論		2	
経 済 原 論		2	
経 済 原 論		2	
西 洋 史 - 1		2	
西 洋 史 - 2		2	
中 国 史 - 1		2	
中 国 史 - 2		2	
日 本 史 - 1		2	
日 本 史 - 2		2	
言 語 学 - 1		2	
言 語 学 - 2		2	
言 語 と 文 化 - 1		2	
言 語 と 文 化 - 2		2	
日 中 文 化 交 流 史 - 1		2	
日 中 文 化 交 流 史 - 2		2	
日 韓 文 化 交 流 史 - 1		2	
日 韓 文 化 交 流 史 - 2		2	
神 話 学		2	
文 化 人 類 学		2	
クリエイティブ・コミュニケーション論-1		2	
クリエイティブ・コミュニケーション論-2		2	
英 語 総 合 講 座 - 1		2	
英 語 総 合 講 座 - 2		2	
英 語 特 論 - 1		2	
英 語 特 論 - 2		2	
コミュニケーション概論	2		
基 礎 演 習 - 1	1		
基 礎 演 習 - 2	1		
キ ャ リ ア 指 導 - 1	1		
キ ャ リ ア 指 導 - 2	1		
キ ャ リ ア 指 導 - 1	1		
キ ャ リ ア 指 導 - 2	1		
ホスピタリティ実習 - 1	1		
ホスピタリティ実習 - 2	1		
インターンシップ		1	

第3類（杏林大学学則）

	インターンシップ		1	インターンシップ ~ のうち1科目選択必修
	インターンシップ		1	
	インターンシップ		1	
専門 関 連 科 目 B	ドイツ語	- 1	1	
	ドイツ語	- 2	1	
	ドイツ語	- 1	1	
	ドイツ語	- 2	1	
	ドイツ語	- 1	1	
	ドイツ語	- 2	1	
	フランス語	- 1	1	
	フランス語	- 2	1	
	フランス語	- 1	1	
	フランス語	- 2	1	
	フランス語	- 1	1	
	フランス語	- 2	1	
	スペイン語	- 1	1	
	スペイン語	- 2	1	
	スペイン語	- 1	1	
	スペイン語	- 2	1	
	スペイン語	- 1	1	
	スペイン語	- 2	1	
	インドネシア語	- 1	1	
	インドネシア語	- 2	1	
	インドネシア語	- 1	1	
	インドネシア語	- 2	1	
	インドネシア語	- 1	1	
	インドネシア語	- 2	1	
	韓国語	- 1	1	
	韓国語	- 2	1	
	韓国語	- 1	1	
	韓国語	- 2	1	
	韓国語	- 1	1	
韓国語	- 2	1		
情報英語			1	
情報英語			1	

第3類 (杏林大学学則)

	情 報 中 国 語		1
	情 報 中 国 語		1
	情 報 日 本 語		1
	口 語 英 語 - 1		1
	口 語 英 語 - 2		1
	口 語 英 語 - 1		1
	口 語 英 語 - 2		1
	口 語 英 語 - 1		1
	口 語 英 語 - 2		1
	口 語 英 語 - 1		1
	口 語 英 語 - 2		1
	口 語 英 語 - 1		1
	口 語 英 語 - 2		1
	中 国 語 演 習 - 1		2
	中 国 語 演 習 - 2		2
	中 国 語 演 習 - 1		2
	中 国 語 演 習 - 2		2
	中 国 語 演 習 - 1		2
	中 国 語 演 習 - 2		2
	中 国 語 実 習 - 1		1
	中 国 語 実 習 - 2		1
	中 国 語 実 習 - 1		1
	中 国 語 実 習 - 2		1
	中 国 語 実 習 - 1		1
	中 国 語 実 習 - 2		1
專 門 關 連 科 目 C	哲 学 - 1		2
	哲 学 - 2		2
	宗 教 学 - 1		2
	宗 教 学 - 2		2
	歷 史 学 - 1		2
	歷 史 学 - 2		2
	文 学 - 1		2
	文 学 - 2		2
	音 楽 - 1		2
	音 楽 - 2		2
	日 本 国 憲 法		2

第3類（杏林大学学則）

	法			学		2	
	政	治	学	-	1	2	
	政	治	学	-	2	2	
	地	理	学	-	1	2	
	地	理	学	-	2	2	
	経	済	学	-	1	2	
	経	済	学	-	2	2	
	数		学	-	1	2	
	数		学	-	2	2	
	物	理	学	-	1	2	
	物	理	学	-	2	2	
	化		学	-	1	2	
	化		学	-	2	2	
	生	物	学	-	1	2	
	生	物	学	-	2	2	
	心	理	学	-	1	2	
	心	理	学	-	2	2	
	統	計	学	-	1	2	
	統	計	学	-	2	2	
	情	報	処	理		2	
	体	育	理	論		1	
	体	育	実	技	-	1	
	体	育	実	技	-	2	
専 門 関 連 D	他学部設置科目						
自 科 由 目							

応用コミュニケーション学科

授業科目の名称	単位数		備考
	必修	選択	
英 語 - 1	1		英語及び中国語(留学生は日

第3類 (杏林大学学則)

専門外国語科目	英語	-	2	1	本語から8単位選択)必修1 6単位
	英語	-	1	1	
	英語	-	2	1	
	英語	-	1	1	
	英語	-	2	1	
	英語	-	1	1	
	英語	-	2	1	
	中国語	-	1	1	
	中国語	-	2	1	
	中国語	-	1	1	
	中国語	-	2	1	
	中国語	-	1	1	
	中国語	-	2	1	
	中国語	-	1	1	
	中国語	-	2	1	
	日本語	-	1	1	
	日本語	-	2	1	
	日本語	-	1	1	
	日本語	-	2	1	
	日本語	-	1	1	
	日本語	-	2	1	
	日本語	-	1	1	
	日本語	-	2	1	
	日本語	-	1	1	
	日本語	-	2	1	
	日本語	-	1	1	
	日本語	-	2	1	
	日本語	-	1	1	
	日本語	-	2	1	
インテンシブ中国語	-	1	1		
インテンシブ中国語	-	2	1		
インテンシブ中国語	-	1	1		
インテンシブ中国語	-	2	1		
インテンシブ中国語	-	1	1		
インテンシブ中国語	-	2	1		

第3類（杏林大学学則）

	インテンシブ中国語 - 1		1	
	インテンシブ中国語 - 2		1	
専 門 科 目 A	応用コミュニケーション論	2		
	生活文化論		2	
	生活文化論		2	
	地域の伝統文化		2	
	英語演習 - 1	1		
	英語演習 - 2	1		
	英語演習 - 1	1		
	英語演習 - 2	1		
	TOEIC演習 - 1		1	
	TOEIC演習 - 2		1	
	TOEIC演習 - 1		1	
	TOEIC演習 - 2		1	
	TOEIC演習 - 1		1	
	TOEIC演習 - 2		1	
	日本語表現法 - 1	2		
	日本語表現法 - 2	2		
	ITイングリッシュ		1	
	ブロードキャスト・イングリッシュ		1	
	ゼミナール - 1	2		
	ゼミナール - 2	2		
ゼミナール - 3	2			
卒業論文・課題指導		4		
専 門 科 目 B	感性コミュニケーション論	2		表現メディアコース
	情報社会論	2		
	文化産業論	2		
	表象文化論	2		
	大衆文化論 - 1		2	
	大衆文化論 - 2		2	
	大衆文化論 - 1		2	
	大衆文化論 - 2		2	
	ジャーナリズム論		2	
	印刷出版文化論 - 1		2	
印刷出版文化論 - 2		2		

第3類（杏林大学学則）

	翻訳・翻案文化論	2	
	映像文化論	2	
	演劇文化論	2	
	身体表現論	2	
	空間表現論	2	
	意匠・デザイン論	2	
	情報発信特論	2	
	情報発信特論	2	
	言語芸術表現論	2	
	言語芸術表現論	2	
	言語芸術表現論	2	
	比較文学論	2	
	レトリック論	2	
	ファンタジー論	2	
	こころと身体のメカニズム	2	
	こころと身体のメカニズム	2	
	こころと身体のメカニズム	2	
	言語芸術表現演習	1	
	言語芸術表現演習	1	
	言語芸術表現演習	1	
	クリエイティブ・コミュニケーション演習	1	
	クリエイティブ・コミュニケーション演習	1	
	クリエイティブ・コミュニケーション演習	1	
	コンテンツ・デザイン実習	1	
	カルチャー・マネジメント実習	1	
	アドバタイズメント・デザイン実習	1	
	ライフスタイル・コーディネート実習	1	
	アーツ・セラピー実習	1	
専 門 科 目 C	観光文化論入門	2	観光文化コース
	ホスピタリティ・コミュニケーション論入門	2	
	ホスピタリティ論 - 1	2	
	ホスピタリティ論 - 2	2	
	ホスピタリティ論 - 1	2	
	ホスピタリティ論 - 2	2	
	宿泊産業概論	2	

第3類（杏林大学学則）

宿 泊 産 業 経 営 論		2
旅 行 産 業 概 論		2
旅 行 産 業 経 営 論		2
フ ー ド ビ ジ ネ ス 概 論		2
フ ー ド ビ ジ ネ ス 経 営 論		2
観 光 文 化 特 論 - 1		2
観 光 文 化 特 論 - 2		2
観 光 文 化 特 論 - 1		2
観 光 文 化 特 論 - 2		2
観 光 文 化 特 論 - 1		2
観 光 文 化 特 論 - 2		2
観 光 文 化 特 論 - 1		2
観 光 文 化 特 論 - 2		2
観 光 保 健 論 - 1		2
観 光 保 健 論 - 2		2
観 光 地 理		2
観 光 地 理		2
観 光 業 務 論		2
観 光 業 務 論		2
観 光 業 務 論		2
観 光 業 務 論		2
観 光 業 務 論 - 1		2
観 光 業 務 論 - 2		2
観 光 業 務 特 論		2
観 光 業 務 特 論		2
ホ ス ピ タ リ テ ィ 演 習 - 1		1
ホ ス ピ タ リ テ ィ 演 習 - 2		1
ホ ス ピ タ リ テ ィ 演 習 - 3		1
観 光 手 話 - 1		1
観 光 手 話 - 2		1
観 光 英 語 - 1	1	
観 光 英 語 - 2	1	
観 光 日 本 語	1	
観 光 中 国 語	1	
観 光 実 習	1	

第3類 (杏林大学学則)

専門 関連 科目 A	比較文化論	- 1	2
	比較文化論	- 2	2
	比較文化論	- 1	2
	比較文化論	- 2	2
	アメリカ社会論	- 1	2
	アメリカ社会論	- 2	2
	中国事情		2
	韓国事情		2
	地域圏研究	- 1	2
	地域圏研究	- 2	2
	地域圏研究	- 1	2
	地域圏研究	- 2	2
	地域圏研究	- 1	2
	地域圏研究	- 2	2
	地域圏研究	- 1	2
	地域圏研究	- 2	2
	地域圏研究	- 1	2
	地域圏研究	- 2	2
	地域圏研究	- 1	2
	地域圏研究	- 2	2
	国際関係論		2
	国際関係論		2
	経済原論		2
	経済原論		2
	西洋史	- 1	2
	西洋史	- 2	2
	中国史	- 1	2
	中国史	- 2	2
	日本史	- 1	2
	日本史	- 2	2
言語学	- 1	2	
言語学	- 2	2	
言語と文化	- 1	2	
言語と文化	- 2	2	
日中文化交流史	- 1	2	

第3類 (杏林大学学則)

	日 中 文 化 交 流 史 - 2		2	
	日 韓 文 化 交 流 史 - 1		2	
	日 韓 文 化 交 流 史 - 2		2	
	神 話 学		2	
	文 化 人 類 学		2	
	クリエイティブ・コミュニケーション論-1		2	
	クリエイティブ・コミュニケーション論-2		2	
	英 語 総 合 講 座 - 1		2	
	英 語 総 合 講 座 - 2		2	
	英 語 特 論 - 1		2	
	英 語 特 論 - 2		2	
	コ ミ ュ ニ ケ ー シ ョ ン 概 論	2		
	基 礎 演 習 - 1	1		
	基 礎 演 習 - 2	1		
	キ ャ リ ア 指 導 - 1	1		
	キ ャ リ ア 指 導 - 2	1		
	キ ャ リ ア 指 導 - 1	1		
	キ ャ リ ア 指 導 - 2	1		
	ホ ス ピ タ リ テ ィ 実 習 - 1	1		
	ホ ス ピ タ リ テ ィ 実 習 - 2	1		
	イ ン タ ー ン シ ッ プ		1	インターンシップ ~ のうち1科目選択必修
	イ ン タ ー ン シ ッ プ		1	
	イ ン タ ー ン シ ッ プ		1	
	イ ン タ ー ン シ ッ プ		1	
専 門 関 連 科 目 B	ド イ ツ 語 - 1		1	
	ド イ ツ 語 - 2		1	
	ド イ ツ 語 - 1		1	
	ド イ ツ 語 - 2		1	
	ド イ ツ 語 - 1		1	
	ド イ ツ 語 - 2		1	
	フ ラ ン ス 語 - 1		1	
	フ ラ ン ス 語 - 2		1	
	フ ラ ン ス 語 - 1		1	

第3類（杏林大学学則）

フランス語	- 2	1
スペイン語	- 1	1
スペイン語	- 2	1
スペイン語	- 1	1
スペイン語	- 2	1
スペイン語	- 1	1
スペイン語	- 2	1
インドネシア語	- 1	1
インドネシア語	- 2	1
インドネシア語	- 1	1
インドネシア語	- 2	1
インドネシア語	- 1	1
インドネシア語	- 2	1
韓国語	- 1	1
韓国語	- 2	1
韓国語	- 1	1
韓国語	- 2	1
韓国語	- 1	1
韓国語	- 2	1
情報英語		1
情報英語		1
情報中国語		1
情報中国語		1
情報日本語		1
口語英語	- 1	1
口語英語	- 2	1
口語英語	- 1	1
口語英語	- 2	1
口語英語	- 1	1
口語英語	- 2	1
口語英語	- 1	1
口語英語	- 2	1
口語英語	- 1	1
口語英語	- 2	1
中国語演習	- 1	2

第3類 (杏林大学学則)

	中国語演習	-	2	2	
	中国語演習	-	1	2	
	中国語演習	-	2	2	
	中国語演習	-	1	2	
	中国語演習	-	2	2	
	中国語実習	-	1	1	
	中国語実習	-	2	1	
	中国語実習	-	1	1	
	中国語実習	-	2	1	
	中国語実習	-	1	1	
	中国語実習	-	2	1	
専門 関連 科目 C	哲学	-	1	2	
	哲学	-	2	2	
	宗教学	-	1	2	
	宗教学	-	2	2	
	歴史学	-	1	2	
	歴史学	-	2	2	
	文学	-	1	2	
	文学	-	2	2	
	音楽	-	1	2	
	音楽	-	2	2	
	日本国憲法			2	
	法学			2	
	政治学	-	1	2	
	政治学	-	2	2	
	地理学	-	1	2	
	地理学	-	2	2	
	経済学	-	1	2	
	経済学	-	2	2	
	数学	-	1	2	
	数学	-	2	2	
物理学	-	1	2		
物理学	-	2	2		
化学	-	1	2		
化学	-	2	2		

第3類（杏林大学学則）

	生 物 学 - 1		2	
	生 物 学 - 2		2	
	心 理 学 - 1		2	
	心 理 学 - 2		2	
	統 計 学 - 1		2	
	統 計 学 - 2		2	
	情 報 処 理		2	
	体 育 理 論		1	
	体 育 実 技 - 1		1	
	体 育 実 技 - 2		1	
専 科 門 目 関 連 D	他 学 部 の 設 置 科 目			
自 科 由 目				

第3類（杏林大学学則）

別表5 - 1 - 1

教職に関する科目構成
（平成11年度以前の入学者に適用）

授 業 科 目	備 考
教 育 原 理 2 単 位	
教 育 心 理 学 2 単 位	
教 育 社 会 学 2 単 位	
教 育 工 学 2 単 位	
教 育 測 定 評 価 法 2 単 位	
保 健 科 教 育 法 2 単 位	
社 会 科 教 育 法 2 単 位	
公 民 科 教 育 法 2 単 位	
商 業 科 教 育 法 2 単 位	
英 語 科 教 育 法 2 単 位	
中 国 語 科 教 育 法 2 単 位	
国 語 科 教 育 法 2 単 位	
道 徳 教 育 の 研 究 2 単 位	
特 別 活 動 の 研 究 2 単 位	
生 徒 指 導 の 研 究 2 単 位	
教 育 実 習 3 単 位	
養 護 実 習 4 単 位	

表の科目は、中学校並びに高等学校の教育職員免許状又は養護教諭免許状を得ようとする場合、別に定めるところにより選択履修する教職に関する科目である。ただし、別表4により開設されている科目を除き、自由科目とし卒業の単位に算入しない。

第3類（杏林大学学則）

別表5 - 1 - 2

教職に関する科目構成

（平成12年度入学者から適用）

授業科目の名称	単位	備考
教職総論	2	
教職原理	2	
教育心理学	2	
教育社会学	2	
保健科教育法	2	
社会科教育法	2	
公民科教育法	2	
商業科教育法	2	
英語科教育法	2	
中国語科教育法	2	
中国語科教育法	2	
健康教育学（保健科指導研究）	2	
健康教育学（保健科指導研究）	2	
社会科・公民科指導研究	2	
社会科・公民科指導研究	2	
商業科指導研究	2	
商業科指導研究	2	
英語科指導研究	2	
英語科指導研究	2	
中国語科指導研究	2	
中国語科指導研究	2	
中国語科指導研究	2	
中国語科指導研究	2	
道徳教育の研究	2	
特別活動の研究	2	
教育工学	2	
教育測定評価法	2	
生徒指導の研究（進路指導を含む。）	2	
生徒指導の研究	2	
教育相談（カウンセリングを含む。）	2	
総合演習		
総合演習	2	（保健学部・外国語学部）
基礎演習	2	（総合政策学部）
教育実習	1	
教育実習	2	
教育実習	2	
養護実習	1	
養護実習	4	

第3類（杏林大学学則）

表の科目は、中学校並びに高等学校の教育職員免許状又は養護教諭免許状を得ようとする場合、別に定めるところにより選択履修する教職に関する科目である。

ただし、別表2から別表4により開設されている科目を除き、自由科目とし卒業の単位に算入しない。

別表5 - 1 - 3

教 職 に 関 す る 科 目 構 成

（平成18年度入学生から適用）

授 業 科 目 の 名 称	単 位	備 考
教 職 総 論	2	
教 育 原 理	2	
教 育 心 理 学	2	
教 育 社 会 学	2	
保 健 科 教 育 法 - 1	2	
保 健 科 教 育 法 - 2	2	
社 会 科 教 育 法	2	
社 会 科 ・ 公 民 科 教 育 法	2	
商 業 科 教 育 法 - 1	2	
商 業 科 教 育 法 - 2	2	
英 語 科 教 育 法 - 1	2	
英 語 科 教 育 法 - 2	2	
健康教育学（保健科指導研究）	2	
健康教育学（保健科指導研究）	2	
社 会 科 指 導 研 究	2	
社 会 科 ・ 公 民 科 指 導 研 究	2	
英 語 科 指 導 研 究	2	
英 語 科 指 導 研 究	2	
道 徳 教 育 の 研 究	2	
特 別 活 動 の 研 究	2	
教 育 工 学	2	
生 徒 指 導 の 研 究	2	
進 路 指 導 の 研 究	1	
教育相談（カウンセリングを含む。）	2	
総 合 演 習	2	
教 育 実 習	1	
教 育 実 習	2	
教 育 実 習	2	
養 護 実 習	1	
養 護 実 習	4	

表の科目は、中学校並びに高等学校の教育職員免許状又は養護教諭免許状を得よう

第3類（杏林大学学則）

とする場合、別に定めるところにより選択履修する教職に関する科目である。

ただし、別表2から別表4により開設されている科目を除き、自由科目とし卒業の単位に算入しない。

別表5 - 1 - 4

教 職 に 関 す る 科 目 構 成

（平成19年度入学生から適用）

授 業 科 目 の 名 称	単 位	備 考
教 職 総 論	2	
教 育 原 理	2	
教 育 心 理 学	2	
教 育 社 会 学	2	
保 健 科 教 育 法 - 1	2	
保 健 科 教 育 法 - 2	2	
社 会 科 教 育 法	2	
社 会 科 ・ 公 民 科 教 育 法	2	
商 業 科 教 育 法 - 1	2	
商 業 科 教 育 法 - 2	2	
英 語 科 教 育 法 - 1	2	
英 語 科 教 育 法 - 2	2	
保 健 科 指 導 研 究	2	
保 健 科 指 導 研 究	2	
社 会 科 指 導 研 究	2	
社 会 科 ・ 公 民 科 指 導 研 究	2	
英 語 科 指 導 研 究	2	
英 語 科 指 導 研 究	2	
道 徳 教 育 の 研 究	2	
特 別 活 動 の 研 究	2	
教 育 の 方 法 ・ 技 術	2	
生 徒 指 導 の 研 究	2	
進 路 指 導 の 研 究	1	
教育相談（カウンセリングを含む。）	2	
総 合 演 習		
教 職 総 合 演 習	2	（保健学部）
総 合 演 習	2	（総合政策学部・外国語学部）
教 育 実 習	1	
教 育 実 習	2	
教 育 実 習	2	
養 護 実 習	1	
養 護 実 習	4	

表の科目は、中学校並びに高等学校の教育職員免許状又は養護教諭免許状を得よう

第3類（杏林大学学則）

とする場合、別に定めるところにより選択履修する教職に関する科目である。

ただし、別表2から別表4により開設されている科目を除き、自由科目とし卒業の単位に算入しない。

別表5 - 2

学校図書館司書教諭講習科目構成

授 業 科 目	備 考
学校経営と学校図書館 2単位	
学校図書館メディアの構成 2単位	
学習指導と学校図書館 2単位	
読書と豊かな人間性 2単位	
情報メディアの活用 2単位	

平成17年10月 1日以前の入学生に適用する。

第3類（杏林大学学則）

別表6 - 1

入 学 料 ・ 授 業 料 等 の 額

	医学部	保健学部	社会科学部	外国語学部
入 学 料	1,000,000円	300,000円	250,000円	250,000円
授 業 料	2,000,000円 (年額)	1,000,000円 (年額)	500,000円 (年額)	500,000円 (年額)
実 験 実 習 費	500,000円 (年額)	300,000円 (年額)		
施設拡充整備費	2,000,000円 (年額)	200,000円 (年額)	250,000円 (年額)	250,000円 (年額)
教 育 充 実 費	2,500,000円			

社会科学部及び外国語学部においては、学習指導資料費及び特定科目の履修費を別に定めるところにより徴収する。

第3類（杏林大学学則）

別表6 - 2

入学料・授業料等の額

	医学部	保健学部	総合政策学部	外国語学部
入 学 料	1,500,000円	300,000円	250,000円	250,000円
授 業 料	2,300,000円 (年額)	1,100,000円 (年額)	600,000円 (年額)	600,000円 (年額)
実 験 実 習 費	500,000円 (年額)	300,000円 (年額)		
施設拡充整備費	2,000,000円 (年額)	150,000円 (年額)	250,000円 (年額)	250,000円 (年額)
教 育 充 実 費	2,500,000円			

- 1 平成8年度入学生から適用する。
- 2 各学部において、学習指導資料費及び特定科目の履修費を別に定めるところにより徴収する。

第3類（杏林大学学則）

別表6 - 3

入学料・授業料等の額

	医学部	保健学部	総合政策学部	外国語学部
入 学 料	500,000円	300,000円	250,000円	250,000円
授 業 料	3,000,000円 （年額）	1,100,000円 （年額）	600,000円 （年額）	600,000円 （年額）
実 験 実 習 費	1,000,000円 （年額）	300,000円 （年額）		
施設拡充整備費	4,000,000円 （初年度） 1,500,000円 （2年次以降）	150,000円 （年額）	250,000円 （年額）	250,000円 （年額）

- 1 平成16年度入学生から適用する。
- 2 各学部において、学習指導資料費及び特定科目の履修費を別に定めるところにより徴収する。

第3類（杏林大学学則）

別表6 - 4

入学料・授業料等の額

	医学部	保健学部	総合政策学部	外国語学部
入 学 料	500,000円	250,000円	250,000円	250,000円
授 業 料	3,000,000円 （年額）	1,150,000円 （年額）	720,000円 （年額）	720,000円 （年額）
実 験 実 習 費	1,000,000円 （年額）	300,000円 （年額）		
施 設 設 備 費	4,000,000円 （初年度） 1,500,000円 （2年次以降）	200,000円 （年額）	200,000円 （年額）	200,000円 （年額）

- 1 平成17年度入学生から適用する。
- 2 各学部において、学習指導資料費及び特定科目の履修費を別に定めるところにより徴収する。

第3類（杏林大学学則）

別表6 - 5

入学料・授業料等の額

	医学部	保健学部	総合政策学部	外国語学部
入 学 料	1,500,000円	250,000円	250,000円	250,000円
授 業 料	3,000,000円 （年額）	1,150,000円 （年額）	720,000円 （年額）	720,000円 （年額）
実 験 実 習 費	1,000,000円 （年額）	300,000円 （年額）		
施 設 設 備 費	4,000,000円 （初年度） 1,500,000円 （2年次以降）	200,000円 （年額）	200,000円 （年額）	200,000円 （年額）

- 1 平成20年度入学生から適用する。
- 2 各学部において、学習指導資料費及び特定科目の履修費を別に定めるところにより徴収する。

(2) 変更事項を記載した書類

杏林大学学則変更事項

．（学部、学科）第2条

- 1．保健学部に理学療法学科を追加する。

．（学部又は学科の目的）第2条の2

- 1．保健学部に理学療法学科の目的を追加する。

．（学生定員）第3条

- 1．保健学部に理学療法学科を設け、入学定員40名及び収容定員160名を追加する。
- 2．総合政策学部総合政策学科の入学定員180名を170名及び収容定員740名を700名に変更する。
- 3．総合政策学部企業経営学科の入学定員120名を100名及び収容定員490名を410名に変更する。
- 4．外国語学部英語学科の入学定員115名を110名及び収容定員470名を450名に変更する。
- 5．外国語学部中国語・日本語学科の入学定員55名を40名及び収容定員246名を186名に変更する。
- 6．外国語学部応用コミュニケーション学科の入学定員120名を110名及び収容定員490名を450名に変更する。

．（教育課程）第24条

- 1．保健学部に別表2-3を追加する。

．（卒業の要件）第39条

- 1．看護学科の卒業単位134単位以上を137単位以上に変更し、理学療法学科の卒業単位125単位以上を追加する。

．（学位）第41条

- 1．保健学部に「理学療法学科 学士（理学療法学）」を追加する。

．（免許状の種類及び履修学部・学科）第41条の4

- 1．保健学部看護学科の免許状の種類から「中学校教諭一種免許状」及び「高等学校教諭一種免許状」を削除する。

(3) 新旧对照表

杏林大学学則 新旧対照表

新		旧	
制定	昭和45年 3月17日	制定	昭和45年 3月17日
改正	昭和49年 4月23日	改正	昭和49年 4月23日
	昭和52年11月17日		昭和50年 8月11日
	昭和54年10月25日		昭和53年12月25日
	昭和59年 4月 1日		昭和57年 4月 1日
	昭和61年 4月 1日		昭和60年 1月 9日
	平成 2年12月21日		昭和63年 4月 1日
	平成 4年 9月21日		平成 2年12月21日
	平成 7年 7月 3日		平成 3年 9月25日
	平成 9年 3月28日		平成 6年 1月24日
	平成10年 3月27日		平成 7年 7月 3日
	平成11年 2月15日		平成 8年10月23日
	平成11年 9月20日		平成 9年 3月28日
	平成12年 6月19日		平成 9年 5月30日
	平成13年 5月30日		平成10年 3月27日
	平成14年 7月15日		平成10年12月11日
	平成14年12月 6日		平成11年 2月15日
	平成15年 9月 8日		平成11年 6月21日
	平成16年 5月28日		平成11年 9月20日
	平成17年 7月25日		平成11年12月10日
	平成18年 3月29日		平成12年 6月19日
	平成19年 3月29日		平成12年 9月18日
	平成20年 5月29日		平成13年 5月30日
			平成14年 2月26日
			平成14年 7月15日
			平成14年12月 6日
			平成15年 2月17日
			平成15年 9月 8日
			平成15年12月 5日
			平成16年 5月28日
			平成17年 5月27日
			平成17年 7月25日
			平成17年10月26日
			平成18年 3月29日
			平成18年12月 8日
			平成19年 3月29日
			平成19年12月 7日
			平成19年 3月29日
			平成19年12月 7日
第1条	省略	第1条	省略
第1条の2	省略	第1条の2	省略
2	省略	2	省略
(学部、学科)		(学部、学科)	
第2条 本学に次の学部及び学科を置く。		第2条 本学に次の学部及び学科を置く。	
医 学 部 医学科		医 学 部 医学科	
保 健 学 部 臨床検査技術学科、健康福祉学科、看護学科、臨床工学科、救急救命学科及び理学療法学科		保 健 学 部 臨床検査技術学科、健康福祉学科、看護学科、臨床工学科及び救急救命学科	
総合政策学部 総合政策学科及び企業経営学科		総合政策学部 総合政策学科及び企業経営学科	
外国語学部 英語学科、中国語・日本語学科及び応用コミュニケーション学科		外国語学部 英語学科、中国語・日本語学科及び応用コミュニケーション学科	
(学部又は学科の目的)		(学部又は学科の目的)	
第2条の2 学部又は学科ごとの人材の養成その他の教育研究上の目的については、次のとおりとする。		第2条の2 学部又は学科ごとの人材の養成その他の教育研究上の目的については、次のとおりとする。	

杏林大学学則 新旧対照表

新							旧						
2	省略						2	省略					
3	保健学部						3	保健学部					
(1)~(5)	省略						(1)~(5)	省略					
(6)	理学療法学科は、医療人としての倫理観に裏付けされた豊かな人間性と理学療法に関する高度な知識、技術を備え、障害の機能回復だけでなく、地域医療や福祉の場における健康の維持増進など幅広い領域において貢献できる人材を養成することを目的とする。												
4~5	省略						4~5	省略					
(学生定員)	第3条 学生定員は次のとおりとする。						(学生定員)	第3条 学生定員は次のとおりとする。					
	学 部	学 科	入学定員	2年次編 入学定員	3年次編 入学定員	収容定員		学 部	学 科	入学定員	2年次編 入学定員	3年次編 入学定員	収容定員
	医 学 部	医 学 科	90名	-	-	540名		医 学 部	医 学 科	90名	-	-	540名
	保 健 学 部	臨床検査技術学科	80名	6名	4名	346名		保 健 学 部	臨床検査技術学科	80名	6名	4名	346名
		健康福祉学科	40名	6名	4名	186名			健康福祉学科	40名	6名	4名	186名
		看護学科	100名	2名	8名	422名			看護学科	80名	2名	8名	342名
		臨床工学科	40名	-	-	160名			臨床工学科	40名	-	-	160名
		救急救命学科	40名	-	5名	170名			救急救命学科	40名	-	5名	170名
		理学療法学科	40名	-	-	160名							
	総合政策学部	総合政策学科	170名	-	10名	700名		総合政策学部	総合政策学科	180名	-	10名	740名
		企業経営学科	100名	-	5名	410名			企業経営学科	120名	-	5名	490名
	外国語学部	英語学科	110名	-	5名	450名		外国語学部	英語学科	115名	-	5名	470名
		中国語・日本語学科	40名	-	13名	186名			中国語・日本語学科	55名	-	13名	246名
		応用コミュニケーション学科	110名	-	5名	450名			応用コミュニケーション学科	120名	-	5名	490名

杏林大学学則 新旧対照表

新	旧
<p>第4条～第38条 省略</p>	<p>第4条～第38条 省略</p>
<p>(卒業の要件) 第39条 省略</p> <p>2 保健学部臨床検査技術学科、健康福祉学科、臨床工学科及び救急救命学科においては4年以上在学し124単位以上を、看護学科においては4年以上在学し137単位以上を、理学療法学科においては4年以上在学し125単位以上を修得しなければならない。</p>	<p>(卒業の要件) 第39条 省略</p> <p>2 保健学部臨床検査技術学科、健康福祉学科、臨床工学科及び救急救命学科においては4年以上在学し124単位以上を、<u>保健学部看護学科においては4年以上在学し134単位以上を修得しなければならない。</u></p>
<p>3～7 省略</p>	<p>3～7 省略</p>
<p>第40条 省略</p>	<p>第40条 省略</p>
<p>(学位) 第41条 卒業の認定を受けた者に次に定める学士の学位を授与する。 医学部 学士(医学) 保健学部 臨床検査技術学科 学士(保健衛生学) 健康福祉学科 学士(保健衛生学) 看護学科 学士(看護学) 臨床工学科 学士(臨床工学) 救急救命学科 学士(救急救命学) 理学療法学科 学士(理学療法学) 総合政策学部 総合政策学科 学士(総合政策学) 企業経営学科 学士(企業経営学) 外国語学部 英語学科 学士(文学) 中国語・日本語学科 学士(文学) 応用コミュニケーション学科 学士(文学)</p>	<p>(学位) 第41条 卒業の認定を受けた者に次に定める学士の学位を授与する。 医学部 学士(医学) 保健学部 臨床検査技術学科 学士(保健衛生学) 健康福祉学科 学士(保健衛生学) 看護学科 学士(看護学) 臨床工学科 学士(臨床工学) 救急救命学科 学士(救急救命学) 総合政策学部 総合政策学科 学士(総合政策学) 企業経営学科 学士(企業経営学) 外国語学部 英語学科 学士(文学) 中国語・日本語学科 学士(文学) 応用コミュニケーション学科 学士(文学)</p>
<p>第41条の2～第41条の3 省略</p>	<p>第41条の2～第41条の3 省略</p>
<p>(免許状の種類及び履修学部・学科) 第41条の4 前条に規定する単位を修得することによって得られる免許状の種類並びに履修する学部・学科は次のとおりとする。</p>	<p>(免許状の種類及び履修学部・学科) 第41条の4 前条に規定する単位を修得することによって得られる免許状の種類並びに履修する学部・学科は次のとおりとする。</p>

杏林大学学則 新旧対照表

新			旧		
履修する学部・学科	免許状の種類		履修する学部・学科	免許状の種類	
保健学部健康福祉学科	養護教諭一種免許状 中学校教諭一種免許状 高等学校教諭一種免許状	養護 保健 保健	保健学部健康福祉学科	養護教諭一種免許状 中学校教諭一種免許状 高等学校教諭一種免許状	養護 保健 保健
保健学部看護学科	養護教諭一種免許状	養護	保健学部看護学科	養護教諭一種免許状 中学校教諭一種免許状 高等学校教諭一種免許状	養護 保健 保健
総合政策学部総合政策学科	中学校教諭一種免許状 高等学校教諭一種免許状	社会 公民	総合政策学部総合政策学科	中学校教諭一種免許状 高等学校教諭一種免許状	社会 公民
総合政策学部企業経営学科	中学校教諭一種免許状 高等学校教諭一種免許状	社会 公民 商業	総合政策学部企業経営学科	中学校教諭一種免許状 高等学校教諭一種免許状	社会 公民 商業
外国語学部英語学科	中学校教諭一種免許状 高等学校教諭一種免許状	英語 英語	外国語学部英語学科	中学校教諭一種免許状 高等学校教諭一種免許状	英語 英語
第42条～第51条	省略		第42条～第51条	省略	
附 則	省略		附 則	省略	
附 則			附 則		
(施行期日)			(施行期日)		
1 本学則は、平成21年4月1日から施行する。			1 本学則は、平成21年4月1日から施行する。		
(経過措置)			(経過措置)		
2 この学則による改正後の第39条、第41条の4及び別表2-3の規定は、平成21年4月1日以降の入学生に適用し、平成20年10月1日以前の入学生及び平成21年10月1日以前の2年次編入学生並びに平成22年10月1日以前の3年次編入学生については、改正前の学則を適用する。			2 この学則による改正後の第39条、第41条の4及び別表2-3の規定は、平成21年4月1日以降の入学生に適用し、平成20年10月1日以前の入学生及び平成21年10月1日以前の2年次編入学生並びに平成22年10月1日以前の3年次編入学生については、改正前の学則を適用する。		
3 前項の規定にかかわらず、保健学部臨床工学科については別表2-1を、健康福祉学科及び救急救命学科については別表2-2を適用する。			3 前項の規定にかかわらず、保健学部臨床工学科については別表2-1を、健康福祉学科及び救急救命学科については別表2-2を適用する。		
別表1-1～別表2-2	省略		別表1-1～別表2-2	省略	

杏林大学学則 新旧対照表

新				旧
別表 2 - 3				
保健学部学科目構成				
(平成21年度入学生から適用)				
臨床検査技術学科				
授業科目	単位数			備考
	必修	選択	自由	
人文・社会学系				
哲学		2		10単位以上
心理学		2		
法学		2		
日本国憲法		2		
社会学		2		
生命倫理学		2		
芸術		2		
数学・物理学系				
数学		2		6単位以上
医療情報科学		2		
医療情報処理		2		
医療情報処理演習		2		
基礎物理学		1		
物理学		2		
物理学実験		1		
医用工学概論		2		
医用工学実験		1		
化学系				
基礎化学		1		
無機化学		2		

杏林大学学則 新旧对照表

新			旧		
生物有機化学	2	4 単位以上			
生物有機化学	2				
化学実験	1				
生物学系					
基礎生物学	1	4 単位以上			
生命科学概論	2				
細胞生物学	2				
人類遺伝学	2				
生物学実験	1				
言語系					
日本語表現法	2	10 単位以上			
英語	2				
英語	2				
英語	2				
英語	2				
英会話	2				
医学英語	2				
体育学系					
健康スポーツ科学	2				
基礎医学系					
医学概論	2				
医学検査概論	2				
保健学概論	2				
保健学概論	2				
公衆衛生学	2				
公衆衛生学	2				
解剖学	2				

杏林大学学則 新旧对照表

新			旧		
解 剖 学		2			
解剖・組織学実験	1				
病 理 学	2				
病理学実験	1				
生 理 学	2				
生理学		2			
生理学実験	1				
生 化 学	2				
生化学		2			
生化学実験	1				
血 液 学	2				
血液学実験	1				
免 疫 学	2				
免疫学実験	1				
微 生 物 学	2				
微生物学実験	1				
医 動 物 学	2				
遺 伝 子 工 学		2			
遺伝子工学実験		1			
分 子 生 物 学		2			
分子細胞生物学		2			
薬 理 学		2			
実験動物学		1			
動物実験実習		1			
救 命 救 助 法		1			
医学検査系					
生理機能検査学	2				

杏林大学学則 新旧对照表

新			旧		
生理機能検査学		2			
生理機能検査学実習		2			
画像診断技術		2			
臨床化学検査学	2				
臨床化学検査学		2			
臨床化学検査学実習		2	放射性同位元素検査技術を含む		
放射線概論		2			
染色体学		2			
臨床遺伝学		2			
遺伝子・染色体検査学	2				
遺伝子・染色体検査学実習		1			
病理診断学	2				
病理検査学		2			
病理検査学実習		2			
細胞診断学		2			
細胞診断学実習		1			
血液検査学	2				
血液検査学実習		2			
医動物検査学実習		1			
微生物検査学	2				
微生物検査学		2			
微生物検査学実習		2			
免疫検査学	2				
免疫検査学		2			
免疫検査学実習		2			
一般検査学	2				
一般検査学実習		1			

杏林大学学則 新旧对照表

新			旧		
臨床病態学		2			
臨床病態学		2			
検査管理学		2			
分析化学		2			
分析化学		2			
分析化学実験		1			
専門実験・実習手法	1				
臨地実習		6			
保健学系					
医療福祉概論		2			
国際保健学		2			
生活習慣病論		2			
衛生学系					
産業保健学		2			
環境衛生工学		2			
環境化学		2			
食品栄養学		2			
食品衛生学		2			
食品製造学		2			
職業適性論		2			
労働衛生法規		2			
労働衛生法規		2			
自由専攻					
細胞診断学演習		1			
細胞診断学演習		1			
細胞診断学演習		1			
細胞診断学演習		1			

杏林大学学則 新旧対照表

新				旧	
細胞診断学演習		1			
遺伝・バイオ技術系特別演習		1			
遺伝・バイオ技術系特別演習		1			
細胞・組織・形態系特別演習		1			
細胞・組織・形態系特別演習		1			
感染症制御系特別演習		1			
感染症制御系特別演習		1			
生殖・移植医療系特別演習		1			
生殖・移植医療系特別演習		1			
化学系特別演習		1			
化学系特別演習		1			
生理機能系特別演習		1			
生理機能系特別演習		1			
治験コーディネート特別演習		1			
薬事申請特別演習		1			
総合					
総合医療演習		1			
総合医療演習	2				
移植コーディネータ論		2			
生命倫理学特論		2			
特別講義		2			
特別講義		2			
インターンシップ		4			
卒業研究		4		4単位以上	
計	50	196		124単位以上	

杏林大学学則 新旧対照表

新				旧
看護学科				
授 業 科 目	単 位 数			備 考
	必 修	選 択	自 由	
基礎分野				
人間科学系				
哲 学		2	}	10 単位以上
死 生 学		2		
生 命 倫 理 学	2			
日 本 国 憲 法		2		
心 理 学		2		
発 達 心 理 学	2			
社 会 福 祉 学		2		
教 育 学		2		
ホスピタリティ論		2		
国 際 協 力 論		2		
健康スポーツ科学		2		
自然科学系				
統 計 学		2	}	6 単位以上
人 類 遺 伝 学		2		
物 理 学 概 論		1		
化 学 概 論		1		
生 命 科 学 概 論		2		
情 報 処 理 論	2			
言語系				
英 語	2		}	10 単位以上
英 語	2			
英 語		2		
英 会 話		2		
医 学 英 語		2		
日 本 語 表 現 法	2			

杏林大学学則 新旧対照表

新					旧				
専門基礎分野									
人体の構造と機能・疾病の成り立ち									
形態・機能学	2								
代謝・栄養学	2								
薬理学	2								
病原微生物学	1								
免疫学	1								
病態治療論	2								
病態治療論	2								
病態治療論	1								
病態治療論	1								
病態治療論	1								
病態治療論	1								
病態治療論	1								
病態治療論	1								
健康支援と社会保障制度									
公衆衛生学	1								
関係法規	1								
保健福祉行政論	2								
健康教育学		2							
学校保健学概論	2								
学校保健学		2							
養護学概論		2							
カウンセリング		2							
健康相談		2							
疫学と統計									
疫学	2								
保健統計	2								

杏林大学学則 新旧対照表

新					旧				
基礎看護学									
基礎看護学系									
看護学概論	1								
看護学概論	2								
生活行動援助技術	2								
生活行動援助技術	2								
ヘルスアセスメント技術	1								
看護過程	1								
治療・処置技術	2								
基礎看護学実習	1								
基礎看護学実習	2								
専門看護学									
成人看護学系									
成人看護学概論	2								
成人看護学	2								
成人看護学	2								
成人看護学演習	1								
成人看護学実習	3								
成人看護学実習	3								
高齢者看護学系									
高齢者看護学概論	2								
高齢者看護学	2								
高齢者看護学演習	1								
高齢者看護学実習	2								
高齢者看護学実習	2								
小児看護学系									
小児看護学概論	2								

杏林大学学則 新旧对照表

		新				旧
小児看護学	2					
小児看護学演習	1					
小児看護学実習	2					
母性看護学系						
母性看護学概論	2					
母性看護学	2					
母性看護学演習	1					
母性看護学実習	2					
精神看護学系						
精神看護学概論	2					
精神看護学	2					
精神看護学演習	1					
精神看護学実習	2					
在宅看護学系						
在宅看護学	2					
在宅看護学演習	2					
在宅看護学実習	2					
地域看護学系						
地域看護学概論	2					
地域看護学方法論	2					
地域看護学	2					
地域看護学	2					
地域看護学演習	2					
地域看護学実習	1					
地域看護学実習	3					
応用看護学						
応用看護学系						

杏林大学学則 新旧対照表

新				旧
看護研究	2			
看護倫理	1			
看護管理学	1			
総合看護学実習	2	<input type="checkbox"/>	どちらか一方を選択	
総合看護学実習	2			
特別講義	2			
特別講義	2			
助産学専攻				
助産学系				
助産学概論	1			
周産期医学	2			
助産診断・技術学	1			
助産診断・技術学	2			
助産診断・技術学	2			
助産診断・技術学	1			
助産管理学	1			
助産学特別講義	1			
助産学実習	8			
助産学実習	1			
計	121	72		137単位以上
理学療法学科				
授業科目	単位数			備考
	必修	選択	自由	
基礎分野				

杏林大学学則 新旧対照表

新				旧	
人間科学系					
哲学		2	—	必修 2 単位及び 選択 6 単位以上	
社会学		2			
法学		2			
心理学		2			
生命倫理学	2				
芸術		2			
社会福祉学		2			
倫理学		2			
発達心理学		2			
職業適性論		2			
自然科学系					
数学		2	—	必修 2 単位及び 選択 4 単位以上	
統計学		2			
情報処理論	2				
基礎物理学		1			
物理学概論		2			
基礎化学		1			
生化学概論		2			
基礎生物学		1			
生命科学概論		2			
語学系					
英語	2		—	必修 4 単位及び 選択 4 単位以上	
英語	2				
英語		2			
英語		2			
英会話		2			
医学英語		2			
日本語表現法		2			

杏林大学学則 新旧対照表

新				旧	
専門基礎分野					
医学系					
解剖学	2				
解剖学	1				
解剖学実習	1				
解剖学実習	1				
生理学	2				
生理学	1				
生理学実習	1				
病理学	1				
人間発達学	2				
リハビリテーション概論	1				
臨床心理学概論	1				
精神医学	2				
内科学	2	2			
小児科学	1				
神経内科学	2				
外科学	1				
整形外科	2				
脳神経外科学	1				
リハビリテーション医学	1				
医療安全論	1				
感染症学		1			
免疫学		1			
薬理学		1			
栄養学		1			
保健学・衛生学系					

必修 27 単位及び
選択 3 単位以上

杏林大学学則 新旧对照表

新			旧		
保健学概論		2	4単位以上		
高齢保健学		2			
産業保健学		2			
地域保健学		2			
公衆衛生学		2			
公衆衛生学		2			
環境衛生工学		2			
看護学		2			
救命救助法		1			
労働衛生法規		2			
労働衛生法規		2			
専門分野					
基礎理学療法学系					
理学療法概論	1				
理学療法用語論		1			
運動学	1				
運動学実習	1				
病態運動学		2			
運動解剖学		1			
理学療法評価学系					
理学療法評価学概論	1				
理学療法評価学	1				
理学療法評価学	1				
理学療法評価学実習	1				
動作分析学		1			
理学療法治療学系					
理学療法治療学総論		1			

杏林大学学則 新旧対照表

新					旧				
運動療法学	2								
運動療法学実習	1								
物理療法学	1								
物理療法学	1								
物理療法学実習	1								
義肢学	1								
義肢学実習	1								
装具学	1								
装具学実習	1								
日常生活技術学	1								
日常生活技術学実習	1								
運動器障害系理学療法学	1								
運動器障害系理学療法学	1								
神経障害系理学療法学	1								
神経障害系理学療法学	1								
内部障害系理学療法学	1								
内部障害系理学療法学	1								
小児理学療法学	1								
高次脳機能障害学		1							
高齢者理学療法学		1							
急性期理学療法学		1							
スポーツ障害理学療法学		1							
マニュアルセラピー		1							
プロフェッショナルスキル	4								
クリニカルリーズニング		1							
地域理学療法学系									
生活環境学	1								

— 必修6.2単位及び
選択7単位以上

杏林大学学則 新旧对照表

新					旧	
地域理学療法学	2					
理学療法国際事情		1				
臨床実習系						
見学実習	1					
評価実習	2					
評価実習	4					
総合臨床実習	14					
総合領域						
理学療法特論		1				
理学療法特論		1				
理学療法研究法		1				
応用理学療法学		1				
基礎ゼミ	4					
特別講義		1				
特別講義		1				
卒業研究	4					
計	97	87		125単位以上		
別表3 - 1 ~ 別表6 - 5	省略				別表3 - 1 ~ 別表6 - 5	省略

7 . 教授会規程

杏林大学教授会規程

制定 昭和49年12月 6日
改正 昭和54年 4月 1日

第1条 杏林大学学則（以下「学則」という。）第12条に規定する本学の各学部教授会（以下「教授会」という。）の運営に関し、同条第8項の規定に基づき、この規程を定める。

第2条 学則第12条第2項の規定に関し、当該学部の学部長に事故あるときは、教務部長たる教授又は学部長の指名する教授が、その職務を代行する。

第3条 教授会は原則として毎月1回定例にこれを開く。ただし、議長が必要と認めるときは臨時にこれを開くことができる。

第4条 教授会は、構成員の過半数の出席がなければ成立しない。

2 教授会の議事は、出席者の過半数をもって決する。議事の表決が可否同数となった場合は、議長の決するところによる。

第5条 教授会の庶務は、各学部の事務部が、それぞれ担当する。

附 則

この規程は、昭和54年 4月 1日から施行する。

8. 意思の決定を証する書類

杏 林 学 園 理 事 会 議 事 録

日 時 平成20年5月29日(木) 午後4時40分～午後5時30分
場 所 帝国ホテル 東京都千代田区内幸町1-1-1
出 席 者 理事長 松田博青 理事 小野田欣也
 理事 長澤俊彦 理事 塚本 尋
 理事 跡見 裕 理事 井戸和男
 理事 大瀧純一 理事 鈴木武夫
 理事 松田和晃 理事 辻岡 昭
 理事 赤井孝雄 理事 松田剛明
 理事 東原英二 理事 小塩 節(委任状)
 理事 丘島晴雄

定刻に至り、松田理事長は議長席に着き挨拶の後、出席理事15人(内、小塩理事委任状出席)の出席を確認し、寄附行為第11条第9項及び第10項に基づき理事会の成立を宣し開会した。会議には監事2人、参与3人、公認会計士1人及び議案説明要員として、加藤事務局次長・総務部長、後藤総務部長、長沼経理部長が同席した。

第1号議案 平成19年度事業報告について

— 省 略 —

第2号議案 平成19年度決算について

— 省 略 —

第3号議案 第二病棟非常用発電機更新工事について

— 省 略 —

第4号議案 総合周産期母子医療センターシステム更新について

— 省 略 —

第5号議案 杏林大学学則の一部改正について(保健学部理学療法学科設置他)

議長は、長澤理事(学長)に説明を求め、同理事は保健学部の学科改組及び保健師助産師看護師学校養成所指定規則等の改正に伴うカリキュラム変更等による大学学則の一部改正であると説明。具体的には、保健学部に理学療法学科を新たに設置し、同学科の入学定員40名と看護学科の入学定員を現在の80名から100名に変更するため、既設の総合政策学部及び外国語学部夫々の各学科から入学定員を一部振り替え、学科設置と同指定規則の変更等に係わる関連条文の改正並びに臨床検査技術学科と看護学科の体育実技を削除し、新たに別表2-3を加え、平成21年4月1日より施行したいと資料⑤に基づき説明。なお、今回の改正は文部科学省へ学科設置の届出を行うことから、申請中に修正を加えることも考えられるので、大幅な変更のない限り、学長及び保健学部長に一任することといたしたいと説明。議長はこれを諮り、全員異議なく承認。

第6号議案 杏林大学学位規程の一部改正について

— 省 略 —

第7号議案 教授人事について

— 省 略 —

第8号議案 杏林大学名誉教授の称号授与について

— 省 略 —

報 告

(1) 保健学部看護学科移転に伴う校舎改修工事について (旧看護専門学校第二校舎)

— 省 略 —

(2) 学事報告 (入学者数・国家試験結果) について

— 省 略 —

(3) 杏林学園寄附行為第23条第1項第2号評議員の辞任について

— 省 略 —

以上の議事経過は、事実と相違ないことを確認し署名押印する。

平成20年5月29日

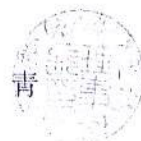
議長	理事長	松	田	博	青	理事	丘	島	晴	雄	
	理事	長	澤	俊	彦	理事	小	野	田	欣	也
	理事	跡	見		裕	理事	塚	本		尋	
	理事	大	瀧	純	一	理事	井	戸	和	男	
	理事	松	田	和	晃	理事	鈴	木	武	夫	
	理事	赤	井	孝	雄	理事	辻	岡		昭	
	理事	東	原	英	二	理事	松	田	剛	明	

本書は原本と相違ないことを証明する

平成20年6月11日

学校法人 杏林学園

理 事 長 松 田 博 青



杏林大学評議会議事録(平成20年度第1回)

日時 平成20年5月19日(月)午後5時5分～午後5時20分
場所 医学資料情報センター11階 会議室
出席者 松田学園長 小野田(総)教務部長
長澤学長 塚本(外)教務部長
大瀧(保)学部長 佐藤(医)学生部長
松田(総)学部長 加藤(保)学生部長
赤井(外)学部長 原田(総)学生部長
渡邊(医)教務部長 黒田(外)学生部長
丘島(保)教務部長 神谷図書館長
欠席者 跡見(医)学部長

添付資料 ①杏林大学学則新旧対照表(案)

議 事

(1) 杏林大学学則の一部改正について(保健学部理学療法学科設置他)

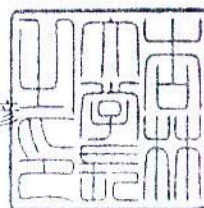
長澤学長は標記の件について、保健学部の学科改組及び保健師助産師看護師学校養成所指定規則等の一部改正に伴い、大学学則の一部を改正するものであると説明。具体的には、新たに理学療法学科(入学定員40名)を設置すると共に、看護学科の入学定員を現在の80名から100名に変更することとし、本措置に伴い必要となる入学定員60名については、文系2学部の学科定員から夫々30名を減じ、これに充当することといたしたい。併せて、看護学科の卒業要件を一部変更することに加え、同学科において得られる教職免許状のうち、中学校及び高等学校教諭一種免許状については、希望者が少ない等の理由からこれを削除すると共に、臨床検査技術学科及び看護学科夫々の授業科目から「体育実技」を削除することとして、関連する条文及び別表を資料①のとおり改正、平成21年4月1日より施行いたしたい。加えて、理学療法学科の設置に関しては、文部科学省への届出事項に該当するため、今後修正を加える可能性も考えられるが、大幅な変更がない限り、同学長及び保健学部長にご一任願いたいと説明。審議の結果、本件を承認。

以 上

本書は原本と相違ないことを証明する

平成20年6月11日

杏 林 大 学
学 長 長 澤 俊 彦



平成20年度 第2回 保健学部教授会議事録

1. 日 時 平成20年5月21日(水) 13時30分から15時00分
2. 場 所 保健学部大会議室
3. 構成人員 35名
4. 出席者 32名

大瀧 純一	飯田 加奈恵	石井 和夫	石山 陽事	今留 忍
大木 幸子	大嶺 智子	丘島 晴雄	加藤 英世	金子 哲也
川村 治子	蒲生 忍	岸 邦和	小池 秀海	小西 善史
近藤 ふさえ	潮見 泰藏	柴田 眞理子	嶋津 秀昭	下川 哲徳
副島 昭典	高見 茂	田口 晴彦	田島 治	照屋 浩司
中島 恵美子	坂内 久一	藤井 雅彦	柳澤 厚生	安井 英明
四倉 正之	和田 貴子			

5. 議 事

- (1) 学生の退学について
- (2) 教員人事について
- (3) 杏林大学学則の一部改正について
- (4) 杏林大学学位規程の一部変更について
- (5) 平成20年度 一般研究生(前期追加分)について
- (6) 語学単位認定について
- (7) 平成20年度の兼職(追加分)について

6. 報告事項

- (1) 学部関係 (2) 教務部関係 (3) 学生部関係 (4) 就職委員会 (5) 広報委員会
- (6) 図書委員会 (7) その他

7. 配布資料

- (1) 平成20年5月 退学願出一覧
- (2) 平成20年度(保健学部)人事関係資料
- (3) (保健学部)人事関係資料
- (4) 杏林大学学則 新旧対照表(案)
- (5) 杏林大学学位規程 新旧対照表(案)
- (6) 平成20年度 一般研究生一覧表(前期 20.4.1~20.9.30)
- (7) 救命救助法単位認定申請者一覧
- (8) 語学単位認定申請者一覧
- (9) 平成20年度の兼職について(保健学部)
- (10) 平成20年度 前期他学科履修許可願提出者一覧
- (11) 平成20年度 前期他学年履修許可願提出者一覧及び前期他学則履修許可願提出者一覧
- (12) 平成20年度 前期他学部履修許可願提出者一覧
- (13) 第1回保健学部就職ガイダンス2008
- (14) 保健学部 平成20年度海外研修一覧表

8. 議事の経過・議決した事項

- (1) 前回の議事録確認
省略
- (2) 学生の退学について
省略
- (3) 教員人事について
省略
- (4) 杏林大学学則の一部改正について
教務部長より、資料4に基づき、杏林大学学則の一部改正(理学療法学科増設、指定規則変更に伴う看護学科カリキュラム変更及び入学定員の変更、臨床検査技術学科開設科目の一部変更等)について説明があり、構成員の3分の2以上の出席を確認し、賛否を諮ったところ、出席者全員の挙手(賛成)を得て異議なく承認された。
- (5) 杏林大学学位規程の一部変更について
省略

- (6) 平成20年度 一般研究生（新規追加分）について
省略
- (7) 語学単位認定について
省略
- (8) 平成20年度の兼職について（追加分）
省略

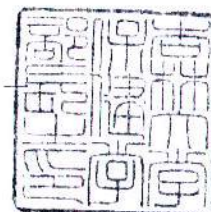
9. 報告事項

- 学部関係
省略
- 教務部関係
省略
- 学生部関係
省略
- 就職委員会
省略
- 広報委員会
省略
- 図書委員会
省略
- 国際交流委員会
省略
- IT推進委員会
省略
- 保健センター
省略
- 研究委員会
省略
- 入学センター
省略
- その他
省略

本書は、保健学部教授会議事録原本の抜粋であることを証明する。

平成20年6月2日

杏林大学 保健学部長
大瀧 純



平成20年度第2回 外国語学部教授会 議事録

日 時 : 平成20年5月21日(水) 午後2時40分～午後4時20分

場 所 : 第1会議室

構成人員数 : 25名

出席者数 : 24名

(議長) 赤井 孝雄 学部長

稲垣 大輔 教授	今泉 喜一 教授	岩崎 公生 教授
江戸 淳子 教授	金田一秀穂 教授	草場 裕 教授
楠家 重敏 教授	熊谷 文枝 教授	黒田 有子 教授
小山 三郎 教授	諏訪内敬司 教授	詹 満江 教授
田中 茂彦 教授	玉村 禎郎 教授	塚本 慶一 教授
塚本 尋 教授	鳥尾 克二 教授	中村 信幸 教授
原田 範行 教授	本田 弘之 教授	Peter McMillan 教授
吉村 ケイ子教授	渡辺 光恵 教授	

欠席者数 : 1名

遠山 菊夫 教授

【配布資料】

1～2. — 省 略 —

3. 杏林大学学則新旧対照表(案)

資料3

4～20. — 省 略 —

【議事録確認】

1. 第1回(平成20年 4月16日)教授会議事録、承認。

【学部長報告】

1) 理事会・評議員会・運営審議会・学部長会議結果報告

— 省 略 —

2) 平成21年度杏林大学入試概要について

— 省 略 —

3) 学生支援対策委員会設置について

— 省 略 —

4) その他

— 省 略 —

【協議事項】

1. 運営委員会

1) 大学学則の一部改正について

保健学部理学療法学科の設置(40名)および同学部看護学科の定員増(80名→100名)に伴い、総合政策学部(△30名)、外国語学部(△30名)の定員を削減すること、看護学科の卒

業要件単位数の変更（134単位→137単位）、同学科の中学校・高等学校教諭一種免許状（保健）の取得廃止などについて説明があり、審議の結果、原案どおり承認した。

2. 教務委員会

— 省 略 —

【報告事項】

1. 運営委員会

国際交流担当

— 省 略 —

機器管理担当

— 省 略 —

FD委員会

— 省 略 —

20周年

— 省 略 —

将来構想委員会

— 省 略 —

2. 教務委員会

— 省 略 —

3. 学生委員会

— 省 略 —

4. 入試委員会

— 省 略 —

5. 図書委員会

— 省 略 —

6. 就職委員会

— 省 略 —

7. その他

— 省 略 —

以 上

本書は、杏林大学外国語学部教授会議事録原本の抜粋であることを証明する。

平成20年6月18日

杏 林 大 学

外国語学部長 赤 井 孝 雄



平成20年度第2回 総合政策学部教授会 議事録

日時：平成20年5月21日(水) 15:15～16:20
場所：G棟1階資料室

出席者：31名(教授18名、准教授9名、講師4名)

(議長) 長澤学長
松田学部長

阿久澤教授

小石教授

武内教授

内藤教授

原田教授

伊藤准教授

久保准教授

渡辺准教授

岩隈講師

馬田教授

斎藤教授

田中教授

西 教授

大山准教授

佐藤准教授

木村講師

小野田教授

高坂教授

千葉教授

野山教授

岡村准教授

進邦准教授

木暮講師

唐澤教授

武田教授

豊島教授

橋本教授

北島准教授

劉准教授

斉藤講師

欠席者：1名(准教授1名)
川村准教授

配布資料

1. — 省 略 —
2. 杏林大学学則 新旧対照表(案)
3. ～9. — 省 略 —

資料1

(議事録確認)

- ・平成20年度第1回教授会議事録確認、承認。

議長は、教授会構成員の過半数が出席し教授会が成立していることを宣し、審議に入った。

1. 学部長報告

1. 1. 1FDについて
— 省 略 —
1. 1. 2教員評価について
— 省 略 —

2. 審議事項

2. 1 学部長

2. 1. 1 杏林大学学則の一部改正について

・平成21年度より保健学部新たに理学療法学科を設置し、本学の総定員を増やさず理学療法学科の定員を確保することとして、総合政策学部の総合政策学科定員を10名削減、企業経営学科は定員を20名削減することとする。平成21年度からの総合政策学部の学生定員は、資料1の第3条に定めるとおり総合政策学科入学定員170名の収容定員700名(編入学定員は10名)、企業経営学科入学定員100名の収容定員410名(編入学定員は5名)とする。

以上について、学部長は構成員の2/3以上の出席者を確認した後、同改正を諮り、全員異議なく承認。

2. 2 教務委員会(小野田教務部長)

2. 2. 1 死亡退学について
— 省 略 —
2. 2. 2 教育実習および介護等体験等体験該当者について
— 省 略 —
2. 2. 3 学校図書館司書教諭講習科目の現地見学について
— 省 略 —
2. 3 入試委員会(内藤委員長)
2. 3. 1 平成21年度入試概要
— 省 略 —

3. 報告事項

3. 1 教務委員会(小野田教務部長・伊藤副委員長・北島委員)

3. 1. 1 遡及退学(委任分)について(小野田教務部長)
— 省 略 —
3. 1. 2 欠席調査について(伊藤副委員長)
— 省 略 —

- 3. 1. 3 非ゼミ生の卒業研究履修希望者について（伊藤副委員長）
— 省 略 —
- 3. 1. 4 学生在籍数（伊藤副委員長）
— 省 略 —
- 3. 1. 5 海外研修説明会（北島委員）
— 省 略 —
- 3. 1. 6 その他（伊藤副委員長）
— 省 略 —
- 3. 2 学生委員会（原田学生部長・大山副委員長）
 - 3. 2. 1 スポーツフェスティバルの進捗状況について（原田学生部長）
— 省 略 —
 - 3. 2. 2 平成20年度学生健康診断について（大山副委員長）
— 省 略 —
 - 3. 2. 3 学長と学生代表との懇談会について（大山副委員長）
— 省 略 —
 - 3. 2. 4 乗車マナーとクリーンキャンペーンについて（大山副委員長）
— 省 略 —
 - 3. 2. 5 はしかについて（大山副委員長）
— 省 略 —
 - 3. 2. 6 その他（原田学生部長）
— 省 略 —
- 3. 3 キャリアサポートセンター（武田キャリアサポートセンター長）
 - 3. 3. 1 合同企業説明会の開催について
— 省 略 —
 - 3. 3. 2 進路希望調査の実施（所属ゼミ生対象）
— 省 略 —
 - 3. 3. 3 第1回就職ガイダンス
— 省 略 —
- 3. 4 入試委員会（内藤委員長）
 - 3. 4. 1 日本留学生試験について
— 省 略 —
 - 3. 4. 2 高校訪問プロジェクトについて
— 省 略 —
 - 3. 4. 3 オープンキャンパスについて
— 省 略 —
 - 3. 4. 4 その他
— 省 略 —
- 3. 5 運営委員会（北島委員長）
 - 3. 5. 1 教員名簿の確認について
— 省 略 —
 - 3. 5. 2 歓迎会について
— 省 略 —
 - 3. 5. 3 平成20年度部署別予算
— 省 略 —
 - 3. 5. 4 その他
— 省 略 —
- 3. 6 研究・図書研究委員会（木村委員）
 - 3. 6. 1 杏林社会科学学会総会のご案内
— 省 略 —
 - 3. 6. 2 定例研究会のお知らせ
— 省 略 —
 - 3. 6. 3 杏林社会科学研究より
— 省 略 —
 - 3. 6. 4 杏ジャーナルより
— 省 略 —
 - 3. 6. 5 図書館より「夏休みの100冊」選定のお願い
— 省 略 —

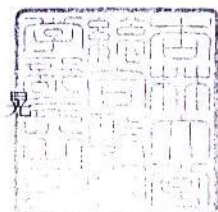
以上

本書は、杏林大学総合政策学部教授会議事録原本の抜粋であることを証明する。

平成20年6月18日

杏 林 大 学

総合政策学部長 松 田 和 晃



9 . 設置の趣旨等を記載した書類

理学療法学科設置の趣旨

1. 設置の趣旨及び必要性

(1) 本学の教育理念

本学の建学精神は「真・善・美の探究」であり、その精神を基に優れた人格を持ち、人のために尽くすことの出来る国際的な人材を育成することを教育理念としている。

(2) 設置の母体と経緯

本学の母体は、杏林学園短期大学（1966年）の開設に始まり、その後、1970年に医学部、1979年に保健学部を開設するに至った。保健学部は開設以来、一貫して社会に貢献し、且つ豊かな人間性を持つ保健、医療の専門職業人養成にあたってきた。特に医療分野では、臨床検査技師をはじめ、看護師、保健師、助産師、そして、2006年以降は救急救命士および臨床工学技士の養成を行い、広く社会に貢献するとともに、健康増進に努めてきた。

一方、我が国においては、21世紀に入り、少子高齢化社会が鮮明になるとともに医療は大きな転換期にさしかかっている。疾病構造の多様化が進み、医療の場も病院内にとどまらず、在宅医療へと広がりを見ている。

このような状況下、広範囲かつ多要因な健康障害が認められ、これらに対する医療現場では、科学的根拠に裏付けされた、より高度な専門知識が求められている。その中であって、理学療法士は急性期のリハビリテーションから慢性期のリハビリテーションまで、幅広く活動の場を持ち、大きな成果を上げている。しかし、近年、高齢者の増加と共に病気後のリハビリテーションだけでなく、病気の予防に重きを置くトレーニングにも目が向けられている。具体的には、虚弱高齢者に対する筋力トレーニング等、病気の予防に重点をおくりハビリテーションが増加しているし、通所型のデイケアサービス、訪問リハビリテーションサービス等を担う専門職としての理学療法士も必要とされている。さらに、グローバル化（国際化）が進む社会の中で、医療の一翼を担う理学療法士には、医療に関する知識と技術だけでなく、学際的な知識と高い倫理性が求められ、同時に様々な新しい課題に適切に対応できる問題解決能力、つまり高度な理解力、判断力、実行力を有することが必要とされている。本学では、これからの保健医療福祉に貢献できる理学療法士の育成を新たな使命とし、理学療法学科の設置を計画する。

(3) 教育研究上の理念、目的

近年、保健医療福祉サービスは疾病構造の変化、医療技術の急速な進歩、人口

の少子高齢化、疾病の重複化および生活環境の変化がみられ、非常に多様化してきている。このような状況下、保健医療関連職にとっては、確実な知識と高度な技術の習得はもとより、多様な社会の変化に対応し得る、学際的で教養豊かな人間性が必要となっている。そのためには小児から高齢者まで十分に理解することが重要で、座学で学べる知識を基礎に、演習、実習を通して日々の努力が必要とされる。さらに、高齢者を始めとする慢性疾患患者に対する保健医療福祉サービスは、医療施設にとどまらず在宅にもおよび、地域に密着したリハビリテーションの需要が拡大しており、リハビリテーションに関する期待はきわめて大きいと言える。

そこで本学ではリハビリテーションの中でも理学療法に的を絞り、4年間の学部教育を通じて科学的な方法論と幅広い知識と見識を併せ持ち、人間性豊かで、国際社会においても活躍し得る理学療法士を育成すると共に、理学療法分野の教育者、研究者の養成を行いたいと考えている。

(4) 設置の必要性

理学療法士の養成は、現在、専門学校、短期大学および大学で行われているが、その7割以上を専門学校が占めている。平成20年3月現在、東京都内の理学療法士を養成する大学は首都大学東京の1校のみである。また、本学が位置する東京西部・多摩地域においては、理学療法士の養成施設として専門学校2校が存在するに過ぎない。これらのことから、本学部が理学療法士養成を大学教育で行うことの必要性は明らかである。理学療法士の職責が拡大しつつある中、幅広い視野を持ち、的確で高度のリハビリテーションを提供できる、質の高い人材を養成していくことが重要である。また、本学部理学療法学科では、大学院教育も考慮しながら、高度専門職の理学療法士養成を目標とし、すでに社会で活躍している理学療法士に対しても、本学を生涯教育の拠点として活用していけるよう整備し、つねに最新の知識や技術を習得できるようなシステムを構築することも検討している。これらの課題に対応すべく、本学において理学療法学科を設置する。

(5) 人材養成の理念と目的及び就職

保健学部の教育理念は、本学の建学の精神である「真・善・美の探究」に基づいて、保健、医療、看護および福祉の分野で、専門知識と技術を教授し、科学的な物の見方と、人に対する思いやりの心を涵養し、将来広い視野から物事をとらえ、人々がより健康に生きることをサポートできる人材の育成を目的としている。この理念を基に、理学療法学科においても教育理念と人材養成の目的は同様で、医療人としての倫理観に裏付けされた、豊かな人間性と理学療法に関する高度な

知識、技術を備え、障害の機能回復だけでなく、地域医療や福祉の場における健康の維持増進など、幅広い領域において貢献できる人材を養成することである。

このような理学療法士は、各種医療福祉機関をはじめ、多くの分野で活躍することが期待され、特に高齢者人口の著しい増加と介護保険制度の進展に伴って、療養型病院や介護老人保健施設での理学療法士の需要はますます高まり、これらの分野での活躍も期待される。また、居宅療養への流れの中で、地域社会に根ざしたりハビリテーションを実践する専門職として、活動の場がさらに広がるものと考えられる。

また、医学部付属病院には高度救命救急センターを有し、本学部には救急救命学科を有していることから、これらの関連施設やスタッフを有効利用することによって、脳血管障害や虚血性心疾患等の急性期治療に強い理学療法士を育成することもねらいの一つと考えている。

理学療法学科の就職先についてはリハビリテーション専門病院を始めとし、一般病院、療養型病院、介護老人保健施設、身体障害者施設、児童福祉施設など様々な分野が考えられている。一方、本学では就職活動全般を組織的にバックアップする「キャリアサポートセンター」が設置されており、学部独自の就職委員会と常に情報提供をしており、毎年就職率 93% 以上の高い実績を挙げている。その中で、就職先は病院およびその関連施設も多く、理学療法士の就職先としても十分に期待できるものである。

2. 本学の理学療法学科の特色

理学療法学科の教育カリキュラムには、本学保健学部の既存学科との共通科目を配置し、保健医療分野における幅広い知識と見識を身に付けさせる。これらを基に、疾病や障害の早期リハビリテーションはもとより、循環器疾患や糖尿病などの生活習慣病と高齢者の転倒などによる高齢者「寝たきり予備軍」の予防とその指導法、運動療法、またスポーツ障害への対応に関連した多彩な教育を行い、特に重度の障害者に対して欠かせない在宅ケアを含むリハビリテーションを重点に置いた教育プログラムを構築・実践する。

- (1) 患者の急性期、慢性期をとおして地域におけるリハビリテーションに重点をおいた教育・研究・臨床を行い、特に大学としての高度専門職業人養成機能と社会貢献機能を重視する。
- (2) 応用力と問題解決能力を高めるため、常に対象者を意識しながら高度で実践的な専門知識を確実に習得させ、多くの実習を体験させる。1 年次に「見学実習」、2 年次に「評価実習Ⅰ」、3 年次に「評価実習Ⅱ」そして 4 年次に「総合臨床実習」を行い、リハビリテーション実習を早期の段階から設定する。

- (3) 国際的に活躍できる人材養成として、国際的視野とコミュニケーション能力を持った理学療法士を養成する。そのため、1 学年から 4 学年までの 4 年間を通して実用的な語学関連科目である「英語 から 」、「英会話」、「医学英語」を開講する。幸いなことに、本学に国際的なコミュニケーション能力を養うことが可能な、外国語学部英語学科が併設されていることから、そのスタッフと教育手法を生かし、語学教育を充実させることが可能である。
- (4) 多様な健康障害に対応し、適切な行動がとれる理学療法士を養成するために、「応用理学療法学」を開講し、産前・産後ならびに高齢者に多い尿失禁に対する理学療法介入や産業分野における理学療法士の役割等のトピックス的なテーマについて学習する。
- (5) 「マニュアルセラピー」など先端的な理学療法手技を盛り込むことにより、国際的な技術を習得する。さらに、「理学療法国際事情」、「基礎ゼミ」、「理学療法特論」、「 」における研究指導を通して国際的な視野を有する理学療法士の養成を図る。
- (6) 学部教育の集大成として卒業研究を必修科目とした。卒業研究は問題解決能力を発展させる絶好の機会であり、研究の立案、実施、結果のまとめ、結果の解釈と考察、研究の総括と論文作成といった研究の流れを理解させることができる。

3. 学科の名称および学位の名称

(1) 学科の名称

理学療法学科 [Department of Physical Therapy]

理学療法は、身体に障害をもつ人に、徒手や機器を用いた運動療法や、電気・水治療法などの物理療法によって基本的な機能の回復を図り、家庭や社会における自立性を援助することである。そして本学科は単に保健医療および福祉活動の中において、それら専門的知識・素養のみならず、社会や地域のニーズに対応しうる高度な市民的教養と倫理性を持つとともに、新しい課題に適切に対応できる問題解決能力を有する、専門職業人としての理学療法士を養成することを目的としている。理学療法士の国家試験受験資格を取得可能であることから、理学療法学科として考慮した。

英訳名称は国際的な通用性について熟考検討した結果、教育課程等から適切な名称であると考えられるので Department of Physical Therapy とした。

(2) 学位の名称

学士 (理学療法学)

本学科の卒業要件を満たしたのものには学士の学位を授与するが、本学科で教授

する理学療法の領域は、疾病あるいは障害に応じて理学療法の観点から観察・評価し、治療計画の立案および治療を行うために必要な知識・技術力に関する領域であり、また、保健医療および福祉活動の中で、リハビリテーションを担う専門職として、他職種や関連機関との連携を適切に行う能力を有することを必要とする領域であるなど多岐にわたっており、これらを教育・研究する専攻分野としては既存の学問領域に限定しうるものではなく、したがってその専攻分野は総じて理学療法学と称すべきものと考えられる。それゆえに本学が授与する学位の専攻分野の名称を学士（理学療法学）とした。

4. 教育課程編成の考え方および特色

(1) 各学年の到達目標について

カリキュラムは、教育理念に基づく教育目標の達成を目指し、学年毎の教育到達目標に従って、1年次から4年次までそれぞれ次のような方針で進める。

1年次：リハビリテーションと理学療法の概論および地域の医療福祉施設の見学を通して、理学療法への導入としての基礎的理解を深める。教養科目では生物学的、社会学的および心理学的、発達学的理解を深め、幅広い教養と知識を持った全人的資質を養う。

2年次：1年次の教育方針を継続するとともに、人体の構造および機能に関する基礎医学や、主要疾患に関する原因・病態・診断・治療等の臨床医学的知識と、理学療法の専門的な基礎知識・技術を教授し、理学療法士としての基礎的能力を養う。

3年次：主として理学療法の臨床的専門領域について、その理論と実際を講義・実習および地域保健医療・福祉施設での臨床実習の両面から教授し、理学療法の専門職業人としての基礎能力を養うとともに、チーム医療としての役割について理解を深める。また、将来の理学療法教育および研究のための基礎的能力を養う。

4年次：リハビリテーション関連施設における総合臨床実習を中心として、実際に障害をもつ人々に対する専門的な関わりの中で、卒業時の教育到達目標である専門的知識・技術の臨床応用能力を習得させ、人間的資質を養う。また、研究セミナーや卒業論文の作成を通じて、指導者、教育者および研究者としての基礎的能力を養う。

(2) 教育課程の編成について

本学部を設置の趣旨・目的を実現する観点から、授業科目を「基礎分野」「専門基礎分野」「専門分野」の各科目区分によって体系的に構成する。

「基礎分野」は豊かな人間性と社会性を育むこと、また国際化、情報化社会に対応できることを念頭に置き、一般教養と専門教育への基礎を兼ねた科目を学習する。「基礎分野」では、「人間科学系」「自然科学系」「語学系」の3部門を教育内容として位置づける。

「人間科学系」および「自然科学系」の部門においては、科学的思考の基盤を培うとともに、人間としての尊厳を倫理面のみならず、制度・経済・文化等多角的な視点から理解する。また、国際化社会に対応するため「外国語」については外国語学部を併設することの利点を生かし、実践に即した「英語」の科目、「英語 から 」、 「医学英語」および「英会話」を開講して充実させた。

「専門基礎科目」は、「専門科目」における知識や技術を習得するための基盤となるものであり、理学療法士という専門職種を目指す動機付けにつながることをねらいとし、「医学系」科目および「保健学・衛生学系」科目を教育内容として位置づけた。

「医学系」科目では、主として人体の構造や機能を系統的に理解するとともに、実習科目を多く配当することで基本的な解剖・生理学的知識の習得を図る。また、主要疾患の原因、病態、診断、治療法を理解するとともに、リハビリテーションの概念を包括的に理解する。「保健学・衛生学系」では、現代社会における社会保障の理念や意義を体系的に学ぶとともに、リハビリテーションの概念を包括的に理解し、公衆衛生の基本的な考え方を理解する。なお、希望者には第一種衛生管理者の資格も取得可能な科目構成となっている。

「専門分野」については、理学療法士としての専門性を高めるために必要とされる「基礎理学療法学系」、「理学療法評価学系」、「理学療法治療学系」、「地域理学療法学系」、「臨床実習系」、「総合領域」を教育内容として位置づけた。将来、「地域」、「教育・研究」、「スポーツ」など様々な分野に進むことができるよう、その基礎となる開講科目を設けている。

「基礎理学療法学系」では、理学療法の概要と基本を学ぶとともに、理学療法士として問題解決のための基本的な能力を養う。「理学療法評価学系」では、理学療法の現場で必要とされる評価内容や評価技術を学ぶ。「理学療法治療学系」では各種疾患に対する理学療法の理論と実際を修得するとともに、チーム医療の一員として医療に当たることの重要性を学ぶ。「地域理学療法学」では、障害者、高齢者、患者を取り巻く制度的環境や生活環境、地域における社会資源について修得し、地域社会に根ざした理学療法士としてのあり方を学ぶ。さらに最新の医学・医療・理学療法に関する知見と科学的なものの見方を養うために、「総合領域」で「応用理学療法」や「特別講義 」、特別講義 』を設けて、統合的な演習を展開する。また、「卒業研究」では科学的根拠に基づいた理学療法の実践を学ぶとともに、リサーチマインド

をもった理学療法士を育成する。医療専門職の教育では、早期臨床体験（Early Patient Exposure）の重要性が強く認識されていることから、学習進度に応じて1年次から臨床施設における実習を配置している。「臨床実習系」では社会人としての基本的な遵守事項を身につけるとともに、理学療法の展開に必要な情報収集能力の習得、その統合と解釈の仕方、治療計画立案、基本的な理学療法の実施ができるように教育する。

(3) 教養教育の実施方針、教育課程編成上の工夫について

教養教育課程（基礎分野）は、人間科学系、自然科学系、語学系から構成され、様々な学問分野に触れ、いろいろな現象のとらえ方、価値観および多様性を認識することを第一の目的としている。

人間科学系科目では、哲学、倫理学、生命倫理学、心理学、発達心理学、芸術、日本国憲法、社会学等を配置して、幅広い分野にわたって教養を養い、生命の尊厳と人権の尊重を基盤とする医療職者としての倫理観を養うことを目的とする。

自然科学系では、高等学校において、「物理」「化学」「生物」のいずれかを未履修の者および受講を強く希望する者を対象に、高校レベルの授業「基礎物理学」「基礎化学」「基礎生物学」を開講する。また、1年生には、「数学」「情報処理論」「物理学概論」「生化学概論」「生命科学概論」等の自然科学系基礎科目を配置し、専門科目へ移行しやすいようにしている。

語学系については、保健学分野における英語の重要性に鑑み、英語の教育に力を入れている。また、現在、他言語の重要性も増してきており、同じキャンパス内の外国語学部において開講されている中国語、ドイツ語、朝鮮語等を積極的に履修するように指導する。医療系分野における知識技術は日進月歩であり、英語の文献を読みこなすことのできる学力は不可欠であるので「医学英語」を設置する。また、TOEIC、TOFEL、実用英語技能検定試験等においては、スコアに応じて、英語の科目の単位認定を行う。

(4) カリキュラム編成における必修科目・選択科目の量的配分の適切性、妥当性について

必修科目の卒業要件単位に占める割合は78%とかなり高い値を示している。これは、「理学療法士作業療法士学校養成所指定規則」の定める条件を満たす必要があるためであるが、専門分野、総合領域には各教員の専門領域に関する科目を選択科目として設置しており、学生はより専門的あるいは最新の知識や技能を学ぶことができるように配慮している。また、特に基礎分野においては選択必修科目制をとっている、すなわち、各分野の指定された科目から一定以上の単位数を履修させて、

低学年のうちに基礎学力の養成と幅広い教養知識を習得できるように配慮している。

5 教員組織の編成の考え方および特色

(1) 教員組織の編成について

本学科は初年度（平成 21 年度）専任教員 10 名（教授 4 名、准教授 2 名、講師 1 名、助教 3 名）をもって組織し、そのうち 4 名（教授 2 名、講師 1 名、助教 1 名）は既設の臨床検査技術学科から異動させる。異動元の臨床検査技術学科の教員数（異動後 33 名）は大学設置基準で定められた数を大幅に上回っているため、教育水準の維持に問題はない。

専任教員 10 名のうち理学療法士の資格を有する教員は 7 名、医師の資格を有する教員が 1 名である。また、専任教員うち、6 名が博士の学位を、4 名が修士の学位を有し、教育研究上の十分な資質を有している。専門分野の教育が本格的に始まる開設後 2 年目（平成 22 年度）には、理学療法士の資格を有する准教授 1 名、講師 2 名、3 年目（平成 23 年度）には、助教 1 名を採用し、充実を図る。

(2) 主要科目と教員配置について

基礎分野では、国際的視野を持った社会人育成のため、併設する外国語学部教員が「英語 ～ 」を担当して、専門科目の専任教員と連携をとりやすくした。また、理学療法士として居宅でのリハビリテーションが増加することを見込み、障害者や高齢者を取り巻く住環境や制度的環境の理解を深めるために、福祉住環境に精通した教員を配置した。

専門基礎分野では特に専門科目の基礎知識として必要性が高い「解剖学」「生理学」「病理学」「感染症学」「免疫学」「薬理学」などの基礎医学系の分野を中心に、教育研究上の実績を有する保健学部所属の教員を配した。また、専門基礎科目では、疾病の理解を深めるために「内科学」、「神経内科学」「脳神経外科学」「精神医学」などの臨床医学系の科目を多数設け、それぞれに実績のある教員を配置し、他の医療スタッフとのコミュニケーションがとれる理学療法士を養成できるようにした。

専門分野では理学療法士養成という専門職業人の養成の観点および実学重視という本学の独自性の観点から、臨床現場の経験が豊富な実務家教員を専門科目に配置することで、臨床に直結した教育に反映することが可能となる。同時に、大学という高度な専門的知識の教育と研究の場としての役割を果たすべく、教育実績および研究実績の豊富な教員を配置することで、教育および最新の研究と臨床の現場をオーバーラップできるように工夫した。さらに「基礎ゼミ」や「理学療法特論 ～ 」では専任教員が全員担当することで、臨床医学および理学療法に

関して統合的なものの見方ができるように配慮した。

6 教育方法、履修指導方法および卒業要件について

(1) 教育方法

カリキュラムの具体的な展開は、教育理念に基づく教育目標の達成を目指し、教育方針にそって周到に準備された教授方法によって実現される。それには、講義と演習、学内実習および地域の各種医療施設等での臨床実習を通して教授する。学内での視聴覚教材の活用と実習室でのデモンストレーション等により、臨床実習との一貫した教育内容や、グループ学習、セミナー方式による学生の自主的な参加と研究態度を重視した教育方法を採用する。

授業の規模は、学部共通科目として開設する人間科学系、自然科学系および保健学・衛生系の科目においては 80 名から 90 名程度を想定しているが、100 名を上回る場合は分割して開講する。その他の科目、基礎分野語学系、基礎専門分野医学系および専門分野の学科独自科目は 40 名規模での授業となる。

カリキュラムの内容は、主に次の 4 つの柱で構成する。

1. 人間を全人的に理解するために、人間科学系の科目や人間発達学等を通して、社会的、心理学的、行動学的な観点から学習する。
2. 専門各領域の急性期および慢性期の各種疾患に対応した講義と実習を通して効果的に学習する。1 年次から理学療法概論や専門科目の一部を取り入れたり、また大学付属病院における見学実習を設けるなど、早期から理学療法士としての資質や能力の養成に重点を置いた教育を行う。
3. チーム医療については、医療に関わる諸専門職の医療技術者の相互に有機的な連携が重視されることから、専門基礎科目の看護学や地域保健学等で基本概念を学ぶ。さらに、専門科目の「理学療法治療学」や「地域理学療法学」等を通して専門職業人としての役割と他の職種との関連や連携について学習する。
4. 指導者、教育者および研究者としての基礎的な能力を養成するために、教養科目の中での基礎的な知識の習得、基礎ゼミにおける小グループでの討議や、理学療法学研究法等の学習、ならびに教員の個人指導による卒業論文作成等によって学習する。

(2) 履修指導方法

新入生に対する履修指導は、ガイダンス期間を 4 日間設定し、その期間に新入生の担任、教務委員、教務課職員によって、単位、時間割の立て方、資格関連科目の履修方法、履修登録手続き、図書館の利用方法等についての説明をし、さらに履修方法を徹底するために少人数単位でも履修指導等を行う。また、後期が始

まる 10 月にも担任、教務課職員によるガイダンスを行う。

(3) 卒業要件

以下の区分に従い、4 年以上在学し 125 単位以上を修得することを卒業の要件にする。

科目区分の名称		単位数		
		必修	選択	計
基礎分野	人間科学系	2	6	8
	自然科学系	2	4	6
	語学系	2	4	8
	小計(26科目)	8	14	22
専門基礎分野	医学系	27	3	30
	保健学・衛生系	0	4	4
	小計(36科目)	27	7	34
専門分野	基礎理学療法学系	3	7	69
	理学療法評価学系	4		
	理学療法治療学系	23		
	地域理学療法学系	3		
	臨床実習系	21		
	総合領域	8		
	小計(52科目)	62		
合計	合計(114科目)	97	28	125

(4) 履修モデルについて

履修モデルは比較的希望が多いと思われる一般病院(急性期)の理学療法士を目指す学生のケースである。本学部の救急救命学科(救急救命士養成施設)の利点を生かし、「外科学」、「脳神経外科学」、「薬理学」を履修し、「救命救助法」も選択するよう履修指導する。専門科目では、「急性期理学療法学」、「高次脳機能障害学」を選択し、さらに「応用理学療法学」を履修することで、理学療法の新しい知見と統合的なものの見方を学ぶ。さらに「卒業研究」では、急性期患者の機能回復に対する理学療法介入に関する調査研究を行い、将来の進路に直結した基礎的な力を養うことを目標にしている。

履修モデル 【資料1】

(5) 学生の習熟度及び質的保証への対応

国家試験の受験資格を取得することが重要であるので、国家試験合格を目標として履修・学習する指導を基本とする。習熟度のバラツキに対して、各科目において学生の理解度、学習到達度に応じてリメディアル(補習)教育を実施することで対応する。しかし、上記の指導の結果、一定の学習到達点に達しない学生については、履修規定に基づき留年とする。

(6) 履修科目の年間登録上限および他大学における授業科目の履修について

学生が履修登録した授業の学習効果を高めるために、1年間の履修登録単位数の上限を50単位とする。

他大学との単位互換制度については、本学部では現在実施していない。将来の検討課題とする。

7. 施設、設備等の整備計画について

(1) 校地、運動場の整備計画

本学は、八王子キャンパスに保健学部、総合政策学部、外国語学部、図書館、体育館、管理棟、グラウンド等を配置し、学生が教育・課外活動を受けるにふさわしい広さ(130,329.49㎡)を有している。また、平成21年4月に保健学部看護学科(1学年定員80人)が三鷹キャンパスへ移転することにより、本学科を設置する十分なスペースが生ずるため、既存の校地で教育にあたる。

(2) 校舎等施設の整備計画

理学療法学科(入学定員40名)を設置するにあたり、施設は看護学科移転後の施設を一部改修し使用する。

1) 学科専用教室4室(85㎡、60人用)

共用教室5室(270㎡、340人)、(210㎡、200人)、(183㎡、120人)、
(126㎡、114人)、(85㎡、69人)

2) 研究室4室(33㎡、36㎡、36㎡、54㎡)

3) 実習室等 基礎医学実習室(139㎡を2室)

運動療法学実習室(170㎡)

運動学実習室(132㎡)

物理療法学実習室(170㎡)

義肢装具加工室(62㎡)

水治療実習室(54㎡)

日常生活技術実習室 (84 m²)

4) 学生専用ロッカー室 (36 m²を2室)

5) コンピュータ室 PC100台設置 (保健学部校舎のみ)

校舎等の図面及び工程表 【資料2】

(3) 機械器具の整備計画

理学療法学に関連する科目の教育に使用するため、機械器具670点を購入し、新たに設置する実習室等に配置する。主な機械器具の整備計画は資料2の通りである。

また、保健学部の既存学科で所有する機械器具、標本模型について、教育上支障がない範囲において共用する。

整備する主要な機器備品 【資料3】

(4) 図書等の資料および図書館の整備計画

保健学分館の蔵書冊数は91,000冊、継続雑誌は403種、オンラインジャーナル40種を整備している。また、三鷹キャンパス医学分館で収集する約1,400種にのぼる医学系の学術雑誌も現物貸借、あるいはFAXによる送信で利用可能となっている。さらに、理学療法学科を設置するにあたり、理学療法士養成のためのカリキュラムにそった図書900冊 (和書800冊、洋書100冊)、雑誌17誌 (和雑誌9誌、洋雑誌8誌)を整備する。とりわけ専門基礎分野および専門分野に配慮して3年間で整備充実を図る。

現在のところ主要なデータベース (MEDLINE、医中誌 Web、CINAHL、Web of Science、Cochrane Library、CiNii、DIALOG、NACSIS-IR、LEXIS/NEXIS、判例タイムズ (DVD)、聞蔵、PubMed、JCR、金融商事判例 (DVD)、労働判例 (DVD)、日経テレコン 21、金融法務事情 (DVD)、Source OECD、ジュリスト (DVD)、Business Source Elite、Tourism & Hospitality、D1-Law.com、マガジンプラス、Mergent Online、Upto Date、日経 BP 記事検索データベース、官報情報検索サービス等) が利用に供されている。平成18年度にシステム更新が行なわれ、iLiswave-J (富士通製) が導入された。本システムにより学外的には国立情報学研究所が運用する目録所在情報システムのオンライン分担目録の入力を担い、学内的には貸出・返却をはじめとした処理の一層の迅速化が実現された。

図書館の機能が学習・教育研究活動に効果的に働くよう様々な図書館利用ガイダンスを企画している。目的の雑誌論文や新聞記事を効率的に探す手法の一環として図書館 OPAC の使い方ガイダンスや図書館ツアー、データベースガイダンスを計画的に行うとともに利用者の質問にいつでも対応、回答できる体制を整備していく方針である。また、図書館総合管理システムを導入、NACSIS-CAT/ILL に参加し大学

図書館間の相互協力をはじめ、学生証や身分証を提示するだけで直接閲覧および貸し出しサービスが受けられる「大学図書館相互利用サービス」に加盟し近郊の大学図書館とも相互協力を進めている。今後、一層の学習・教育研究支援機能の整備拡充を計り、最新情報の発信機能を重視した図書館サービスの充実を図る。

整備する理学療法関連の学術雑誌 【資料 4】

8. 入学者選抜の概要について

(1) 学生受け入れ方針（アドミッション・ポリシー）

本学が目指す人物像は、建学の精神に基づいて、真理を追究する素直で謙虚な姿勢を持ち、他者をいたわり思いやる善き心をもった人である。従って、理学療法学科では、学問をして人のために尽くしたいと考える学生を求める。

(2) 入試区分、入学試験科目、入学者選抜方法について

入試区分

一般入試、センター試験利用入試、推薦入試を基本とし、他に帰国子女入試、外国人留学生入試を行う。

募集人員

各入試区分の募集人員は、下表の通りとする。

入学試験科目

表に示したように、一般入試の入学試験科目は、英語を必修科目、数学、物理、化学、生物、国語から 2 科目選択とし、かつ他学科の併願を可能とする。推薦入試においては、適性検査に加えて、多様な受験生に応じた面接試験を行う。

入学者選抜方法

一般入試、センター試験利用入試においては、総合点の高い者から正規合格とし、入学率を審議し定員の 1.2 倍を超えない範囲で補欠者を繰り上げて、補欠合格者とする。なお、補欠者については、補欠順位を明記して発表する。また、推薦入試、帰国子女入試、外国人留学生入試では調査書、適性検査の成績、面接の成績を総合して合格者を決定する。

入試区分	募集人員	入学試験科目
一般入試	24名	[必修科目] 英語、 [選択科目] 数学「数学、数学A」、国語（近代以降の文章）、物理、化学、生物 から、問題配布後、2科目選択。
センター試験 利用入試	6名	[必修科目]英語、 [選択科目] 以下の3教科5科目から、2科目を選択(理科から2科目選択可) 数学「数学、数学A」、国語「国語」(近代以降の文章) 理科「物理」「化学」「生物」
推薦入試	8名	適性検査、面接
帰国子女入試	1名	適性検査、面接
外国人留学生入試	1名	適性検査、面接

(3) 入学試験実施体制について

保健学部の入学試験は、学部長を委員長とし教務部長、学生部長、その他数名の教授会代表者からなる入試審議委員会のもとで実施される。審議委員会は、採用する入試区分、実施時期、募集人員、試験科目などを検討する。さらに入試実施後に合格者ならびに補欠の決定、試験方法や試験問題の反省、次年度の試験方法を検討する。入試審議委員会の下で、入試委員会が、出題の依頼、試験問題のチェック、問題の印刷、試験監督の依頼、試験の実施等を担当し、出題に関わる出題委員、採点に関わる採点委員などの委員が任命される。

入学者選抜基準の透明性については、各試験区分の受験資格、試験科目、試験時間、科目別配点、等の基本事項は募集要項に公表する。また、前年度の入試について、受験者数、合格者数、合格最低点などを公表して透明性を高めている。

9. 資格取得

取得可能な資格

本学科においては、卒業時に理学療法士国家試験の受験資格を与えることとし、本年7月に理学療法士学校の指定申請を文部科学大臣に行う予定である。

また、指定の選択科目履修により、卒業時に第一種衛生管理者免許が取得できる。
教育課程と理学療法士作業療法士学校養成施設指定規則の対比表 【資料5】

10. 実習の具体的な計画

(1) 実習先の確保の状況

現在までに確保した実習先は、本学科の実習目標を達成するために必要な条件および協力体制を備えていることを条件に選定し、73施設を数え、そのうち3施設は大学付属病院である。

本学が所在する東京都下を中心として、関東全域の病院、診療所、介護老人保健施設、特別養護老人施設等を確保している。

臨床実習受入施設一覧（施設名、住所、受け入れ可能人数等） 【資料6】

(2) 臨床実習の内容および事前・事後の指導

臨床実習は必修4科目21単位からなり、その4科目の組み立てや繋がりをきめ細かく計画することは、着実に力をつけていくために不可欠となる。そのためには、実習時間のみならず、実習の事前事後の学内における指導や実習受入れ先の施設との連携を密にする。

臨床実習の内容は、「見学実習」（1年後期1週間：40時間、実習前後の指導2時間）、「評価実習Ⅰ」（2年後期1週間：40時間、実習前後の指導5時間）、「評価実習Ⅱ」（3年前期3週間：120時間、実習前後の学内演習および指導10時間）、「総合臨床実習」（4年前期 各7週間：560時間、各実習前後の学内演習および指導各24時間）から構成される。

以下に各臨床実習の内容および事前・事後の指導について述べる。

見学実習

2名の学生を1グループとして本学医学部付属病院において、リハビリテーション医学および理学療法の実態を見学する。実習に先立って、臨地で行われる実習への心構えや見学実習の在り方について、受入れ先施設の実習指導者の講義も組み込むなど、実際に踏まえた事前指導を徹底する。事後指導として、全体の討議と意見交換の場として実習報告会等を行い、臨床実習のスタートの授業から臨床実習の組み立てを強固にして行く。

評価実習Ⅰ

1施設1もしくは2名（基本2名）の学生で、本学医学部付属病院および近隣のリハビリテーション病院において、講義・実習で学んだ評価の手技の臨床応用を試みる。事前指導については1年時の「見学実習」と同様に受入れ先施設の実習指導者の講義も組み込むなど、実際に踏まえた事前指導を実施する。講義・実習で学んだ理学療法の過程を実際に照らし合わせ、「評価実習Ⅰ」の課題を見つけ

ることができるように深める。事後指導としては、全体で実習中の手技施行の問題点や疑問点について討義を行い、知識・技術の理解を深める。また、全体で実習報告会を行う。

評価実習

1施設1~2名(基本2名)の学生で、本学医学部付属病院および総合病院あるいはリハビリテーション病院において、評価手技の実施を通して、障害の問題点およびニーズについて学習する。「評価実習Ⅰ」の実習経験を生かし、「評価実習Ⅱ」同様に事後指導を行い、障害の評価の意義を理解するとともに、問題点およびニーズを含む系統的な評価法について理解を深める。

総合臨床実習

総合臨床実習は前半の総合臨床実習(7週間)と後半の総合臨床実習(7週間)から成っている。

1施設1~2名の学生で、本学医学部付属病院および総合病院、リハビリテーション病院、老人専門病院ならびに小児医療施設の中から、2施設において主要な障害について一貫した理学療法を体験する。変化に対する適切な治療内容の変更、経過および治療結果に対する考察など患者と接する中でしか体得できない実践能力を養う。実習期間が各7週間と長期になるため、総合臨床実習の目的を明確にし、綿密な事前指導を行い、実習期間の中ごろに担当教員が巡回指導を行うことで実習の進行具合や実態を把握するとともに、学生の臨床上の問題解決に対して指導する。ただし、実習指導者の要請があれば、実習施設にいつでも出向けるようにする。事後指導としては、全体での実習報告会を実施するとともに各領域および個別の討議の時間を設ける。

年次別「臨床実習」の教育課程と指導体制 【資料7】

(3) 実習水準の確保の方策

本学の臨床実習の多くは学外の医療施設・福祉施設で実施する。臨床実習は、学内における座学の体験学習であるので、本学の教育水準と同レベルに保つことは大変重要となる。実習水準の確保の方策として、以下のことを実施する。

臨床実習を開始する前に各施設の臨床実習指導者に対して、本学で使用している教科書を配布するとともに教育内容を説明し、実習指導方法について本学教員と実習指導者間で十分に調整する。また、各施設の実習指導者と本学との連携を深くするために、各実習施設の担当教員を決める。

各臨床実習終了時には、実習報告会を行う。特に総合臨床実習終了時に行われる実習報告会では、評価実習、で学んだ知識、技術を再確認するとともに、各施

設の実習指導内容が本学の教育水準を確保できている事を確認する。なお、実習水準が本学の教育水準より低い場合や教育内容が合わない場合は、再度本学の教育内容を指導することで実習水準を確保する。

(4) 臨床実習指導者と教員の役割について

臨床実習における教育計画の立案および遂行については大学の責任のもとに行い、臨床実習指導者と教員は次のような教育の役割を分担し、円滑で効率的な運営を図る。

・教員の役割

臨床実習の内容および方法の計画

実習依頼とその調整、配置先の決定

実習行動計画の指導（事前指導）

臨床実習指導者会議の計画と実施（実習内容、評価方法の調整）

実習に関連する問題の調整

実習期間の巡回指導(学科教員全員が担当)と電話連絡による状況把握および

施設訪問

実習終了後の報告会などの計画（事後指導）

・臨床実習指導者の役割

指導者は、施設の中でも臨床経験豊富な者が担当

臨床上のオリエンテーションの実施

学生の実習内容と方法に関して教員あるいは施設長との連絡調整

担当患者に対する直接の治療および記録に関する指導

直接の患者治療以外における学生の課題学習や生活適応側面での指導

一定の様式による実習中の中間評価と終了時の最終評価

(5) 実習先との連携体制

臨床実習を行う上で、臨床実習施設と本学との連携体制を強化することは重要である。そこで、臨床実習指導者と本学の連絡を深くするために、臨床実習施設の担当教員を決め、臨床実習施設との連絡は基本的には同一教員が行うこととする。

また、大学教員と臨床実習指導者が協義を行う場として、臨床実習指導者会議を設ける（年1回）。この会議は、大学の教員と臨床実習受入れ施設の指導者で構成され、教育と臨床の双方の理解と連携を深める場であり、充実した実習を構築するための建設的な意見交換の場として、さらに、実習指導上の様々な問題や情報交換の場として実習の要になる。臨床実習指導者会議において、以下の内容について検討

する。

実習カリキュラムの検討

学生の実習への適応に関する諸問題

実習評価に関する基準

(6) 教員の配置ならびに巡回指導計画

本学科の教員は、医学部付属病院あるいは近郊の総合病院、リハビリテーション病院での評価実習において、学生の直接指導を行う。また、巡回指導は評価実習で1回、総合臨床実習とで各々1回を予定している。

評価実習の巡回指導は問題点の把握を行っている中間時期に行う。その際、臨床実習指導者の指摘事項を参考に評価実習を行っている学生の指導をする。また、実習開始直後では実習の状況を電話で実習指導者に確認する。

総合臨床実習においても、担当教員は適宜、電話連絡により学生の実習の状況を把握し、総合臨床実習と総合臨床実習のそれぞれ中間時期に担当教員が訪問し、学生の実習の進捗状況について把握する。また、総合臨床実習における結果を総合臨床実習の実習施設に情報提供し、不足点の確認を行った上で、実習内容および指導方法を検討する。実習終了後の全体報告会には、実習施設の指導者を招聘し、意見やアドバイスを受ける。

臨床実習巡回指導計画 【資料8】

(7) 実習施設における指導者の配置計画

臨床評価実習・臨床実習ともに、学生1名に対して、経験3年以上の理学療法士2名が臨床実習指導および評価を行う。2名の臨床実習指導者のうち、1名が主たる臨床実習指導者となり、他の1名は補助的な役割を担当する。学生評価に関しては、2名の臨床実習指導者の意見を総合して決定するが、主たる臨床実習指導者の1名がまとめることとする。

(8) 成績評価体制及び単位認定方法

成績評価は、臨床実習指導者が学生の実習に対する取り組み方や実習での成果を総合的に判断して決定する。臨床実習合格基準(60点)は、臨床実習の規定日数以上の出席、レポート課題が提出されていることとする。合格基準に達した学生は評価技術、レポート、実習報告会や実習サマリーの内容などを判断して、臨床実習指導者が満点を100点として点数で評価する。また、臨床実習指導者が合格基準に満たないと判断した学生の成績評価は、臨床実習指導者だけで判断するのではなく、担

当教員と協議して評価の妥当性について判断する。

10. 管理運営

学部の最高意思決定機関は、教授会である。教授会は学部長が議長となって8月を除く毎月1回開き、入試時期など必要時には臨時教授会も開く。教授会は過半数の出席をもって成立し、教育、教員人事、学生、研究などに関する事項を審議する。学部には、教務委員会をはじめとする各種委員会を設置し、審議事項を学部長に報告している。

大学の最高意思決定機関である大学評議会は、学園長、学長、学部長、図書館長、各教授会構成員から選任された各2名で構成される。学則や諸規程改正の必要が生じたときに召集される（杏林大学学則第12条）。

11. 自己点検・評価の対応について

(1) 自己点検・評価への取り組み

本学では、毎年自己点検・自己評価のためのデータブックを「杏林大学の現況」として作成し、冊子体で公開している。これには学部および大学院についての現況が記載されている。学部に「FD・将来構想・授業評価委員会」、研究科に「研究科自己評価委員会」が大学活動組織として存在し、これらの委員会が中心となり、上記の「杏林大学の現況」を毎年作成している。また大学基準協会による外部評価も平成13年に受けており、本年は、大学基準協会による外部評価を受けるため、杏林大学点検評価・報告書を、平成20年4月1日付けで作成し、大学基準協会へ提出している。

(2) 実施体制と方法

本学では大学評価委員会を、学長、学部長、大学院研究科長、事務局長、各学科選出の教員および学長が指名する者若干名を持って構成している。委員会は基本方針を策定し、自己点検評価の円滑な実施をはかり、報告書の作成および公表の義務を負い、大学評価委員会には必要に応じて専門部会を置くこととしている。

点検・評価の実施に当たっては、年度ごとに大学評価委員会が具体的な取り組みの対象と範囲および方法等を定め、各学科、研究科、事務局、附属図書館ならびに各種委員会等の学内組織が「自己点検実施主体」を構成し、これにあたっている。

「自己点検実施主体」は基本方針に基づき実施日程を策定し、資料を収集して、大学評価委員会および教授会と密接に連携を保ちつつ自己点検を行い、委託され

た項目について現状の報告・分析ならびに目標到達度に関し報告書を大学評価委員会に提出する。大学評価委員会は自己点検実施主体の報告書を精査し、現状分析に瑕疵がある場合は再調査を依頼し、大学評価の結果、改善の必要があるものについては具体的方策の提示を求める。最終的に大学評価委員会が自己点検実施主体の報告書を取りまとめ、教授会の議を経てこれを公表する。第三者評価に対応するために必要な事項は、大学評価委員長がこれを統括する。

(3) 点検・評価の基本項目

本学では自己点検・評価の実施にあたり、その基本項目を下記のように定めているが、既に述べたように、本学の自己点検・評価は、すべての項目を全学的に毎年実施するものではない。

大学・学部の理念・目的・教育目標、 教育研究組織、 教育研究の内容・方法と条件整備、 学生の受け入れ、 教育研究のための人的体制、 施設・設備、 図書館および図書等の資料、 学術情報、 社会貢献、 学生生活への配慮、 管理運営、 財政、 事務組織、 自己点検・評価の組織体制

(4) 結果の活用および公表

自己点検・評価の結果については、大学評価委員会が報告書を作成し、教授会の議を経て学内外に公表され、平成 13 年度の大学基準協会による相互評価結果と自己点検評価、毎年作成する「杏林大学の現況」等がホームページ上で閲覧できる。

本学では教育研究水準の向上、管理運営の円滑化を促進する目的で、自己点検にとどまらず外部評価を積極的に活用する。

12. 情報の提供について

大学のホームページ上で、学校法人の事業活動、財務状況等をはじめ、学校案内、入学案内、教員紹介、学生生活、図書館等の情報公開を積極的に行っている。

また、教員の研究活動の成果は、学術雑誌「杏林医学会雑誌」で公表され、この雑誌は電子化されており、ホームページ上でも閲覧できるようになっている。また、杏林学園の広報誌『あんず』や保護者会報『杏会報』により、入学式や卒業式における学長の式辞、学部長の所信表明等、さまざまな記事の形で伝えられている。

また、本学の特色を生かして、医療・健康・社会問題・ことばや文学に関する公開講演会や公開講座を実施し、開かれた大学として受け入れられるよう市民との交流に努めている。

13. 教員の資質の維持向上の方策について

本学では、FDの一環として教員評価が導入されており、各教員の授業の取り組みが評価項目となっている。また、昨年度から、全教員を対象に「教員評価目標管理シート」の提出を義務づけ、具体的目標と達成度評価の自己評価を実施している。この他、学部の「FD・授業評価委員会」が設置されており、学部全体および学科ごとの研修会も開催されている。さらに、学生による授業評価を専任教員のすべての講義科目において前期・後期に計2回実施しており、その結果を教員にフィードバックして授業改善の資料とするように要請している。これらについては、本学ホームページ上にも公開している。また、授業評価で最も高い評価を得た講義を学科ごとに指定、公開講義として全教員に授業聴講を求め、その後、授業担当教員と聴講した教員との間で討論を行っている。また、研究の活性化についても、学部全教員を対象にセミナーを実施しており、平成20年度のテーマは、「研究における倫理とコンプライアンス」、「統計学の陥りやすい罠」を設定している。これらの実施により、教員の資質の向上に努め、教員の教育力・研究力を向上させている。

資料1

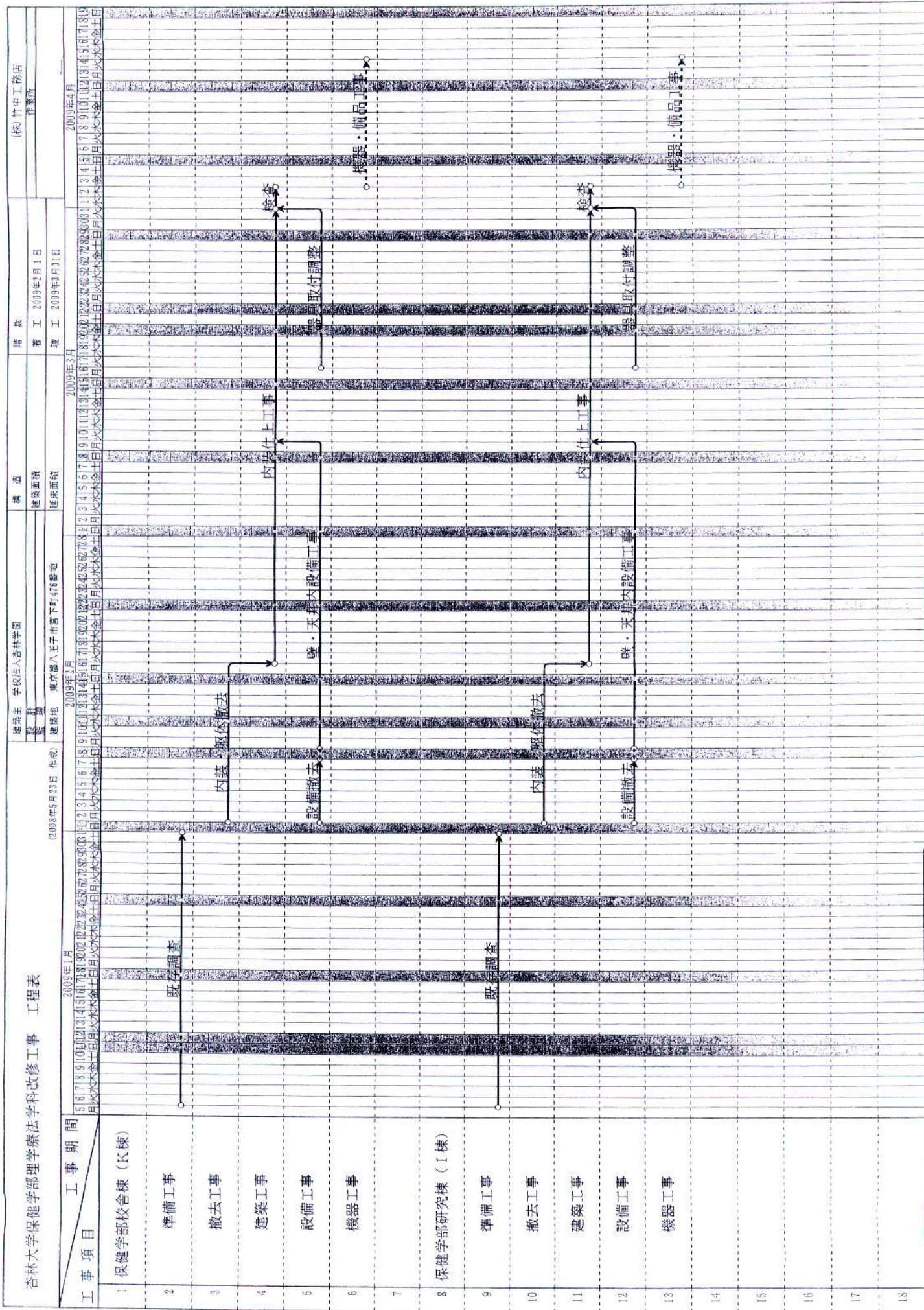
[理学療法学科 履修モデル]

一般急性期病院の理学療法士を希望する学生の履修例

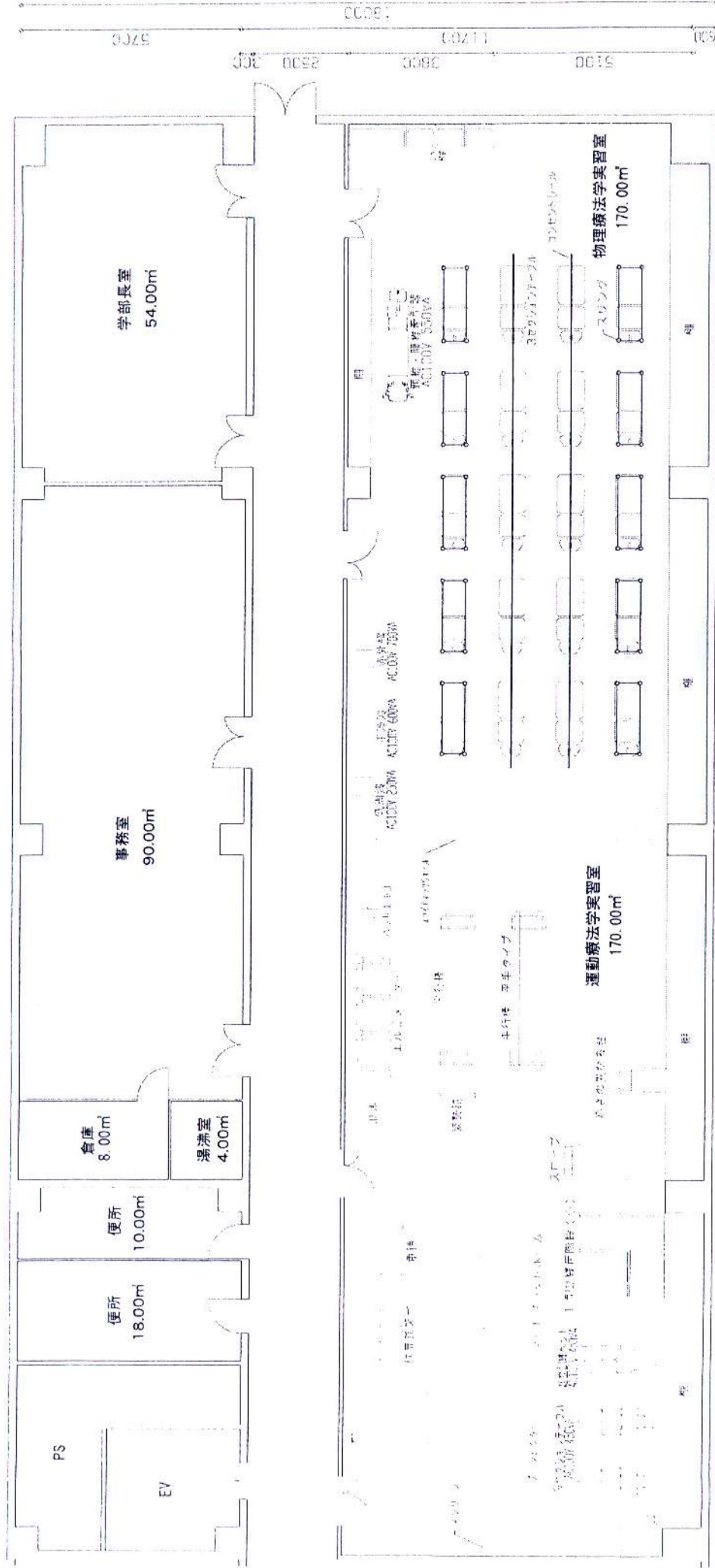
- ・専門基礎分野では「脳神経外科学」、「外科学」、「医療安全論」、「薬理学」等を履修し、急性期管理に関連する内容を理解する。
- ・「基礎ゼミ」および「卒業研究」では、脳卒中患者の急性期における理学療法介入の効果について文献を中心に調査研究を行う。

卒業要件(125単位)		1年次	2年次	3年次	4年次	計
基礎分野	人間科学系	生命倫理学 2 *社会福祉学 2				8
	自然科学系	情報処理論 2 *統計学				6
	語学系	英語 2 英語 2	*英会話 2 *英語 2			8
専門基礎分野	医学系	解剖学 2 解剖学 実習 1 生理学 2 生理学 1 リハビリテーション概論 1	生理学実習 1 解剖学 1 解剖学 実習 1 人間発達学 2 病理学 1 内科学 2 *内科学 2 臨床心理学概論 1		医療安全論 1	30
	保健学・衛生学系	*高齢保健学 2	*地域保健学 2			4
専門分野	基礎理学療法学系	理学療法学概論 1 運動学	運動学実習 1			3
	理学療法評価学系		理学療法評価学概論 1 理学療法評価学 1	理学療法評価学 1 理学療法評価実習 1		4
	理学療法治療学系	物理療法学 1 物理療法学 1	物理療法学実習 1	運動療法学 2 運動療法学実習 1 義肢学 1 義肢学実習 1 装具学 1 装具学実習 1 日常生活技術学 1 日常生活技術学実習 1 運動器障害系理学療法学 1 運動器障害系理学療法学 1 神経障害系理学療法学 1 神経障害系理学療法学 1 内部障害系理学療法学 1 内部障害系理学療法学 1 小児理学療法学 1 *急性期理学療法学 1 プロフェッショナルスキル 4 *高次脳機能障害学 1	*クリニカルリーズニング 1	26
	地域理学療法学系			生活環境学 1 地域理学療法学 2	*理学療法国際事情 1	4
	臨床実習系	見学実習 1	評価実習 2	評価実習 4	総合臨床実習 14	21
	総合領域			基礎ゼミ 4 *理学療法特論 1	卒業研究 4 *応用理学療法学 1 *理学療法研究法 1	11
			1年次	2年次	3年次	4年次
基礎分野		18	4	0		22
専門基礎分野		9	24	0	1	34
専門分野		5	6	36	22	69
合計		32	34	36	23	125

*は選択科目

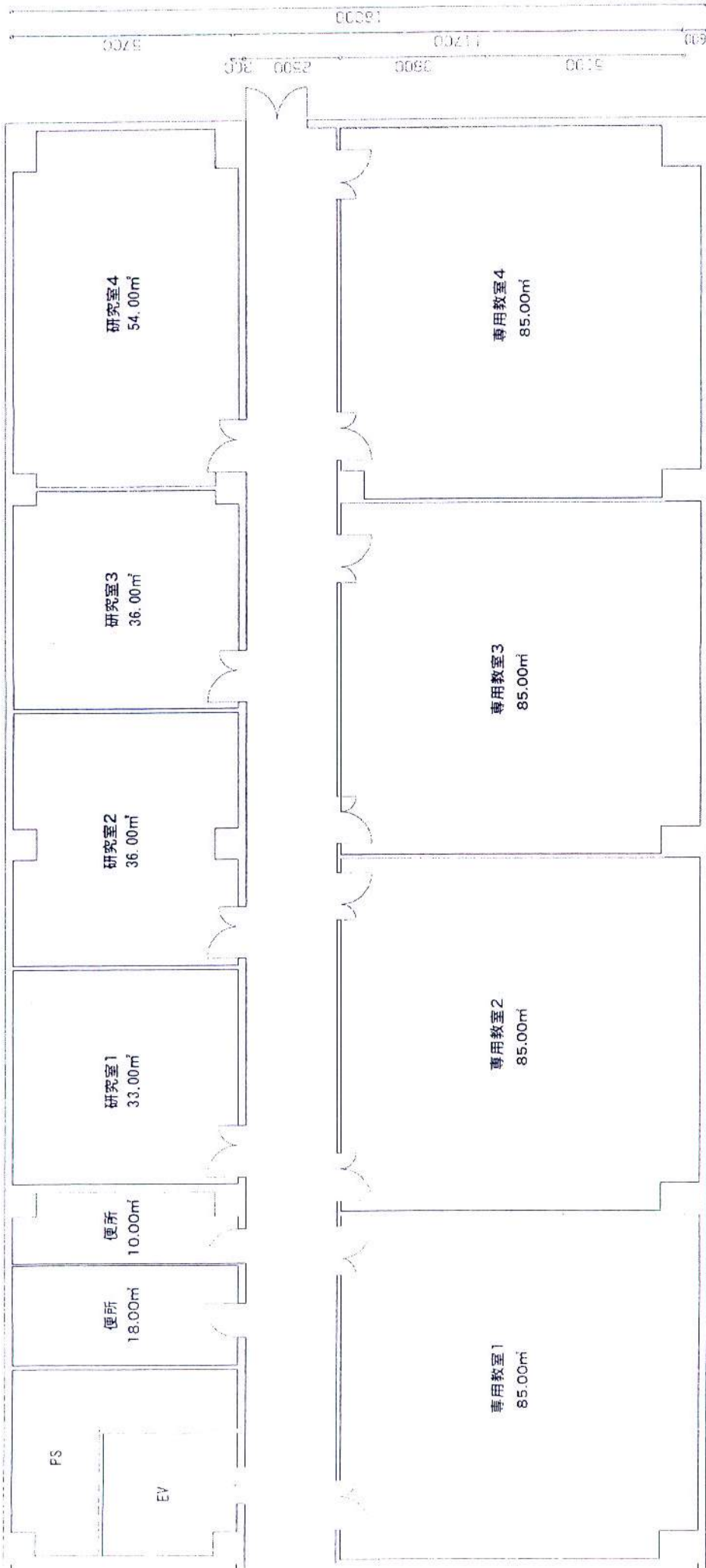


8000 9000 8400 5000

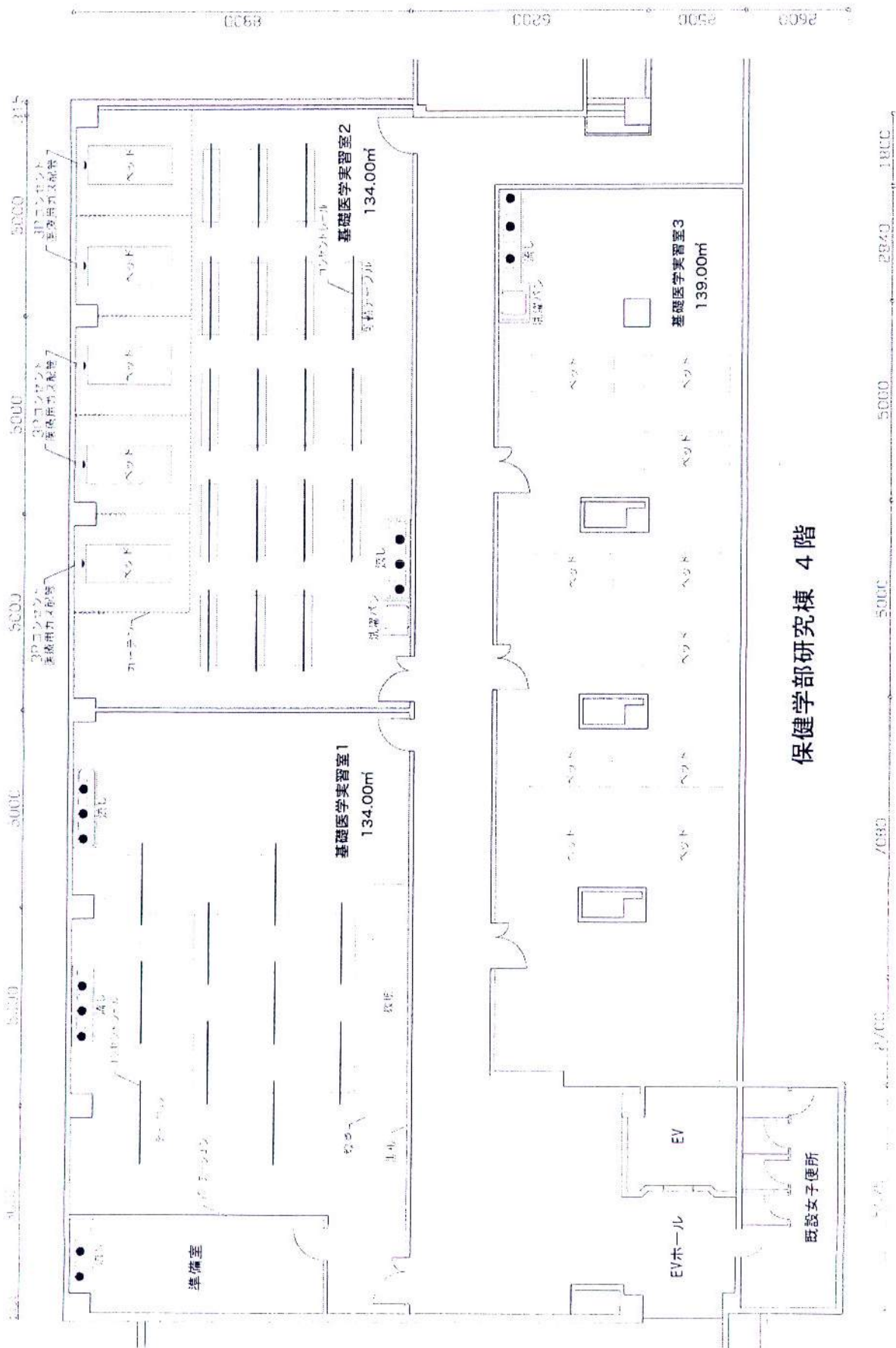


2階

5.5.00 5.5.01 5.5.02 5.5.03 5.5.04 5.5.05 5.5.06 5.5.07 5.5.08 5.5.09 5.5.10 5.5.11 5.5.12 5.5.13 5.5.14 5.5.15 5.5.16 5.5.17 5.5.18 5.5.19 5.5.20 5.5.21 5.5.22 5.5.23 5.5.24 5.5.25 5.5.26 5.5.27 5.5.28 5.5.29 5.5.30 5.5.31 5.5.32 5.5.33 5.5.34 5.5.35 5.5.36 5.5.37 5.5.38 5.5.39 5.5.40 5.5.41 5.5.42 5.5.43 5.5.44 5.5.45 5.5.46 5.5.47 5.5.48 5.5.49 5.5.50 5.5.51 5.5.52 5.5.53 5.5.54 5.5.55 5.5.56 5.5.57 5.5.58 5.5.59 5.5.60 5.5.61 5.5.62 5.5.63 5.5.64 5.5.65 5.5.66 5.5.67 5.5.68 5.5.69 5.5.70 5.5.71 5.5.72 5.5.73 5.5.74 5.5.75 5.5.76 5.5.77 5.5.78 5.5.79 5.5.80 5.5.81 5.5.82 5.5.83 5.5.84 5.5.85 5.5.86 5.5.87 5.5.88 5.5.89 5.5.90 5.5.91 5.5.92 5.5.93 5.5.94 5.5.95 5.5.96 5.5.97 5.5.98 5.5.99 5.5.100



4階



保健学部研究棟 4階

資料 3

主な機械器具、標本、模型等一覧

No	品名	仕様	参考メーカー	参考型式	数量
1	動物解剖器具		アプライド オフィス	4044	5
2	解剖台		島津理化	YC-8S	5
3	人体解剖用スライド	77枚	京都科学(株)	12211-990	5
4	血圧計	卓上型	(株)トウ	KA0409-16	15
5	聴診器		(株)トウ		20
6	心電計計測用具 心電計	ストレス仕様	フクダ 電子(株)	FCP-7431	1
7	心電図計測用具 モニター		フクダ 電子(株)	DS-7100	1
8	スパイクモニター		フクダ 電子(株)	SP-350COPD	2
9	呼気ガス分析装置一式		インターリハ(株)	Cpex	1
10	ヘプティック酸素飽和度測定装置		日本光電(株)	OLV-2700	1
11	筋電計(コンピュータ付)	ビデオ同期ソフト等含む	インターリハ(株)Zebris社	ゼブリス	1
12	神経検査器具一式 打鍵器		(株)トウ	9160	10
13	音叉 C調節子		(株)トウ	8382	10
14	触覚筆		(株)トウ	IP	10
15	痛覚ルレット		(株)トウ	02-3695	10
16	識別覚 オイルペン		(株)トウ	8473	10
17	トレッドミル		インターリハ(株)	T650	1
18	自転車エルゴメーター		インターリハ(株)	EC-MD100	1
19	自転車エルゴメーター	セミリカンベント	インターリハ(株)	SA-C571R	1
20	ハンドエルゴメーター	セラフィットプラス	インターリハ(株)Medica社	IP-S1100	1
21	マスターステップテスト台		OG技研(株)		1
22	マルチ人体測定器一式		OG技研(株)	GT-1214B	4
23	多用途記録装置(マックラボ)		アプライド オフィス	AO-ML880	2
24	重心動揺分析装置(PC付)	圧分布システム	インターリハ(株)Zebris社	PDM-1	1
25	運動解析装置	バイコンMX3	インターリハ(株)Vicon社	カメラ6台	1
26	床反力計		AMTI	BP600*400 2枚	1
27	検査測定台(トリートメントテーブル)		インターリハ(株)Wesseling社	IP-WEH003	10
28	表面温度計		(株)トウ	IT-540	4
29	タイマー		(株)トウ		10
30	体脂肪測定器具		タニタ	BC-500	4
31	形態測定器具 体重計		竹井機器工業	ME0004	1
32	身長計		竹井機器工業	ME0003	1
33	座高計		竹井機器工業	TK-11255	1
34	関節角度計	東大式	OG技研(株)	GS-11	20
35	ピンチメーター		OG技研(株)	ST-1023	1
36	握力計	デジタル	竹井機器工業	TKK-5101	1
37	背筋力計	デジタル	竹井機器工業	TKK-5102	1
38	筋機能解析装置スポーツパッケージ付	BTE-RS	インターリハ(株) BTE社		1
39	時値計 時刻計メーター(台付)	台付	OG技研(株)	CX-3・CX-ST	1

資料3

主な機械器具、標本、模型等一覧

No	品名	仕様	参考メーカー	参考型式	数量
40	起立訓練ベッド		インター川(株)Wesseling社	アリスト	1
41	姿勢矯正用鏡		インター川(株)Wesseling社	IP-P1300	1
42	バランスボード		インター川(株)	IP-2010	5
43	平行棒	丸パイプ 4m	OG技研(株)	GH-2650	1
44	平行棒	平板式 4m	OG技研(株)	GH-2660	1
45	階段一式		OG技研(株)	GH-455	1
46	歩行器	ローター、交互型、U字型	OG技研(株)	RK-313	3
47	杖	ロフトラント、アルミ、他2種	OG技研(株)	RK-328	4
48	杖	クオートケイン	OG技研(株)	RK-307	1
49	プラットホームマット		インター川(株)	T B -298	3
50	マット		インター川(株)	IP-B6001	20
51	ベッド	電動 (KS096・165)	ハラマウントベッド(株)	KQ-86130*KE553Q	20
52	バルーン	大・中・小	インター川(株)	95.65	3
53	ロール	大・中・小	OG技研(株)	PC-2794E	3
54	三角マット	大・中・小	OG技研(株)	PC-2795L	3
55	プッシュアップ台	大 中 小	OG技研(株)	GH-381	3
56	重錘バンド(ワゴン付)	ワゴン付	OG技研(株)	GF-120・GH-860	2
57	砂袋(.05・1・2・3・4・5・10kg)	0.5,1,2,3,4,5,10kg	OG技研(株)	各2	2
58	鉄垂鉛(架台付)	ワゴン付	OG技研(株)	GH-53・S134・GH-539	2
59	オーバーヘッドフレーム(セラピーマスター)	セラピーマスター	インター川(株)Redcord社	10020+14021	10
60	肋木		OG技研(株)	GH-290	1
61	足関節矯正用ウェッジ式	5.10.15.20度	OG技研(株)	GH-405	1
62	バイオフィードバック機器		OG技研(株)	BF-300P	1
63	弾性包帯各種一式		(株)ムトウ		30
64	歩行介助ベルト	大	OG技研(株)	GH-61-L	4
65	高さの異なる台		OG技研(株)	GH-371	1
66	ホットパック	大 中 小 頸椎用	OG技研(株)	HR-4A,4B,4C,4H	3
67	ホットパック加温器		OG技研(株)	PX-151	1
68	パラフィン加温器		OG技研(株)	NS-202-S	1
69	極超短波治療器		OG技研(株)	ME-8250	1
70	超音波治療器	台付	OG技研(株)	ES-2/CX-ST	1
71	赤外線治療器		OG技研(株)	EL-100-50	1
72	紫外線治療器		OG技研(株)	EL-30	1
73	コールドパック		インター川(株)	040.041.043.044各1	10
74	電気刺激治療器	干渉低周波	OG技研(株)	EF-350	1
75	電気刺激治療器	低周波	OG技研(株)	GD-752・CX-ST	1
76	腰頸椎牽引装置		OG技研(株)	OH-2000-U1	1
77	保護眼鏡		OG技研(株)		10
78	部分浴槽上肢用		OG技研(株)	HK-121	2

資料 3

主な機械器具、標本、模型等一覧

No	品名	仕様	参考メーカー	参考型式	数量
79	部分浴槽下肢用		OG技研(株)	HK-122	1
80	部分浴槽座浴用		OG技研(株)	HK-123	1
81	渦流浴装置		OG技研(株)		1
82	気泡浴装置		OG技研(株)		1
83	極低温治療器具 クリッカー		OG技研(株)	HC-9	4
84	自走式標準型 KA-102		材商会		10
85	リクライニング型 KXL-16-42		材商会		1
86	スポーツタイプ NSB-04		材商会		1
87	モジュール型車いすネッティ		材商会		1
88	アームサポート(車いす用) SPR-190		酒井医療(株)		1
89	ショルダー sling		酒井医療(株)		1
90	腕可動支持器左右用各1		ヤマギワ		2
91	トランスファーボード		OG技研(株)		10
92	ギブス用具一式	ギブス台、カッター、ハサミ	啓愛義肢製作所		1
93	義足及び各部品	各種 1	啓愛義肢製作所		1
94	装具・プリント及び各部品	各種 1	啓愛義肢製作所		1
95	装具製作用具一式		啓愛義肢製作所		1
96	作業台	4人掛け	新日本造形	2652-529	10
97	パーソナルコンピューター	ノート型 PC 15inch	NEC		10
	(標本及び模型)				
	{人体骨格標本}				
98	全身組立		京都科学(株)	A13	4
99	全身個別		京都科学(株)	SH-7	10
100	人体解剖模型	100分解以上	京都科学(株)	A4	1
101	呼吸器模型		京都科学(株)	A49	1
102	気管支肺血管分岐模型		京都科学(株)	A48-1	1
103	心臓模型		京都科学(株)	HS4	1
104	骨格付血液循環器系模型		京都科学(株)	A62	1
105	脳および延髄模型		京都科学(株)	A25	1
106	脊髄横断模型		京都科学(株)	BS30	1
107	神経系循環器系門脈模型		京都科学(株)	A100	1
108	関節種類模型		京都科学(株)	SH-17	1
	{筋模型}				
109	上肢	15分解以上	京都科学(株)	A2D	2
110	下肢	27分解以上	京都科学(株)	A3D	2
	合計				424

資料 4

理学療法関係の学術雑誌

	雑 誌 名	出 版 社	発 行 回 数
1	クリニカルリハビリテーション	医歯薬出版	月刊
2	総合リハビリテーション	医学書院	月刊
3	地域リハビリテーション	三輪書店	月刊
4	理学療法	メディカルプレス	月刊
5	理学療法ジャーナル	医学書院	月刊
6	リハビリテーション	鉄道身障者福祉協会	年10回
7	リハビリテーション医学	医学書院	月刊
8	臨床スポーツ医学	文光堂	月刊
9	理学療法科学	理学療法科学学会	季刊+特別号2回
10	Physiotherapy	Elsevier	年4回
11	Australian Journal of Physiotherapy	Australian Physiotherapy Association	年4回
12	Physiotherapy Canada	Canadian Physiotherapy Association	年4回
13	Physical therapy	American Physical Therapy Association	月刊
14	Journal of physical therapy science (英文雑誌)	理学療法科学学会	年2回
15	The journal of japanese physical therapy association	日本理学療法士協会	年刊
16	Journal of Clinical Rehabilitation	医歯薬出版	月刊
17	Archives of Physical Medicine and Rehabilitation	Elsevier	月刊

教育課程と指定規則の対比表

指定規則の教育内容					基礎分野		専門基礎分野			専門分野					計											
教育課程					科学 思考の 基礎	人間 と生 活	及人 体の 構造 と機 能	及疾 病と 傷害 の成 り立 ち	リハ ビリ テー ショ ンの 理 念	基 礎 理 学 療 法 学	理 学 療 法 評 価 学	理 学 療 法 治 療 学	地 域 理 学 療 法 学	臨 床 実 習												
区 分	授 業 科 目	単 位 数		履修方法 及び 卒業要件											1単位当たりの 時間数		14			26			35			18
		必修	選択																							
基礎分野	人間科学系	哲学	2	15	必修2単位+ 選択6単位以上																	必修2単位+ 選択6単位以上				
		社会学	2	15																						
		法学	2	15																						
		心理学	2	15																						
		生命倫理学	2	15																						
		芸術学	2	15																						
		社会福祉学	2	15																						
		倫理学	2	15																						
		発達心理学	2	15																						
	職業適性学	2	15																							
	計(卒業要件)					8	8	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	8				
	自然科学系	数学	2	15	必修2単位+ 選択4単位以上																		必修2単位+ 選択4単位以上			
		統計学	2	15																						
		情報処理論	2	15																						
		基礎物理学	1	15																						
		物理学概論	2	15																						
		基礎化学	1	15																						
		生化学概論	2	15																						
		基礎生物学	1	15																						
	生命科学概論	2	15																							
	計(卒業要件)					6	6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	6				
	語学系	英語	2	15	必修4単位+ 選択4単位以上																		必修4単位+ 選択4単位以上			
		英語	2	15																						
		英語	2	15																						
英語		2	15																							
英会話		2	15																							
医学英語		2	15																							
日本語表現法		2	15																							
計(卒業要件)					8	8	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	8					

教育課程と指定規則の対比表

指定規則の教育内容					基礎分野		専門基礎分野			専門分野					計		
					科学 思考の 基礎	人 間 と 生 活	及 人 体 の 構 造 と 機 能	及 疾 病 と 傷 害 の 成 り 立 ち	及 回 復 過 程 の 促 進	保 健 医 療 福 祉 と リ ハ ビ リ テ ー シ ョ ン の 理 念	基 礎 理 学 療 法 学	理 学 療 法 評 価 学	理 学 療 法 治 療 学	地 域 理 学 療 法 学		臨 床 実 習	
区 分	授 業 科 目	単 位 数		1単 位 当 た り の 時 間 数	履 修 方 法 及 び 卒 業 要 件	14	26	35					18	93			
		必 修	選 択														
専 門 基 礎 分 野	医 学 系	解 剖 学	2		15	必 修 2 7 単 位 + 選 択 3 単 位 以 上											
		解 剖 学	1		15												
		解 剖 学 実 習	1		30												
		解 剖 学 実 習	1		30												
		生 理 学	2		15												
		生 理 学	1		15												
		生 理 学 実 習	1		30												
		病 理 学	1		15												
		人 間 発 達 学	2		15												
		リハビリテーション概論	1		15												
		臨 床 心 理 学 概 論	1		15												
		精 神 医 学	2		15												
		内 科 学	2		15												
		内 科 学		2	15												
		小 児 科 学	1		15												
		神 経 内 科 学	2		15												
		外 科 学	1		15												
		整 形 外 科 学	2		15												
		脳 神 経 外 科 学	1		15												
		リハビリテーション医学	1		15												
医 療 安 全 論	1		15														
感 染 症 学		1	15														
免 疫 学		1	15														
薬 理 学		1	15														
栄 養 学		1	15														
計 (卒業要件)					30	0	30	0					30				
保 健 学 ・ 衛 生 学 系		保 健 学 概 論	2		15	4 単 位 以 上 選 択											
		高 齢 保 健 学	2		15												
		産 業 保 健 学	2		15												
		地 域 保 健 学	2		15												
		公 衆 衛 生 学		2	15												
		公 衆 衛 生 学		2	15												
		環 境 衛 生 工 学		2	15												
		看 護 学		2	15												
		救 命 救 助 法		1	30												
		労 働 衛 生 法 規		2	15												
労 働 衛 生 法 規		2	15														
計 (卒業要件)					4	0	4	0					4				

教育課程と指定規則の対比表

指定規則の教育内容					基礎分野		専門基礎分野			専門分野					計				
区分	授業科目	単位数		1単位当 たりの 時間数	履修方法 及び 卒業要件	科学 思考 の 基礎	人 間 と 生 活	及人 び体 心の 構造 の 発 達能	及疾 病と 傷害 の成 り立 ち の 促 進	理念 リハ ビリ テー ション の	保健 医療 福祉 と の	基礎 理学 療法 学	理 学 療 法 評 価 学	理 学 療 法 治 療 学		地 域 理 学 療 法 学	臨 床 実 習		
		必修	選択												14			26	35
専門分野	基礎理学療法学系	理学療法概論	1		15														
		理学療法用語論		1	15														
		運動学	1		30														
		運動学実習	1		45														
		病態運動学		2	30														
		運動解剖学		1	30														
	理学療法治療学系	理学療法評価学概論	1		15	必修6 2単位+ 選択7 単位以上 (専門 分野)													
		理学療法評価学	1		30														
		理学療法評価学	1		30														
		理学療法評価学実習	1		45														
		動作分析学		1	15														
		理学療法治療学総論		1	15														
		運動療法学	2		30														
		運動療法学実習	1		45														
		物理療法学	1		30														
		物理療法学	1		30														
		物理療法学実習	1		45														
		義肢学	1		30														
		義肢学実習	1		45														
		装具学	1		30														
装具学実習	1		45																
日常生活技術学	1		30																
日常生活技術学実習	1		45																
運動器障害系理学療法学	1		30																
運動器障害系理学療法学	1		30																

教育課程と指定規則の対比表

指定規則の教育内容					基礎分野		専門基礎分野			専門分野					計		
教育課程					科学 思考 の 基 礎	人 間 と 生 活	及 び 心 身 の 構 造 と 発 達 能 力	及 び 疾 病 と 傷 害 の 成 り 立 ち	保 健 医 療 福 祉 と リ ハ ビ リ テ ィ シ ョ ン の 理 念	基 礎 理 学 療 法 学	理 学 療 法 評 価 学	理 学 療 法 治 療 学	地 域 理 学 療 法 学	臨 床 実 習			
区 分	授業科目	単位数	1単位当たりの時間数	履修方法及び卒業要件											必修	選択	
					14		26			35					18	93	
専門分野	理学療法治療学系	神経障害系理学療法学	1	30	必修62単位+選択7単位以上(専門分野)												
		神経障害系理学療法学	1	30													
		内部障害系理学療法学	1	30													
		内部障害系理学療法学	1	30													
		小児理学療法学	1	30													
		高次脳機能障害学		1		15											
		高齢者理学療法学		1		15											
		急性期理学療法学		1		15											
		スポーツ障害理学療法学		1		15											
		マニュアルセラピー		1		30											
	プロフェッショナルスキル	4		30													
	クリニカルリーズニング		1	15													
	地域理学系	生活環境学	1	30													
		地域理学療法学	2	30													
		理学療法国際事情		1		15											
	臨床実習系	見学実習	1	45													
		評価実習	2	45													
		評価実習	4	45													
	総合領域	総合臨床実習	14	45													
	総合領域	理学療法学特論		1		30											
理学療法学特論			1	30													
理学療法研究法			1	15													
応用理学療法学			1	30													
基礎ゼミ		4		30													
特別講義			1	15													
特別講義			1	15													
卒業研究	4		30														
計(卒業要件)					69					48					21	69	
合 計					125		22		34	69					21	125	
指定規則に対する増単位数							8		8	16						32	

No	実習生受け入れ施設名	住所	実習生受け入れ可能人数
1	杏林大学医学部付属病院	東京都三鷹市新川6-20-2	2
2	小野整形外科	栃木県宇都宮市元今泉町2 21 11	2
3	川越リハビリテーション病院	埼玉県川越市今福2710	6
4	介護老人保健施設 やすらぎの里 八州苑	栃木県下都賀郡藤岡町太田本並内1394 1	4
5	田村外科病院	神奈川県川崎市幸区戸手1 9 13	2
6	菅間記念病院	栃木県那須塩原市大黒町2 5	8
7	青梅市立総合病院	東京都青梅市東青梅4 16 5	2
8	公立福生病院	東京都福生市加美平1-6-1	10
9	医療法人社団 永生会 永生病院	東京都八王子市桐田町583-15	2
10	慶應義塾大学病院	東京都新宿区信濃町35	8
11	北原脳神経外科病院	東京都八王子市大和田町1-7-23	2
12	小平中央リハビリテーション病院	東京都小平市鈴木町1-146	2
13	医療法人社団 徳成会 八王子山王病院	東京都八王子市中野山王2-15-16	2
14	医療法人社団 橘光葉会 三条東病院	新潟県三条市北入蔵2-17-27	10
15	医療法人財団 緑雲会 介護老人保健施設 ハイネス憩の丘	東京都八王子市中野町2082-1	2
16	医療法人 永寿会 介護老人保健施設 ゆうむ	東京都八王子市西寺方町284	4
17	財団法人 脳神経疾患研究所 附属総合南東北病院	福島県郡山市八山田7-115	10
18	世田谷区立特別養護老人ホーム きたざわ苑	東京都世田谷区北沢5-24-18	2
19	医療法人 康和会 介護老人保健施設 和泉の澤	福岡県飯塚市勢田1806-1	2
20	介護老人保健施設 愛生苑	広島県庄原市上原町高丸1810-1	2
21	介護老人保健施設 春日リハビリテーション・ケアセンター	福島県須賀川市南上町123-1	2
22	医療法人 将道会 介護老人保健施設サニーホーム	宮城県岩沼市里の杜1-2-6	2
23	安岡整形外科脳外科クリニック	東京都武蔵野市吉祥寺本町2-14-8	2
24	医療法人財団 荻窪病院	東京都杉並区今川3-1-24	4
25	医療法人社団 永寿会 三鷹中央病院	東京都三鷹市上連雀5-23-10	4
26	介護老人保健施設 リハビリ南東北福島	福島県福島市荒井北3-1-18	10
27	医療法人 将道会 総合南東北病院	宮城県岩沼市里の杜1-2-5	2
28	財団法人脳神経疾患研究所 附属南東北福島病院	福島県福島市荒井北3-1-13	10
29	医療法人社団 もりもと 森本外科・脳神経外科医院	鳥取県東伯郡琴浦町逢束1210	4
30	公立阿伎留医療センター	東京都あきるの市引田78-1	2
31	医療法人社団 総合会 武蔵野中央病院	東京都小金井市東町1-44-26	8
32	慈誠会記念病院	東京都板橋区西台3 11 3	2
33	南古谷病院	埼玉県川越市久下戸 1 1 0 番地	10
34	社会福祉法人 蓮田ナーシングホーム翔裕園	埼玉県蓮田市関戸吹上 1 8 2 6 - 1	4
35	医療法人社団 爽玄会 碑文谷病院	東京都目黒区南2-9-7	10
36	医療法人社団 三成会 南東北春日リハビリテーション病院	福島県須賀川市南上町123-1	2
37	ツル虎ノ門外科・リハビリテーション病院	山梨県都留市四日市場字瀬中188	2
38	平川病院	東京都八王子市美山町1076	26
39	東京総合保健福祉センター 江古田の森	東京都江古田3-14-19	2
40	(財)富士脳障害研究所附属病院	静岡県富士宮市杉田270-12	2
41	社会福祉法人江寿会 アゼリー江戸川	東京都江戸川区本一色 2 - 1 3 - 2 5	2
42	船橋市立リハビリテーション病院	千葉県船橋市夏見台4 - 26 - 1	10
43	多摩丘陵病院	東京都町田市下小山田町1491	2
44	医療法人 真正会 霞ヶ関南病院	埼玉県川越市安比奈新田283-1	2
45	医療法人 円会 瀬口脳神経外科病院	長野県飯田市上郷黒田218-2	10
46	至誠会第二病院	東京都世田谷区上祖師谷5-19-1	10
47	青梅慶友病院	東京都青梅市大門1-681	2
48	よみうりランド慶友病院	東京都稲城市矢野口3294	4
49	介護老人保健施設 リハビリ南東北川俣	福島県伊達郡川俣町大字鶴沢字池ノ上30-1	2
50	公立昭和病院	東京都小平市天神町2-450	2

No	実習生受け入れ施設名	住所	実習生受け入れ可能人数
51	東海大学医学部附属八王子病院	東京都八王子市石川町1838	2
52	ブレンピア南太田	茨城県常陸太田市谷河原町1183-1	2
53	聖稜リハビリテーション病院	静岡県藤枝市宮原676-1	10
54	医療法人財団 緑秀会 田無病院	東京都西東京市緑町3 6 1	10
55	医療法人 桜丘会 桜ヶ丘病院	茨城県東茨城郡茨城町奥谷1076	2
56	社会福祉法人 康和会 久我山病院	東京都世田谷区北烏山2 14 20	10
57	医療法人財団 利定会 大久野病院	東京都西多摩郡日の出町大久野6416	2
58	戸田中央総合病院	埼玉県戸田市本町1 - 1 9 - 3	2
59	戸田中央リハビリテーション病院	埼玉県戸田市本町1 - 1 4 - 1	2
60	新座志木中央総合病院	埼玉県新座市東北1 - 7 - 2	2
61	朝霞台中央総合病院	埼玉県朝霞市西弁財1 - 8 - 1 0	4
62	西東京中央総合病院	東京都西東京市芝久保町2 - 4 - 1 9	4
63	一橋病院	東京都小平市学園に市町1 - 2 - 2 5	6
64	新座病院	埼玉県新座市堀の内3 - 1 4 - 3 0	10
65	熱海所記念病院	静岡県熱海市昭和町2 1 - 6	2
66	戸塚共立第1病院	神奈川県横浜市戸塚区戸塚町1 1 6	2
67	東所沢病院	埼玉県所沢市城4 3 5 - 1	2
68	牧野記念病院	神奈川県横浜市緑区鴨居2 - 2 1 - 1 1	2
69	戸塚共立第2病院	神奈川県横浜市戸塚区吉田町5 7 9 - 1	8
70	茂原中央病院	千葉県茂原市下永吉7 9 6	2
71	田園調布中央病院	東京都大田区田園調布2 - 4 3 - 1	2
72	奥沢病院	東京都世田谷区奥沢2 - 1 1 - 1 1	4
73	松井病院	東京都大田区池上2 - 7 - 1 0	4
合計			334

「臨床実習」の教育課程と指導体制

年次	実習教育課程					指導体制
	前期	後期	実習施設	期間	参加単位	
1年次		見学実習	大学付属病院および大学近郊のリハビリテーション関連病院・施設	1週間(1)	1グループ	教員の引率のもとで実施し、担当者による説明・指導を受ける。実施後、見学報告会を実施する。
2年次		評価実習	大学付属病院および大学近郊の総合病院・リハビリテーション病院等	1週間(1)	1グループ	グループ毎に担当教員の指導のもとで、検査測定実習を行なう。終了後、検討会を実施し、事後指導を行なう。
3年次		評価実習	関東近郊の総合病院・リハビリテーション病院等	3週間(3)	個人	臨床実習会議により、実習目標について共通理解のもとで、事前指導・巡回指導・事後指導を行なう。
4年次	総合臨床実習 総合臨床実習		全国の総合病院・リハビリテーション病院・老人保健施設および小児医療施設	7週間(7) 7週間(7) 計(14)	個人	臨床実習指導者会議をもとに事前指導・巡回指導・事後指導をきめ細かく行なう。実習が長期間にわたるため、巡回指導は必要に応じ数回行なえる体制で臨む。

臨床実習巡回指導計画

教員 A	教員 B	教員 C	教員 D	教員 E	教員 F	教員 G	教員 H
学生	学生	学生	学生	学生	学生	学生	学生
学生	学生	学生	学生	学生	学生	学生	学生
学生	学生	学生	学生	学生	学生	学生	学生
学生	学生	学生	学生	学生	学生	学生	学生
学生	学生	学生	学生	学生	学生	学生	学生

1年次より各アドバイザーの教員に配属し、各教員は学生の履修状況や学習態度について把握しておく。

8名の教員が5名ずつの学生を担当し、評価実習、評価実習 および総合臨床実習時の巡回指導(実習施設訪問指導)にあたる。

2年生の評価実習 についても、原則としてアドバイザーの教員の指導のもとで実施するものとする。

承諾書写し

10 . 教員名簿〔学長及学部長の氏名等〕

教 員 名 簿

学 長 及 び 学 部 長 の 氏 名 等						
調書 番号	役職名	フリガナ 氏名 <就任(予定)年月>	年齢	保有 学位等	月額基本給 (千円)	現 職 (就任年月)
	学 長	ガガトヒコ 長澤 俊彦 平成21年4月		医学博士		杏林大学長 (平10.4)
	学 部 長	オホノリ 大瀧 純一 平成21年4月		博士(医学)		杏林大学保健学部長 (平18.4) 杏林大学保健学部 看護学科教授 (平12.4)

11 . 教員名簿〔教員の氏名等〕

教 員 の 氏 名 等												
(保健学部理学療法学科)												
調書 番号	専任等 区分	職位	フリガナ 氏名 <就任(予定)年月>	年齢	保有 学位等	月額 基本給 (千円)	担当授業科目の名称		担当 単位数	年間 開講数	現 職 (就任年月)	
1	専	教授	<平成21年4月>		博士 (障害科学)	5日	リハビリテーション概論 理学療法用語論 運動器障害系理学療法 運動器障害系理学療法 高齢者理学療法 マニュアルセラピー プロフェッショナルスキル クリニカルリーズニング 理学療法国際事情 見学実習 評価実習 評価実習 総合臨床実習 基礎ゼミ 卒業研究	後 前 前 後 後 後 通年 後 後 前 後 前 前 通年 通年	0.5 1 1 1 1 1 4 1 1 1 2 4 14 4 4	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	東京福祉大学 社会福祉学部 教授 (平成19年10月)	
2	専	教授	<平成21年4月>		博士 (保健学)	5日	リハビリテーション概論 理学療法概論 理学療法評価学概論 理学療法治療学総論 神経障害系理学療法 神経障害系理学療法 プロフェッショナルスキル 見学実習 評価実習 評価実習 総合臨床実習 理学療法特論 基礎ゼミ 特別講義 卒業研究	後 前 前 前 前 後 通 前 後 前 前 前 通年 前 通年	0.5 1 1 1 1 1 4 1 2 4 14 1 4 1 4	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	杏林大学保健学部 臨床検査技術学科 教授 (平成20年3月)	
3	専	教授	<平成21年4月>		医学 博士	5日	病理学	前	1	1	杏林大学保健学部 臨床検査技術学科 教授 (平成5年4月)	
4	専	教授	<平成21年4月>		博士 (リハビリテー ション学)	5日	運動療法学 運動療法学実習 内部障害系理学療法 高次脳機能障害学 急性期理学療法 プロフェッショナルスキル 見学実習 評価実習 評価実習 総合臨床実習 理学療法特論 理学療法研究法 基礎ゼミ 卒業研究	前 後 前 後 後 通 前 後 前 前 後 後 通年 通年	0.7 1 1 1 1 4 1 2 4 14 1 1 4 4	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	健康科学大学 健康科学部 教授 (平成19年4月)	

調書 番号	専任等 区分	職位	フリガナ 氏名 <就任(予定)年月>	年齢	保有 学位等	月額 基本給 (千円)		担当授業科目の名称	担当 単位数	年間 開講数	現 職 (就任年月)	
5	専	准教授	<平成21年4月>		博士 (医療福祉学)	5日		理学療法評価学実習	後	1	1	高齢者リハビリテーション 研究所 主任研究員 (平成16年4月)
								物理療法学実習	前	1	1	
								日常生活技術学	前	1	1	
								日常生活技術学実習	後	1	1	
								プロフェッショナルスキル	通年	4	1	
								生活環境学	後	1	1	
								地域理学療法学	後	2	1	
								見学実習	前	1	1	
								評価実習	後	2	1	
								評価実習	前	4	1	
								総合臨床実習	前	14	1	
								応用理学療法学	後	1	1	
								基礎ゼミ	通年	4	1	
								卒業研究	通年	4	1	
6	専	准教授	<平成22年4月>		修士 (経営工学)	5日		運動学実習	前	1	1	健康科学大学 健康学部准教授 (平成19年4月)
								運動解剖学	後	1	1	
								動作分析学	後	1	1	
								運動療法学実習	後	1	1	
								義肢学	後	1	1	
								義肢学実習	後	1	1	
								装具学	前	1	1	
								装具学実習	前	1	1	
								プロフェッショナルスキル	通年	4	1	
								評価実習	後	2	1	
								評価実習	前	4	1	
								総合臨床実習	前	14	1	
								基礎ゼミ	通年	4	1	
								卒業研究	通年	4	1	
7	専	准教授	<平成21年4月>		修士 (人間学)	5日		人間発達学	後	2	1	東京女子医科大学 乳児行動発達学講座 研究員 (平成14年1月)
								運動学実習	前	1	1	
								理学療法評価学	前	1	1	
								日常生活技術学実習	後	1	1	
								小児理学療法学	前	1	1	
								プロフェッショナルスキル	通年	4	1	
								評価実習	後	2	1	
								評価実習	前	4	1	
								総合臨床実習	前	14	1	
								基礎ゼミ	通年	4	1	
								卒業研究	通年	4	1	
8	専	講師	<平成22年4月>		修士 (医科学)	5日		運動学実習	前	1	1	千葉医療福祉専門学校 理学療法学科 専任講師 (平成17年4月)
								病態運動学	前	2	1	
								理学療法評価学実習	前	1	1	
								運動療法学	前	0.3	1	
								運動療法学実習	後	1	1	
								スポーツ障害理学療法学	後	1	1	
								プロフェッショナルスキル	通年	4	1	
								評価実習	後	2	1	
								評価実習	前	4	1	
								総合臨床実習	前	14	1	
								基礎ゼミ	通年	4	1	
								卒業研究	通年	4	1	

調書 番号	専任等 区分	職位	フリガナ 氏名 <就任(予定)年月>	年齢	保有 学位等	月額 基本給 (千円)		担当授業科目の名称	担当 単位数	年間 開講数	現 職 (就任年月)
9	専	講師	<平成22年4月>		博士 (保健学)	5日		運動学実習	前	1	医療法人笹本会 やまなしくアアカデミー 研究員 (平成18年4月)
								理学療法評価学	後	1	
								理学療法評価学実習	前	1	
								運動療法学実習	後	1	
								物理療法学実習	前	1	
								日常生活技術学実習	後	1	
								プロフェッショナルスキル	通年	4	
								評価実習	後	2	
								評価実習	前	4	
								総合臨床実習	前	14	
								基礎ゼミ	通年	4	
卒業研究	通年	4									
10	専	講師	<平成21年4月>		博士 (保健学)	5日		解剖学実習	後	1	杏林大学保健学部 臨床検査技術学科 講師 (平成19年10月)
								解剖学実習	前	1	
11	専	助教	<平成21年4月>		修士 (保健医療学)	5日		運動学	後	1	健康科学大学健康科学部 助教 (平成20年4月)
								運動学実習	前	1	
								理学療法評価学実習	前	1	
								物理療法学	前	1	
								物理療法学実習	前	1	
								日常生活技術学実習	後	1	
								プロフェッショナルスキル	通年	4	
								評価実習	後	2	
								評価実習	前	4	
								総合臨床実習	前	14	
								基礎ゼミ	通年	4	
卒業研究	通年	4									
12	専	助教	<平成21年4月>		修士 (保健学)	5日		情報処理論	後	2	杏林大学保健学部 臨床検査技術学科 助教 (平成7年4月)
								解剖学実習	後	1	
								解剖学実習	前	1	
13	専	助教	<平成21年4月>		修士 (保健医療学)	5日		運動学実習	前	1	江戸川医療専門学校 理学療法学科教員 (平成20年4月)
								理学療法評価学実習	後	1	
								運動療法学実習	後	1	
								物理療法学	後	1	
								物理療法学実習	前	1	
								義肢学実習	後	1	
								日常生活技術学実習	後	1	
								プロフェッショナルスキル	通年	4	
								評価実習	後	2	
								評価実習	前	4	
								総合臨床実習	前	14	
基礎ゼミ	通年	4									
卒業研究	通年	4									
14	専	助教	<平成23年4月>		修士 (健康科学)	5日		理学療法評価学実習	前	1	杏林大学医学部付属病院 リハビリテーション室 理学療法士 (平成15年4月)
								運動療法学実習	後	1	
								装具学実習	前	1	
								日常生活技術学実習	後	1	
								内部障害系理学療法学	前	1	
								プロフェッショナルスキル	通年	4	
								評価実習	前	4	
								総合臨床実習	前	14	
								基礎ゼミ	通年	4	
								卒業研究	通年	4	

調書 番号	専任等 区分	職位	フリガナ 氏名 <就任(予定)年月>	年齢	保有 学位等	月額 基本給 (千円)	担当授業科目の名称	担当 単位数	年間 開講数	現 職 (就任年月)
15	兼担	教授	<平成21年4月>		法学修士		労働衛生法規	前 2	1	杏林大学総合政策学部 教授 (平成6年4月)
16	兼担	教授	<平成21年4月>		薬学博士		職業適性論 薬理学	後 前 0.4 1	1 1	杏林大学保健学部 臨床検査技術学科 教授 (平成14年4月)
17	兼担	教授	<平成21年4月>		工学博士		職業適性論 生理学	後 後 0.3 0.8	1 1	杏林大学保健学部 臨床工学科 教授 (平成11年4月)
18	兼担	教授	<平成21年4月>		博士 (医学)		臨床心理学概論 精神医学 外科学	前 前 後 1 2 1	1 1 1	杏林大学保健学部 看護学科 教授 (平成12年4月)
19	兼担	教授	<平成21年4月>		博士 (医学)		公衆衛生学 看護学	前 前 0.1 2	1 1	杏林大学保健学部 健康福祉学科 教授 (平成18年4月)
20	兼担	教授	<平成21年4月>		医学博士		リハビリテーション医学	後 1	1	杏林大学医学部 医学科教授 (平成13年7月)
21	兼担	教授	<平成21年4月>		博士 (保健学)		公衆衛生学	前 0.2	1	杏林大学保健学部 健康福祉学科 教授 (平成12年4月)
22	兼担	教授	<平成21年4月>		保健学博士		産業保健学 公衆衛生学 環境衛生工学 労働衛生法規	前 後 後 前 1.3 0.3 2 1	1 1 1 1	杏林大学保健学部 健康福祉学科 教授 (平成2年4月)
23	兼担	教授	<平成21年4月>		工学博士		基礎物理学 物理学概論	前 後 1 1	1 1	杏林大学保健学部 臨床検査技術学科 教授 (平成3年4月)
24	兼担	教授	<平成21年4月>		博士 (医学)		内科学 医療安全論 高齢保健学 公衆衛生学	後 後 後 後 2 1 2 0.3	1 1 1 1	杏林大学保健学部 救急救命学科 教授 (平成10年10月)
25	兼担	教授	<平成21年4月>		医学博士		生命科学概論	前 2	1	杏林大学保健学部 臨床検査技術学科 教授 (平成10年4月)
26	兼担	教授	<平成21年4月>		医学博士		保健学概論 公衆衛生学 公衆衛生学	前 前 後 2 0.1 0.3	1 1 1	杏林大学保健学部 健康福祉学科 教授 (平成2年4月)
27	兼担	教授	<平成21年4月>		医学博士		神経内科学	後 2	1	杏林大学保健学部 救急救命学科 教授 (平成12年4月)
28	兼担	教授	<平成21年4月>		医学博士		脳神経外科学	後 1	1	杏林大学保健学部 救急救命学科 教授 (平成18年10月)

調書 番号	専任等 区分	職位	フリガナ 氏名 <就任(予定)年月>	年齢	保有 学位等	月額 基本給 (千円)	担当授業科目の名称	担当 単位数	年間 開講数	現 職 (就任年月)
29	兼担	教授	<平成21年4月>		医学博士		社会福祉学	後 0.3	1	杏林大学医学部 医学科教授 (昭和62年2月)
30	兼担	教授	<平成21年4月>		医学博士		生理学 生理学実習	前 前 0.9 1	1 1	杏林大学保健学部 臨床工学科 教授 (平成5年7月)
31	兼担	教授	<平成21年4月>		医学博士		内科学	前 1.1	1	杏林大学保健学部 臨床工学科 教授 (平成18年4月)
32	兼担	教授	<平成21年4月>		医学博士		医学英語 解剖学 解剖学 解剖学実習 解剖学実習 特別講義	後 前 前 後 前 前 2 1.6 0.7 1 1 1	1 1 1 1 1 1	杏林大学保健学部 臨床検査技術学科 教授 (平成18年4月)
33	兼担	教授	<平成21年4月>		医学博士		免疫学	後 1	1	杏林大学保健学部 臨床検査技術学科 教授 (平成19年4月)
34	兼担	教授	<平成21年4月>		文学士		職業適性論	後 0.1	1	杏林大学総合政策学部 教授 (平成13年4月)
35	兼担	教授	<平成21年4月>		医学博士		公衆衛生学	前 0.3	1	杏林大学保健学部 健康福祉学科 教授 (平成12年4月)
36	兼担	教授	<平成21年4月>		医学博士		職業適性論 産業保健学 公衆衛生学 公衆衛生学	後 前 前 後 0.3 0.1 0.7 0.5	1 1 1 1	杏林大学保健学部 健康福祉学科 教授 (平成16年4月)
37	兼担	教授	<平成21年4月>		保健学博士		地域保健学	後 2	1	杏林大学総合政策学部 教授 (平成2年4月)
38	兼担	教授	<平成21年4月>		医学博士		感染症学	前 1	1	杏林大学保健学部 臨床検査技術学科 教授 (平成20年4月)
39	兼担	教授	<平成21年4月>		医学博士		内科学	前 0.9	1	杏林大学保健学部 臨床工学科 教授 (平成18年4月)
40	兼担	教授	<平成21年4月>		医学博士		救命救助法	前 1	1	杏林大学保健学部 救急救命学科 教授 (平成14年4月)
41	兼担	准教授	<平成21年4月>		博士 (理学)		基礎生物学	前 1	1	杏林大学保健学部 臨床検査技術学科 准教授 (平成17年4月)

調書 番号	専任等 区分	職位	フリガナ 氏名 <就任(予定)年月>	年齢	保有 学位等	月額 基本給 (千円)	担当授業科目の名称	担当 単位数	年間 開講数	現 職 (就任年月)
42	兼担	准教授	<平成21年4月>		法学修士		法学	前 2	1	杏林大学総合政策学部 准教授 (平成15年4月)
43	兼担	准教授	<平成21年4月>		博士 (保健学)		基礎化学	前 1	1	杏林大学保健学部 臨床検査技術学科 准教授 (平成17年4月)
44	兼担	准教授	<平成21年4月>		理学修士		数学 統計学	前 後 2 2	1 1	杏林大学保健学部 健康福祉学科 准教授 (平成8年4月)
45	兼担	准教授	<平成21年4月>		教育学士		社会福祉学 公衆衛生学	後 後 1.6 0.1	1 1	杏林大学保健学部 健康福祉学科 准教授 (平成18年4月)
46	兼担	准教授	<平成21年4月>		医学博士		整形外科学	前 2	1	杏林大学医学部 医学科准教授 (平成13年4月)
47	兼担	准教授	<平成21年4月>		博士 (医学)		生理学 生理学実習	前 前 1.1 1	1 1	杏林大学保健学部 臨床工学科 准教授 (平成17年4月)
48	兼担	准教授	<平成21年4月>		博士 (理学)		生化学概論	後 2	1	杏林大学保健学部 臨床検査技術学科 准教授 (平成18年4月)
49	兼担	准教授	<平成21年4月>		博士 (心理学)		心理学 発達心理学	前 後 4 6	2 3	杏林大学保健学部 健康福祉学科 准教授 (平成19年4月)
50	兼担	准教授	<平成21年4月>		保健学博士		公衆衛生学	前 0.3	1	杏林大学保健学部 健康福祉学科 准教授 (平成14年4月)
51	兼担	准教授	<平成21年4月>		博士 (栄養学)		解剖学 解剖学 解剖学実習 解剖学実習 栄養学 公衆衛生学	前 前 後 前 前 前 0.3 0.1 1 1 1 1 0.3	1 1 1 1 1 1 1	杏林大学保健学部 健康福祉学科 准教授 (平成19年4月)
52	兼担	准教授	<平成21年4月>		博士 (医学)		小児科学	後 2	1	杏林大学保健学部 看護学科 准教授 (平成20年4月)
53	兼担	准教授	<平成21年4月>		博士 (保健学)		生理学	後 0.2	1	杏林大学保健学部 臨床工学科 准教授 (平成20年4月)
54	兼担	講師	<平成21年4月>		体育学修士		公衆衛生学	後 0.3	1	杏林大学保健学部 健康福祉学科 講師 (平成元年4月)
55	兼担	講師	<平成21年4月>		修士 (応用言語)		英語	後 2	1	杏林大学外国語学部 講師 (平成17年4月)

調書 番号	専任等 区分	職位	フリガナ 氏名 <就任(予定)年月>	年齢	保有 学位等	月額 基本給 (千円)	担当授業科目の名称	担当 単位数	年間 開講数	現 職 (就任年月)	
56	兼任	講師	<平成21年4月>		法学士		救命救助法	前	1	1	杏林大学保健学部 救急救命学科 講師 (平成14年4月)
57	兼任	講師	<平成21年4月>		博士 (保健学)		解剖学 解剖学 解剖学実習 解剖学実習 特別講義	前 前 後 前 前	0.1 0.1 1 1 0.3	1 1 1 1 1	杏林大学保健学部 臨床検査技術学科 講師 (平成18年4月)
58	兼任	助教	<平成21年4月>		経済学士		救命救助法	前	1	1	杏林大学保健学部 救急救命学科 助教 (平成20年4月)
59	兼任	助教	<平成21年4月>		準学士		解剖学実習 解剖学実習 特別講義	後 前 前	1 1 0.3	1 1 1	杏林大学保健学部 臨床検査技術学科 助教 (平成19年4月)
60	兼任	助教	<平成21年4月>		修士 (保健学)		産業保健学 環境衛生工学 労働衛生法規	前 後 前	0.5 1 1	1 1 1	杏林大学保健学部 健康福祉学科 助教 (平成8年4月)
61	兼任	助教	<平成21年4月>		修士 (保健学)		生理学実習	前	1	1	杏林大学保健学部 臨床工学科 助教 (平成18年4月)
62	兼任	助教	<平成21年4月>		博士 (保健学)		特別講義	前	0.3	1	杏林大学保健学部 臨床検査技術学科 助教 (平成19年4月)
63	兼任	助教	<平成21年4月>		法学士		救命救助法	前	1	1	杏林大学保健学部 救急救命学科 助教 (平成18年4月)
64	兼任	助教	<平成21年4月>		修士 (社会福祉学)		社会福祉学 公衆衛生学	後 後	0.1 0.1	1 1	杏林大学保健学部 健康福祉学科 助教 (平成12年4月)
65	兼任	助教	<平成21年4月>		準学士		解剖学実習 解剖学実習 特別講義	後 前 前	1 1 0.3	1 1 1	杏林大学保健学部 臨床検査技術学科 助教 (平成19年4月)
66	兼任	助教	<平成21年4月>		修士 (文学)		英語	前	2	1	杏林大学外国語学部 助教 (平成19年4月)
67	兼任	助教	<平成21年4月>		修士 (保健学)		生理学実習	前	1	1	杏林大学保健学部 助教 (平成14年10月)
68	兼任	講師	<平成21年4月>		修士 (英文学)		英語	後	2	1	杏林大学外国語学部 非常勤講師 (平成20年4月)
69	兼任	講師	<平成21年4月>		文学修士		哲学 生命倫理学 倫理学	前後 後 前	4 2 2	2 1 1	杏林大学総合政策学部 非常勤講師 (平成19年4月)

調書 番号	専任等 区分	職位	フリガナ 氏名 <就任(予定)年月>	年齢	保有 学位等	月額 基本給 (千円)		担当授業科目の名称		担当 単位数	年間 開講数	現 職 (就任年月)
70	兼任	講師	<平成21年4月>		医学博士 工学博士			職業適性論	後	0.9	1	杏林大学保健学部 非常勤講師 (平成10年4月)
71	兼任	講師	<平成21年4月>		修士 (応用言語学)			英語	前	2	1	杏林大学外国語学部 非常勤講師 (平成17年4月)
72	兼任	講師	<平成21年4月>		学士 (哲学)			日本語表現法	前	2	1	杏林大学外国語学部 非常勤講師 (平成19年9月)
73	兼任	講師	<平成21年4月>		社会学 修士			社会学	前後	4	2	杏林大学総合政策学部 非常勤講師 (平成7年4月)
74	兼任	講師	<平成21年4月>		芸術学士			芸術	前後	8	4	杏林大学総合政策学部 非常勤講師 (平成15年4月)
75	兼任	講師	<平成21年4月>		博士 (社会学)			英会話	前	2	1	杏林大学外国語学部 非常勤講師 (平成8年5月)